



## ▶▶▶ はじめに

『クイックリファレンス』は、「看護師国家試験出題基準 令和5年版」に対して、「系統看護学講座(2022年版・全70巻)」における該当箇所を一覧にしたものです。看護師国家試験出題基準の小項目までが、「系統看護学講座」ではどの巻の、どのページに記載されているのかを示しています。令和5年版の出題基準の示すすべての範囲が「系統看護学講座」によって網羅されていることがお分かりいただけるとと思います。日常の授業や看護師国家試験対策にご活用いただければ幸いです。

「系統看護学講座(2022年版・全70巻)」では、10巻を改訂し、新たに「地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤」「地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践」を刊行しました。また、すべての巻で、内容の刷新と強化をはかりました。看護のための基本的な知識体系の完成をめざす「系統看護学講座」のご活用をお願いいたします。

2022年8月

「系統看護学講座」編集室

## ▶▶▶ 目次

■ 必修問題	1
■ 人体の構造と機能	25
■ 疾病の成り立ちと回復の促進	37
■ 健康支援と社会保障制度	52
■ 基礎看護学	67
■ 成人看護学	79
■ 老年看護学	102
■ 小児看護学	112
■ 母性看護学	121
■ 精神看護学	130
■ 在宅看護論／地域・在宅看護論	140
■ 看護の統合と実践	149

# 必修問題

目標 I. 健康および看護における社会的・倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	世界保健機関〈WHO〉の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A 「健康のとらえ方」 (p.108~115) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 A-3-1 「健康の多様性」 (p.16~17) 医療概論 : 第1章 B-1 「健康とは」 (p.12) 公衆衛生 : 第1章 A-2 「ヘルス(衛生・健康)とはなにか」 (p.17~18)
		ウェルネスの概念	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A-1-3 「健康の拡大」 (p.110) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 A-3 「暮らしのなかで健康をとらえる」 (p.16~18) 公衆衛生 : 第1章 D-2-4 「オタワ憲章——健康は手段か目的か」 (p.39~42)
	B 健康に関する指標	総人口	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第4章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.104~107) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-1 「総人口の変化」 (p.28) 統計学 : 第6章 B-1-1 「全国総人口」 (p.171)
		年齢別人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第4章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.104~107) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32) 統計学 : 第6章 B-1-2 「性別・年齢別人口(人口ピラミッド)」 (p.171~172)
		労働人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41) 統計学 : 第6章 B-2 「労働に関する指標」 (p.173~175)
		将来推計人口	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第8章 D-1-3 「日本の高齢化の現状と対策」 (p.252~253) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)
		世帯数	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133~136) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「世帯の状況」 (p.77~78) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-1 「世帯の変化」 (p.34~35) 統計学 : 第6章 B-3 「世帯に関する統計」 (p.175~176)
		婚姻、家族形態	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-2 「結婚と出産」 (p.130~132)、C-4 「家族」 (p.133~136) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「婚姻の状況」 (p.78~80)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)、第3章 B-2-2 「多様化する女性のライフスタイル」 (p.130~133) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36) 統計学 : 第6章 B-1-4 「配偶関係別人口」 (p.173)、B-3-2 「世帯構造別人口」 (p.175~176) 家族看護学 : 第2章 D-1 「現代家族の様相」 (p.63~78)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		出生と死亡の動向	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5 「死亡の状況」 (p.120~122)、C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2 「出生と家族」 (p.9~11)、B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「母子保健統計」 (p.64~74)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-2 「死亡率」 (p.101~103)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)</p> <p>統計学 : 第6章 C-1 「出生に関するおもな指標」 (p.176~179)、C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)</p>	
		死因の概要	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5 「死亡の状況」 (p.120~122)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-3 「死因」 (p.103~104)</p> <p>統計学 : 第6章 C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)</p>	
		平均余命、平均寿命、健康寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-3 「●平均寿命と健康寿命」 (p.69)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-1 「平均寿命、平均余命、健康寿命」 (p.101)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 A-1-1 「長寿化の進展」 (p.158)</p> <p>統計学 : 第6章 E 「生命表」 (p.191~194)</p>	
		C 受療状況	有訴者の状況	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-1 「有訴者率と通院者率」 (p.115~116)</p> <p>統計学 : 第6章 D-1 「国民生活基礎調査」 (p.188~189)</p>
		有病率、罹患率、受療率	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4 「受療状況」 (p.60)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-1 「疾患の発生状況を把握する」 (p.97~100)</p> <p>統計学 : 第6章 D-2 「患者調査」 (p.189~190)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A 「もしも私たちが病気やけがをしたら」 (p.56~69)</p>	
		外来受診の状況	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4 「受療状況」 (p.60)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第7章 A-1 「現在の外来診療がおかれている状況」 (p.228)</p>	
		入院期間	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A-2-4 「入院から退院まで」 (p.62~64)</p> <p>精神保健福祉 : 第5章 A-1 「入院患者の概況」 (p.116~118)</p>	
	2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	食事と栄養	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 A 「食事援助の基礎知識」 (p.29~38)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 C-5 「肥満」 (p.192~193)</p> <p>栄養学 : 第8章 「ライフステージと栄養」 (p.152~186)、第10章 「健康づくりと食生活」 (p.238~251)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●栄養・食生活」 (p.238~239)</p> <p>栄養食事療法 : 第1章 「栄養食事療法とは」 (p.2~11)</p>
			排泄	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 「排泄援助技術」 (p.63~102)</p>
			活動と運動、レクリエーション	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.104~140)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 C-4 「身体活動量低下と運動不足」 (p.190~192)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●身体活動・運動」 (p.239~240)</p>
休息と睡眠			<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B 「睡眠・休息の援助」 (p.140~150)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)</p> <p>解剖生理学 : 第8章 K-1-2 「睡眠」 (p.421~424)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●休養」 (p.240)</p>	
清潔と衣生活			<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 「清潔・衣生活援助技術」 (p.169~232)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		ライフスタイル	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)、第3章 A-4「健康と生活」(p.112～115)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第1章 B-1「生活を営むこと」(p.27～30)、B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 B-1「ライフスタイルと健康問題」(p.182)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第1章 D-2-2「ラウンド報告」(p.37～38)</p> <p><b>総合医療論</b>：第1章 C-3「ライフサイクルのなかの病——老いと病」(p.27～28)</p>
		ストレス	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第2章 A-3『『こころ』と『からだ』にかかるストレスの影響』(p.83～88)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.181～186)</p> <p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第2章 B-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.31～33)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第8章 C-4-1「●こころの健康」(p.237～238)</p> <p><b>心理学</b>：第10章 B-1「ストレスと適応」(p.196～201)</p> <p><b>総合医療論</b>：第3章 F-1-1「ストレス」(p.94)</p>
		喫煙、嗜好品	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第3章 A-4「健康と生活」(p.112～115)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 C-3「喫煙と健康問題」(p.189～190)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第8章 4-1「●飲酒」(p.240)、「●喫煙」(p.240～241)</p>
	B 生活環境	水質、大気、土壌	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44～48)、第5章 C-6-3「大気・紫外線・放射性物質の問題」(p.194)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第5章 B-4「水質汚濁」(p.129～130)、B-5「大気汚染」(p.131～134)、B-6「土壌汚染」(p.134～135)</p>
		食品衛生	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44～48)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.193)</p> <p><b>栄養学</b>：第10章 D「食の安全性と表示」(p.248～251)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第5章 C-2「食品の安全確保」(p.140～143)</p>
		住環境	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第5章 C-6-2「居住環境」(p.194)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第5章 C-1「室内環境の安全確保」(p.138～140)</p>
	C 社会環境	職業と健康障害	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第2章 A-2-3「職業性疾患・業務上疾病」(p.59～60)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177)</p> <p><b>成人看護学 [11] (アレルギー)</b>：第4章 J「職業性アレルギー」(p.54)</p> <p><b>精神看護学 [2] (精神看護の展開)</b>：第10章 E-1「働く人の心の健康(メンタルヘルス)の現状」(p.187～190)</p> <p><b>病理学</b>：第1章 B-3「公害病・医原病・職業がん」(p.10～11)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第1章 B-3「富の増大と職業病——産業保健のはじまり」(p.22～24)、第10章 B-2-2「労働災害の発生状況と防止対策」(p.343～346)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第5章 D-2「労働者災害補償保険制度」(p.132～135)、第8章 F-1-3「疾病の社会化」(p.237～238)</p>
		労働環境	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.187～188)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第10章 B-4「職場の健康管理体制」(p.352～354)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第2章 A-5-3「近年の雇用問題」(p.40～41)</p>
		ワーク・ライフ・バランス	<p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)</p> <p><b>母性看護学 [1] (母性看護学概論)</b>：第3章 B-2-3「伝統的な性役割観の変化とワークライフバランス」(p.133～136)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第2章 A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス、働き方改革」(p.41)</p> <p><b>教育学</b>：第15章 D-3「仕事以外の生活にも光をあてる」(p.206)</p>
	3 社会 保障 看護で 活用す る	A 医療保険制度の基本	医療保険の種類

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		国民医療費	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44～48) 医療概論 : 第5章 B-1 「国民医療費」 (p.195) 公衆衛生 : 第4章 B-4 「集団の健康をとらえるための統計資料」 (p.107～109) 社会保障・社会福祉 : 第3章 G 「国民医療費」 (p.79～82)
		高齢者医療制度	医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64) 社会保障・社会福祉 : 第3章 D 「高齢者医療制度」 (p.70～75) 看護関係法令 : 第6章 A-3 「高齢者の医療の確保に関する法律」 (p.197～199)
		給付の内容	医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64) 社会保障・社会福祉 : 第3章 C-2 「給付と患者負担」 (p.65～68) 看護関係法令 : 第6章 A 「医療・介護の費用保障」 (p.191～199)
	B 介護保険制度の基本	保険者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-2 「保険者・被保険者・受給権者」 (p.170～171) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～87) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-2 「保険者」 (p.89～90) 看護関係法令 : 第6章 A-4-a 「保険者など」 (p.200)
		被保険者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-2 「保険者・被保険者・受給権者」 (p.170～171) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～86) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-3 「被保険者」 (p.90～91) 看護関係法令 : 第6章 A-4-b 「被保険者・保険料」 (p.200)
		給付の内容	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1 「介護保険制度」 (p.168～175) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92～101) 看護関係法令 : 第6章 A-4-c 「保険給付」 (p.200～203) 精神保健福祉 : 第6章 A-6 「高齢精神障害者の支援」 (p.176～182)
		要介護・要支援の認定	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-3 「●要介護認定」 (p.171～172) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～87) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 K-1-2 「要介護認定」 (p.132) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-4 「要介護・要支援の認定」 (p.91～92) 看護関係法令 : 第6章 A-4-d 「要介護認定と要支援認定」 (p.203～205)
地域支援事業	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-4 「●地域支援事業」 (p.174) 老年看護学 : 第9章 A-2 「介護予防とヘルスプロモーション」 (p.361～364) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 公衆衛生 : 第8章 D-4-2 「●地域支援事業を活用した新たな事業の創出」 (p.257～258) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5-10 「地域支援事業」 (p.100～101) 看護関係法令 : 第6章 A-4-f 「地域支援事業」 (p.205～206)		
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	個人の尊厳	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-2 「●倫理的配慮とプライバシー保護」 (p.50)、第5章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.190～191)、C-1 「看護の本質としての看護倫理」 (p.204～205) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-1 「対象者の権利擁護」 (p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 G 「看護実践における倫理的判断」 (p.139～146) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G 「母性看護における倫理」 (p.49～54) 公衆衛生 : 第1章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.32～33)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.33～34)、第2章 B-1 「看護職は『みんな』の権利をまもる守護神の1人」 (p.49～50)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45～48) 看護倫理：第2章「生命倫理」(p.24～40)
		患者の権利	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190～191) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第5章B-3「倫理的配慮と価値判断」(p.296～298) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章B-1「患者の権利」(p.19) 医療概論：第4章A-3「患者の権利」(p.147) 公衆衛生：第2章B「看護職の公的責任と活動対象」(p.49～52) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45～48) 看護倫理：第2章A-2「生命倫理の歴史」(p.25～27) 看護情報学：第7章A「患者の権利と自己決定への支援」(p.142～147)
		自己決定権と患者の意思	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190～191)、B-2「患者の意思決定支援と守秘義務」(p.191～193)、C-2「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」(p.205～209) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 医療概論：第4章A-3-2「自己決定権」(p.148) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45～48) 緩和ケア：第4章B「意思決定支援」(p.63～72) 総合医療論：第5章D「生命倫理学と臨床倫理学の展開」(p.123～128) 看護倫理：第2章「生命倫理」(p.24～40) 看護情報学：第7章A「患者の権利と自己決定への支援」(p.142～147)
		インフォームド・コンセント	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190～191) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-3「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」(p.74～80) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章C「造血器腫瘍」(p.78) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章B-2「インフォームドコンセント」(p.20～23) 医療概論：第4章A-3-2「自己決定権」(p.148) 臨床外科看護総論：第6章C「インフォームドコンセント」(p.205～207) 救急看護学：第1章D-2-1「インフォームドコンセント」(p.45～46) 緩和ケア：第4章B-1「インフォームドコンセント」(p.63～65) 総合医療論：第5章F-2「インフォームドコンセントの法理」(p.136～137) 看護倫理：第2章C-1「インフォームドコンセント」(p.34～37) 看護情報学：第7章A-2「インフォームドコンセント」(p.143～144)
		ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.80～84)、第8章B-2-3「生活期のリハビリテーションと看護」(p.276～277) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-2-5「統合失調症の治療」(p.174～176) 医療概論：第3章B-3-4「ノーマライゼーション」(p.71) 公衆衛生：第8章G-3「公衆衛生ナビ「ノーマライゼーション」」(p.302) 社会保障・社会福祉：第7章B-2-1「ノーマライゼーション」(p.170～171) 人間関係論：第12章D-1「ノーマライゼーション」(p.266～267) リハビリテーション看護：第1章A「リハビリテーションの定義と理念」(p.5) 総合医療論：第3章E「障害者のノーマライゼーションとインクルージョン(社会的包摂)」(p.89～93) 精神保健福祉：第1章C-2「共生社会とノーマライゼーション」(p.9～10)
		情報管理(個人情報の保護)	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-2-3「守秘義務の遵守と個人情報保護」(p.193) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第5章D-2「記載・管理における留意点」(p.337～338) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-3「守秘義務」(p.208)、H-4「個人情報保護」(p.209) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章G「情報のマネジメント」(p.122～126) 医療概論：第4章E-1「医療情報と個人情報」(p.174)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第1章D-2-4「プライバシー保護」(p.48) 総合医療論：第5章F-1-2「正確な診療情報記録の重要性」(p.135) 看護倫理：第2章C-2「守秘義務と個人情報保護」(p.38～40) 看護情報学：第8章「個人情報の保護」(p.160～174)
	B 倫理原則	自律尊重	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章G「母性看護における倫理」(p.49～54) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		善行	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		公正、正義	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		誠実、忠誠	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 看護倫理：第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		無危害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
	C 看護師等の役割	説明責任〈アカウントビリティ〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章B-2-2「●患者・家族への説明と助言」(p.52～53)、第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190～191) 救急看護学：第1章D-2-1「インフォームドコンセント」(p.45～46) 看護倫理：第2章C-1「インフォームドコンセント」(p.34～37)、第6章D「看護実践上の倫理的概念」(p.106～114) 看護情報学：第7章A-2「インフォームドコンセント」(p.143～144)
		倫理的配慮	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-4「医療専門職の倫理規定」(p.198～204)、C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.204～205)、C-2「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」(p.205～209) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B-5「看護職の職業倫理」(p.172～173) 公衆衛生：第2章B-2「万国共通の看護職の公的責任」(p.50～51) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45～48) 看護倫理：第6章「看護倫理とはなにか」(p.96～118)、第7章「専門職の倫理」(p.120～136)
		権利擁護〈アドボカシー〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.204～205) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 社会保障・社会福祉：第8章E-3「アドボカシー」(p.234～235) 救急看護学：第1章D-2-2「アドボカシー」(p.46～47) 看護倫理：第6章D-1「アドボカシー」(p.106～107)
5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	保健師・助産師・看護師の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章A-2-1「保健師助産師看護師法における定義」(p.21～22)、第4章B-1「看護職の資格」(p.150～154) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B-1「看護職の定義」(p.167～168) 医療概論：第3章D-2-2「看護師・准看護師・保健師・助産師」(p.104) 看護関係法令：第2章A-2「定義」(p.20～22)
		保健師・助産師・看護師の業務	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章B-1「看護職の資格」(p.150～154) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B「看護職」(p.167～181) 医療概論：第3章D-2-2「看護師・准看護師・保健師・助産師」(p.104) 看護関係法令：第2章A-7「業務」(p.29～31)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		保健師・助産師・看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第4章 B-1「看護職の資格」(p.150～154)</p> <p><b>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)</b>：第5章 D-2「記載・管理における留意点」(p.337～338)</p> <p><b>看護の統合と実践 [1] (看護管理)</b>：第6章 B「看護職」(p.167～181)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第2章 A-7「業務」(p.29～31)、A-9「義務」(p.33～36)</p>
		養成制度	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第4章 B-2「看護職の養成制度」(p.154～159)</p> <p><b>看護の統合と実践 [1] (看護管理)</b>：第6章 B-6「看護職の教育制度」(p.173～176)</p>
	B 看護師等の人材確保の促進に関する法律	目的、基本方針	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第4章 A-4-4「看護職の確保と定着に向けた支援対策」(p.148～149)</p> <p><b>看護の統合と実践 [1] (看護管理)</b>：第6章 B-3-2「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」(p.170～171)</p> <p><b>医療概論</b>：第5章 A-6-3「看護師不足」(p.192)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第2章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.45～48)</p>
		ナースセンター	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第4章 A-4-4「看護職の確保と定着に向けた支援対策」(p.148～149)</p> <p><b>看護の統合と実践 [1] (看護管理)</b>：第3章 D-3「労働環境」(p.110～118)、第6章 B-3-2「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」(p.170～171)</p> <p><b>医療概論</b>：第5章 A-6-3「看護師不足」(p.192)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第2章 B-d「ナースセンターと離職届」(p.48)</p>

目標Ⅱ. 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 人間の 特性	A 人間と欲求	基本的欲求	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第1章 A-2-3「●ヴァージニア=ヘンダーソン」(p.27～31)、第2章 A-5-1「人間のニード(欲求)に関する理論——マズローの欲求段階説」(p.91～92)、第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)</p> <p><b>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)</b>：第1章 A-b「健康上のニーズ」(p.3～4)</p> <p><b>心理学</b>：第6章 C-4「マズローの欲求階層説」(p.109～110)</p>
		社会的欲求	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第1章 A-2-3「●ヴァージニア=ヘンダーソン」(p.27～31)、第2章 A-5-1「人間のニード(欲求)に関する理論——マズローの欲求段階説」(p.91～92)、第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)</p> <p><b>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)</b>：第1章 A-b「健康上のニーズ」(p.3～4)</p> <p><b>心理学</b>：第6章 C-4「マズローの欲求階層説」(p.109～110)</p>
	B 対象の特性	QOL	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第3章 A-4-3「健康とQOL」(p.115)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第1章 D-2-4「●健康はQOLとWell-beingのための資源」(p.40～41)</p> <p><b>社会学</b>：第5章 B-4「健康とクオリティオブライフ(QOL)」(p.79～80)</p> <p><b>総合医療論</b>：第1章 B-2-4「QOLの考え方と医療」(p.24)</p>
		健康や疾病に対する意識	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第3章 A「健康のとらえ方」(p.108～115)</p> <p><b>社会学</b>：第5章 A「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」(p.74～76)、B「健康・病気の新しい見方ととらえ方」(p.76～84)</p> <p><b>総合医療論</b>：第1章 B「健康のとらえ方」(p.19～24)、C「病の体験」(p.25～28)</p>
		疾病・障害・死の受容	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第2章 A-5-2「危機理論」(p.92～93)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第8章 A-2「障害がある人の障害の認識過程」(p.268～270)、第9章「人生の最期のときを支える看護」(p.280～298)</p> <p><b>成人看護学 [7] (脳・神経)</b>：第1章 B-2「心理・社会的な問題とその援助」(p.13～16)</p> <p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第2章 C-1-Column「喪失と悲嘆」(p.40)</p> <p><b>病理学</b>：第7章 C-3「尊厳死と緩和医療」(p.114)</p> <p><b>心理学</b>：第11章 B-1「患者の心理特性」(p.227～230)</p> <p><b>救急看護学</b>：第2章 B-2-4「悲嘆反応」(p.59～60)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第2章 B-2「障害者の体験」(p.47～57)、C-3-3「障害受容に対する援助」(p.73～75)</p> <p><b>緩和ケア</b>：第3章 C-2「コミュニケーションに関する患者の意向」(p.42～47)、第5章 B-1「生命をおびやかす疾患と治療による心への影響と適応」(p.97～99)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	形態的発達と異常	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章 B 「おもな疾患」 (p.6~10) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-2 「胎児の発育とその生理」 (p.68~71)、第5章 B-1 「新生児の診断」 (p.281~293) 解剖生理学 : 第10章 C 「受精と胎児の発生」 (p.475~489) 病理学 : 第8章 「先天異常と遺伝性疾患」 (p.115~134) 病態生理学 : 第1章 F 「先天異常と遺伝子異常」 (p.21~24)
		B 新生児・乳児期	発達の原則
	B 新生児・乳児期	身体の発育	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-1 「身体の発育」 (p.94~95) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-1 「形態的特徴」 (p.54)、B-1 「形態的特徴」 (p.71~72)
		運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-4 「運動機能」 (p.73~76) 心理学 : 第9章 B-1-2 「運動機能」 (p.174~175)
	B 新生児・乳児期	栄養	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-a-1 「食事の世話」 (p.80~87) 栄養学 : 第8章 A 「乳児期における栄養」 (p.152~156) 栄養食事療法 : 第16章 「小児の栄養食事療法」 (p.228~236)
		親子関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-5 「愛着形成」 (p.70~71)、B-7-1 「愛着形成」 (p.77~78) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 C 「母性の発達・成熟・継承」 (p.142~154) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 C-2 「児との関係確立への看護」 (p.356) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3 「よい乳房・わるい乳房——対象関係論」 (p.91~96)、B-5 「愛着と心の安全の基地——ボウルビーの愛着理論」 (p.102~107)、第4章 B-2 「家族の関係性とコミュニケーションに関する研究」 (p.120~121)、B-3 「家族システムという考え方」 (p.121~130) 心理学 : 第9章 B-3-1 「愛着の形成」 (p.179~180)、B-3-2 「自己意識と第一次反抗期」 (p.181) 家族看護学 : 第2章 C-1-2 「養育機能」 (p.48~50)
	C 幼児期	身体の発育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-1 「形態的特徴」 (p.92)
		運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4 「運動機能」 (p.93) 心理学 : 第9章 B-1-2 「運動機能」 (p.174~175)
		言語の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-6 「コミュニケーション機能」 (p.95~96) 心理学 : 第4章 B-1-3 「言語の獲得」 (p.61~62)
		社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.96~101) 心理学 : 第9章 B-3 「自己と社会性」 (p.179~181) 家族看護学 : 第2章 C-1-3 「社会化機能」 (p.50~51)
		基本的生活習慣の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105) 栄養学 : 第8章 B-1 「幼児期の特徴と栄養摂取の要点」 (p.157) 栄養食事療法 : 第16章 A 「小児の栄養管理の基本」 (p.228~231)
	D 学童期	運動能力の発達、体力の特徴	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-3 「感覚・運動機能」 (p.110~111)
		社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-5 「社会的機能」 (p.113~115) 心理学 : 第9章 C-2 「自己と社会性」 (p.184~186) 家族看護学 : 第2章 C-1-3 「社会化機能」 (p.50~51)
		学習に基づく行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8 「学童の養育および看護」 (p.117~122) 心理学 : 第5章 D-1 「社会的学習」 (p.88~92)
	E 思春期	第二次的徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 2 「身体生理の特徴」 (p.125~127)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-1 「身体的特徴」 (p.196~197) 解剖生理学 : 第10章 D-1-3 「思春期における性成熟」 (p.492~493)	
		アイデンティティの確立	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-3 「自我発達」 (p.128~129) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4 「ライフサイクルとアイデンティティ——エリクソンの漸成的発達理論」 (p.97~102) 心理学 : 第9章 C-2-3 「自己概念とアイデンティティの確立」 (p.185~186)	
		親からの自立	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-4 「社会性の発達」 (p.129~130)、3-5 「性的傾向」 (p.130) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202) 心理学 : 第9章 C-2-2 「親子関係の変化」 (p.184~185) 家族看護学 : 第1章 B-2-1 「子どもの成長と親の介護」 (p.20~21)	
		異性への関心	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-4 「社会性の発達」 (p.129~130)、3-5 「性的傾向」 (p.130) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202)	
		F 成人期	社会的責任と役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2-2 「成人期の発達」 (p.99) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 C-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.219~221)
		生殖機能の成熟と衰退	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25)、A-2-3 「向老期——老年期への移行(熟年から人生の有終へ)」 (p.25~26) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B 「女性生殖器の機能」 (p.26~36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4-7 「大人になるということ」 (p.101)	
		基礎代謝の変化	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 栄養学 : 第4章 D-1 「基礎代謝」 (p.82~84)	
	G 老年期	身体的機能の変化	老年看護学 : 第1章 B-2 「加齢に伴う身体的側面の変化」 (p.7~9) 老年看護 病態・疾患論 : 第1章 「高齢者の生理的特徴」 (p.18~45) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231)	
	認知能力の変化	老年看護学 : 第1章 B-3 「加齢に伴う心理的側面の変化」 (p.9~11) 老年看護 病態・疾患論 : 第1章 C 「脳の老化」 (p.26~30) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 心理学 : 第9章 D-2-3 「高齢期の知的機能の変化」 (p.191~193)		
	心理社会的変化	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2-3 「老年期の発達」 (p.99~100) 老年看護学 : 第1章 B-3 「加齢に伴う心理的側面の変化」 (p.9~11) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.231~234) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4-8 「新たな老年期の課題」 (p.101~102) 心理学 : 第9章 D-2-4 「高齢期の発達課題」 (p.193~194)		
8 者としての 看護の対象 と家族	A 家族の機能	家族関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103~105) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B 「家族の理解」 (p.75~89)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37～39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 B-3 「家族の発達段階と家族看護」 (p.137～142)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A 「家族関係論」 (p.224～232)</p> <p>救急看護学 : 第2章 「救急患者家族の特徴」 (p.59～64)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 B-3 「家族の体験」 (p.58～60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81～83)</p> <p>家族看護学 : 第2章 B 「家族構造」 (p.35～44)、C 「家族機能」 (p.45～63)</p>
		家族構成員	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133～136)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37～39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247～248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A 「家族関係論」 (p.224～232)</p> <p>家族看護学 : 第2章 B 「家族構造」 (p.35～44)</p>
		疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103～105)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>心理学 : 第11章 B 「患者の心理」 (p.227～232)</p> <p>人間関係論 : 第11章 C 「さまざまな状況・患者と家族の看護」 (p.239～249)</p> <p>救急看護学 : 第2章 「救急患者家族の特徴」 (p.59～64)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 B-3 「家族の体験」 (p.58～60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81～83)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C-2 「家族のセルフケア機能」 (p.51～55)、第4章 B-2 「家族アセスメント」 (p.129～139)</p>
		B 家族形態の変化	<p>家族の多様性</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103～105)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 B-3-e 「さまざまな状況の家族」 (p.155～160)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A-2 「現代社会の家族の特徴」 (p.225～226)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-b 「家族の多様性」 (p.69～78)</p>
		構成員の変化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133～136)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C 「成人保健」 (p.225～227)、C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247～248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A-2 「現代社会の家族の特徴」 (p.225～226)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-a 「家族構造・形態の変遷」 (p.63～69)</p>
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能・役割	病院、診療所	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-a 「医療施設における看護」 (p.225～231)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-6 「医療機関で提供される看護」 (p.152～154)</p> <p>医療概論 : 第3章 D-1 「病院と診療所」 (p.102)</p> <p>看護関係法令 : 第3章 A 「医療法」 (p.50～72)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A-2 「診療所と病院」 (p.59～62)</p>
		助産所	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-a 「医療施設における看護」 (p.225～231)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1 「母性看護にかかわる機関」 (p.93～95)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護関係法令：第3章A「医療法」(p.50～72)
		訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●在宅看護」(p.239～241) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章C「訪問看護の制度」(p.183～200)
		介護保険施設	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-a「医療施設における看護」(p.225～231) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-5「施設サービスの場で提供される看護」(p.151～152) 老年看護学：第2章B-1-2「介護保険制度の整備」(p.41～48) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-8「●介護保険施設」(p.98～99) 看護関係法令：第6章A-4-c「保険給付」(p.200～203)
		地域包括支援センター	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-b-2「●行政看護」(p.234～237) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章A-1-1-plus「地域包括支援センターの役割」(p.169) 老年看護学：第2章B-1-2「介護保険制度の整備」(p.41～48) 公衆衛生：第8章D-4「公衆衛生ナビ「地域包括支援センター」」(p.259) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-10「●地域包括支援センター」(p.100～101) 看護関係法令：第6章A-4-f「地域支援事業」(p.205～206) 看護情報学：第5章C-5「介護保険と地域包括支援センター」(p.122～123)
		市町村、保健所	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-b-2「●行政看護」(p.234～237) 公衆衛生：第3章B-3-1「保健所」(p.79～80)、第3章B-3-2「保健センター」(p.80～82) 看護関係法令：第4章A-1-c「保健所」(p.117～118)、第4章A-1-d「市町村保健センター」(p.118)
		学校	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●学校看護」(p.237～238) 公衆衛生：第9章A-1-2「学校保健の対象」(p.316) 教育学：第5章「教育の組織化——学校」(p.43～54)、第8章D「今日の学校における保健室の存在と役割」(p.97～100)
		企業	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●産業看護」(p.238～239) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177) 公衆衛生：第10章A「職場における健康」(p.338～340)
		チーム医療	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C-2「多職種チームの連携と継続のかかわり」(p.69～72)、第6章B-1「看護サービスの担い手とチーム医療」(p.223～225) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52～54)、第5章A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340～342) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章D「チームアプローチ」(p.125～129) 人間関係論：第9章A「医療におけるチームと看護師の役割」(p.162～168) 家族看護学：第4章B-7「家族看護と多職種連携」(p.164～172) 総合医療論：第7章C-4「医療職間の多職種連携から患者・家族・地域コミュニティとの協働へ」(p.176～177) 看護情報学：第4章B-5「チーム医療・集学的治療」(p.83～85)
		退院調整	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C-3「在宅療養を支える連携と継続のかかわり」(p.72～76)、第6章B-2-c「継続看護」(p.241～246) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153～154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第3章D「在宅療養準備期(退院前)の看護」(p.234～239)、E「在宅療養移行期の看護」(p.239～244)、第6章B-1「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」(p.360～365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第10章「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」(p.300～323) 家族看護学：第1章B-1-2「健康問題とともに生活する家族」(p.15～17)

目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	内部環境の恒常性	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 A-2 「看護の使命と結びつくホメオスタシス」 (p.81~83) 解剖生理学 : 第1章 B-1-1 「はたらきからみた器官系の分類」 (p.16~17)、第6章 「内臓機能の調節」 (p.240~280) 病態生理学 : 第4章 A-1 「体液と電解質の調整」 (p.56~59)
		神経系	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 「脳・神経系の構造と機能」 (p.18~50) 解剖生理学 : 第1章 B-2-3 「末梢神経」 (p.23)、C-5-4 「神経組織」 (p.51~53)、第6章 A 「自律神経による調節」 (p.241~249)、第8章 「情報の受容と処理」 (p.358~432) 病態生理学 : 第12章 A 「脳・神経、筋肉の機能」 (p.236~239)
		運動系	成人看護学 [10] (運動器) : 第2章 「運動器の構造と機能」 (p.20~41) 解剖生理学 : 第7章 「身体の支持と運動」 (p.282~355) 病態生理学 : 第12章 I-1 「筋収縮のしくみ」 (p.261)
		感覚器系	成人看護学 [13] (眼) : 第2章 「眼の構造と機能」 (p.14~25) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 「耳鼻咽喉・頸部の構造と機能」 (p.22~42) 解剖生理学 : 第8章 「情報の受容と処理」 (p.358~432)
		循環器系	成人看護学 [3] (循環器) : 第2章 A 「心臓の構造と機能」 (p.16~23)、B 「血管の構造と機能」 (p.23~26)、C 「循環の調節」 (p.26~30) 解剖生理学 : 第4章 「血液の循環とその調節」 (p.150~208) 病態生理学 : 第6章 A-1 「心臓の構造と機能」 (p.90~93)、B-1 「血圧と血圧調節」 (p.108~111)
		血液、体液	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第2章 「血液の生理と造血のしくみ」 (p.18~30) 解剖生理学 : 第1章 C-3-4 「細胞膜が分ける細胞内と細胞外の体液」 (p.38~40)、第3章 C 「血液」 (p.126~147) 病態生理学 : 第4章 A-1 「体液と電解質の調整」 (p.56~59)、第5章 「血液のはたらきと病態生理」 (p.72~88)
		免疫系	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第2章 A 「免疫反応と疾患」 (p.16~19) 成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 B 「感染が成立する条件」 (p.239~243) 解剖生理学 : 第9章 B 「生体の防御機構」 (p.439~450) 病理学 : 第3章 A 「免疫と免疫不全」 (p.34~41) 病態生理学 : 第1章 D 「感染症」 (p.14~18)、第3章 A 「免疫のしくみ」 (p.40~43) 微生物学 : 第6章 「感染に対する生体防御機構」 (p.91~124)
		呼吸器系	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 「呼吸器系の構造と機能」 (p.20~39) 解剖生理学 : 第3章 A 「呼吸器の構造」 (p.97~107)、B 「呼吸」 (p.108~126) 病態生理学 : 第7章 A 「呼吸器の構造と機能」 (p.120~125)
		消化器系	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 「消化器の構造と機能」 (p.16~39) 解剖生理学 : 第2章 「栄養の消化と吸収」 (p.56~93) 病態生理学 : 第8章 A 「消化管の構造と機能」 (p.142~145)
		栄養と代謝系	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 C 「代謝の概要と機能」 (p.43~47) 解剖生理学 : 第2章 B-2 「栄養素の消化と吸収」 (p.76~80)、第6章 「内臓機能の調節」 (p.240~280) 生化学 : 第2章 A 「代謝と生体のエネルギー」 (p.22~27) 栄養学 : 第3章 A 「食物の消化と栄養素の吸収・代謝」 (p.46~72) 病態生理学 : 第10章 「内分泌・代謝のしくみと病態生理」 (p.196~220)
		泌尿器系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 「腎・泌尿器の構造と機能」 (p.18~38) 解剖生理学 : 第5章 「体液の調節と尿の生成」 (p.210~237) 病態生理学 : 第9章 A 「腎臓の構造と機能」 (p.176~179)
		体温調節	解剖生理学 : 第9章 C 「体温とその調節」 (p.451~456)
		内分泌系	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A 「内分泌器官の構造と機能」 (p.16~25)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25~43) 生化学 : 第14章 C 「内分泌の生化学的基盤」 (p.261~268)
性と生殖器系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35~39)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章「女性生殖器の構造と機能」(p.20~36)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章A「女性のライフサイクルに伴う形態・機能の変化」(p.100~127)</p> <p>解剖生理学 : 第10章A「男性生殖器」(p.461~466)、B「女性生殖器」(p.466~475)</p> <p>病態生理学 : 第11章A-1「女性の生殖機能」(p.222~224)、B-1「男性の生殖機能」(p.231~232)</p>
		妊娠・分娩・産褥の経過	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章B-5「妊娠の成立」(p.32~35)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章A-2-1「妊娠の成立」(p.113~120)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章A「妊娠期の身体的特性」(p.62~81)、第4章A「分娩の要素」(p.184~195)、B「分娩の経過」(p.196~211)、第6章A「産褥経過」(p.322~325)</p>
		遺伝	<p>解剖生理学 : 第10章C-1「生殖細胞と受精」(p.475~479)</p> <p>生化学 : 第10章B「遺伝学の基礎知識」(p.172~182)</p> <p>病理学 : 第8章A「遺伝の生物学」(p.116~122)</p>
	B 人間の死	死の三徴候	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>病理学 : 第7章C-1-2「死の三徴候」(p.111)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p> <p>救急看護学 : 第5章O「脳死状態への対応」(p.286)</p>
		死亡判定	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>病理学 : 第7章C「個体の死と終末期医療」(p.111~114)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p>
		脳死	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-1-4「さまざまな意識障害と脳死」(p.58~60)</p> <p>解剖生理学 : 第8章K-5-1「意識障害」(p.429~431)</p> <p>病理学 : 第7章C-2「脳死と植物状態」(p.113)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p> <p>救急看護学 : 第5章O「脳死状態への対応」(p.286~292)</p> <p>総合医療論 : 第5章C-2「死の判定——脳死と臓器移植」(p.120~123)</p>
11 徴候と疾患	A 主要な症状と徴候	意識障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-1「意識障害」(p.54~60)、第6章B-1「意識障害のある患者の看護」(p.245~251)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章7「意識障害」(p.365~371)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章B-2-5「意識の障害」(p.158~160)</p> <p>病態生理学 : 第12章G-1「意識障害」(p.249~250)</p> <p>救急看護学 : 第5章B「意識障害への対応」(p.181~188)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第3章D-2-1「意識障害の評価」(p.104)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-1「意識障害」(p.145~148)</p>
		嚥下障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-5-2「嚥下障害」(p.74~75)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 特論「摂食・嚥下障害患者の看護」(p.241~270)</p> <p>病態生理学 : 第8章B-2-1「嚥下障害・誤嚥」(p.146~147)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168~175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222~224)</p> <p>栄養食事療法 : 第3章D「摂食・嚥下障害」(p.39~42)</p>
		言語障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-2-1「失語症」(p.61~63)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-3「構音障害」(p.164~168)、A-5-5「失語」(p.175~182)、B-5-2「構音障害」(p.218~222)</p>
		ショック	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第3章H「ショック」(p.44~46)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第3章1「ショック」(p.38~39)、第6章D-1「ショック状態患者の看護」(p.228~231)</p> <p>成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章D「アナフィラキシー」(p.45~48)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章6「ショック」(p.360~364)</p> <p>病理学 : 第5章K「ショックと臓器不全」(p.90~92)</p> <p>病態生理学 : 第6章B-2-a-2「ショック」(p.112~114)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第2章C-3「ショック」(p.71~74)</p> <p>救急看護学 : 第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第3章C-1-3「ショック」(p.85~87)、C-3-2「ショック患者の看護」(p.96~101)</p>
		高体温、低体温	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第2章D-8「発熱」(p.249)、第5章A「発熱・不明熱」(p.286~287)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章9「発熱」(p.377~383)  解剖生理学 : 第9章C-5「高体温と低体温」(p.456)  病態生理学 : 第2章B-3「高体温」(p.35~37)、B-4「低体温」(p.37~38)  救急看護学 : 第5章H「体温異常への対応」(p.230~238)  クリティカルケア看護学 : 第4章G「体温管理」(p.230~234)</p>
		脱水	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章D「脱水」(p.51~52)  老年看護学 : 第6章A-4「脱水」(p.238~241)  小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章13「脱水」(p.391~397)  病態生理学 : 第4章A-2-a-1「脱水症」(p.59~62)  救急看護学 : 第5章G-1「脱水症とは」(p.223~224)  臨床薬理学 : 第4章B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238~243)</p>
		黄疸	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章K「黄疸」(p.60~61)  小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章18「黄疸」(p.410~413)  病理学 : 第6章D-3「黄疸」(p.100~102)  病態生理学 : 第8章E-5「ビリルビン代謝と黄疸」(p.167~168)  臨床外科看護各論 : 第3章I-D-2「黄疸」(p.251~252)  救急看護学 : 第4章G-2-7「黄疸・貧血」(p.145)</p>
		頭痛	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-8「頭痛」(p.83~85)  病態生理学 : 第12章E「頭痛」(p.247~248)  救急看護学 : 第4章D-NOTE「頭痛」(p.124)  臨床薬理学 : 第2章A「解熱鎮痛薬」(p.38~46)</p>
		咳嗽、喀痰	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-1「咳嗽」(p.42~45)、A-2「喀痰」(p.45~46)  病態生理学 : 第7章C-1「咳嗽と喀痰」(p.127)  救急看護学 : 第4章E-2-4「咳と痰」(p.132)  臨床薬理学 : 第2章E「鎮咳・去痰薬」(p.60~64)</p>
		吐血、咯血	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-3「血痰・咯血」(p.47~49)  成人看護学 [5] (消化器) : 第3章E「吐血・下血」(p.49~51)  病態生理学 : 第8章D-5「吐血・咯血」(p.156~157)  救急看護学 : 第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.200~202)</p>
		チアノーゼ	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章B-1「チアノーゼ」(p.56~58)  成人看護学 [3] (循環器) : 第3章E「チアノーゼ」(p.39~40)  小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章5「チアノーゼ」(p.356~360)  病態生理学 : 第6章B-b「チアノーゼ」(p.117~118)  救急看護学 : 第5章E-2-3「チアノーゼ」(p.132)</p>
		呼吸困難	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-5「呼吸困難」(p.52~56)  成人看護学 [3] (循環器) : 第3章C「呼吸困難」(p.35~37)  小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章4「呼吸困難」(p.353~356)  病態生理学 : 第7章B-1「呼吸困難」(p.125)  救急看護学 : 第5章C「呼吸障害への対応」(p.188~197)  クリティカルケア看護学 : 第3章B「呼吸障害」(p.64~80)  緩和ケア : 第5章A-1-3「呼吸器症状のマネジメント」(p.89~91)</p>
		胸痛	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-4「胸痛」(p.49~52)  成人看護学 [3] (循環器) : 第3章A「胸痛」(p.32~33)  病態生理学 : 第6章A-2-NOTE「胸痛」(p.94)  救急看護学 : 第4章F-2-4「胸部症状」(p.138~139)</p>
		不整脈	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章D「不整脈」(p.175~201)  病態生理学 : 第6章A-2-b「心筋収縮の指令の障害」(p.97~100)  救急看護学 : 第4章F「循環器系」(p.133~139)</p>
		腹痛、腹部膨満	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章D「腹痛」(p.47~49)、H「腹部膨満」(p.55~56)  病態生理学 : 第8章D-1-1「腹痛」(p.151~152)  救急看護学 : 第4章G「消化器系」(p.139~145)、第5章E「急性腹症への対応」(p.205~212)</p>
		悪心、嘔吐	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章C「吐きけ・嘔吐」(p.45~46)  小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章10「嘔吐」(p.383~385)  病態生理学 : 第8章D-4「嘔気(吐きけ)と嘔吐」(p.155~156)  救急看護学 : 第4章G-2-3「吐きけ・嘔吐」(p.144)、第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206~207)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床薬理学：第2章B「制吐薬」(p.47～51)
		下痢	成人看護学 [5] (消化器)：第3章F「下痢」(p.51～52) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章11「下痢」(p.385～388) 病態生理学：第8章D-2「下痢」(p.153) 救急看護学：第4章G-2-2「下痢・便秘」(p.144)、第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206～207) 栄養食事療法：第6章E-2「下痢」(p.101～102) 臨床薬理学：第2章D「下痢治療薬」(p.57～59)
		便秘	成人看護学 [5] (消化器)：第3章G「便秘」(p.52～55) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章12「便秘」(p.388～391) 病態生理学：第8章D-1-2「便秘」(p.152～153) 救急看護学：第4章G-2-2「下痢・便秘」(p.144) 栄養食事療法：第6章E-1「便秘」(p.99～101) 臨床薬理学：第2章C「便秘治療薬」(p.52～56)
		下血	成人看護学 [5] (消化器)：第3章E「吐血・下血」(p.49～51) 病態生理学：第8章D-5-2「下血・血便」(p.157) 救急看護学：第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206～207)
		乏尿、無尿、頻尿、多尿	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5-3「排泄障害」(p.75～77) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章A-1「尿量の異常」(p.40～41)、B-1「蓄尿症状」(p.46～48) 病態生理学：第9章C-1-3「尿量と排泄回数の異常」(p.191) 救急看護学：第5章F-4「尿閉とは」(p.215)
		浮腫	成人看護学 [3] (循環器)：第3章D「浮腫」(p.37～39) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章C「浮腫」(p.49～51) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第3章-10「リンパ浮腫」(p.45) 老年看護学：第6章A-6「浮腫」(p.244～246) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章14「浮腫」(p.398～401) 病理学：第5章B「浮腫(水腫)」(p.73～74) 病態生理学：第1章B-3「浮腫と胸水・腹水」(p.6～8) 救急看護学：第5章G-4「浮腫とは」(p.226)
		貧血	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第3章A-1「貧血」(p.35)、C-1「貧血」(p.42～44)、第5章B-1「貧血のある患者の看護」(p.153～157) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章16「貧血」(p.405～408) 栄養学：第9章F-7-1「鉄欠乏性貧血」(p.222～223)、F-7-2「巨赤芽球性貧血」(p.223) 病理学：第12章A-2「貧血」(p.198～200) 病態生理学：第5章B-2-1「貧血とは」(p.75～79) 栄養食事療法：第9章A「貧血」(p.148～153)
		睡眠障害	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章B「睡眠・休息の援助」(p.140～150) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章F-2「睡眠時無呼吸症候群」(p.197) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章C-2-Column「閉塞性睡眠時無呼吸症候群」(p.171) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-7-1「睡眠障害」(p.229～231) 病態生理学：第12章F「睡眠障害」(p.248～249) 緩和ケア：第5章B-3-2「不眠」(p.104～105) 臨床薬理学：第2章G「睡眠薬」(p.73～77)
		感覚過敏・鈍麻	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4「感覚機能障害」(p.71～73) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章A-1「難聴」(p.45～46)、B-3「嗅覚障害」(p.50) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章B-2-4「知覚の障害(幻覚を中心に)」(p.156～158) 病態生理学：第13章D「皮膚感覚とその異常」(p.276～278)
		運動麻痺	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-3「運動機能障害」(p.65～71) 成人看護学 [10] (運動器)：第3章D「神経の障害」(p.55～57) 病態生理学：第12章H-2「運動失調」(p.255)、H-6-2「運動麻痺」(p.259) 救急看護学：第5章D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118～125) クリティカルケア看護学：第3章D-2-2「運動麻痺」(p.106) リハビリテーション看護：第3章B-4「障害とリハビリテーション看護」(p.96～115)、第4章A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		けいれん	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-3-4 「けいれん」 (p.70~71)、第5章 H 「てんかん」 (p.218~225)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 8 「痙攣」 (p.371~377)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-2 「てんかん」 (p.209~211)</p> <p>病態生理学 : 第12章 H-1 「けいれん」 (p.256~257)</p> <p>救急看護学 : 第4章 D-1-2-NOTE 「痙攣」 (p.125)</p> <p>臨床薬理学 : 第4章 D-4 「抗けいれん薬の臨時投与」 (p.273~276)</p>
	B 主要な疾患による健康障害	生活習慣病	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-5 「生活習慣病」 (p.60)、B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」 (p.187~197)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A 「虚血性心疾患」 (p.122~151)、C 「血圧異常」 (p.165~175)、第6章 E-3 「血圧異常患者の看護」 (p.336~338)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)、B-2 「脂質異常症」 (p.164~177)、B-3 「肥満症とメタボリックシンドローム」 (p.177~183)、B-4 「尿酸代謝異常」 (p.183~187)、第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281)、C-2 「脂質異常症患者の看護」 (p.281~286)、C-3 「肥満症患者の看護」 (p.286~289)、C-5 「尿酸代謝異常患者の看護」 (p.291~293)</p> <p>栄養学 : 第9章 F-1 「やせ・低栄養患者の食事療法」 (p.206)、F-2 「肥満・メタボリックシンドローム患者の食事療法」 (p.206~208)、F-3-1 「高血圧症」 (p.208)、F-3-2 「動脈硬化」 (p.208~209)、F-3-3 「虚血性心疾患」 (p.209)、F-3-4 「心不全」 (p.209)、F-3-5 「脳血管障害」 (p.210)、F-5-1 「糖尿病」 (p.216~217)、F-5-2 「脂質異常症」 (p.217~218)、F-5-3 「高尿酸血症・痛風」 (p.218~219)、第10章 B 「生活習慣病の予防」 (p.241~242)</p> <p>病理学 : 第5章 I 「高血圧症」 (p.86~89)、第6章 A 「脂質代謝障害」 (p.94~96)、C-1 「糖尿病」 (p.98~99)、第11章 B-5 「虚血性心疾患」 (p.188~192)、第17章 A-2 「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)と外傷」 (p.296~301)</p> <p>病態生理学 : 第6章 B-b 「血圧の上昇による病態」 (p.114)、第10章 B-2 「糖代謝の異常」 (p.210~214)、C-2 「脂質異常症」 (p.216~217)、第12章 B-2 「脳血管障害」 (p.240~242)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-4 「生活習慣病対策」 (p.234~242)</p> <p>栄養食事療法 : 第1章 A-3-1 「生活習慣病(非感染性慢性疾患)」 (p.4~5)、第5章 「循環器疾患患者の栄養食事療法」 (p.56~68)、第8章 A 「肥満」 (p.128~130)、E 「糖尿病」 (p.137~140)、F 「脂質異常症」 (p.141~144)、G 「高尿酸血症・痛風」 (p.144~146)</p>
		がん	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)、B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)</p> <p>生化学 : 第15章 「がん」 (p.269~283)</p> <p>栄養学 : 第9章 H 「がんの食事療法」 (p.233~236)</p> <p>病理学 : 第9章 「腫瘍」 (p.135~166)</p> <p>病態生理学 : 第1章 E 「腫瘍」 (p.18~21)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-5 「がん対策」 (p.243~244)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第2章 B 「腫瘍」 (p.55~63)</p> <p>がん看護学 : 第2章 B 「がん」 (p.66~71)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第5章 NOTE 「がんリハビリテーション」 (p.300~301)</p> <p>栄養食事療法 : 第14章 「がん患者の栄養食事療法」 (p.200~213)</p>
		感染症	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C-7 「感染症」 (p.194~197)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A 「感染症」 (p.138~164)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-2-1 「感染性腸炎」 (p.173~175)、D-1 「肝炎」 (p.210~230)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 F 「脳・神経系の感染症」 (p.205~215)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 D 「感染症」 (p.199~203)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 D 「感染症でみられる症状」 (p.245~250)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 F 「感染症」 (p.135~154)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 「感染症と看護」 (p.139~173)</p> <p>病理学 : 第4章 「感染症」 (p.55~70)</p> <p>病態生理学 : 第1章 D 「感染症」 (p.14~17)、第7章 C-2 「呼吸器感染症」 (p.127~130)</p> <p>微生物学 : 第3部 「おもな病原微生物」 (p.193~314)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 「感染症とその予防対策」 (p.154~180)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		精神疾患	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-6 「メンタルヘルスと自殺者数」 (p.62~63) 老年看護学 : 第6章 C-1 「うつ」 (p.282~288) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 「精神疾患と看護」 (p.486~518) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 V 「メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援」 (p.541~550) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C 「精神障害の診断と分類」 (p.162~234)	
		小児の疾患	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 各章 B 「おもな疾患」 の項に記載	
		高齢者の疾患	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 I 「認知症」 (p.225~233) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 D-1 「骨粗鬆症」 (p.151~152) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 「高齢者の疾患の特徴」 (p.134~269) 病理学 : 第7章 A 「個体の老化と老年症候群」 (p.104~105)、B-3 「加齢に伴う諸臓器の変化」 (p.108~111)	
	C 基本的な臨床検査値の評価	血液学検査	臨床検査 : 第4章 「血液学的検査」 (p.104~132)	
		血液生化学検査	臨床検査 : 第5章 「化学検査」 (p.134~184)	
		免疫血清学検査	臨床検査 : 第6章 「免疫・血清学的検査」 (p.186~208)	
		尿検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-2 「尿検査」 (p.416~420) 臨床検査 : 第3章 A 「尿検査」 (p.79~91)	
	12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の効果と副作用(有害事象)	抗感染症薬	成人看護学 [11] (感染症) : 第4章 「治療」 (p.269~284) 生化学 : 第13章 B-4 「翻訳の制御と抗生物質」 (p.236) 薬理学 : 第3章 「抗感染症薬」 (p.68~102) 微生物学 : 第9章 「感染症の治療」 (p.149~172) 臨床薬理学 : 第4章 E 「感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与」 (p.277~283)
			抗がん薬	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-4-1 「化学療法」 (p.79~82) 生化学 : 第15章 F 「がん薬物療法」 (p.279~283) 薬理学 : 第4章 「抗がん薬」 (p.104~116) がん看護学 : 第3章 C-2 「抗悪性腫瘍薬の種類と特徴」 (p.135~143) 臨床薬理学 : 第4章 F-2-2 「抗がん薬の血管外漏出に伴う組織傷害」 (p.289~292)
			強心薬、抗不整脈薬	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 D-4-1 「抗不整脈薬」 (p.198~199) 薬理学 : 第9章 C 「心不全治療薬」 (p.208~212)、D 「抗不整脈薬」 (p.212~217) 救急看護学 : 第7章 B-3 「抗不整脈薬」 (p.358~360) 臨床薬理学 : 第3章 C 「心不全」 (p.92~98)、D 「不整脈」 (p.99~104)、第4章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219)
狭心症治療薬			成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A-1-3 「治療」 (p.129~130) 生化学 : 第14章 B-4-1 「グアニル酸シクラーゼ」 (p.259~260) 薬理学 : 第9章 B 「狭心症治療薬」 (p.205~208) 臨床薬理学 : 第3章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91)	
抗血栓薬			薬理学 : 第9章 G-1 「抗血液凝固薬」 (p.224~227)、G-2 「血栓溶解薬および抗血小板薬」 (p.227~229) 臨床薬理学 : 第3章 E 「抗血小板・抗凝固療法」 (p.105~110)	
降圧薬、昇圧薬			成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-2-2 「治療」 (p.170~172) 薬理学 : 第9章 A 「降圧薬」 (p.198~205) 救急看護学 : 第7章 B-1 「昇圧薬」 (p.357)、B-2 「降圧・冠血管拡張薬」 (p.357~358) 臨床薬理学 : 第3章 A 「高血圧症」 (p.80~85)、第4章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219)、A-3 「持続点滴中の降圧薬の投与量の調整」 (p.220~226)	
利尿薬			薬理学 : 第9章 E 「利尿薬」 (p.217~221) 救急看護学 : 第7章 B-8 「その他の救急医薬品(気管支拡張薬、利尿薬、電解質製剤)」 (p.363) 臨床薬理学 : 第4章 A-4 「持続点滴中の利尿薬の投与量の調整」 (p.226~230)	
消化性潰瘍治療薬			成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 C-1-3 「酸分泌を抑制する薬物」 (p.116) 薬理学 : 第10章 B-1 「消化性潰瘍治療薬」 (p.244~247)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床薬理学：第3章H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		下剤、止痢薬	成人看護学 [5] (消化器)：第4章C-1-1「止痢薬」(p.113)、第4章C-1-2「下剤」(p.115～116) 薬理学：第10章B-4「下剤と止痢薬」(p.249～251) 臨床薬理学：第2章C「便秘治療薬」(p.52～56)、D「下痢治療薬」(p.57～59)
		抗アレルギー薬	成人看護学 [11] (アレルギー)：第3章C-2「薬物療法」(p.36～38) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章C-1「全身療法(内服・注射薬)」(p.64～67)、第6章E-1「内服療法を受ける患者の看護」(p.187～188) 薬理学：第6章A「抗アレルギー薬と抗炎症薬」(p.130～134)
		免疫療法薬	成人看護学 [11] (アレルギー)：第3章C-3「アレルゲン免疫療法」(p.38) 成人看護学 [11] (膠原病)：第4章C-2「薬物療法」(p.142～147)
		副腎皮質ステロイド薬	成人看護学 [11] (膠原病)：第4章C-2-2「副腎皮質ステロイド薬」(p.143)、第6章D-1「薬物療法を受ける患者の看護」(p.189～193) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章C-1「全身療法(内服・注射薬)」(p.64～67)、C-2「外用療法」(p.67～69)、第6章E-1「内服療法を受ける患者の看護」(p.187～188)、E-2「外用療法を受ける患者の看護」(p.188～197) 生化学：第14章B-4-2「NF-κ B シグナル」(p.260～261) 薬理学：第6章B-1「ステロイド性抗炎症薬」(p.135～138) 救急看護学：第7章B-7「ステロイド薬」(p.362) 臨床薬理学：第4章F「副腎皮質ステロイド薬による治療」(p.284～296)
		糖尿病治療薬	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1-4「薬物療法」(p.142～147)、巻末資料「糖尿病治療薬」(p.318～323) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-3-1「危険な薬剤や治療上重要な役割を担っている薬剤での間違いを防ぐ」(p.112) 薬理学：第11章A-1「糖尿病治療薬」(p.260～266) 臨床薬理学：第3章M「糖尿病」(p.159～168)、第4章C「インスリンの投与量の調整」(p.252～258)
		中枢神経作用薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章C-2「向精神薬とその種類」(p.266～285) 薬理学：第8章「中枢神経系に作用する薬物」(p.166～196) 臨床薬理学：第4章D「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」(p.259～279)
		麻薬	薬理学：第8章H「麻薬性鎮痛薬」(p.189～193) 臨床薬理学：第2章F「鎮静薬」(p.65～72)、第4章G「術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整」(p.297～309)
		消炎鎮痛薬	薬理学：第6章B「抗炎症薬」(p.134～140) 臨床薬理学：第2章A「解熱鎮痛薬」(p.38～46)
	B 薬物の管理	禁忌	看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-3-2「患者にとって直接実害を及ぼす薬剤での間違いを防ぐ(禁忌薬に注意)」(p.112) 薬理学：第2章E-2「薬物の副作用」(p.50～53)、巻末資料C「添付文書」(p.331～335)
		保存・管理方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章A-2-2「薬の管理」(p.313～314) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-2-3「内服と薬特有の間違いの発生要因」(p.111) 薬理学：第2章F-1「医薬品に関する法律」(p.55～57)
		薬理効果に影響する要因	薬理学：第2章D「薬効の個人差に影響する因子」(p.44～48) 臨床薬理学：第1章A-2「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)

#### 目標Ⅳ. 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
13 基本 看護 技術 における	A コミュニケーション	言語的コミュニケーション	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第1章B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23～29) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C「健康問題をもつ大人と看護師の人間関係」(p.114～120) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章B-2「言語障害のある患者の看護」(p.251～256)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 6 章「医療安全とコミュニケーション」(p.206~216)</p> <p>人間関係論 : 第 5 章 B-2-1「言語的コミュニケーション」(p.85)</p> <p>緩和ケア : 第 3 章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56)</p>
		非言語的コミュニケーション	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 1 章 B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23~29)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 C「健康問題をもつ大人と看護師の人間関係」(p.114~120)</p> <p>人間関係論 : 第 5 章 B-2-2「非言語的コミュニケーション」(p.86)</p> <p>緩和ケア : 第 3 章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56)</p>
		面接技法	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 B-1「問診(面接)の技術」(p.132~133)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 C-3「話すこと、聞くこと」(p.18~23)</p> <p>人間関係論 : 第 6 章 A「カウンセリング・心理療法の理論とスキル」(p.104~120)</p>
	B 看護過程	情報収集、アセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-1「アセスメント(情報の収集と分析)」(p.303~316)
		計画立案	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-3「看護計画」(p.326~330)
		実施	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-4「実施」(p.331~332)
		評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-5「評価」(p.332~334)
	C フィジカルアセスメント	バイタルサインの観察	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 C-3「バイタルサインの観察とアセスメント」(p.154~176)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 B-2「全身状態の観察とアセスメント」(p.104~109)</p>
		意識レベルの評価	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 C-3-5「意識」(p.173~176)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-1-2「意識障害の分類・評価」(p.55~57)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118~125)</p>
		呼吸状態の観察	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-2「呼吸器系のフィジカルアセスメント」(p.193~204)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 3 章 B-4「呼吸の異常」(p.60~65)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 E-1-3「聴診」(p.130~131)</p>
腸蠕動音聴取		<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-5「腹部のフィジカルアセスメント」(p.220~230)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 A-2「聴診」(p.69~70)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 G-1-3「聴診」(p.142)</p>	
運動機能の観察		<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-6「筋・骨格系のフィジカルアセスメント」(p.230~239)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118~125)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 2 章 C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61~67)、第 3 章 B-4-2「関節拘縮」(p.103~104)、B-4-3「筋萎縮」(p.107~111)</p>	
14 日常生活援助技術	A 食事	食事の環境整備、食事介助	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第 2 章 B「食事摂取の介助」(p.39~43)</p> <p>栄養学 : 第 1 章 C-1「食事における看護師の役割」(p.13~14)</p> <p>栄養食事療法 : 第 1 章 B-1-4「看護の役割」(p.8~10)、第 17 章 A-4-2「食事介助」(p.243)</p>
		誤嚥の予防	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第 2 章 B「食事介助」(p.39~43)、C「摂食・嚥下訓練」(p.44~51)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 B-9「嚥下障害のある患者の看護」(p.283~288)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 4 章 C「摂食中の窒息・誤嚥事故防止」(p.170~176)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-10「摂食・嚥下障害患者の食事療法」(p.225~226)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 4 章 A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168~175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222~224)</p> <p>栄養食事療法 : 第 3 章 D「摂食・嚥下障害」(p.39~42)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
B 排泄	排泄の援助(床上、トイレ、ポータブルトイレ、おむつ)		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A-2 「自然排尿および自然排便の介助の実際」 (p.71~79)
		導尿	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 B 「導尿」 (p.79~87) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 D 「排尿管理」 (p.99~101)、第6章 V-A-1 「導尿を受ける患者の看護」 (p.265) リハビリテーション看護 : 第4章 C-3 「排尿障害」 (p.245~248)
		浣腸	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-2 「浣腸(グリセリン浣腸)」 (p.88~92)
		摘便	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-3 「摘便」 (p.93~94)
		失禁のケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A 「自然排尿および自然排便の介助」 (p.65~79) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 II-3-d 「尿失禁のある患者の看護」 (p.217~221) 臨床外科看護各論 : 第3章 II-C-3 「大腸の手術を受ける患者の看護」 (p.343~354)
	C 活動と休息	体位、体位変換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-2 「体位」 (p.110~113)、A-3-1 「体位変換」 (p.113~124)
		移動、移送	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-3 「移動(体位変換・歩行・移乗・移送)」 (p.113~140)
		ボディメカニクス	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1-2 「ボディメカニクス」 (p.107~110) 成人看護学 [10] (運動器) : 第1章 C-2 「ボディメカニクス」 (p.17~18)
		廃用症候群の予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.104~140) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.262~270)、C-3 「リハビリテーションを受ける患者の看護」 (p.314~318) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 M 「廃用症候群」 (p.185) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2 「廃用症候群」 (p.389~391) リハビリテーション看護 : 第3章 B-3 「骨折のリハビリテーションプログラム」 (p.94~96)、B-4-2 「関節拘縮」 (p.102~106)、B-4-3 「筋萎縮」 (p.106~115)、第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148~164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201~218)
	D 清潔	睡眠	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B 「睡眠と休息の援助」 (p.140~150)
入浴、シャワー浴		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-1 「入浴・シャワー浴」 (p.178~184) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 E 「入浴中の事故防止」 (p.180~185) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.163~165)	
清拭		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-2 「全身清拭」 (p.184~189)	
口腔ケア		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-8 「口腔ケア」 (p.215~223) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 特論 「口腔ケア」 (p.254~272)	
洗髪		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-3 「洗髪」 (p.190~198)	
手浴、足浴		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-4 「手浴」 (p.199~201)、A-2-5 「足浴とフットケア」 (p.201~204)	
陰部洗浄		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-6 「陰部洗浄」 (p.204~207)	
整容		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-7 「整容」 (p.207~215)	
	寝衣交換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 B-2-2 「病衣・寝衣の交換」 (p.227~232)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	病室環境	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
		共有スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
		居住スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
	B 医療安全対策	転倒・転落の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章E「転倒・転落防止」(p.117~120) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章B「暮らしの環境を整える看護」(p.106~110)、第4章F-2-1「●転倒」(p.133~134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-2「●転倒の予防と対策」(p.73)、「●転落の予防と対策」(p.73~74) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章B「転倒・転落事故防止」(p.144~170) リハビリテーション看護 : 第4章A-6-2「転倒」(p.195~196)、B-5-7「合併症の予防と管理(転倒と骨折)」(p.226)
		誤薬の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章B「誤薬防止」(p.108~113) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章A-2-1「正しい与薬」(p.312~313) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章「患者に投与する業務における事故防止」(p.40~120) 薬理学 : 第1章A-3「チームによる薬物治療と看護師の役割」(p.8~12) 臨床薬理学 : 第1章B「薬物治療の実際」(p.23~36)
		患者誤認の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章D「患者誤認防止」(p.116~117) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第5章A「業務領域をこえて共通する患者間違い」(p.188~196)
		誤嚥・窒息の防止	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章F-2-1「●誤嚥・誤飲・窒息」(p.134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-2「●誤嚥の予防と対策」(p.75~77) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章C「摂食中の窒息・誤嚥事故防止」(p.170~176)、第6章C-2-2「摂食中の窒息・誤嚥事故防止における患者とのコミュニケーション」(p.215)
		コミュニケーションエラーの防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第1章B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23~29) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第6章「医療安全とコミュニケーション」(p.206~216) 人間関係論 : 第9章C「チームにおけるコミュニケーションエラーとその予防」(p.174~179) がん看護学 : 第4章C-1「がん患者とのコミュニケーション」(p.216~223)
		標準予防策〈スタンダードプリコーション〉	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B「標準予防策(スタンダードプリコーション)」(p.69~78) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A「感染予防」(p.342~351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章C-3「院内感染対策」(p.35~39) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A-2-1「標準予防策(スタンダードプリコーション)」(p.223) 微生物学 : 第10章C-3-2「標準予防策」(p.185~186) 救急看護学 : 第4章A「周囲の状況確認と感染予防対策」(p.100~103)
	感染経路別予防策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章C「感染経路別予防策」(p.78~82) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-5「感染経路別予防策と隔離方法」(p.351~352) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章C-3「院内感染対策」(p.35~39) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A-2-2「感染経路別予防策」(p.224~225) 微生物学 : 第10章C-3-3「感染経路別予防策」(p.187~188)	
	手指衛生	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B-2-1「手指衛生」(p.70~73) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-4-1「適切な手指衛生」(p.346~348) 臨床外科看護総論 : 第6章E-1-2「標準予防策の実際」(p.215~217)、第8章C-2-1「手術時の手洗い・手指消毒」(p.287~289)	
	必要な防護用具(手袋、マスク、ガウン、ゴーグル)の選択・着脱	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B-2-2「個人防護用具(PPE)」(p.73~77) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-4-2「個人防護用具(PPE)の使用」(p.348~351)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		無菌操作	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章E「無菌操作」(p.87~93) 臨床外科看護総論 : 第8章A-2-6「無菌操作」(p.265)
		滅菌と消毒	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章D「洗浄・消毒・滅菌」(p.82~87) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-6「洗浄・消毒・滅菌」(p.352~355) 薬理学 : 第15章「消毒薬」(p.306~312) 微生物学 : 第9章「滅菌と消毒」(p.125~136)
		針刺し・切創の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章H「針刺し防止策」(p.96~100) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-1-5「注射の準備」(p.331~335) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-8「職業感染対策」(p.356~359) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A「職業感染」(p.218~220)、第8章B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.253~254) 臨床検査 : 第2章E-4-1「針刺しなどによる血液曝露」(p.54~55)
		感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章F「感染性廃棄物の取り扱い」(p.93~96) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.120~121) 微生物学 : 第10章C-3-2-9「感染性廃棄物の処理」(p.186) 臨床検査 : 第2章E-3「患者および検体からの感染の予防」(p.52~53)
16 診療に伴う看護技術	A 栄養法	経管・経腸栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章D-1「経管栄養法」(p.51~61) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-e「経管栄養法を受ける療養者の援助」(p.120~131) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章C-2-1「栄養療法の概要」(p.120~123) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章F「経管栄養(注入)業務と事故防止」(p.115~120) 栄養学 : 第9章C-1「経腸栄養法」(p.197~199) 臨床外科看護総論 : 第3章D-3-2「経腸栄養法」(p.120) 栄養食事療法 : 第2章B-2「経管・経腸栄養法」(p.24~26)
		経静脈栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章D-2「中心静脈栄養法」(p.60~61) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-f「在宅中心静脈栄養法(HPN)を受ける療養者の援助」(p.131~136) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章C-2-1「栄養療法の概要」(p.120~123) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第3章A-3-1「中心静脈ラインの管理におけるおもな危険とその要因」(p.125~127) 栄養学 : 第9章C-2「経静脈栄養法」(p.199) 臨床外科看護総論 : 第2章D-3-1「静脈栄養法」(p.119) 栄養食事療法 : 第2章B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学 : 第4章B-2「持続点滴中の高力口リ輸液の投与量の調整」(p.243~251)
	B 薬物療法	与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.309~376) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章「患者に投与する業務における事故防止」(p.40~120) 薬理学 : 第2章B-1「薬物の投与経路」(p.25~29) 臨床薬理学 : 第1章B-1「患者と薬物治療」(p.23~25)
		薬効・副作用(有害事象)の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章A「与薬の基礎知識」(p.310~314) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章B-5-4「注射実施後(点滴中)の観察・管理で知っておくべき注射薬の知識」(p.68)、E-4「内服と薬事故防止のために必要な知識・技術」(p.112~114) 薬理学 : 第1章A-3「チームによる薬物治療と看護師の役割」(p.8~12) 臨床検査 : 第5章N「血中薬物濃度の検査」(p.183~184) 臨床薬理学 : 第1章B-2「薬物治療の評価」(p.26~29)
	C 輸液・輸血管理	刺入部位の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-d「静脈内注射」(p.346~369) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章B-3-2「注射実施後(点滴中)の観察・管理におけるおもな危険とその要因」(p.58~60) 臨床外科看護総論 : 第3章C-2「輸液法」(p.113~114) 救急看護学 : 第6章H-1「輸液」(p.323~324)
		点滴静脈内注射	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-d「静脈内注射」(p.346~369) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章A「業務特性からみた患者に投与する業務の事故防止(総論)」(p.41~44)、B「注射業務と事故防止」(p.44~68)
		輸血	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章I「輸血管理」(p.369~375) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章C-5-2「出血とその対策」(p.94~96)、第5章D-5「輸血療法」(p.199~202)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 D 「輸血業務と事故防止」 (p.83～95)</p> <p>薬理学 : 付章 B 「輸血剤」 (p.321～325)</p> <p>救急看護学 : 第6章 H-2 「輸血」 (p.325～326)</p>
	D 採血	刺入部位	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 B-3-2 「静脈穿刺時の危険——神経損傷、動脈誤穿刺」 (p.58)</p>
		採血方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 D-2-2 「血液型の間違いにつながる採血ミスの2つのパターン」 (p.87～90)</p> <p>臨床検査 : 第2章 D-3-2 「血液」 (p.40～43)</p>
		採血後の観察内容、採血に関連する有害事象	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p>
	E 呼吸管理	酸素療法の原則	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第3章 B-1 「酸素療法」 (p.101～105)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		酸素ポンプ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p>
		酸素流量計	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		鼻腔カニューラ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		酸素マスク	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		ネブライザー	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 D 「吸入」 (p.260～264)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p>
		口腔内・鼻腔内吸引	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3 「吸引」 (p.248～255)</p> <p>救急看護学 : 第6章 F-1 「口腔・鼻腔内吸引」 (p.314～316)</p>
		気管内吸引	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3 「吸引」 (p.248～255)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第10章 C-2-2 「●気管吸引(気管内吸引)」 (p.366～367)</p> <p>救急看護学 : 第6章 F-2 「気管内吸引(気管吸引)」 (p.316～319)</p>
		体位ドレナージ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-1 「体位ドレナージ」 (p.242～246)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-1-関連する看護技術「体位ドレナージ」 (p.237～238)</p>
	F 救命救急処置	気道の確保	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-5 「気道確保」 (p.121～125)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-2 「気道確保——救急のA」 (p.186～187)</p> <p>救急看護学 : 第5章 A-1-1 「気道確保」 (p.167～168)、A-2-3 「気管挿管・気道確保」 (p.176～178)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 B-1 「一次救命処置」 (p.192～195)</p>
		人工呼吸	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-3 「人工呼吸(呼吸の確保・維持)——救急のB」 (p.187～189)</p> <p>救急看護学 : 第5章 A-1-3 「人工呼吸」 (p.169～171)、A-2-3 「気管挿管・気道確保」 (p.176～178)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 B-1 「一次救命処置」 (p.192～195)</p>
		胸骨圧迫	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-4 「心臓マッサージ」 (p.189～190)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第5章 A-1-2「胸骨圧迫」(p.168～169) クリティカルケア看護学：第4章 B-1「一次救命処置」(p.192～195)
		直流除細動器	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-4-2「直流通電による電気ショック」(p.199～200) 救急看護学：第5章 A-2「二次救命処置(ALS)」(p.174～175)
		自動体外式除細動器 (AED)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.384～394) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-3-7「心室細動」(p.194) 臨床外科看護総論：第5章 A-2-4-NOTE「電氣的除細動器」(p.191) 救急看護学：第5章 A-1-4「除細動」(p.171～174) クリティカルケア看護学：第4章 B-1「一次救命処置」(p.192～195)
		止血法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 C「止血法」(p.396～399) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章 B-3-3「看護活動」(p.162～163) 臨床外科看護総論：第4章 A-4「止血」(p.151～152) 救急看護学：第6章 B「止血法」(p.299～305)
		トリアージ	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3-2「●災害発生期」(p.341～343) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 A-3「トリアージ」(p.381～383) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-3「トリアージ」(p.39～46) 臨床外科看護総論：第5章 B-3-2「初期情報からのアセスメントおよびトリアージ」(p.195～198) 救急看護学：第1章 C-3-4「災害時の医療」(p.37～39)、第3章 A-2-2「トリアージ」(p.67～68)、B-2-2「トリアージ」(p.74～75)、F「災害時における対応」(p.89～96)
	G 皮膚・創傷の管理	創傷管理	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.280～284)、B「創傷処置」(p.284～297) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-8-a「テープ類による皮膚トラブルの予防とケア」(p.206～209) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治癒」(p.34～52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.351～352)
		褥瘡の予防・処置	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 C「褥瘡予防」(p.298～306) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-8-b「褥瘡の予防とケア」(p.209～219) 成人看護学 [12] (皮膚)：特論「褥瘡患者の看護」(p.250～272) 臨床外科看護総論：第1章 E-7「褥瘡の予防と処置」(p.47～52) リハビリテーション看護：第4章 C-6-1「褥瘡」(p.256～258)

# 人体の構造と機能

目標Ⅰ. 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅱ. フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅲ. 疾病の成り立ちとの関連において、人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 細胞と組織	A 細胞の構造	細胞膜と細胞質	解剖生理学：第1章 C-1「細胞の構造」(p.27~30) 生化学：第1章 D「細胞の構造と機能」(p.11~20) 生物学：第1章 B-2-1「細胞質」(p.15~20)、D「細胞膜の輸送」(p.27~33)
		核	解剖生理学：第1章 C-1-1「核」(p.28)、C-2-3「核酸とタンパク質の合成」(p.33~35) 生化学：第1章 D-4「核」(p.16) 生物学：第1章 B-2-2「核」(p.20~21)
		細胞小器官と細胞骨格	解剖生理学：第1章 C-1-2「細胞小器官と細胞骨格」(p.29~30) 生化学：第1章 D「細胞の構造と機能」(p.11~20) 生物学：第1章 B-2-1「細胞質」(p.15~20)
	B 遺伝子と遺伝情報	ゲノムと遺伝子	解剖生理学：第1章 C-1-3「核酸とタンパク質合成」(p.33~35)、C-4-2「染色体とゲノム」(p.43~44) 生化学：第10章「遺伝子と核酸」(p.169~192) 病理学：第8章 A-1「遺伝と遺伝子」(p.116~118) 生物学：第4章「遺伝情報とその伝達・発現のしくみ」(p.75~134)
		タンパク合成	解剖生理学：第1章 C-1-3「核酸とタンパク質合成」(p.33~35) 生化学：第13章「翻訳と翻訳後修飾」(p.229~244) 病理学：第8章 A-2-3「遺伝子の発現と調節」(p.119~120) 生物学：第4章 E「タンパク質の合成翻訳」(p.101~113)
	C 細胞分裂	染色体の複製と有糸分裂	解剖生理学：第1章 C-4「細胞の増殖と染色体」(p.42~45) 生化学：第11章 A「DNAの複製」(p.194~198) 病理学：第8章 A-2-4「遺伝情報の伝達」(p.120~122) 生物学：第3章 A「細胞分裂」(p.60~70)
		減数分裂	解剖生理学：第10章 C-1-1「生殖細胞」(p.475~477) 生化学：第10章 B-1-1「体細胞分裂と減数分裂」(p.172~173) 病理学：第8章 A-2-4「遺伝情報の伝達」(p.120~122) 生物学：第3章 A-4「減数分裂」(p.67~70)
	D 組織	上皮組織	解剖生理学：第1章 C-5-1「上皮組織」(p.45~48) 病理学：第2章 A-NOTE「いろいろな上皮とその細胞」(p.18)
		支持組織	解剖生理学：第1章 C-5-3「結合組織」(p.49~51)
		筋組織	解剖生理学：第1章 C-5-2「筋組織」(p.48~49)
		神経組織	解剖生理学：第1章 C-5-4「神経組織」(p.51~53)
	E 細胞内情報伝達	イオンチャンネル型受容体	解剖生理学：第1章 C-3-2「細胞膜のタンパク質」(p.36~38) 生化学：第14章 B-1「イオンチャンネル内蔵型受容体によるシグナル伝達」(p.252~253) 薬理学：第2章 A-1-1「受容体とは」(p.16~18)
		代謝調節型受容体	解剖生理学：第1章 C-3-2「細胞膜のタンパク質」(p.36~38) 生化学：第14章 B「細胞内シグナル伝達の機序」(p.252~261) 薬理学：第2章 A-1-1「受容体とは」(p.16~18)
		細胞内受容体、核内受容体	解剖生理学：第6章 B-2-2「ホルモンの作用機序」(p.250~253) 生化学：第14章 A-2「シグナル伝達と受容体の種類」(p.250~252) 薬理学：第2章 A-1-1「受容体とは」(p.16~18)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 内部環境の恒常性	A 生体リズム	概日リズム〈サーカディアンリズム〉	解剖生理学：第8章 K-1-3「概日リズム」(p.424)
		体内時計	解剖生理学：第8章 K-1「脳の活動の測定と脳のリズム」(p.421～424)
	B 内部環境の恒常性維持機構	細胞外液	解剖生理学：第1章 C-3-4「細胞膜が分ける細胞内と細胞外の体液」(p.38～40) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液と電解質の調節」(p.56～59)
		体温	解剖生理学：第9章 C「体温とその調節」(p.451～456) 病態生理学：第2章 B-1「体温調節のしくみ」(p.33～38)
3 神経系	A 神経細胞と神経組織	神経細胞〈ニューロン〉と情報伝達	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A「神経系の分類と機能」(p.18～23) 成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-1「神経の構造と機能」(p.32～38) 解剖生理学：第8章 A「神経系の構造と機能」(p.359～368) 生化学：第14章 B-1「イオンチャンネル内蔵型受容体によるシグナル伝達」(p.252～253) 病態生理学：第12章 A-1「情報伝達のしくみ」(p.236～237) 薬理学：第7章 A「神経系による情報伝達と薬物」(p.146～151)
		神経膠細胞	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A「神経系の分類と機能」(p.18～23) 解剖生理学：第8章 A-1「ニューロンと支持細胞」(p.359～361)
	B 中枢神経系の構造と機能	大脳	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-1「大脳」(p.23～30) 解剖生理学：第8章 B-2-4「大脳」(p.375～380) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 薬理学：第8章 A-1「中枢神経系の組織機構」(p.166～167) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-1「大脳」(p.136～139)
		視床、視床下部	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-3「間脳と脳幹」(p.31～32) 解剖生理学：第8章 B-2-3「間脳」(p.374～375) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-2「間脳(視床・視床下部)」(p.139)
		中脳、橋、延髄	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-3「間脳と脳幹」(p.31～32) 解剖生理学：第8章 B-2-1「脳幹」(p.371～373) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-3「脳幹」(p.139～140)
		小脳	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-2「小脳」(p.30～31) 解剖生理学：第8章 B-2-2「小脳」(p.373～374) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-4「小脳」(p.140)
		脊髄	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-2「脊髄」(p.32～34) 解剖生理学：第8章 B-1「脊髄の構造と機能」(p.368～371) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) リハビリテーション看護：第4章 C-2「脊柱、脊髄、脊髄神経の構造・機能」(p.227)
		反射	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A-2「神経伝達とそのしくみ」(p.21～23) 解剖生理学：第8章 B-1-2「脊髄の機能」(p.370～371) 病態生理学：第12章 A-2「反射性運動のしくみ」(p.237)
		髄膜と脳室	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D「脳・脊髄の保護構造と循環系」(p.39～44) 解剖生理学：第8章 B-2-5「脳室と髄膜」(p.406～407) 病態生理学：第12章 C-1「脳室系と脳脊髄液の循環のしくみ」(p.242) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375)
		脳脊髄液の循環	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D-3「脳室系と脳脊髄液(髄液)循環」(p.43～44) 解剖生理学：第8章 B-2-6「脳脊髄液の循環」(p.381～383)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所		
	C 末梢神経系の構造と機能		臨床外科看護各論：第1章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372) 臨床検査：第3章 D「脳脊髄液(髄液)検査」(p.97～99)		
		感覚と運動の伝導路	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 E「運動機能と感覚機能」(p.44～50) 解剖生理学：第8章 D「運動機能と下行伝導路」(p.391～392)、F「体性感覚と上行伝導路」(p.394～397) 病態生理学：第12章 H-1「運動制御のしくみ」(p.254)		
		覚醒と睡眠	解剖生理学：第8章 K-1「脳の活動の測定と脳のリズム」(p.421～424) 臨床検査：第10章 I-C-1「脳波検査」(p.318～324)、C-2「睡眠ポリグラフ(PSG)検査」(p.324～326)		
		脳神経	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-1「脳神経」(p.35～36) 解剖生理学：第8章 C-2「脳神経の構造と機能」(p.387～391) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)		
		脊髄神経	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-2「脊髄神経」(p.36～37) 解剖生理学：第8章 C-1「脊髄神経の構造と機能」(p.383～387) リハビリテーション看護：第4章 C-2「脊柱、脊髄、脊髄神経の構造・機能」(p.227)		
		体性神経	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C「末梢神経系」(p.34～39) 解剖生理学：第8章 C「脊髄神経と脳神経」(p.383～391)		
		自律神経	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-3「自律神経系」(p.37～39) 解剖生理学：第6章 A「自律神経による調節」(p.241～249) 薬理学：第7章 A「神経系による情報伝達と薬物」(p.146～151)		
		4 運動器系	A 骨と骨格	骨の構造と機能	成人看護学 [10] (運動器)：第2章 A「骨」(p.20～25) 解剖生理学：第7章 A「骨格とはどのようなものか」(p.283～289) リハビリテーション看護：第3章 A-2-1「骨の構造・機能」(p.89～90)
				軟骨の構造	解剖生理学：第1章 C-5-3「結合組織」(p.49～51)
				全身の骨	成人看護学 [10] (運動器)：第2章 A-4「骨の形態・種類と機能」(p.23～25) 解剖生理学：第7章 A-1「人体の骨格」(p.283～286)、D-1「脊柱」(p.297～299)、D-2「胸郭」(p.300)、E「上肢の骨格と筋」(p.306～320)、F「下肢の骨格と筋」(p.320～332)、G「頭頸部の骨格と筋」(p.332～339)
B 関節の構造と機能	関節の構造と動き		成人看護学 [10] (運動器)：第2章 B-1「関節の構造」(p.25～28) 解剖生理学：第7章 B「骨の連結」(p.289～292) リハビリテーション看護：第3章 A-2-2「関節の構造・機能」(p.90)		
	全身の関節		解剖生理学：第7章 D-1「脊柱」(p.297～299)、D-2「胸郭」(p.300)、E-7「上肢の運動」(p.314～320)、F-7「下肢の運動」(p.329～332)		
C 骨格筋の構造と機能	骨格筋の構造		成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-2「筋肉の構造と機能」(p.38～40) 解剖生理学：第7章 C-1「骨格筋の構造」(p.292～296) リハビリテーション看護：第3章 A-2-3「骨格筋の構造・機能」(p.91)		
	筋収縮の機構		成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-2「筋肉の構造と機能」(p.38～40) 解剖生理学：第7章 H「筋の収縮」(p.339～351) 病態生理学：第12章 I-1「筋収縮のしくみ」(p.261) リハビリテーション看護：第3章 A-2-3「骨格筋の構造・機能」(p.91)		
	全身の骨格筋		解剖生理学：第7章 C「骨格筋」(p.292～296)、D「体幹の骨格と筋」(p.296～306)、E「上肢の骨格と筋」(p.306～320)、F「下肢の骨格と筋」(p.320～332)、G「頭頸部の骨格と筋」(p.332～339)		
5 感覚器系	A 体性感覚		刺激と感覚受容	解剖生理学：第8章 F-1「体性感覚の受容器の種類」(p.394) 病態生理学：第2章 A-1「皮膚の構造と機能」(p.28～29)、第13章 D-1「皮膚感覚の経路」(p.276)	
			表在感覚	成人看護学 [12] (皮膚)：第2章 A-5「皮膚の脈管と神経」(p.29)、B-5「皮膚の知覚作用」(p.35) 解剖生理学：第8章 F-1「体性感覚の受容器の種類」(p.394)、F-2「皮膚の感覚受容器の分布」(p.394～395)、第9章 A-3-2「皮膚の神経」(p.438)	
		深部感覚	解剖生理学：第8章 F-1「体性感覚の受容器の種類」(p.394)		
	B 視覚	眼球と眼球付属器の構造	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A「眼球」(p.14～20)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			解剖生理学：第8章 G-1「眼球の構造」(p.397~401)、G-2「眼球付属器」(p.401~403) 病態生理学：第13章 A-1「視覚器の構造と機能」(p.266~267) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306~307)
		視力と視野	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A-3「網膜」(p.16~18) 解剖生理学：第8章 G-3-1「視野と視力」(p.403) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306~307)
		明暗覚、色覚	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A-3「網膜」(p.16~18) 解剖生理学：第8章 G-3-2「色覚」(p.403~404)、G-3-4「明暗順応」(p.406) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306~307)
		視覚の伝導路	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 E-2-2「感覚の神経伝達」(p.46~50) 成人看護学 [13] (眼)：第2章 B「視神経・視路」(p.21) 解剖生理学：第8章 F-5-2「視覚伝導路」(p.396) 病態生理学：第13章 A-1「視覚器の構造と機能」(p.266~267) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306~307)
		眼球運動	成人看護学 [13] (眼)：第2章 C-4「眼筋」(p.23~25) 解剖生理学：第8章 G-3-5「眼球運動の調節」(p.406~407)
		眼の反射と調節機能	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.73~74) 成人看護学 [13] (眼)：第2章「眼の構造と機能」(p.14~25) 解剖生理学：第8章 G-3-6「眼球に関する反射」(p.407)
	C 聴覚	外耳・中耳・内耳の構造	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 A「耳の構造と機能」(p.22~26) 解剖生理学：第8章 H-1「耳の構造」(p.408~412) 病態生理学：第13章 B-1「聴覚器の構造と機能」(p.270~271) リハビリテーション看護：第6章 B-2「聴覚器の構造・機能」(p.325~326)
		音の伝播	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 A-2「聴覚」(p.25~26) 解剖生理学：第8章 H-1-3「内耳」(p.409~412)
		聴力	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 A-2「聴覚」(p.25~26) 解剖生理学：第8章 H-2「聴覚」(p.412~413) 病態生理学：第13章 B-1「聴覚器の構造と機能」(p.270~271)
	D 平衡感覚	平衡器官の構造	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 A-3「内耳」(p.25) 解剖生理学：第8章 H-3「平衡覚」(p.413) 病態生理学：第13章 B-1「聴覚器の構造と機能」(p.270~271)
		平衡覚とその伝導路	解剖生理学：第8章 H-3「平衡覚」(p.413)
	E 味覚	味蕾の構造と機能	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 C「口腔と唾液腺の構造と機能」(p.32~34) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第2章 A-4「舌」(p.23~24)、第3章 B-6「味覚障害」(p.44) 解剖生理学：第8章 I-1「味覚器と味覚」(p.413~414) 病態生理学：第13章 C-1「味覚とその異常」(p.274~275)
		味覚の伝導路	解剖生理学：第8章 I-1-1「味覚器の構造」(p.413)
F 嗅覚	嗅上皮	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 B「鼻の構造と機能」(p.30~32) 解剖生理学：第8章 I-2「嗅覚器と嗅覚」(p.414~415) 病態生理学：第13章 C-2-1「においを感じるしくみ」(p.275)	
	嗅覚の伝導路	解剖生理学：第8章 I-2-1「嗅覚器の構造」(p.414~415) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 B「鼻の構造と機能」(p.30~32)	
G 内臓感覚	内臓感覚の受容器と機能	解剖生理学：第8章 J-1-1「体性痛と内臓痛」(p.416)	
6 循環器系	A 心臓の構造と機能	心臓の構造	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 A「心臓の構造と機能」(p.16~23)、B-3「血液の循環力学」(p.26) 解剖生理学：第4章 B「心臓の構造」(p.152~157) 病態生理学：第6章 A-1-b「心臓の構造と機能」(p.90~93) 臨床外科看護各論：第2章 I-A-1-1「解剖生理」(p.84~87)
		刺激伝導系	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 A-2「刺激伝導系と心臓の電気活動」(p.19~20)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
7 血液	B 血管系の構造と機能		解剖生理学：第4章 C-1「心臓の興奮とその伝播」(p.157～161) 病態生理学：第6章 A-1-b-5「心筋収縮の指令」(p.93) 薬理学：第9章 D-1-1「心臓の調律のしくみ」(p.213～214) 臨床外科看護各論：第2章 I-A-1-1「解剖生理」(p.84～87) 臨床検査：第10章 I-A-2「標準12誘導心電図」(p.292～299)	
		心周期	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 A-3「心臓のポンプ作用」(p.20～23) 解剖生理学：第4章 C-3-2「心周期」(p.169～171)	
		心機能の調節	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E「血液の循環の調節」(p.187～206)	
		動脈、静脈、毛細血管	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 B-1「動脈および静脈の構造」(p.23～25) 解剖生理学：第4章 D「末梢循環系の構造」(p.175～187) 臨床外科看護各論：第2章 I-B-1-2「血管の構造と機能」(p.111～113)	
		血圧と血圧調節	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E-3「血圧・血流量の調節」(p.195～200)	
		門脈系	解剖生理学：第4章 D-4-6「門脈系」(p.186～187)	
		肺循環と体循環	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 B-2「体循環と肺循環」(p.25～26) 解剖生理学：第4章 A「循環器系の構成」(p.150～152)	
		冠循環	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 A-1「心臓の構造」(p.16～18) 解剖生理学：第4章 B-4「心臓の血管と神経」(p.156～157) 病態生理学：第6章 A-1-b-2「冠循環」(p.91～92) リハビリテーション看護：第5章 B-2「冠状動脈の構造・機能」(p.281)	
		脳循環	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D-2「血管系」(p.40～43)、D-3「脳室系と脳脊髄液(髄液)循環」(p.43～44) 解剖生理学：第4章 D-3-2「大動脈弓」(p.180～181)、D-4-2「頭頸部の静脈」(p.183) 病態生理学：第12章 B-1「脳・脊髄の血管系のしくみ」(p.239～240) リハビリテーション看護：第4章 A-2-5「脳の動脈系」(p.140)	
		胎児・胎盤の血液循環	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第3章 A-2-2「循環」(p.58～60) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 A-2-3「胎児の生理」(p.72～73) 解剖生理学：第10章 C-3-5「胎児の血液循環」(p.488～489)	
		末梢循環の調節	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E-4「微小循環」(p.200～203)	
		C リンパ系の構造と機能	リンパ液、リンパ管、リンパ節	解剖生理学：第4章 F「リンパとリンパ管」(p.206～208)
			胸管	解剖生理学：第4章 F「リンパとリンパ管」(p.206～208)
		A 血液の成分と機能	血液の成分(血球、血漿、血清)	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-1-1「血液の組成」(p.126～127) 病態生理学：第5章「血液のはたらきと病態生理」(p.72～88)
			赤血球の働き	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-2「赤血球」(p.127～136) 病態生理学：第5章「血液のはたらきと病態生理」(p.72～88)
血液の物理化学的特性	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-1「血液の組成と機能」(p.126～127)、C-5「血漿タンパク質と赤血球沈降速度」(p.140～142)			
造血と造血因子	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 B「造血のしくみ」(p.24～30) 解剖生理学：第3章 C-1-1「血液の組成」(p.126～127)、C-2-3「赤血球の新生」(p.132～133) 病態生理学：第5章 A-1「造血のしくみ」(p.72) 薬理学：第9章 H-2「造血因子製剤および関連薬」(p.231～232)			
B 止血機構	血液凝固		成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A-2-2「血液凝固」(p.22～23) 解剖生理学：第3章 C-6「血液の凝固と線維素溶解」(p.142～145) 病態生理学：第5章 D-1「血小板と止血・線維素溶解」(p.84～86) 薬理学：第9章 G-1「抗血液凝固薬」(p.224～227)	
	線維素溶解	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A-2-3「線溶」(p.23)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			解剖生理学：第3章 C-6-4「線維素溶解」(p.144～145) 病態生理学：第5章 D-1「血小板と止血・線維素溶解」(p.84～86) 薬理学：第9章 G-2「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.227～229)
	C 血液型	ABO式、Rh式	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.94～96) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D-1「ABO血液型不適合輸血はなぜおきるのか？」(p.83～85) 解剖生理学：第3章 C-7「血液型」(p.145～147) 臨床外科看護総論：第3章 E-4「輸血に関する検査」(p.133～134) 臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.205～208)
8 体液	A 体液の構成	体液の区分	解剖生理学：第1章 C-3-3「細胞膜が分ける細胞内と細胞外の体液」(p.38～40) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液分画とその組成」(p.56～57) 臨床外科看護総論：第3章 C「体液管理」(p.109～115)
		体液の組成	解剖生理学：第1章 C-3-3「細胞膜が分ける細胞内と細胞外の体液」(p.38～40) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液分画とその組成」(p.56～57)
	B 体液の調節	電解質バランス	解剖生理学：第1章 C-3-5「細胞の生命を保つ細胞膜の機能」(p.40～41)、第5章 C-3「電解質の異常」(p.232～234) 病態生理学：第4章 A-1「体液と電解質の調整」(p.56～59)
		酸塩基平衡	解剖生理学：第5章 C-4「酸塩基平衡」(p.234～237) 病態生理学：第4章 B-1「酸・塩基平衡」(p.65～67)
		浸透圧調節	解剖生理学：第5章 C「体液の調節」(p.230～237)
9 生体の 防御機構	A 非特異的生体防御機構	皮膚の構造と防御機構	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A-1-1「体表面の防御」(p.16～17) 成人看護学 [12] (皮膚)：第2章「皮膚の構造と機能」(p.21～36) 解剖生理学：第9章 B-1-1「皮膚・粘膜における防御」(p.440) 病理学：第4章 A-2「生体の感染防御機構」(p.58～59) 病態生理学：第1章 A-1「皮膚の構造と機能」(p.28～29) 微生物学：第6章 B-1「上皮によるバリアー」(p.98)
		粘膜の構造と防御機構	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A-1-1「体表面の防御」(p.16～17) 解剖生理学：第9章 B-1-1「皮膚・粘膜における防御」(p.440) 病理学：第4章 A-2「生体の感染防御機構」(p.58～59) 病態生理学：第1章 D-3「感染防御機構」(p.16～17) 微生物学：第6章 B-1「上皮によるバリアー」(p.96)、D「粘膜免疫のしくみ」(p.117～119)
		食細胞とサイトカイン	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 B「免疫担当細胞と伝達物質」(p.20～24) 解剖生理学：第9章 B-1-2「貪食作用・細胞傷害物質による防御」(p.441) 病理学：第3章 A-5-3「サイトカインとそのほかの細胞間情報伝達物質」(p.40) 病態生理学：第1章 D-1-2「炎症組織での反応」(p.16) 微生物学：第6章 A-3「細胞間の情報伝達」(p.95)、B-6「食細胞」(p.101)
	B 特異的生体防御反応(免疫系)	免疫系の細胞	
胸腺、脾臓、リンパ組織			解剖生理学：第9章 B-3「生体防御の関連臓器」(p.447～450) 微生物学：第6章 A「免疫にかかわる細胞、組織および臓器」(p.92～96)
抗原と抗体		成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A-1-2「自然免疫と獲得免疫」(p.17～19) 解剖生理学：第9章 B-2-1「免疫に関与するリンパ球の機能」(p.442～443)、B-2-2「液性免疫」(p.443～445) 病理学：第3章 A-5-1「抗体」(p.38～39) 病態生理学：第3章 A「免疫反応」(p.40～43) 微生物学：第6章 C-1「抗原特異的免疫」(p.106～115)	
補体		成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C-1-2「II型アレルギー」(p.25～26) 解剖生理学：第9章 B-2-2「液性免疫」(p.443～445) 病理学：第3章 A-5-2「補体」(p.39～40) 病態生理学：第3章 A-1-3「液性免疫」(p.41～42)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			微生物学：第6章 B-5「補体」(p.99~101)
		液性免疫	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A-1-2「自然免疫と獲得免疫」(p.17~19) 解剖生理学：第9章 B-2-2「液性免疫」(p.443~445) 病理学：第3章 A-5「液性免疫と細胞性免疫」(p.38~40) 病態生理学：第3章 A-1-3「液性免疫」(p.41~42) 微生物学：第6章 C-1-5「液性免疫」(p.110~113)
		細胞性免疫	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A-1-2「自然免疫と獲得免疫」(p.17~19) 解剖生理学：第9章 B-2-3「細胞性免疫」(p.445~446) 病理学：第3章 A-5「液性免疫と細胞性免疫」(p.38~40) 病態生理学：第3章 A-1-4「細胞性免疫」(p.42~43) 微生物学：第6章 C-1-5「細胞性免疫」(p.113~115)
		アレルギー反応	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.24~30) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章 B-1-1「免疫・アレルギー検査」(p.53~55) 解剖生理学：第9章 B-2-5「免疫の異常」(p.446~447) 病理学：第3章 B-1「アレルギー」(p.42~47) 病態生理学：第3章 C-1「アレルギー反応による障害」(p.46~50) 微生物学：第7章 C-4「アレルギー」(p.116)
		組織適合性抗原 (HLA)	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-4-3「造血器腫瘍治療の基本理念」(p.89) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章 A「自己と非自己の区別」(p.122~123) 解剖生理学：第3章 C-7-4「主要組織適合抗原」(p.147) 生化学：第11章 E-3「ハプロタイプ」(p.211~212) 病理学：第3章 C-1-2「組織適合抗原とHLA」(p.50~51) 微生物学：第6章 C-1-2「抗原特異的免疫の成立過程」(p.106~108)
10 呼吸器系	A 気道の構造と機能	鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-3「気管・気管支の構造」(p.24~26) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 B「鼻の構造と機能」(p.30~32)、D「咽頭の構造と機能」(p.34~36)、E「喉頭の構造と機能」(p.37~40) 解剖生理学：第3章 A「呼吸器の構造」(p.97~107) リハビリテーション看護：第5章 A-2「呼吸器の構造・機能」(p.264~265)
		発声	解剖生理学：第3章 A-2-4「発声と構音」(p.101~102) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 E-2「喉頭の機能」(p.39~40)
	B 肺の構造	肺	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-1「肺の構造」(p.20~23) 解剖生理学：第3章 A-3-2「肺」(p.103~106) 病態生理学：第7章 A-2「呼吸器の構造」(p.120~121) 臨床外科看護各論：第1章 I-A-1-1「構造と機能」(p.8~9) リハビリテーション看護：第5章 A-2「呼吸器の構造・機能」(p.264~265)
		胸膜	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-5「肺と胸郭・胸腔・胸膜の関係」(p.27~29) 解剖生理学：第3章 A-4-1「胸膜」(p.106)
	C 縦隔	縦隔の区分	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-4「縦隔の構造」(p.26~27) 解剖生理学：第3章 A-4-1「縦隔」(p.107)
		縦隔に含まれる器官	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-4「縦隔の構造」(p.26~27) 解剖生理学：第3章 A-4-1「縦隔」(p.107)
	D 呼吸	呼吸筋	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-6「横隔膜」(p.30) 解剖生理学：第3章 B-2-4「呼吸筋」(p.112)、第7章 D-4「胸部の筋」(p.301~304)
		換気	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-2「換気運動」(p.33~35) 解剖生理学：第3章 B-2-3「呼吸のメカニズム」(p.110~112) 病態生理学：第7章 A-3-1「換気：呼吸運動とその調節」(p.121~122)
		ガス交換	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-3「ガス交換」(p.35~38) 解剖生理学：第3章 B-4「ガス交換とガスの運搬」(p.116~119) 病態生理学：第7章 A-3-3「肺胞におけるガス交換のしくみ」(p.123~124)
		呼吸運動	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B「呼吸の生理」(p.30~39) 解剖生理学：第3章 B-2「呼吸器と呼吸運動」(p.108~112) 病態生理学：第7章 A-3-1「換気：呼吸運動とその調節」(p.121~122)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		呼吸調節	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 B-1 「呼吸調節」 (p.32~33) 解剖生理学 : 第3章 B-6 「呼吸運動の調節」 (p.120~124) 病態生理学 : 第7章 A-3-2 「呼吸調節と神経系」 (p.123)
11 消化器系	A 咀嚼・嚥下	歯・口腔・唾液腺の構造と機能	成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第2章 「歯・口腔の構造と機能」 (p.16~31) 解剖生理学 : 第2章 A-1 「口の構造と機能」 (p.58~64)
		咽頭・喉頭の構造と機能	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 D 「咽頭の構造と機能」 (p.34~36)、E 「喉頭の構造と機能」 (p.37~40) 解剖生理学 : 第2章 A-2-1 「咽頭」 (p.64) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-A-2 「口腔・咽頭・喉頭・頸部の臨床解剖」 (p.435~436)
		食道の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 A 「食道の構造と機能」 (p.16~19) 解剖生理学 : 第2章 A-2-3 「食道」 (p.66~67) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-A-1 「基礎知識」 (p.172~174)
		咀嚼	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 C 「口腔と唾液腺の構造と機能」 (p.32~34) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第3章 B-3 「咀嚼障害」 (p.41) 解剖生理学 : 第2章 A-1-7 「咀嚼」 (p.63~64) 栄養学 : 第3章 A-3-1 「機械的消化」 (p.52) 病態生理学 : 第8章 A-1-1 「咀嚼」 (p.142)
		嚥下	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 A-2 「食道の機能」 (p.17~19)、第3章 A-1 「嚥下困難」 (p.42~43) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-2 「嚥下障害」 (p.74~75) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 E-2 「喉頭の機能」 (p.39~40) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 C-2 「誤嚥の防止(ステップ1)」 (p.171~174) 解剖生理学 : 第2章 A-2-2 「嚥下」 (p.65~66) 病態生理学 : 第8章 A-1-2 「嚥下のしくみ」 (p.142~144)
	B 消化と吸収	胃の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 B 「胃・十二指腸の構造と機能」 (p.19~24) 解剖生理学 : 第2章 B-1 「胃の構造」 (p.67~68)、B-2 「胃の機能」 (p.68~71) 栄養学 : 第3章 A-2-3 「胃」 (p.48~49) 病態生理学 : 第8章 A-2 「消化と吸収」 (p.144~145) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-B-1 「基礎知識」 (p.185~188)
		小腸の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : C 「小腸・大腸の構造と機能」 (p.25~29) 解剖生理学 : 第2章 B-3 「小腸の構造」 (p.72~74)、B-4 「小腸の機能」 (p.75~76) 栄養学 : 第3章 A-2-4 「小腸」 (p.49~51) 病態生理学 : 第8章 A-2 「消化と吸収」 (p.144~145) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-B-1 「基礎知識」 (p.185~188)、I-C-1 「基礎知識」 (p.202~205)
		大腸の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 C 「小腸・大腸の構造と機能」 (p.25~29) 解剖生理学 : 第2章 B-6 「大腸の構造」 (p.80~84) 栄養学 : 第3章 A-2-5 「大腸」 (p.51) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-1 「基礎知識」 (p.202~205)
		排便反射	解剖生理学 : 第2章 B-6-5 「大腸の機能」 (p.83~84) 病態生理学 : 第8章 A-3 「排便のしくみ」 (p.145)
		肝臓・胆道の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 E 「肝臓の構造と機能」 (p.31~36)、F 「胆道系の構造と機能」 (p.36~37) 解剖生理学 : 第2章 C-2 「肝臓と胆嚢の構造」 (p.85~88)、C-3 「肝臓の機能」 (p.88~90) 病態生理学 : 第8章 E-1-1 「肝臓の構造と機能」 (p.158~159) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-D-1 「基礎知識」 (p.246~250)
		膵臓の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 G 「膵臓の構造と機能」 (p.37~39) 解剖生理学 : 第2章 C-1 「膵臓」 (p.84~85) 病態生理学 : 第8章 F-1 「膵臓の機能」 (p.168~169) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-G-1 「基礎知識」 (p.291~295)
三大栄養素の消化と吸収		成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 C-1 「消化と吸収のメカニズム」 (p.43~45) 解剖生理学 : 第2章 B-5 「栄養素の消化と吸収」 (p.76~80)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p><b>生化学</b>：第2章 A-2「三大栄養素の代謝の概要」(p.24~27)、第4章 A「糖質の消化と吸収」(p.68~72)、第6章 A「脂質の消化と吸収」(p.112~113)、第8章 A「タンパク質の消化と吸収」(p.142~145)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 A-3「三大栄養素の消化」(p.52~54)、B-2「三大栄養素の吸収」(p.55~56)</p>
		消化管運動と反射	<p><b>解剖生理学</b>：第2章 B-4「小腸の機能」(p.75~76)、B-6-5「大腸の機能」(p.83~84)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 A-2「消化器系のしくみとはたらき」(p.47~51)</p>
		消化管ホルモン	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第2章 B-10「消化管ホルモン系」(p.40~42)</p> <p><b>解剖生理学</b>：第2章 B-2-3「胃液の分泌調節」(p.70~71)、B-4-2「十二指腸における消化」(p.75~76)</p> <p><b>生化学</b>：第2章 A-2「三大栄養素の代謝の概要」(p.24~27)、第4章 A「糖質の消化と吸収」(p.68~72)、第6章 A「脂質の消化と吸収」(p.112~113)、第8章 A「タンパク質の消化と吸収」(p.142~145)</p>
12 代謝系	A 栄養とエネルギー代謝	栄養所要量	<p><b>栄養学</b>：第5章 B「食事摂取基準」(p.93~98)、付録「日本人の食事摂取基準(2020年版)抄録」(p.253~261)</p>
		基礎代謝	<p><b>解剖生理学</b>：第7章 I-1「エネルギー代謝」(p.351)</p> <p><b>生化学</b>：第2章 A「代謝と生体のエネルギー」(p.22~27)</p> <p><b>栄養学</b>：第4章 D-1「基礎代謝」(p.82~84)</p>
	B 物質代謝	同化作用と異化作用	<p><b>解剖生理学</b>：第1章 B-2「細胞を構成する物質とエネルギーの生成」(p.30~35)</p> <p><b>生化学</b>：第2章 A「代謝と生体のエネルギー」(p.22~27)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 D「栄養素の代謝」(p.62~69)</p>
		酵素	<p><b>生化学</b>：第2章「代謝の基礎と酵素・補酵素」(p.21~48)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 D-1-1「細胞レベルでの調整」(p.62)</p>
		栄養素の代謝	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.43~47)</p> <p><b>生化学</b>：第2章 D「ビタミン」(p.39~43)、第3章「糖質の構造と機能」(p.49~66)、第4章「糖質代謝」(p.67~96)、第5章「脂質の構造と機能」(p.97~110)、第6章「脂質代謝」(p.111~128)、第7章「タンパク質の構造と機能」(p.129~140)、第8章「タンパク質代謝」(p.141~154)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 D-2-1-1「糖質の代謝」(p.64)、D-2-1-2「脂質の代謝」(p.64)、D-2-1-3「タンパク質の代謝」(p.65)、D-2-1-4「ビタミンの貯蔵と活性化」(p.65)、D-2-1-5「ミネラルの貯蔵」(p.65)</p> <p><b>病態生理学</b>：第10章 B-1「糖代謝のしくみ」(p.209~210)、第10章 C-1「脂質代謝のしくみ」(p.215~216)、第10章 C-4「カルシウム・リン代謝」(p.219)</p>
		ビリルビンの代謝	<p><b>解剖生理学</b>：第3章 C-2-4「赤血球の破壊」(p.133~135)</p> <p><b>生化学</b>：第9章 A-4「ヘムの分解とビリルビン代謝」(p.158~160)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 D-4-3「ビリルビンの代謝」(p.69)</p> <p><b>病理学</b>：第6章 D-3-1「ビリルビンの代謝」(p.100~102)</p>
		核酸の代謝	<p><b>生化学</b>：第10章 D「核酸の代謝」(p.187~192)</p> <p><b>栄養学</b>：第3章 D-3「核酸代謝」(p.66~68)</p> <p><b>病態生理学</b>：第10章 D-1「尿酸代謝のしくみ」(p.217)</p>
13 泌尿器系	A 尿の生成	腎臓の構造	<p><b>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)</b>：第2章 A-1「腎臓の位置・構造」(p.18~23)</p> <p><b>解剖生理学</b>：第5章 A-1-1「腎臓の構造」(p.211~212)</p> <p><b>病態生理学</b>：第9章 A-1「腎臓の構造」(p.176~177)</p>
		糸球体濾過	<p><b>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)</b>：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23~30)</p> <p><b>解剖生理学</b>：第5章 A-2-2「糸球体濾過」(p.215~216)、A-5「クリアランスと糸球体濾過量」(p.223~225)</p> <p><b>病態生理学</b>：第9章 A-2「濾過機能」(p.177~178)</p>
		尿細管における再吸収と分泌	<p><b>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)</b>：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23~30)</p> <p><b>解剖生理学</b>：第5章 A-3-2「尿細管の機能」(p.217~222)、A-5「クリアランスと糸球体濾過量」(p.223~225)</p> <p><b>病態生理学</b>：第9章 A-3「再吸収機能」(p.179)</p>
	B 体液量の調節	抗利尿ホルモンの作用	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第2章 B-6「ADH系」(p.34~35)</p> <p><b>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)</b>：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23~30)</p> <p><b>解剖生理学</b>：第5章 A-3-2「尿細管の機能」(p.217~222)</p> <p><b>病態生理学</b>：第4章 A-1-b「体液の出納」(p.58~59)、第6章 B-1-b-2「血圧の内分泌性調節」(p.109~111)、第9章 A-3「再吸収機能」(p.179)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系	成人看護学 [3] (循環器) : 第2章 C 「循環の調節」 (p.26~30) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 B-9 「レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系」 (p.39~40) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 A-2-3 「内臓器としての機能」 (p.28~30) 解剖生理学 : 第5章 A-4-2 「レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系」 (p.222~223) 生化学 : 第14章 C-4-3 「副腎皮質ホルモン」 (p.266) 病理学 : 第5章 I-1 「血圧の調節」 (p.86~87) 病態生理学 : 第4章 A-1-b 「体液の出納」 (p.58~59)、第6章 B-1-b-2 「血圧の内分泌性調節」 (p.109~111)、第9章 A-3 「再吸収機能」 (p.179)
	C 排尿	尿管と膀胱の構造と機能	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 B 「尿管の構造と機能」 (p.30~32)、第2章 C 「膀胱の構造と機能」 (p.32~34) 解剖生理学 : 第5章 B 「排尿路」 (p.225~230) 病態生理学 : 第9章 C-1 「尿をたくわえ排泄するしくみ」 (p.188~191)
		尿道の構造と機能	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 D 「尿道の構造と機能」 (p.34~35) 解剖生理学 : 第5章 B-1-3 「尿道」 (p.226)、B-2-2 「排尿の機序」 (p.227~228) 病態生理学 : 第9章 C-1 「尿をたくわえ排泄するしくみ」 (p.188~191)
		排尿反射	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 C 「膀胱の構造と機能」 (p.32~34) 解剖生理学 : 第5章 B-2-2 「排尿の機序」 (p.227~228) 病態生理学 : 第9章 C-1-2 「尿排泄の神経支配」 (p.189~191)
14	A 体温	核心温度と外殻温度	解剖生理学 : 第9章 C 「体温とその調節」 (p.451~456)
	B 体温の調節	熱放散と熱産生	解剖生理学 : 第9章 C-1 「熱の出納」 (p.451~452) 病態生理学 : 第2章 B-1 「体温調節のしくみ」 (p.33~38)
		体温調節中枢	解剖生理学 : 第9章 C-3-2 「体温調節中枢」 (p.454) 病態生理学 : 第2章 B-1 「体温調節のしくみ」 (p.33~38)
15	A ホルモンの種類	ホルモンの化学的性質	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A-1 「ホルモンとそのはたらき」 (p.16~18) 解剖生理学 : 第6章 B-1 「内分泌とホルモン」 (p.249~251) 生化学 : 第14章 C 「内分泌の生化学的基盤」 (p.261~268) 病態生理学 : 第10章 A-1 「ホルモン分泌のしくみ」 (p.196~197)
		ホルモンの受容体	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A-1 「ホルモンとそのはたらき」 (p.16~18) 解剖生理学 : 第6章 B-2-2 「ホルモンの作用機序」 (p.251~253) 生化学 : 第14章 C-1 「ホルモンの受容体とフィードバック調節」 (p.261~262) 病態生理学 : 第10章 A-1 「ホルモン分泌のしくみ」 (p.196~197)
	B ホルモン分泌の調節	フィードバック機構	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 「内分泌・代謝器官の構造と機能」 (p.16~47) 解剖生理学 : 第6章 D 「ホルモン分泌の調節」 (p.273~275) 生化学 : 第14章 C-1 「ホルモンの受容体とフィードバック調節」 (p.261~262) 病態生理学 : 第10章 A-1 「ホルモン分泌のしくみ」 (p.196~197)
	C 内分泌器官の構造とホルモンの機能	視床下部	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A-2 「視床下部」 (p.19)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25~43) 解剖生理学 : 第6章 C-1 「視床下部-下垂体系」 (p.254~259) 生化学 : 第14章 C-2 「視床下部ホルモン」 (p.262~263) 病態生理学 : 第10章 A-2-1 「視床下部-下垂体系のはたらき」 (p.197~198)
		下垂体	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A-3 「下垂体」 (p.19~21)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25~43) 解剖生理学 : 第6章 C-1 「視床下部-下垂体系」 (p.254~259) 生化学 : 第14章 C-3 「下垂体ホルモン」 (p.263) 病態生理学 : 第10章 A-2-1 「視床下部-下垂体系のはたらき」 (p.197~198)
		松果体	解剖生理学 : 第6章 C-6 「その他の内分泌腺」 (p.272~273)
		甲状腺	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A-4 「甲状腺」 (p.21~22)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25~43) 解剖生理学 : 第6章 C-2 「甲状腺と副甲状腺」 (p.259~263) 生化学 : 第14章 C-4-1 「甲状腺ホルモン」 (p.264) 病態生理学 : 第10章 A-3-1 「甲状腺のはたらき」 (p.200~201)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		副甲状腺〈上皮小体〉	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-5「副甲状腺」(p.23)、B「内分泌器官とホルモンの機能」(p.25~43)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-2「甲状腺と副甲状腺」(p.259~263)</p> <p>生化学：第14章 C-4-2「副甲状腺ホルモン」(p.264~265)</p> <p>病態生理学：第10章 A-4-1「副甲状腺のはたらき」(p.204)</p>
		膵島	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-7「消化管・膵臓」(p.24~25)、B-11「膵ホルモン」(p.42~43)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-3「膵臓」(p.263~265)</p> <p>生化学：第4章 A-3「血糖調節とインスリン」(p.70~72)、C「グリコーゲン代謝」(p.86~88)</p> <p>病態生理学：第8章 F-1「膵臓の機能」(p.168~169)</p>
		副腎皮質	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-6「副腎」(p.23~24)、B「内分泌器官とホルモンの機能」(p.25~43)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-4「副腎」(p.265~270)</p> <p>生化学：第14章 C-4-3「副腎皮質ホルモン」(p.266)</p> <p>病態生理学：第10章 A-5-1「副腎皮質のはたらき」(p.205~206)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章 I-I-1「基礎知識」(p.313~314)</p>
		副腎髄質	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-6「副腎」(p.23~24)、B「内分泌器官とホルモンの機能」(p.25~43)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-4「副腎」(p.265~270)</p> <p>生化学：第14章 C-4-4「副腎髄質ホルモン」(p.266~267)</p> <p>病態生理学：第10章 A-6-1「副腎髄質のはたらき」(p.215)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章 I-I-1「基礎知識」(p.313~314)</p>
		腎臓	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-9「レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系」(p.39~40)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2-3「内分泌臓器としての機能」(p.28~30)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-6「その他の内分泌腺」(p.272~273)</p>
		性腺	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-4「ゴナドトロピン-性ホルモン系」(p.31~33)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-1「性分化と性腺の発生」(p.26~27)</p> <p>解剖生理学：第6章 C-5「性腺」(p.270~272)</p> <p>生化学：第14章 C-4-5「性ホルモン」(p.267)</p> <p>病態生理学：第11章 A「女性の生殖機能」(p.222~224)</p>
16 生殖 器系	A 女性の生殖器系の 構造と機能	卵巣	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 A-2-4「卵巣」(p.25)、B-3-1「卵巣周期」(p.28~30)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-1-1「女性の外性器」(p.100~103)、A-1-2「女性の内性器」(p.103~105)</p> <p>解剖生理学：第10章 B-1「卵巣」(p.467~468)</p>
		卵管、子宮、膣	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 A-1-1「外性器、外陰」(p.20~21)、A-2「内性器」(p.22~26)、B-3-2「子宮周期」(p.30)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-1-1「女性の外性器」(p.100~103)、A-1-2「女性の内性器」(p.103~105)</p> <p>解剖生理学：第10章 B-2「卵管・子宮・膣」(p.469~470)</p>
		外陰部・会陰の構造	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-1-1「女性の外性器」(p.100~103)</p> <p>解剖生理学：第10章 B-3「女性の外陰部と会陰」(p.470~471)</p>
		性周期	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-3「性周期と性ホルモン」(p.28~30)、B-4「月経周期とホルモン動態」(p.30~32)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-1-4「女性生殖器の機能」(p.107~113)</p> <p>解剖生理学：第10章 B-5「女性の生殖機能」(p.472~475)</p> <p>病態生理学：第11章 A「女性の生殖機能」(p.222~224)</p>
		妊娠、分娩、産褥	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-5「妊娠の成立」(p.32~35)、B-6「妊娠の診断」(p.35~36)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 A「妊娠期の身体的特性」(p.62~81)、第4章 A「分娩の要素」(p.184~195)、B「分娩の経過」(p.196~211)、第6章 A「産褥経過」(p.322~325)</p> <p>解剖生理学：第10章 C-3-3「妊娠中の母体の変化」(p.486~487)、C-3-4「分娩」(p.487~488)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		妊娠・分娩に伴う変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A 「妊娠期の身体的特性」 (p.62~81)、第4章 A 「分娩の要素」 (p.184~195)、B 「分娩の経過」 (p.196~211) 解剖生理学 : 第10章 C-3-3 「妊娠中の母体の変化」 (p.486~487)、C-3-4 「分娩」 (p.487~488)
		乳房	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 A-1-2 「乳房」 (p.21~22) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-1-1 「女性の外性器」 (p.100~103) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-3 「乳汁分泌」 (p.324~325) 解剖生理学 : 第10章 B-4 「乳腺」 (p.472)
	B 男性の生殖器系の構造と機能	精巣と精路	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35~37) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-1-3 「男性生殖器」 (p.105~106) 解剖生理学 : 第10章 A-1 「精巣(睾丸)」 (p.461~463)、A-2-1 「精路」 (p.463~464) 病態生理学 : 第11章 B-1 「男性の生殖機能」 (p.231~232)
		精子の形成	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35~37) 解剖生理学 : 第10章 A-4-1 「精子の形成と成熟」 (p.465) 病態生理学 : 第11章 B-1 「男性の生殖機能」 (p.231~232)
		精巣上体、精管、精囊、前立腺、陰茎	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35~37) 解剖生理学 : 第10章 A-2 「精路(生殖路)と付属生殖腺」 (p.463~464)
	C 受精と発生	受精	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B-5-2 「受精」 (p.33~34) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1 「妊娠の成立」 (p.113~120) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1-2 「妊娠の成立」 (p.63~67) 解剖生理学 : 第10章 C-1-2 「受精」 (p.477~479)
		着床	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1 「妊娠の成立」 (p.113~120) 解剖生理学 : 第10章 C-2 「初期発生と着床」 (p.479~482)
		初期発生と器官形成	解剖生理学 : 第10章 C-2 「初期発生と着床」 (p.479~482)
		胎児の発生	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1 「妊娠の生理」 (p.62~68)、A-2-1 「胎児の発育」 (p.68~69) 解剖生理学 : 第10章 C-3 「胎児と胎盤」 (p.482~489)
	17 成長	A 成長による変化	成長による組織・臓器の形態的变化
成長による臓器の機能的変化			解剖生理学 : 第10章 D 「成長と老化」 (p.489~498)

# 疾病の成り立ちと回復の促進

目標 I. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の維持増進	A 疾病の予防・早期発見	健康診断、健康診査、がん検診	<b>がん看護学</b> ：第1章 C-2 「わが国のがん予防・早期発見対策」(p.26～29) <b>臨床検査</b> ：第1章 C-1 「スクリーニング検査」(p.9～10)
		予防接種	<b>母性看護学 [2] (母性看護学各論)</b> ：第5章 C-3 「生後1か月健診に向けた退院時の看護」(p.317～320) <b>病理学</b> ：第4章 C-4 「予防接種」(p.70)
		健康教育	<b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b> ：第3章 A 「生活行動のなかで健康行動を生みはぐくむ援助」(p.92～104)、第4章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177)、第7章 B-2-3 「教育的アプローチ」(p.257～259) <b>公衆衛生</b> ：第8章 C-6 「健康教育」(p.244～246)
2 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の要因	内因(宿主要因)、外因(環境要因)	<b>病理学</b> ：第1章 B 「病気の原因」(p.7～11) <b>病態生理学</b> ：第1章 A-2 「正常性をゆがめる要因」(p.2～4)
		生活習慣	<b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b> ：第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.187～197) <b>栄養学</b> ：第10章 A 「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.238～241)、B 「生活習慣病の予防」(p.241～242) <b>病理学</b> ：第10章 「生活習慣と環境因子による生体の障害」(p.167～176) <b>病態生理学</b> ：第1章 A-2 「正常性をゆがめる要因」(p.2～4) <b>公衆衛生</b> ：第8章 C-7 「生活習慣病対策」(p.234～242) <b>総合医療論</b> ：第3章 C 「疾病の一次予防と健康増進」(p.73～77)
		ストレス	<b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b> ：第2章 A-3-1 「ストレス学説にみる心身の相互作用」(p.83～84) <b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b> ：第5章 B 「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.181～186) <b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b> ：第2章 B-1 「生体システムとしてのストレス反応」(p.31～33) <b>病理学</b> ：第10章 A-5 「ストレスと疾患」(p.171) <b>総合医療論</b> ：第3章 F-1-1 「ストレス」(p.94)
	B 回復過程	神経内分泌の反応	「神経内分泌の反応」ではなく「神経系および内分泌系の反応」とした場合、以下が該当する。 <b>臨床外科看護総論</b> ：第1章 B-2 「侵襲に対する生体反応」(p.14～16) <b>クリティカルケア</b> ：第3章 A-2 「生体侵襲と神経系・内分泌系の反応」(p.58～61)
		免疫系の反応	<b>病理学</b> ：第2章 B 「細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症」(p.24～29) <b>臨床外科看護総論</b> ：第1章 B-2 「侵襲に対する生体反応」(p.14～16)
		代謝系の反応	<b>病態生理学</b> ：第1章 A-3 「正常への回復に影響する要因」(p.4) <b>臨床外科看護総論</b> ：第1章 B-2 「侵襲に対する生体反応」(p.14～16)
		回復に影響する身体・心理・社会的要因	<b>病態生理学</b> ：第1章 A-3 「正常への回復に影響する要因」(p.4)

目標Ⅱ. 疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 基本的な病因とその成り立ち	A 細胞の障害	萎縮、変性、肥大	病理学：第2章A「細胞・組織の損傷と適応」(p.14~23) 病態生理学：第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10)
		壊死〈ネクローシス〉とアポトーシス	病理学：第2章A-3「細胞の死」(p.19~20) 病態生理学：第1章C-2「細胞の死」(p.10~11)
		創傷と治癒	病理学：第2章B-3「組織の修復と創傷治癒」(p.26~29) 病態生理学：第1章C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨床外科看護総論：第1章E「創傷治癒」(p.34~52) 救急看護学：第6章O「創傷処置」(p.351~352)
	B 生体の障害	呼吸障害	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章E「呼吸不全」(p.192~196) 病態生理学：第7章B「呼吸困難と呼吸不全」(p.125~126)
		循環障害、臓器不全	成人看護学 [3] (循環器)：第3章H「ショック」(p.44~46) 病理学：第5章「循環障害」(p.71~92) 病態生理学：第1章B「循環障害」(p.4~8) 救急看護学：第5章D-1「ショックとは」(p.198~202) クリティカルケア看護学：第3章C「循環機能障害」(p.80~101)、I「多臓器障害」(p.158~165)
		炎症、損傷	病理学：第2章C「炎症の分類と治療」(p.29~32) 病態生理学：第1章C-4「炎症」(p.12~14) 薬理学：第6章B「炎症と抗炎症薬」(p.134~140) 臨床外科看護総論：第1章C「炎症」(p.21~25)、第2章C-1「外傷」(p.63~67)
		免疫異常、アレルギー	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章C「アレルギーのしくみ」(p.24~30) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.121~128) 病理学：第3章A「免疫と免疫不全」(p.34~41)、B「アレルギーと自己免疫疾患」(p.42~49) 病態生理学：第3章C「免疫反応の過剰」(p.46~54) 微生物学：第6章C-4「アレルギー(過敏症)」(p.116)、5「自己寛容と自己免疫」(p.116)
		内分泌・代謝異常	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章A「内分泌疾患」(p.82~132)、B「代謝疾患」(p.132~187) 生化学：第4章G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94~96)、第6章D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第14章C-5「ホルモンの異常による疾患」(p.268) 病理学：第6章「代謝障害」(p.93~102)、第16章B「内分泌器官の疾患」(p.284~294) 病態生理学：第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196~220)
		廃用症候群	老年看護 病態・疾患論：第6章A「高齢者におけるリハビリテーションとは」(p.284) 病理学：第7章A-2-4「廃用症候群」(p.105) リハビリテーション看護：第3章B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94~96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)、第4章A-5-2「運動障害」(p.148~164)、B-5-1「運動障害」(p.201~218)
		老年症候群	老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.48~92) 病理学：第7章A-2「老年症候群」(p.104~105) 病態生理学：第1章G-1-2「個体の老化」(p.24~25)
遺伝子異常、先天異常		小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15) 生化学：第4章G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94~96)、第6章D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第10章B-3-2「メンデルの法則に従う遺伝病」(p.180~181)、第11章D「DNA修復機構の異常による遺伝性疾患」(p.209) 病理学：第8章「先天異常と遺伝性疾患」(p.115~134) 病態生理学：第1章F「先天異常と遺伝子異常」(p.21~24) がん看護学：第1章C-3「家族性腫瘍・遺伝性腫瘍への対応」(p.32~35)	
腫瘍		成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-2「脳腫瘍」(p.147~153) 生化学：第15章「がん」(p.269~283)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>病理学：第9章「腫瘍」(p.135～166)                      病態生理学：第1章F「腫瘍」(p.18～21)                      臨床外科看護総論：第2章B「腫瘍」(p.55～63)                      がん看護学：第2章B「がん特有の病態と症候」(p.66～71)</p>
		中毒、放射性障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章G「中毒」(p.215～218)                      生化学：第9章B「生体異物代謝」(p.160～164)、第11章B-1「DNA損傷」(p.199～200)                      病理学：第10章「生活習慣と環境因子による生体の障害」(p.167～176)                      救急看護学：第5章J-NOTE「放射線障害」(p.267)、第5章K「中毒への対応」(p.268～273)                      臨床放射線医学：第11章A「放射線障害」(p.266～270)</p>
	C 人と病原体の関わり	感染源と感染経路	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章A-1「感染症の原因」(p.234～237)                      病理学：第4章A「感染の成立と感染症の発病」(p.56～64)                      病態生理学：第1章D-2「感染の成立」(p.16)                      微生物学：第5章B-1「感染源」(p.64～67)、B-2「感染経路」(p.67～71)</p>
ウイルス		<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章A「感染症とはなにか」(p.234～239)、第5章「疾患の理解」(p.285～340)                      病理学：第4章B-1「ウイルス感染症」(p.64～65)                      病態生理学：第1章D-1-2「病原体」(p.15)                      薬理学：第3章C-2「抗ウイルス薬」(p.92～96)                      微生物学：第12章「病原ウイルスとウイルス感染症」(p.257～304)                      臨床検査：第8章C-6「ウイルス」(p.267～270)</p>	
細菌		<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章A「感染症とはなにか」(p.234～239)、第5章「疾患の理解」(p.285～340)                      病理学：第4章B-2「細菌感染症」(p.65～66)                      病態生理学：第1章D「感染症」(p.14～18)                      薬理学：第3章「抗菌薬」(p.75～90)                      微生物学：第11章「病原細菌と細菌感染症」(p.195～256)                      臨床検査：第8章C「各種病原体と検査」(p.257～272)</p>	
真菌		<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章A「感染症とはなにか」(p.234～239)、第5章P「真菌感染症」(p.322～324)                      病理学：第4章B-3「真菌感染症」(p.66)                      薬理学：第3章C-2「抗真菌薬」(p.90～92)                      微生物学：第13章「病原真菌と真菌感染症」(p.305～314)                      臨床検査：第8章C-2「真菌」(p.264)</p>	
薬剤耐性 (AMR) (多剤耐性菌)		<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章S「多剤耐性菌感染症」(p.338～340)                      病理学：第4章C-1-3「薬剤耐性菌と抗菌薬の適正使用」(p.68)                      病態生理学：第1章D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17～18)                      薬理学：第3章A-3「薬物耐性」(p.71～72)                      微生物学：第9章A-3「薬剤耐性」(p.152～153)、第10章B-2-3「院内感染で問題となる細菌」(p.179～180)                      公衆衛生：第6章D-6「多剤耐性菌」(p.176)                      臨床検査：第8章A-5「耐性菌の検査」(p.247)</p>	

目標Ⅲ. 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 疾病 に対する 医療	A 診断の基本と方法	医療面接(問診)、身体診察(視診、触診、聴診、打診)	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第4章C-1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.142～149)                      基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第12章A「診察の介助」(p.436～437)</p>
		検体検査	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章B「検体検査」(p.407～422)                      病理学：付章「病理診断の実際」(p.325～334)                      臨床検査：第1章B-1「検体検査」(p.8)</p>
		生体機能検査	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章C「生体情報のモニタリング」(p.422～434)                      臨床検査：第10章I「生理機能検査」(p.289～334)</p>
		画像検査	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第12章B「検査・処置の介助」(p.437～456)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床検査：第10章Ⅱ「画像検査」(p.334～344) 臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.17～177)
		内視鏡検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第12章B「検査・処置の介助」(p.437～456) 成人看護学 [5] (消化器)：第4章B-6「内視鏡検査」(p.89～94) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355)
		心理・精神機能検査	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章A-6「心理的特性をはかる検査」(p.74～79)
	B 薬物の特性	与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.309～376) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-1「事故の視点からみた内服与薬業務の特性——注射業務との違いから理解する」(p.96～100) 薬理学：第2章B-1「薬物の投与経路」(p.25～29) 臨床薬理学：第1章A「医薬品の取り扱い」(p.6～22)、B-1「患者と薬物療法」(p.23～25)
		薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章A-1「薬物の基本的性質」(p.310～311) 薬理学：第2章B「薬の体内動態(薬物動態学)」(p.24～40) 臨床薬理学：第1章A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)
		薬理作用と副作用(有害事象)	看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-1-3「間違いが事故に発展する危険性——注射業務との比較」(p.100) 薬理学：第2章A「薬が作用するしくみ(薬力学)」(p.16～23)、E-2「薬物の副作用」(p.50～53) 臨床薬理学：第1章B-2「薬物治療の評価」(p.26～30)
	C 治療方法	手術療法(麻酔を含む)	〔「成人看護学」各巻の第4章BまたはC〕 薬理学：第8章B「全身麻酔薬」(p.168～172) 臨床外科看護総論：第3章A「麻酔法」(p.76～101)、第4章「外科的治療の実際」(p.144～182) がん看護学：第4章B「手術療法」(p.111～127) 臨床薬理学：第2章F「鎮静薬」(p.65～72)、第4章G-1「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」(p.297～303)
		化学療法	薬理学：第4章A「がん治療に関する基礎事項」(p.104～108) がん看護学：第4章C「薬物療法」(p.128～158)
		放射線治療	がん看護学：第4章D「放射線療法」(p.159～181) 臨床放射線医学：第2部「放射線治療」(p.179～261)
		輸血	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章I「輸血管理」(p.369～375) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章C-5-2「出血とその対策」(p.94～96) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章D「輸血業務と事故防止」(p.83～95) 薬理学：付章B「輸血剤」(p.321～325) 臨床外科看護総論：第3章E「輸血療法」(p.124～135) 救急看護学：第6章H-2「輸血」(p.325～326) 臨床検査：第6章H「輸血に関する検査」(p.205～208)
		リハビリテーション、運動療法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.266～277) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章F「心臓リハビリテーションと看護」(p.357～367) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章C-3「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.314～318) リハビリテーション看護：全体
		食事療法	栄養学：第9章F「疾患・症状別食事療法」(p.206～226) 栄養食事療法：全体
		臓器移植、再生医療	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章A-1「移植・再生医療」(p.326～330) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章F「腎移植」(p.109～112) 病理学：第3章C「移植と再生医療」(p.49～54) 臨床外科看護総論：第4章C「臓器移植」(p.169～182) 臨床外科看護各論：第1章I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17～21)、第2章I-A-5-2「心臓移植」(p.111)、第3章I-D-11「肝移植」(p.272～273) 救急看護学：第5章O-1-4「脳死と臓器移植」(p.287～289)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		人工臓器・透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 E 「透析療法」 (p.102~109)
		精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B 「精神療法」 (p.239~265)
	D 医療による健康被害	薬害	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 H 「薬物アレルギー」 (p.51~53) 病理学 : 第1章 B-3-2 「医原病」 (p.11) 病態生理学 : 第1章 A-2-2 「公害病・医原病・職業病」 (p.3~4)
		ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-1 「肝炎」 (p.210~230) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 F-4 「ウイルス性肝炎」 (p.299~301) 病理学 : 第14章 D-2-2 「ウイルス性肝炎」 (p.251~252) 微生物学 : 第12章 C-1 「肝炎ウイルス」 (p.296~301)
		院内感染	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 A-4 「院内感染の防止」 (p.67~68) 成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 A-1 「多剤耐性菌と院内感染」 (p.222~224)、第2章 A-2 「市中感染と医療関連感染」 (p.237~238) 病理学 : 第4章 C-2 「医療関連感染」 (p.68~69) 微生物学 : 第10章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.177~181)

目標Ⅳ. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-1-2 「急性気管支炎」 (p.139)、A-3 「肺炎」 (p.142~153)、B 「間質性肺疾患」 (p.164~176)、I-1-1 「胸膜炎」 (p.213~214) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 B 「上気道感染症」 (p.287~289)、C 「下気道感染症」 (p.289~292) 病理学 : 第13章 A-1 「上気道炎」 (p.210)、A-2 「鼻炎・副鼻腔炎」 (p.210)、B-2 「肺炎」 (p.213~222)、B-3-1 「慢性気管支炎」 (p.222)、C-1-2 「胸膜炎」 (p.229~230) 病態生理学 : 第7章 C 「呼吸器系の防御機構の障害」 (p.126~132)
		気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 A 「気管支喘息」 (p.40~42) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第5章 B-2-2 「気管支喘息」 (p.113~117) 病理学 : 第13章 B-3-3 「気管支喘息」 (p.223~224) 病態生理学 : 第7章 B-4 「気管支喘息」 (p.131~132) 臨床薬理学 : 第3章 F 「気管支喘息」 (p.111~119)
		慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188) 病理学 : 第13章 B-3-NOTE 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.222) 病態生理学 : 第7章 D-5 「閉塞性肺疾患」 (p.135~138) リハビリテーション看護 : 第5章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.264~280) 臨床検査 : 第10章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.308~318) 臨床薬理学 : 第3章 G 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.120~124)
		肺循環障害(肺高血圧、肺塞栓症)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 D-1 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191)、D-2 「肺高血圧症」 (p.191~192) 病理学 : 第13章 B-4 「肺の循環障害」 (p.224~225) 病態生理学 : 第7章 F 「肺循環の障害」 (p.138~139)
		肺結核	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-4 「結核」 (p.153~163) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 C-3 「肺結核」 (p.291~292) 病理学 : 第13章 B-2-1 「●肺結核症」 (p.215~217) 病態生理学 : 第7章 C-2-5 「肺結核」 (p.130) 臨床検査 : 第8章 C-3 「抗酸菌」 (p.264~266)
		気胸	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 I-3 「自然気胸」 (p.214~217) 病理学 : 第13章 C-1-3 「気胸」 (p.230) 病態生理学 : 第7章 B-2-2 「気胸」 (p.134) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-B-1 「自然気胸」 (p.22~23)
		腫瘍(肺癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 G 「肺腫瘍」 (p.199~212)、I-5 「胸膜腫瘍」 (p.217~218) 病理学 : 第13章 B-5 「肺がん」 (p.226~229)、C-1-4 「悪性胸膜中皮腫」 (p.230~231) 病態生理学 : 第7章 D-3 「気道における空気の通過障害」 (p.134)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			臨床外科看護各論：第1章I-A-5「肺良性腫瘍」(p.13)、I-A-6「肺がん」(p.13~21)、I-B-3「悪性胸膜中皮腫」(p.23) 臨床検査：第6章G「腫瘍マーカーの検査」(p.201~204)	
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot〈フアロー〉四徴症)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章I「先天性心疾患」(p.215~223) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第8章B-2「先天性心疾患」(p.196~205) 病理学：第11章B-2「先天性心疾患(心奇形)」(p.184~187) 病態生理学：第6章A-2-c-1「先天性心疾患」(p.100~103) 臨床外科看護各論：第6章I-D「先天性心疾患」(p.513~532) 臨床検査：第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~337)	
		虚血性心疾患(狭心症、急性冠症候群)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章A「虚血性心疾患」(p.122~151) 病理学：第11章B-5「虚血性心疾患」(p.188~192) 病態生理学：第6章A-2-a「冠循環の異常」(p.93~97) 臨床外科看護各論：第2章I-A-3-b「虚血性心疾患」(p.99~105) リハビリテーション看護：第5章B「虚血性心疾患」(p.281~298) 臨床検査：第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学：第3章B「急性冠症候群」(p.86~91)	
		心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章G-1「心筋症」(p.209~213) 病理学：第11章B-6「心筋症」(p.193) 病態生理学：第6章A-2-c-3「心筋症」(p.105) 臨床検査：第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)	
		心不全(急性心不全、慢性心不全)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章B「心不全」(p.152~164) 病理学：第11章B-3「心不全」(p.187~188) 病態生理学：第6章A-2-e「心不全」(p.106~107) 臨床検査：第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学：第3章C「心不全」(p.92)	
		心タンポナーデ	成人看護学 [3] (循環器)：第5章F-2「心タンポナーデ」(p.208) 病理学：第11章B-5-2「心筋梗塞」(p.190~192) 病態生理学：第6章b「心膜の障害」(p.105~106) 救急看護学：第5章I-1-3「各部の外傷 胸部外傷」(p.243~245) 臨床検査：第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~337)	
		不整脈(上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章D「不整脈」(p.175~201) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章E-5「不整脈」(p.54) 病態生理学：第6章A-2-b「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」(p.97~100) 臨床外科看護各論：第2章I-A-4「不整脈の外科的治療」(p.105~107) 臨床検査：第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学：第3章D「不整脈」(p.99~104)	
		炎症性疾患(感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章E「弁膜症」(p.201~207)、F「心膜炎」(p.207~209) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章D「心血管系感染症」(p.292~293) 病理学：第11章B-7「心内膜と心膜の疾患」(p.193~195) 病態生理学：第6章A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103~105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105~106) 臨床外科看護各論：第2章I-A-3-a-4「感染性心内膜炎」(p.98~99) 臨床検査：第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)	
		弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章E「弁膜症」(p.201~207) 病理学：第11章B-8「心臓弁膜症」(p.195~196)	
		B 血管系の疾患の病態と診断・治療	大動脈瘤、大動脈解離	成人看護学 [3] (循環器)：第5章J-1「大動脈瘤」(p.223~225) 病理学：第11章A-3「動脈瘤・大動脈解離」(p.183) 病態生理学：第6章B-2-c-2「動脈瘤」(p.115) 臨床外科看護各論：第2章I-B-3「動脈瘤」(p.121~130)
			閉塞性動脈硬化症、Buerger〈バージャー〉病、高安動脈炎	成人看護学 [3] (循環器)：第5章J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.227) 病態生理学：第6章B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115) 臨床外科看護各論：第2章I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.114~118)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		挫滅（圧挫）症候群（crush syndrome）	看護の統合と実践 [3]（災害看護学・国際看護学）：第2章 B-2-2「災害と健康障害」（p.24～32） 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」四肢外傷（p.246～247）	
		下肢静脈瘤、深部静脈血栓症	成人看護学 [2]（呼吸器）：第5章 D-1「肺血栓塞栓症」（p.188～191） 成人看護学 [3]（循環器）：第5章 K-3「静脈瘤」（p.230～231） 病理学：第5章 F-1「血栓塞栓症」（p.81～82）、第11章 A-4「静脈の疾患」（p.183） 病態生理学：第6章 B-2-d「静脈の障害」（p.115～117） 臨床外科看護各論：第2章 I-B-4-1「下肢静脈瘤」（p.130～133）、I-B-4-2「深部静脈血栓症」（p.133～135）	
		C 血圧異常の病態と診断・治療	動脈硬化症	成人看護学 [3]（循環器）：第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」（p.145～151） 病理学：第11章 A-2「動脈硬化症」（p.180～183） 病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」（p.115）
			本態性高血圧	成人看護学 [3]（循環器）：第5章 C-2「本態性高血圧」（p.170～172） 成人看護学 [8]（腎・泌尿器）：第3章 E-1「高血圧」（p.52～53） 病理学：第5章 I「高血圧症」（p.86～89） 病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」（p.114） 臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」（p.80～85）
			二次性高血圧	成人看護学 [3]（循環器）：第5章 C-3「二次性高血圧」（p.172～174） 成人看護学 [8]（腎・泌尿器）：第3章 E-1「高血圧」（p.52～53） 病理学：第5章 I「高血圧症」（p.86～89） 病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」（p.114） 臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」（p.80～85）
			起立性低血圧	成人看護学 [3]（循環器）：第5章 C-4-1「起立性低血圧」（p.174）
			迷走神経反射	解剖生理学：第8章 K-4-2「防衛反応と死にまね反応」（p.428～429）
		D ショックの病態と診断・治療	心原性ショック	成人看護学 [3]（循環器）：第3章 H「ショック」（p.44～46） 病理学：第5章 K「ショックと臓器不全」（p.90～92） 救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」（p.197～205）
			出血性ショック	成人看護学 [3]（循環器）：第3章 H「ショック」（p.44～46） 病理学：第5章 K「ショックと臓器不全」（p.90～92） 救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」（p.197～205）
			血流分布異常性ショック	成人看護学 [3]（循環器）：第3章 H「ショック」（p.44～46） 病理学：第5章 K「ショックと臓器不全」（p.90～92） 病態生理学：第6章 B-2-a-2「ショック」（p.112～114） 救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」（p.197～205）
			心外閉塞・拘束性ショック	成人看護学 [3]（循環器）：第3章 H「心外閉塞・拘束性ショック」（p.44～46） 病理学：第5章 K「ショックと臓器不全」（p.90～92） 病態生理学：第6章 B-2-a-2「ショック」（p.112～114） 救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」（p.197～205）
	7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（咽頭炎、扁桃炎）	成人看護学 [11]（感染症）：第5章 B-2「急性咽頭炎・扁桃腺炎」（p.288） 成人看護学 [14]（耳鼻咽喉）：第5章 C-2-1「咽頭炎」（p.148～149）、C-2-2「急性扁桃炎」（p.149～150）、C-2-3「慢性扁桃炎（反復性扁桃炎）」（p.150～151） 病理学：第13章 A-3「慢性扁桃炎」（p.211）
う歯、歯周病			成人看護学 [15]（歯・口腔）：第5章 A-1「齲蝕および歯髄疾患」（p.84～93）、B「口腔領域の炎症」（p.97～101）	
腫瘍（舌癌、咽頭癌）			成人看護学 [14]（耳鼻咽喉）：第5章 C-1-7「口腔内腫瘍」（p.147～148）、C-2-8「咽頭がん」（p.155～157） 成人看護学 [15]（歯・口腔）：第5章 E-2「悪性腫瘍」（p.124～128） 病理学：第14章 A-2「●口腔がん」（p.234） 臨床外科看護各論：第5章 I-A-4「口腔がん」（p.438）、I-A-6「咽頭がん」（p.439～440）	
B 上部消化管の疾患の病態と診断・治療		炎症性疾患（逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症）	成人看護学 [5]（消化器）：第5章 A-3「胃食道逆流症」（p.149～152）、B-2「胃炎」（p.154～156）、B-3「胃・十二指腸潰瘍」（p.156～165） 病理学：第14章 A-3-1「食道炎」（p.235）、B-2-1「胃炎」（p.237～238） 病態生理学：第8章 B-2-2「逆流防止機構の障害」（p.147）、C-1「胃の防御機能の破綻」（p.148～150）	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>臨床外科看護各論：第3章 I-A-4 「逆流性食道炎」(p.176～178)  臨床検査：第5章 B-6 「ペプシノゲン(PG)」(p.144)、第8章 C-1-4 「グラム陰性桿菌」(p.260～264)  臨床薬理学：第3章 I 「胃食道逆流症」(p.132～136)</p>
		潰瘍性疾患(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 B 「胃・十二指腸疾患」(p.152～172)  病理学：第14章 B-2-2 「胃潰瘍・十二指腸潰瘍」(p.238～240)  病態生理学：第8章 C-1 「胃の防御機構の破綻」(p.148～150)  臨床外科看護各論：第3章 I-B-2 「胃・十二指腸潰瘍」(p.188～193)  臨床検査：第7章 J 「消化管ホルモンの検査」(p.234～235)、第10章 III 「内視鏡検査」(p.345～355)  臨床薬理学：第3章 H 「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)</p>
		腫瘍(食道癌、胃癌)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 A-1 「食道がん」(p.142～148)、B-4 「胃がん」(p.165～172)  病理学：第14章 A-3-3 「食道がん」(p.236～237)、B-2-3 「胃がん」(p.240～242)、C-2-6 「大腸がん」(p.247～248)  病態生理学：第8章 B-2-3 「食道がん」(p.148)、D-3 「胃がん」(p.151)  臨床外科看護各論：第3章 I-A-7 「食道がん」(p.179～184)、I-B-3 「胃がん」(p.193～201)  臨床検査：第10章 III 「内視鏡検査」(p.345～355)</p>
		食道静脈瘤	<p>病理学：第14章 A-3-2 「食道静脈瘤」(p.235～236)  臨床外科看護各論：第3章 I-F-2-2 「食道・胃静脈瘤」(p.184～290)</p>
C	下部消化管の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn(クローン)病、虫垂炎、痔瘻)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-2 「腸炎」(p.173～178)、C-4 「虫垂炎」(p.184～186)  成人看護学 [11] (感染症)：第5章 E-2 「虫垂炎」(p.296)  病理学：第14章 C-2 「腸の疾患」(p.242～246)  臨床外科看護各論：第3章 I-C-4 「非特異性炎症性腸疾患」(p.210～217)、I-C-6 「虫垂炎」(p.218～220)、I-C-12-2 「痔瘻」(p.239)  臨床検査：第6章 A 「炎症マーカーの検査」(p.187～188)</p>
		イレウス	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-6 「腸閉塞症」(p.190～195)  病理学：第14章 C-2-7 「腸閉塞とイレウス」(p.248)  病態生理学：第8章 D-3-2 「腸閉塞」(p.154～155)  臨床外科看護各論：第3章 I-C-7 「イレウス」(p.220～223)</p>
		腫瘍(大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-9 「腸管ポリープおよびポリーポーシス」(p.198～201)、C-10 「大腸がん」(p.201～207)  病理学：第14章 C-2-5 「大腸ポリープ」(p.246～247)、C-2-6 「大腸がん」(p.247～248)  臨床外科看護各論：第3章 I-C-9 「腸管ポリープ」(p.225～228)、I-C-11-1 「大腸がん」(p.229～236)  臨床検査：第10章 III 「内視鏡検査」(p.345～355)</p>
		慢性便秘症	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 G 「便秘」(p.52～55)  病態生理学：第8章 D-2 「便秘」(p.152～153)  臨床薬理学：第2章 C 「便秘治療薬」(p.52～56)、D 「下痢治療薬」(p.57～59)</p>
D	肝臓・胆・膵臓の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患(肝炎、胆管炎、胆嚢炎、膵炎)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-1 「肝炎」(p.210～230)、D-8 「急性胆嚢炎および胆管炎」(p.252～253)、E-1 「膵炎」(p.257～261)  成人看護学 [11] (感染症)：第5章 F 「肝胆道系感染症」(p.297～301)  病理学：第14章 D-2 「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」(p.250～258)、E 「膵臓の疾患」(p.259)  病態生理学：第8章 E-2 「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160～164)、F-2 「膵臓の機能の障害」(p.169～170)  臨床外科看護各論：第3章 I-D-8 「胆嚢炎・胆管炎」(p.267～269)、I-G-3 「膵炎」(p.296～298)  臨床検査：第5章 B 「血清酵素の検査」(p.139～144)  臨床薬理学：第3章 J 「慢性肝炎」(p.137～145)</p>
		肝硬変	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-2 「肝硬変症」(p.230～237)  病理学：第14章 D-2-5 「肝硬変」(p.255～256)  病態生理学：第8章 E-2-4 「肝硬変」(p.161)  臨床検査：第5章 B 「血清酵素の検査」(p.139～144)</p>
		腫瘍(肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-5 「肝(臓)がん」(p.243～247)、D-9 「胆管がん」(p.253～254)、D-10 「胆嚢がん」(p.254～255)、E-2 「膵(臓)がん」(p.262～264)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			<p><b>病理学</b>：第14章D-2-6「肝がん」(p.256～257)、E-3「膵がん」(p.260)  <b>病態生理学</b>：第8章E-2-6「肝がん」(p.163)、F-2-3「膵臓がん」(p.170)  <b>臨床外科看護各論</b>：第3章I-D-3「肝(臓)がん」(p.252～260)、I-D-10「胆道がん」(p.269～272)、I-G-5「膵(臓)がん」(p.300～303)  <b>臨床検査</b>：第6章G「腫瘍マーカーの検査」(p.201～204)</p>	
		脂肪肝、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎	<p><b>成人看護学 [5] (消化器)</b>：第5章D-1-7「アルコール性肝障害」(p.226)、D-1-8「脂肪肝」(p.227)  <b>病理学</b>：第14章D-2-3「脂肪性肝疾患」(p.252～254)  <b>病態生理学</b>：第8章E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160～164)  <b>臨床検査</b>：第5章B「血清酵素の検査」(p.139～144)</p>	
		胆石症	<p><b>成人看護学 [5] (消化器)</b>：第3章D-7「胆石症」(p.248～252)  <b>病理学</b>：第14章D-2-7「胆嚢炎・胆石症」(p.257～258)  <b>病態生理学</b>：第8章E-4「胆汁産生と胆道の障害」(p.165～166)  <b>臨床外科看護各論</b>：第3章I-D-7「胆石症」(p.263～267)  <b>臨床検査</b>：第5章E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.157～160)</p>	
	E 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	鼠径ヘルニア	<p><b>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)</b>：第9章B-7-6「外鼠径ヘルニア」(p.258～259)  <b>臨床外科看護各論</b>：第3章I-H-2-1「鼠径部ヘルニア」(p.311)、第6章I-C-23「鼠径ヘルニア」(p.506)</p>	
		腹膜炎	<p><b>成人看護学 [5] (消化器)</b>：第5章C-3「腹膜炎」(p.180～184)  <b>病理学</b>：第14章B-3「●腹膜炎」(p.249)</p>	
		横隔膜ヘルニア	<p><b>成人看護学 [2] (呼吸器)</b>：第5章J-3-3「横隔膜ヘルニア」(p.220～221)</p>	
		腹壁癒痕ヘルニア	<p><b>臨床外科看護各論</b>：第3章I-H-2-1「腹壁ヘルニア」(p.311)</p>	
	8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	間脳・下垂体疾患	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第5章A-1「視床下部-下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部-下垂体後葉系疾患」(p.94～97)  <b>成人看護学 [7] (脳・神経)</b>：第5章A-2-2「おもな脳腫瘍」(p.149～153)  <b>病理学</b>：第16章B-1「下垂体の疾患」(p.284～287)  <b>病態生理学</b>：第10章A-2「視床下部-下垂体系のはたらきとその異常」(p.197～200)  <b>臨床外科看護各論</b>：第4章I-A-4-4「下垂体腺腫」(p.389～391)  <b>臨床検査</b>：第7章A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.212～216)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.216～217)</p>
			甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第5章A-3「甲状腺疾患」(p.97～112)  <b>病理学</b>：第16章B-2「甲状腺の疾患」(p.287～289)  <b>病態生理学</b>：第10章B-3「甲状腺のはたらきとその異常」(p.200～203)  <b>臨床外科看護各論</b>：第5章I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444～455)  <b>臨床検査</b>：第7章C「甲状腺ホルモンの検査」(p.218～224)</p>
			副甲状腺〈上皮小体〉疾患	<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第5章A-4「副甲状腺疾患」(p.113～119)  <b>病理学</b>：第16章B-3「副甲状腺の疾患」(p.289～290)  <b>病態生理学</b>：第10章A-4「副甲状腺のはたらきとその異常」(p.204～205)  <b>臨床外科看護各論</b>：第5章I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444～455)  <b>臨床検査</b>：第7章D「副甲状腺ホルモンの検査」(p.224～225)</p>
副腎皮質・髄質疾患			<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第5章A-5「副腎疾患」(p.119～125)  <b>病理学</b>：第16章B-4「副腎の疾患」(p.290～292)  <b>病態生理学</b>：第10章A-5「副腎皮質のはたらきとその異常」(p.205～208)、B-6「副腎髄質のはたらきとその異常」(p.208)  <b>臨床外科看護各論</b>：第3章I-I「副腎の疾患」(p.312～319)  <b>臨床検査</b>：第7章E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.225～230)、F「副腎髄質ホルモンの検査」(p.230～231)</p>	
腫瘍(下垂体腫瘍、甲状腺癌)			<p><b>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)</b>：第5章A-1「視床下部-下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部-下垂体後葉系疾患」(p.94～97)、A-3-6「甲状腺腫瘍」(p.108～112)、A-8「多発性内分泌腫瘍症」(p.128)  <b>病理学</b>：第16章B-1-2「下垂体腺腫」(p.285～287)、B-2-5「甲状腺がん」(p.288～289)  <b>臨床外科看護各論</b>：第4章I-A-4-4「下垂体性腺腫」(p.389～391)、第5章I-B-3「甲状腺腫瘍」(p.450～453)  <b>臨床検査</b>：第7章A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.212～216)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.216～217)、C「甲状腺ホルモンの検査」(p.218～224)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	B 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	メタボリックシンドローム、肥満症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-3 「肥満症とメタボリックシンドローム」 (p.177~183) 病理学 : 第6章 A-1 「肥満」 (p.94) 臨床検査 : 第5章 D 「脂質代謝の検査」 (p.151~157)	
		糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164) 病理学 : 第6章 C-1 「糖尿病」 (p.98~99) 病態生理学 : 第10章 B 「糖代謝とその異常」 (p.209~214) 臨床検査 : 第5章 C 「糖代謝の検査」 (p.144~151) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159~168)、第4章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252~258)	
		脂質異常症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-2 「脂質異常症」 (p.164~177) 病理学 : 第6章 A-4 「脂質異常症」 (p.96) 病態生理学 : 第10章 C 「脂質代謝とその異常」 (p.215~217) 臨床検査 : 第5章 D 「脂質代謝の検査」 (p.151~157) 臨床薬理学 : 第3章 N 「脂質異常症」 (p.169~174)	
		高尿酸血症、痛風	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-4 「尿酸代謝異常」 (p.183~187) 病理学 : 第6章 D-1 「痛風」 (p.100) 病態生理学 : 第10章 D 「尿酸代謝とその異常」 (p.217~218) 臨床検査 : 第5章 F 「窒素化合物の検査」 (p.160~161)	
		ビタミン欠乏症	生化学 : 第2章 D 「ビタミン」 (p.39~43) 栄養学 : 第9章 F-5-4 「ビタミンの欠乏症・過剰症」 (p.219~220) 臨床検査 : 第5章 M 「ビタミンの検査」 (p.182)	
	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療	水・電解質の異常(脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 C 「浮腫」 (p.49~51)、D 「脱水」 (p.51~52)、E-4 「電解質の異常」 (p.57~58) 病態生理学 : 第4章 A-2 「体液・電解質の異常」 (p.59~65) 救急看護学 : 第5章 G 「体液・代謝異常への対応」 (p.223~230) 臨床検査 : 第5章 I 「水・電解質の検査」 (p.169~174) 臨床薬理学 : 第4章 A-5 「持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整」 (p.231~237)、B-1 「脱水症状に対する輸液による補正」 (p.238~243)	
		酸塩基平衡の異常(アシドーシス、アルカローシス)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 B-4 「酸塩基平衡」 (p.38~39)、第4章 B-8-2 「酸塩基平衡」 (p.104~107) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-5 「酸塩基平衡の障害」 (p.58~59) 病態生理学 : 第4章 B-2 「酸・塩基平衡の異常」 (p.67~70) 臨床検査 : 第5章 J 「血液ガス分析」 (p.174~179)	
		9 造血機能	A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髄異形成症候群、二次性貧血)
		A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	白血球減少症	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-1 「貧血」 (p.35)、C-1 「貧血」 (p.42~44)、第4章 A 「赤血球系の異常」 (p.54~72) 病理学 : 第12章 A-2 「貧血」 (p.198~200) 病態生理学 : 第5章 B-2 「赤血球の障害」 (p.75~79)
			出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>、免疫性血小板減少性紫斑病<ITP>、播種性血管内凝固<DIC>)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 D 「出血性疾患」 (p.134~143) 病理学 : 第5章 J 「播種性血管内凝固症候群」 (p.89~90)、第12章 A-7 「出血性疾患」 (p.204) 病態生理学 : 第5章 D-2 「出血傾向」 (p.86~88) クリティカルケア看護学 : 第3章 G 「凝固・線溶系障害」 (p.146~153)
腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)			成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C 「造血器腫瘍」 (p.74~134) 病理学 : 第12章 A-4 「白血病」 (p.201~203)、A-6 「形質細胞腫と多発性骨髄腫」 (p.203~204)、B-1 「悪性リンパ腫」 (p.204~208) 病態生理学 : 第5章 C-3 「白血球の腫瘍化」 (p.82~84)	
10 全身の感染性疾患			A 感染性疾患の病態と診断・治療	ウイルスによる感染症(インフルエンザ、流行性耳下腺炎<ムンプス>、麻疹、風疹、エボラ出血熱、コロナウイルス感染症、ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症)
	A 感染性疾患の病態と診断・治療	ウイルスによる感染症(インフルエンザ、流行性耳下腺炎<ムンプス>、麻疹、風疹、エボラ出血熱、コロナウイルス感染症、ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症)	成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-5 「新興・再興感染症」 (p.230~232)、第5章 B-4 「インフルエンザ、インフルエンザ様疾患」 (p.288)、O 「麻疹・風疹・水痘」 (p.319~321)、R-1 「HIV感染症」 (p.333~337) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I -B-14 「後天性免疫不全症候群(エイズ)」 (p.401~402) 病理学 : 第3章 A-6-2 「続発性免疫不全症とエイズ(AIDS)」 (p.41) 病態生理学 : 第3章 B-3 「T細胞の機能低下」 (p.45) 微生物学 : 第12章 「病原ウイルスとウイルス感染症」 (p.257~304)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		細菌による感染症(結核、コレラ、破傷風、梅毒)	成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-2 「結核」 (p.228)、第5章 C-3 「肺結核」 (p.291)、E-1 「食中毒を主とした消化管感染症」 (p.294~296)、H-4 「梅毒」 (p.305~306) 微生物学 : 第10章 「病原細菌と細菌感染症」 (p.195~255) 病理学 : 第4章 B-2 「細菌感染症」 (p.65~66)
		敗血症	成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 C-2 「敗血症と敗血症性ショック」 (p.244~245)、第5章 M 「菌血症・敗血症」 (p.316~318) 病理学 : 第4章 A-6-2 「敗血症」 (p.63) 病態生理学 : 第1章 B-4-4 「敗血症」 (p.14) 救急看護学 : 第5章 D-NOTE 「敗血症」 (p.199)
11 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	全身性エリテマトーデス (SLE)	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 B 「全身性エリテマトーデス」 (p.156~161) 病理学 : 第3章 B-3 「●全身性エリテマトーデス」 (p.49) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「●全身性エリテマトーデス」 (p.52)
		関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 I-B-2 「関節リウマチとその類縁疾患」 (p.132~140) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 A 「関節リウマチ」 (p.150~156) 生化学 : 第14章 B-3-2 「●JAK-STAT シグナル伝達経路」 (p.258~259) 病理学 : 第3章 B-3 「●関節リウマチ」 (p.49)、第18章 4-2 「関節リウマチ」 (p.315) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「そのほかの全身性自己免疫疾患」 (p.53~54) リハビリテーション看護 : 第3章 C 「関節リウマチ」 (p.116~133) 臨床薬理学 : 第3章 P 「関節リウマチ」 (p.179~184)
		Sjögren (シェーグレン) 症候群	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 D 「シェーグレン症候群」 (p.163~164) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「そのほかの全身性自己免疫疾患」 (p.53~54)
		全身性強皮症	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 E 「全身性強皮症」 (p.164~166) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「そのほかの全身性自己免疫疾患」 (p.53~54)
		皮膚筋炎、多発性筋炎	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 D-2 「多発性筋炎・皮膚筋炎」 (p.183~184) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 F 「多発筋炎・皮膚筋炎」 (p.167~168) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 G-1-3 「皮膚筋炎」 (p.157) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「そのほかの全身性自己免疫疾患」 (p.53~54)
		Behçet (ベーチェット) 病	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 J-1 「神経ベーチェット病」 (p.233~234) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 H 「ベーチェット病」 (p.169~170) 病態生理学 : 第3章 C-2-3 「そのほかの全身性自己免疫疾患」 (p.53~54)
	B アレルギー性疾患の病態と診断・治療	花粉症(アレルギー性鼻炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 B 「アレルギー性鼻炎・結膜炎」 (p.42~43) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 B-2-6 「アレルギー性鼻炎」 (p.137~138) 病理学 : 第3章 B-1-1 「I型アレルギー(即時型アレルギー)」 (p.42~44) 病態生理学 : 第3章 C-1 「I型アレルギー」 (p.46~48) 臨床検査 : 第6章 E 「アレルギー検査」 (p.199~200)
		蕁麻疹	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 F 「蕁麻疹」 (p.50) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-2-1 「蕁麻疹」 (p.88~90) 病理学 : 第19章 B-2 「蕁麻疹」 (p.322~323) 病態生理学 : 第3章 C-1 「I型アレルギー」 (p.46~48)
		接触皮膚炎	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 G 「接触皮膚炎」 (p.50~51) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-1-2 「接触皮膚炎」 (p.84~85) 病理学 : 第3章 B-1-4 「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」 (p.46~47)、第19章 B-1-1 「接触皮膚炎」 (p.322) 病態生理学 : 第3章 C-4 「IV型アレルギー」 (p.50)
		アナフィラキシーショック	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 D 「アナフィラキシー」 (p.45~48) 病理学 : 第3章 B-1-1 「I型アレルギー(即時型アレルギー)」 (p.42~44)、第5章 K 「ショックと臓器不全」 (p.90~92) 病態生理学 : 第6章 B-2-a-1 「ショック」 (p.112~114) 救急看護学 : 第5章 D 「ショック・循環障害への対応」 (p.197~205)
12 神経機能	A 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	脳血管障害(脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1 「脳血管障害」 (p.122~147) 病理学 : 第17章 A-2 「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)と外傷」 (p.296~301) 病態生理学 : 第12章 B-2 「脳循環障害」 (p.240~242) 臨床外科看護学論 : 第4章 I-A-3 「脳血管疾患」 (p.381~385)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			リハビリテーション看護：第4章A「脳血管障害」(p.136～196)
		頭蓋内圧亢進症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-6「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」(p.80～83)、第5章A-2「脳腫瘍」(p.147～153) 病理学：第17章A-2-6「頭蓋内圧亢進症と脳ヘルニア」(p.300～301) 病態生理学：第12章C-2「脳圧の異常による障害」(p.243) 救急看護学：第5章B-2-1「意識障害時の救急処置」(p.182～184)
		変性疾患(Prkinson〈パーキンソン〉病、筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-2「脳・神経の変性疾患」(p.192～204) 病理学：第17章A-4「変性疾患」(p.304～306) 病態生理学：第12章H-3-2「パーキンソン病」(p.262～264)、I-2「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」(p.262～263) リハビリテーション看護：第4章B「パーキンソン病」(p.197～226) 臨床薬理学：第3章Q「パーキンソン病」(p.185～190)
		脱髄疾患(多発性硬化症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-1「脱髄疾患」(p.189～192) 病理学：第17章A-5「脱髄疾患」(p.306～307) 病態生理学：第12章A-5-1「多発性硬化症」(p.300～301)
		認知症(Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症、前頭側頭型認知症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章I「認知症」(p.225～233) 老年看護 病態・疾患論：第4章A「認知症」(p.135～150) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-6-12「認知症」(p.223～229) 病理学：第17章A-4-1「アルツハイマー病」(p.304～305) 病態生理学：第12章G-3「認知症」(p.252) 臨床薬理学：第3章R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191～195)
		感染性疾患(脳炎、髄膜炎)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章F「脳・神経系の感染症」(p.205～215) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章K「中枢神経感染症」(p.311～313) 病理学：第17章A-3「脳・神経系の感染症」(p.301～304) 病態生理学：第12章D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245)
		頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-3「頭部外傷」(p.153～158) 病理学：第17章A-2「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)と外傷」(p.296～301) 臨床外科看護各論：第4章I-A-2「頭部外傷」(p.378～381) 救急看護学：第5章I-1-3「各部の外傷」頭頸部・顔面外傷(p.241～243)
		脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器)：第5章I-D-1「脊髄損傷」(p.110～112) 臨床外科看護各論：第4章I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398～400) 救急看護学：第5章I-1-3「各部の外傷」脊髄・脊椎損傷(p.243) リハビリテーション看護：第4章C「脊髄損傷」(p.226～259)
		機能性疾患(てんかん)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章H「てんかん」(p.218～225) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-6-2「てんかん」(p.209～211) 病態生理学：第12章E「頭痛」(p.247～248)、H-4「けいれん・てんかん」(p.256～258) 臨床薬理学：第3章T「てんかん」(p.203～208)
		腫瘍(脳腫瘍)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-2「脳腫瘍」(p.147～153) 病理学：第17章A-6「脳腫瘍」(p.307～308) 病態生理学：第12章D「脳腫瘍」(p.245～246) 臨床外科看護各論：第4章I-A-4「脳腫瘍」(p.385～392)
B	末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-3「ギラン・バレー症候群」(p.171～172) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章II-F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.161) 病理学：第17章A-7-1「末梢神経障害」(p.309)
		顔面神経麻痺(Bell〈ベル〉麻痺)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-7「顔面神経麻痺」(p.177～179) 病態生理学：第12章H-NOTE「ベル麻痺」(p.260) 救急看護学：第4章D-1-2「視診」(p.121～123)
		自律神経失調症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5「自律性のある機能の障害」(p.78～79)
C	感覚器系の疾患の病態と診断・治療	視覚障害(白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4-2「特殊感覚の障害」(p.72～73)、B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.73～74) 成人看護学 [13] (眼)：第3章A「視機能に関連した症状」(p.28～31)、第5章B-7「網膜・硝子体の疾患と手術」(p.98～106)、第5章B-8「水晶体の疾患と手術」(p.107～111) 病理学：第19章A-1「眼の疾患」(p.318～320) 病態生理学：第13章A「視覚器の機能とその異常」(p.266～270)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			リハビリテーション看護：第6章A「視覚障害」(p.304～324)
		聴覚障害(難聴、Ménière〈メニエール〉病)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章A-1「難聴」(p.45～46)、第5章A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.119～121) 病理学：第19章A-1「耳の疾患」(p.320～321) 病態生理学：第13章B「聴覚器の機能とその異常」(p.270～274) リハビリテーション看護：第6章B「聴覚障害」(p.324～334)
		嗅覚・味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章B-3「嗅覚障害」(p.50)、第5章C-1-6「味覚障害」(p.147) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第3章B-6「味覚障害」(p.44) 病態生理学：第13章C「味覚・嗅覚とその異常」(p.274～276)
13	A 皮膚の疾患と病態と診断・治療	湿疹、皮膚炎(アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、光線過敏症〈慢性光線性皮膚炎〉)	成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章E「アトピー性皮膚炎」(p.48～50)、G「接触皮膚炎」(p.50～51) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-1「湿疹・皮膚炎群」(p.82～88) 病理学：第19章B-1「湿疹」(p.322)
		蕁麻疹、薬疹	成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章F「蕁麻疹」(p.50)、G「薬物アレルギー」(p.51～53) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-2「蕁麻疹群」(p.88～90) 病理学：第19章B-2「蕁麻疹」(p.322～323)
		感染性疾患(帯状疱疹、蜂窩織炎、白癬、カンジダ症、疥癬)	成人看護学 [11] (感染症)：第5章I「皮膚軟部組織感染症」(p.306～308) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章F「感染症」(p.135～154) 病理学：第19章B-2「蕁麻疹」(p.322～323) 微生物学：第11章A-1-1「黄色ブドウ球菌」(p.197)、A-2-1「化膿レンサ球菌」(p.199)、第12章A-2-2「水痘-帯状疱疹ウイルス」(p.262～163)、第13章C「表在性真菌症をおこす真菌」(p.3113～314)、付章D-3「ヒゼンダニ」(p.334～336)
		腫瘍(色素性母斑、ケロイド、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫)	成人看護学 [12] (皮膚)：第5章E「腫瘍および色素異常症」(p.120～135) 病理学：第19章B-4「皮膚の腫瘍」(p.323～324)
		鶏眼(うおのめ)、胼胝(たこ)	成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-9-4「鶏眼(うおのめ)」(p.99)、A-9-3「胼胝(胼胝腫、たこ)」(p.99)
14	A 運動器系の疾患の病態と診断・治療	骨折、脱臼、捻挫	成人看護学 [10] (運動器)：第5章I「外傷性(外因性)の運動器疾患」(p.86～121) 病理学：第18章1「骨折」(p.312) リハビリテーション看護：第3章B「骨折」(p.92～115)
		骨粗鬆症	成人看護学 [10] (運動器)：第5章D-1「骨粗鬆症」(p.151～152) 老年看護 病態・疾患論：第4章J-7「骨粗鬆症」(p.237～240) 病理学：第18章3「骨粗鬆症」(p.312～314) 病態生理学：第10章E-2-2「骨粗鬆症」(p.219) 臨床薬理学：第3章O「骨粗鬆症」(p.175～178)
		腫瘍(骨肉腫、軟部組織腫瘍)	成人看護学 [10] (運動器)：第5章C「骨腫瘍および軟部腫瘍」(p.143～150) 病理学：第18章6「骨肉腫」(p.316)、7「転移性骨腫瘍」(p.316)
		変形性関節症	成人看護学 [10] (運動器)：第5章B-7「関節の変性疾患：変形性関節症」(p.141～143) 老年看護 病態・疾患論：第4章J-2「変形性膝関節症」(p.232～233) 病理学：第18章4-1「変形性関節症」(p.314)
		腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	成人看護学 [10] (運動器)：第5章H-3「腰部脊柱管狭窄症」(p.167～168)、H-5「椎間板ヘルニア」(p.169～170) 老年看護 病態・疾患論：第4章J-4「椎間板ヘルニア」(p.234～225)、J-5「腰部脊柱管狭窄症」(p.236) 病理学：第18章5「椎間板ヘルニア」(p.315) 臨床外科看護各論：第4章I-B-2「腰椎疾患」(p.394～396)
		炎症性疾患(骨炎、骨髄炎、関節炎)	成人看護学 [10] (運動器)：第5章B「骨・関節の炎症性疾患」(p.129～143) 病理学：第18章2「骨髄炎」(p.312)、4「関節炎」(p.314～315)
		筋ジストロフィー	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章D-1「筋ジストロフィー」(p.179～183) 病理学：第17章B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.310) 病態生理学：第12章I-4「進行性筋ジストロフィー」(p.263)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		重症筋無力症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 D-7 「重症筋無力症」 (p.186~188) 病理学 : 第17章 B-2 「重症筋無力症」 (p.310) 病態生理学 : 第12章 I-3 「重症筋無力症」 (p.263)
15 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	腎炎、慢性腎臓病	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A-4 「慢性腎臓病」 (p.121~123)、C 「糸球体腎炎」 (p.127~133)、D 「全身性疾患による腎障害」 (p.133~142) 病理学 : 第15章 A-2 「糸球体腎炎」 (p.264~266)、A-3 「ネフローゼ症候群」 (p.266~267) 病態生理学 : 第9章 B 「腎機能の障害」 (p.180~188) 臨床検査 : 第5章 H 「腎機能の検査」 (p.164~169) 臨床薬理学 : 第3章 K 「慢性腎臓病(CKD)」 (p.146~152)
		炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.152~158) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 G 「尿路感染症」 (p.301~302) 病理学 : 第15章 A-4 「腎盂腎炎」 (p.267) 病態生理学 : 第11章 C-2 「泌尿器の機能の障害」 (p.191~193)
		腫瘍(腎癌、尿管癌、膀胱癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M 「尿路・性器の腫瘍」 (p.175~184) 病理学 : 第15章 A-6 「腎がん」 (p.268)、A-7-3 「尿管がん」 (p.270) 病態生理学 : 第11章 B-8 「腎臓から発生する腫瘍」 (p.188)、C-3 「尿路系の悪性腫瘍」 (p.194)
		腎・尿路結石	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 L 「尿路結石症」 (p.170~174) 病理学 : 第15章 A-7-1 「尿路結石症」 (p.269) 病態生理学 : 第11章 C-2-2 「通過障害」 (p.192~193)
		排尿障害(過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3 「排泄障害」 (p.75~76) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49) 病態生理学 : 第9章 C-2 「泌尿器の機能の障害」 (p.191~193) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-9 「排尿障害」 (p.190~192)、C-5-3 「排尿障害」 (p.245~248)
		腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A 「腎不全と AKI・CKD」 (p.115~123) 病理学 : 第15章 A-5 「腎不全」 (p.267~268) 病態生理学 : 第11章 B-7 「腎不全」 (p.185~188) 臨床検査 : 第5章 H 「腎機能の検査」 (p.164~169)
16 生殖機能	A 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-3-5 「子宮筋腫」 (p.124~127)、B-3-6 「子宮内膜症」 (p.127~129)、B-5-1 「卵巣の良性腫瘍」 (p.138~142) 病理学 : 第15章 B-3 「女性生殖器の疾患」 (p.272~279) 病態生理学 : 第11章 A 「女性生殖器の機能とその異常」 (p.222~229)
		乳腺の疾患(乳腺炎、乳腺症)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-7-3 「乳腺良性腫瘍性疾患」 (p.168~169)、B-7-5 「炎症」 (p.170~172) 病理学 : 第15章 C 「乳腺の疾患」 (p.279~282) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-D-2 「その他の乳腺疾患」 (p.36~37)
		男性生殖器の疾患(前立腺炎、前立腺肥大)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.152~158)、J-5 「前立腺肥大症」 (p.163~165) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 I-5-1 「前立腺肥大症」 (p.228~229) 病理学 : 第15章 B-2 「男性生殖器の疾患」 (p.271~272) 病態生理学 : 第11章 B-2 「男性生殖器の異常」 (p.232~233)
		腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M 「尿路・性器の腫瘍」 (p.175~184) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-3-3 「子宮頸がん」 (p.116~121)、B-3-4 「子宮体がん」 (p.121~124)、B-5-2 「卵巣の悪性腫瘍」 (p.142~145)、B-7-1 「乳がん(乳腺悪性疾患)」 (p.147~166) 病理学 : 第15章 B-2-2 「前立腺がん」 (p.271)、B-3-5 「子宮頸がん」 (p.276)、B-3-6 「子宮体がん」 (p.277)、B-3-7 「卵巣腫瘍」 (p.277~278) 病態生理学 : 第11章 A-4 「子宮頸がんと子宮体がん」 (p.227~228)、A-6 「卵巣腫瘍」 (p.229)、A-7 「乳がん」 (p.230~231)、B-2 「男性生殖器の異常」 (p.232~233) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-D-1 「乳がん」 (p.26~36)
		生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-6 「性腺疾患」 (p.125~126) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 J-3 「精巣および性機能障害」 (p.65)、O 「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」 (p.189~191) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 C-1 「月経異常・月経随伴症状」 (p.173~178)、C-2 「更年期障害」 (p.178~180) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-11 「性機能障害」 (p.194~195)、C-5-5 「性機能障害」 (p.250~255)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
17 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	せん妄	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章I「認知症」(p.225～233)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：第4章A-4「認知症をきたす疾患の診断と治療」(p.140～147)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章B-2-5「●意識変容」(p.159～160)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章C-2-1「せん妄とは」(p.359～360)</p> <p>臨床外科看護総論：第10章C-3-8「せん妄の予防」(p.378～380)</p> <p>臨床薬理学：第3章R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191～195)</p>
		精神作用物質(アルコール、薬物)使用による精神・行動の障害	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-5「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.201～207)</p>
		統合失調症	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-2「統合失調症」(p.165～182)</p> <p>臨床薬理学：第4章D-2「抗精神病薬の臨時投与」(p.261～268)</p>
		気分(感情)障害(うつ病、双極性感情障害)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-3「気分[感情]障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」(p.182～191)</p> <p>臨床薬理学：第3章S「うつ病・うつ状態」(p.196～202)</p>
		神経症性障害、ストレス関連障害(パニック障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、適応障害)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-4「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」(p.191～201)、C-6-8「適応障害」(p.220～221)</p>
		生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害、非器質性睡眠障害)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-6-4「摂食障害」(p.215～216)、7-1「睡眠障害」(p.229～231)</p>

# 健康支援と社会保障制度

目標Ⅰ. 社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 社会・家族機能と生活基盤の変化	A 生活単位の変化	人口構造	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「母子保健統計」 (p.64~74)</p> <p>医療概論 : 第3章 A-1 「少子高齢化と地域社会の変容」 (p.60)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.104~107)、第8章 B-1-3 「日本の少子化対策」 (p.208~209)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1 「人口の変化」 (p.28~32)</p> <p>総合医療論 : 第3章 D-1 「少子高齢化と人口減少」 (p.78~79)</p>
		家族、世帯	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103~105)、第3章 C-3 「家族」 (p.133~136)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37~39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154~158)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 B-3-1 「家族のライフサイクルにおける発達段階と課題」 (p.137~139)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247~248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34~36)</p> <p>社会学 : 第11章 D 「結婚と家族」 (p.180~183)、E 「保健医療からみた結婚と家族」 (p.183~186)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-a 「家族構造・形態の変遷」 (p.63~69)</p>
	B 家族機能の変化	出生、死亡	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5 「死亡の状況」 (p.120~122)、C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2 「出生と家族」 (p.9~12)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「母子保健統計」 (p.64~74)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C-1-1 「生殖機能」 (p.46~48)、D-1-b-2 「出生率の低下と非婚化」 (p.70~71)</p>
		夫婦、子ども	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C 「成人保健」 (p.225~227)、C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247~248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C-1 「家族の育児機能」 (p.45~51)、C-2 「家族のセルフケア機能」 (p.51~55)</p>
		育児、介護	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2 「労働の実態と社会状況」 (p.31~37)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-4 「育児支援のための母子保健活動」 (p.213~217)、B-7 「地域の母親によるエンパワメント」 (p.223~224)、D-5 「高齢者保健の課題」 (p.258~264)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C-1 「家族の育児機能」 (p.45~51)、C-2 「家族のセルフケア機能」 (p.51~55)</p> <p>総合医療論 : 第3章 D 「少子高齢化社会と地域包括ケア」 (p.77~89)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		家事	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-b 「家族の多様性」 (p.69~78)</p>
		婚姻、離婚	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-2 「結婚と出産」 (p.130~132)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)</p> <p>社会学 : 第11章 D-2 「わが国における結婚と家族の変化」 (p.181~183)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-a 「家族構造・形態の変遷」 (p.63~69)</p>
	C ライフスタイルの変化	雇用形態	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2 「●労働」 (p.63)、B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2 「労働の実態と社会状況」 (p.31~37)、第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)</p> <p>社会学 : 第7章 A-2 「わが国における変化」 (p.108~110)</p>
	女性の労働	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2 「●労働」 (p.63)、B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2 「労働の実態と社会状況」 (p.31~37)、第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)</p> <p>公衆衛生 : 第10章 D-4 「男女共同参画とワークライフバランス」 (p.358~359)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)</p> <p>社会学 : 第7章 A-2 「わが国における変化」 (p.108~110)</p> <p>教育学 : 第16章 B-2 「進路選択におけるジェンダー」 (p.214~215)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-b 「家族の多様性」 (p.69~78)</p>	
	少子化、晩婚化、晩産化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)、C-2 「結婚と出産」 (p.130~132)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2 「●結婚・出産」 (p.63~65)、B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77~82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 A-1-2 「子どもと家族、社会」 (p.5)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-1-3 「日本の少子化対策」 (p.208~209)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36)、第7章 C-3-1 「少子化の課題と家族」 (p.200~201)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A-2 「現代社会の家族の特徴」 (p.225~226)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-a-2 「家族の人口動態」 (p.65~69)</p>	
2 社会の中の集団	A 地域や職場における機能	ソーシャルサポートネットワーク	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C 「地域包括ケアシステムと地域共生社会」 (p.45~50)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-2-4 「ソーシャルサポートの活用」 (p.260~261)</p> <p>公衆衛生 : 第2章 A 「自分の生活と健康に関係する社会集団」 (p.47~49)、第3章 E-1 「住民組織・自助グループ・サポートグループ」 (p.87~88)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第8章 D-2-1 「ネットワーク」 (p.231)</p> <p>人間関係論 : 第12章 A 「個人を取り巻く人間関係」 (p.252~255)</p> <p>精神保健福祉 : 第4章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~79)</p>
		フォーマルサポート、インフォーマルサポート	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C 「地域包括ケアシステムと地域共生社会」 (p.45~50)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 A-3-5 「多角的な資源の活用」 (p.308~309)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>医療概論：第3章 K-3-3「介護におけるフォーマルサポートとインフォーマルサポート」(p.141)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.95～96)、第8章 D-2-1「ネットワーク」(p.231)</p> <p>社会学：第12章「地域社会と保健医療」(p.190～202)</p> <p>人間関係論：第12章 A-2「ソーシャルサポートの分類」(p.253～254)</p> <p>家族看護学：第3章 C-2「家族を支える介入」(p.111～116)</p>
		地域活動への参加	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第2章 C「地域包括ケアシステムと地域共生社会」(p.45～50)</p> <p>老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.32～36)</p> <p>公衆衛生：第8章 B-7「地域の母親によるエンパワメント」(p.223～224)、C-6-3「地域エンパワメントの例」(p.246)、D「高齢者保健」(p.247～249)、D-6「地域コミュニティによる支えとは」(p.264～266)、E-5「当事者の力」(p.282～283)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-6「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.162)</p>
		地域集団(コミュニティ・グループ)	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第2章「暮らしの基盤としての地域の理解」(p.32～50)</p> <p>公衆衛生：第2章「公衆衛生の活動対象」(p.46～62)</p> <p>社会学：第1章 C「集団・組織・ネットワーク」(p.15～17)</p> <p>人間関係論：第4章「集団と個人」(p.60～77)</p> <p>家族看護学：第3章 A-2「家族システム理論」(p.91～97)</p>
B 労働と健康		労働安全衛生法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2-2「健康増進のための環境づくり」(p.175～177)</p> <p>公衆衛生：第10章 B-3-2「労働安全衛生法に基づく健康管理の実際」(p.347～352)</p>
		労働基準法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2-2「健康増進のための環境づくり」(p.175～177)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 D-2「職場復帰」(p.375～376)</p> <p>公衆衛生：第1章 B-3-公衆衛生ナビ「日本の職業病対策」(p.24)、第9章 B-1「日本の産業保健関連法令の変遷」(p.341～342)、B-2「労働基準法に基づく労働災害の補償と予防」(p.342～346)</p> <p>看護関係法令：第8章 A-1「労働基準法」(p.234～237)</p>
		育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～37)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3「母性看護にかかわる法律」(p.81～86)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 D-2「職場復帰」(p.375～376)</p> <p>公衆衛生：第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-3-2「●育児・介護休業法」(p.201)</p> <p>看護関係法令：第8章 A-5「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.241～243)</p>
		雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-1-4「看護職者の労働にかかわる法」(p.253～254)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～37)</p> <p>公衆衛生：第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p>
		就業構造	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～37)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-4「経済状況の変化」(p.36～38)、A-5「雇用状況の変化」(p.38～41)</p> <p>社会学：第7章 A「『働き方』と『働かせ方』」(p.106～111)</p>
		労働時間	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～37)</p> <p>公衆衛生：第10章 B-3-2「労働安全衛生法に基づく健康管理の実際」(p.347～352)、D-3「働き方改革」(p.358)、D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス、働き方改革」(p.41)</p> <p>社会学：第7章 B「『働き方』『働かせ方』による健康への影響」(p.111～114)、D「仕事と生活の調和」(p.117～120)</p>

目標Ⅱ. 社会保障の理念、社会保険制度および社会福祉に関する法や施策について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 社会保障制度の 基本	A 社会保障の理念	目的と機能	医療概論：第3章B「社会保障制度」(p.63) 社会保障・社会福祉：第1章A-2「社会保障の目的」(p.4)、A-3「社会保障の機能」(p.5～6) 社会学：第13章「保健医療制度」(p.206～217)
		日本国憲法第25条	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章A-1-2「権利としての健康」(p.109～110) 医療概論：第3章B「社会保障制度」(p.63) 公衆衛生：第1章C-3「日本国憲法のなかの公衆衛生」(p.32～33)、第2章B-1「看護職は『みんな』の権利をまもる専門職」(p.49～50) 社会保障・社会福祉：第1章A-1「社会保障の概念」(p.2～4)、第2章B-3-2「近年の社会福祉政策の動向——ナショナルミニマムの保障」(p.48～49) 看護関係法令：第1章C「厚生労働行政のしくみ」(p.13)
		ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.80～84)、第8章B-2-3「生活期のリハビリテーションと看護」(p.276～277) 医療概論：第3章B-3-4「ノーマライゼーション」(p.71) 公衆衛生：第8章G-3「公衆衛生ナビ「ノーマライゼーション」」(p.302) 社会保障・社会福祉：第7章B-2-1「ノーマライゼーション」(p.170～171) 社会学：第12章E「ノーマライゼーションと地域」(p.201～202) 人間関係論：第12章D-1「ノーマライゼーション」(p.266～267) リハビリテーション看護：第1章A-3「リハビリテーション看護の定義・目標」(p.3～6) 総合医療論：第3章E「障害者のノーマライゼーションとインクルージョン(社会的包摂)」(p.89～93) 精神保健福祉：第1章C-2「共生社会とノーマライゼーション」(p.9～10)
	B 社会保障制度	社会保障給付費	公衆衛生：第3章B-1「国レベル」(p.75～76) 社会保障・社会福祉：第1章A-6「社会保障給付費」(p.9～11)
		社会保障制度の変遷	公衆衛生：第1章C-3「日本国憲法のなかの公衆衛生」(p.32～33) 社会保障・社会福祉：第2章B「社会保障・社会福祉の動向」(p.41～49)
		地域包括ケアシステム	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-c-4「地域包括ケアシステムの構築」(p.245～246) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第2章C-1「地域包括ケアシステム」(p.45～49) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章B-1「地域社会におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.173～175) 医療概論：第3章K-3「地域包括ケア」(p.140) 公衆衛生：第8章D-4「地域包括ケアシステムの構築」(p.256～258) 社会保障・社会福祉：第2章B-1-3「●地域包括ケアシステムと自助・互助・共助・公助」(p.44～45) 総合医療論：第3章D-5「地域包括ケア」(p.85～89) 看護情報学：第5章C「地域医療福祉のネットワークと情報システム」(p.116～128) 精神保健福祉：第3章B-4「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」(p.62～64)、
4 社会保険制度の 基本	A 社会保険の理念	目的と機能	社会保障・社会福祉：第1章A-4-1「社会保険」(p.5～6)
		国民皆保険	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3-1「医療保険制度」(p.256～259) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章A-2-2「医療保険制度における保険診療のしくみ」(p.176～177) 医療概論：第3章B-1「社会保険」(p.63) 社会保障・社会福祉：第3章A「医療保障制度の沿革」(p.52～55)、B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.56～60)
	B 医療保険制度	目的と機能	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3「看護サービスと経済のしくみ」(p.256～261) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章A-2「医療保険制度」(p.175～177) 社会保障・社会福祉：第3章B「医療保険制度の構造と体系」(p.56～60)
		健康保険法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3「看護サービスと経済のしくみ」(p.256～261)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 C-2 「医療保険・介護保険に関する法制度」 (p.183~188)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 A 「健康保障制度の沿革」 (p.52~55)</p>
		高齢者医療制度(高齢者の医療の確保に関する法律(高齢者医療確保法))	<p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 C-2 「医療保険・介護保険に関する法制度」 (p.183~188)</p> <p>医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 D 「高齢者医療制度」 (p.70~75)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-3 「高齢者の医療の確保に関する法律」 (p.197~199)</p>
		被用者保険、国民健康保険	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-3-1 「医療保険制度」 (p.256~259)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 C-2 「医療保険・介護保険に関する法制度」 (p.183~188)</p> <p>医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 B-2 「わが国の医療保障制度の特徴」 (p.56~60)、C 「健康保険と国民健康保険」 (p.60~70)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-1 「健康保険法」 (p.191~196)、A-2 「国民健康保険法」 (p.196~197)</p>
		公費医療制度	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 G 「公費負担医療に関する法制度」 (p.207)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第3章 F 「公費負担医療」 (p.77~78)</p>
	C 介護保険制度	基本理念	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1 「介護保険制度」 (p.168~175)</p> <p>老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41~48)</p> <p>医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-1 「制度の基本理念」 (p.89)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-4 「介護保険法」 (p.199~206)</p>
		介護保険法	<p>看護関係法令 : 第6章 A-4 「介護保険法」 (p.199~206)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第1章 B-1 「●介護保険法制定」 (p.14)</p>
		保険者、被保険者	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-2 「保険者・被保険者・受給権者」 (p.170~171)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80~84)</p> <p>医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-2 「保険者」 (p.89~90)、B-3 「被保険者」 (p.90~91)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-4-a 「保険者など」 (p.200)、A-4-b 「被保険者」 (p.200)</p>
		要介護認定と給付の仕組み	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1 「介護保険制度」 (p.168~175)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80~84)</p> <p>医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65)、K-1-2 「要介護認定」 (p.132)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-4 「要介護・要支援の認定」 (p.91~92)、B-5 「保険給付」 (p.92~101)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-4 「介護保険法」 (p.199~206)</p>
		地域包括支援センター	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-b-2 「●行政看護」 (p.234~237)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-1-plus 「地域包括支援センターの役割」 (p.169)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 D-8 「地域包括ケアシステムの構築」 (p.256~258)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5-10 「●地域包括支援センター」 (p.100~101)</p>
		介護予防・日常生活支援総合事業	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-4 「介護保険の給付対象となるサービス」 (p.172~173)、C-4 「介護保険制度におけるケアマネジメント」 (p.199)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5-10 「地域支援事業」 (p.100)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-4-f 「地域支援事業」 (p.205~206)</p>
	D 年金制度	制度の体系	<p>医療概論 : 第3章 B-1-3 「そのほかの保険」 (p.66)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第5章 B-3 「わが国の年金保険制度のしくみ」 (p.116~123)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 B 「年金」 (p.206~208)</p>
		国民皆年金	<p>社会保障・社会福祉 : 第5章 B-4-1 「国民皆年金までの道のり」 (p.124)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			看護関係法令：第6章B「年金」(p.206)	
	E その他の関係法規	雇用保険法	医療概論：第3章B-1-3「そのほかの保険」(p.66) 社会保障・社会福祉：第5章D-1「雇用保険制度」(p.129～132) 看護関係法令：第8章A-4「雇用保険法」(p.241)	
		労働者災害補償保険法	医療概論：第3章B-1-3「そのほかの保険」(p.66) 社会保障・社会福祉：第5章D-2「労働者災害補償保険制度」(p.132～135) 看護関係法令：第8章A-3「労働者災害補償保険法」(p.240～241)	
5 社会福祉の 基本	A 社会福祉制度	目的と機能	社会保障・社会福祉：第1章A-4-3「社会福祉」(p.7)	
		社会福祉法	社会保障・社会福祉：第1章B-3-1「社会福祉法」(p.17～19)	
	B 社会福祉に関わる 機関	目的と機能	社会保障・社会福祉：第1章B-5「社会福祉の組織と実施体制」(p.23～25) 看護関係法令：第7章A-1「社会福祉法」(p.211)	
		福祉事務所	社会保障・社会福祉：第1章B-5-1「社会福祉行政」(p.23) 看護関係法令：第7章A-1「社会福祉法」(p.211)	
		児童相談所	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章A-2「虐待防止」(p.167～169) 社会保障・社会福祉：第1章B-3-2「●児童福祉法」(p.20)、B-5-1「社会福祉行政」(p.23)、第7章C-2-1「児童福祉法」(p.194～195) 看護関係法令：第7章B-1「児童福祉法」(p.215～217)	
		更生相談所	社会保障・社会福祉：第1章B-5-1「社会福祉行政」(p.23～25)	
		社会福祉施設	社会保障・社会福祉：第1章B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15～17)	
		C 社会福祉における 民間活動	民生委員、児童委員	公衆衛生：第3章E-3「民生委員・母子保健推進員・健康推進員」(p.88～89) 社会保障・社会福祉：第1章B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.25) 看護関係法令：第7章A-3-b「民生委員法」(p.213) 精神保健福祉：第4章A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.74～77)
		社会福祉協議会	社会保障・社会福祉：第1章B-5-2「社会福祉協議会」(p.23～24) 看護関係法令：第7章A-1「社会福祉法」(p.211)	
		ボランティア活動	社会保障・社会福祉：第8章H-3「地域包括ケアシステムにおける他機関との連携」(p.248～250) 総合医療論：第3章D-5「地域包括ケア」(p.85～89) 精神保健福祉：第4章A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.74～77)	
	D 生活保護に関する 制度	生活保護法	社会保障・社会福祉：第6章B「生活保護制度のしくみ」(p.139～152) 看護関係法令：第7章A-2「生活保護法」(p.212～213)	
		扶助の種類と内容	社会保障・社会福祉：第6章B-2「生活保護の種類と方法」(p.142～146) 医療概論：第3章B-2「公的扶助」(p.67) 看護関係法令：第7章A-2「生活保護法」(p.212～213) 精神保健福祉：第7章A-2「貧困・低所得に対する社会保障制度」(p.216～219)	
	E 障害者(児)に関する 制度	障害者基本法		成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.80～84) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.350～354) 医療概論：第3章B-3-3「障害者福祉」(p.70) 公衆衛生：第8章G-2-1「障害者保健・難病保健活動に関する法律」(p.297～299) 社会保障・社会福祉：第7章B-3-4「障害者基本法の改正」(p.175～176)、B-4-1「障害者基本法の抜本的改正」(p.177～178) 看護関係法令：第7章D-1「障害者基本法」(p.223) リハビリテーション看護：第1章B-1-2「障害者基本法」(p.8)
			障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章F-1「障害者総合支援法」(p.204～206) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.80～84) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.350～354)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p><b>精神看護学 [2] (精神看護の展開)</b>：第 10 章 B-2 「地域生活を支えるシステムと社会資源」 (p.130～150)</p> <p><b>医療概論</b>：第 3 章 B-3-3 「障害者福祉」 (p.70)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第 8 章 E-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.272～274)、G-2-1 「障害者保健活動に関する法律」 (p.297～298)、F-3 「障害者保健・難病保健の地域支援システム」 (p.299～309)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-4-3 「障害者総合支援法の成立」 (p.178～182)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」 (p.224～226)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-1-6 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.9)</p> <p><b>精神保健福祉</b>：第 3 章 A-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.52～60)</p>
		身体障害者福祉法	<p><b>医療概論</b>：第 3 章 B-3-3 「障害者福祉」 (p.70)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 1 章 B-3-2 「●身体障害者福祉法」 (p.20～21)、第 7 章 B-3-1 「●身体障害者福祉法」 (p.173～174)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-3-d 「身体障害者福祉法」 (p.228～229)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-1-3 「身体障害者福祉法」 (p.8)</p>
		知的障害者福祉法	<p><b>医療概論</b>：第 3 章 B-3-3 「障害者福祉」 (p.70)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 1 章 B-3-2 「●知的障害者福祉法」 (p.21)、第 7 章 B-3-1 「●知的障害者福祉法」 (p.174)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-3-e 「知的障害者福祉法」 (p.230)</p>
		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)	<p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第 7 章 E-1-4 「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる 2 つの法律」 (p.339～340)、E-2 「精神科領域で必要な法律と制度」 (p.340～361)</p> <p><b>医療概論</b>：第 3 章 B-3-3 「障害者福祉」 (p.70)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第 8 章 E-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.272～274)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-3-1 「●精神保健福祉法」 (p.174)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.121～127)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-1-4 「精神保健福祉法」 (p.8)</p> <p><b>精神保健福祉</b>：第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」 (p.46～51)</p>
		発達障害者支援法	<p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第 7 章 E-2-5 「個別の課題に対応した法律」 (p.357～360)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第 8 章 G-3-2 「就学支援」 (p.302～305)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-3-5 「発達障害者支援法の成立」 (p.186)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-3-f 「発達障害者支援法」 (p.230～231)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-1-5 「発達障害者支援法」 (p.8)</p>
		障害者の雇用の促進等に関する法律 (障害者雇用促進法)	<p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第 7 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.350～354)</p> <p><b>公衆衛生</b>：第 8 章 E-2-3 「リハビリを支えるしくみ」 (p.274～277)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-5-2 「就労支援」 (p.184～188)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 8 章 A-6-b 「障害者の雇用の促進等に関する法律」 (p.243～244)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10～12)</p> <p><b>精神保健福祉</b>：第 5 章 B-4-1 「精神障害者の就労の現状」 (p.145)</p>
		障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)	<p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.340～348)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-4-4 「障害者差別解消法の成立」 (p.181～182)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-3-a 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」 (p.227)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10～12)</p>
		障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (障害者虐待防止法)	<p><b>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)</b>：第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.340～348)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第 7 章 B-4-2 「障害者虐待防止法の成立」 (p.178)</p> <p><b>看護関係法令</b>：第 7 章 D-3-b 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.227)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b>：第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10～12)</p> <p><b>精神保健福祉</b>：第 7 章 B 「障害者虐待と精神保健福祉」 (p.222～233)</p>
	F 児童に関する制度	児童福祉法	<p><b>小児看護学 [1] (小児看護学概論)</b>：第 7 章 A 「児童福祉」 (p.163～169)</p> <p><b>医療概論</b>：第 3 章 B-3-2 「福祉に関する法体系」 (p.69)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>公衆衛生：第7章 B-1-2「日本の母子保健の歩み」(p.206～208)、B-2-1「母子保健の活動理念」(p.209～210)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「●児童福祉法」(p.20～21)、第7章 C-2-1「児童福祉法」(p.194～195)</p> <p>看護関係法令：第7章 B-1「児童福祉法」(p.215～217)</p>
		児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章 A-2「虐待防止」(p.167～169)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 G「児童虐待と看護」(p.308～316)</p> <p>公衆衛生：第8章 B-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.217～220)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-4-1「児童虐待の防止等に関する法律」(p.204～205)</p> <p>看護関係法令：第7章 B-2-b「児童虐待の防止等に関する法律」(p.219)</p> <p>精神保健福祉：第7章 D「子ども虐待と精神保健福祉」(p.247～255)</p>
		母子及び父子並びに寡婦福祉法	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「●母子及び父子並びに寡婦福祉法」(p.22)</p> <p>看護関係法令：第7章 B-2-e「母子及び父子並びに寡婦福祉法」(p.220)</p>
		次世代育成支援、少子化対策	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章「子どもと家族を取り巻く社会」(p.162～192)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-4「少子社会における次世代育成支援に関する法律」(p.85～87)</p> <p>公衆衛生：第7章 B-1-3「日本の少子化対策」(p.208～209)、B-4-3「育児支援」(p.216～217)、第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-3「少子化対策と子育て支援」(p.200～204)</p>
G	高齢者に関する制度	老人福祉法	<p>老年看護学：第2章 B-1-1「保健医療福祉制度の変遷」(p.36～40)</p> <p>医療概論：第3章 B-3-2「福祉に関する法体系」(p.69)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「●老人福祉法」(p.21)</p> <p>看護関係法令：第7章 C-1「老人福祉法」(p.221～222)</p>
		高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 E-1「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.202～203)</p> <p>老年看護学：第2章 C-2-1「高齢者虐待防止法と高齢者虐待の定義」(p.55～56)</p> <p>医療概論：第3章 K-2-4「高齢者虐待」(p.138)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-5-5「介護者の健康、虐待予防」(p.263～264)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者虐待の対策」(p.162)</p> <p>看護関係法令：第7章 C-2-b「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.222～223)</p>
H	その他の制度	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.299～308)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-2-4「DV対策」(p.198～199)</p> <p>看護関係法令：第8章 B-g「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(p.248)</p> <p>家族看護学：第2章 D-2「現代家族の課題」(p.78～83)</p>
		アルコール健康障害対策基本法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 F-2-2「アルコール依存対策」(p.363～365)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-5-d「アルコール健康障害対策基本法」(p.136)</p>
		ギャンブル等依存症対策基本法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 F-2-3「ギャンブル依存、ゲーム障害対策」(p.365～366)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-1-k「ギャンブル等依存症対策基本法」(p.127)</p>
		その他の依存症(薬物依存を含む)の対策	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 F-2「依存症対策」(p.363～366)</p> <p>精神保健福祉：第7章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.233～246)</p>

### 目標Ⅲ. 公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策および生活者の健康増進について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の理念	目的と機能	<p>公衆衛生：第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.16～19)、D「戦後の展開——新たな公衆衛生の理念」(p.34～42)</p>
		地域保健法	<p>公衆衛生：第3章 A-1「法律と政策・施策・事業の位置づけ」(p.66～74)</p> <p>看護関係法令：第4章 A-1「地域保健法」(p.116～119)</p>
		ヘルスプロモーション	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 A-1-2「権利としての健康」(p.109～110)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.164~177)</p> <p>医療概論 : 第1章 B-3「ヘルスプロモーション」(p.15)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 D-2「ヘルスプロモーション」(p.36~42)</p> <p>看護情報学 : 第4章 C「ヘルスプロモーションと情報」(p.56~62)</p>
		一次予防、二次予防、三次予防	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A-4-2「生活と疾患・障害の予防」(p.114~115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章 A-1「ヘルスプロモーション」(p.164~168)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53)</p> <p>医療概論 : 第3章 C-9-1「予防とは」(p.90)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-1-1「疾病予防」(p.228~229)</p>
	B 公衆衛生の実施機関	保健所	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-b-2「多様な場における看護活動」(p.234~241)</p> <p>公衆衛生 : 第3章 B-3-1「保健所」(p.79~80)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 A-1-c「保健所」(p.117~118)</p>
		市区町村保健センター	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-b-2「多様な場における看護活動」(p.234~241)</p> <p>公衆衛生 : 第3章 B-3-2「保健センター」(p.80~82)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 A-1-d「市町村保健センター」(p.118)</p>
	C 疫学的方法に基づく公衆衛生	健康被害と母集団	公衆衛生 : 第4章 B-1-公衆衛生ナビ「健康被害と母集団」(p.99)
		疫学的因果関係の推定	公衆衛生 : 第4章 C-2「疫学的因果関係」(p.111~112)
		臨床疫学とエビデンス	<p>医療概論 : 第2章 B「臨床疫学とEBM」(p.47)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 E「エビデンスを使う、つくる」(p.114~115)</p> <p>総合医療論 : 第6章 A「臨床疫学——医療における合理的判断」(p.140~146)</p>
	D 健康に関する指標に基づく公衆衛生	国勢調査	公衆衛生 : 第4章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.104~107)、B-4「集団の健康をとらえるための統計資料」(p.107~109)
		人口静態	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44~48)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.104~107)</p>
		人口動態	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44~48)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.104~107)</p>
		出生	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1「平均寿命と出生」(p.129~130)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2「出生と家族」(p.9~12)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「母子保健統計」(p.64~74)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2「健康状態や医療水準を把握する」(p.100~104)、B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.104~107)</p>
		死亡(死産、周産期死亡、乳児死亡を含む)、死因	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5「死亡の状況」(p.120~124)、B-2「子どもの成長と健康」(p.122~125)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1「生と死の動向」(p.56~58)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-3「子どもの死亡」(p.12~15)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「母子保健統計」(p.64~74)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2「健康状態や医療水準を把握する」(p.102)、第8章 B-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.202~205)</p>
		平均余命、平均寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1「平均寿命と出生」(p.129~130)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1「生と死の動向」(p.56~58)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.101)</p>
		健康寿命	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1「生と死の動向」(p.56~58)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.101)</p>
		受療状況、有病率、罹患率	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4「受療状況」(p.60)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-1「疾患の発生状況を把握する」(p.97~100)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 公衆衛生における感染症と対策	A 感染症の基本	感染症の成立と予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-2 「保健にかかわる対策——健全な生活をはぐくむために」 (p.65~74)、第5章 C-7 「感染症」 (p.194~195) 成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 B 「感染が成立する条件」 (p.239~243)、第6章 A 「感染予防」 (p.342~369) 微生物学 : 第5章 A 「微生物感染の機構」 (p.62~63)、第10章 C-3 「感染予防の理念と実際」 (p.185~187) 公衆衛生 : 第6章 A-2 「感染の成立の3大要因」 (p.156~157)、A-3 「感染症の予防」 (p.156~157)
		予防接種	成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.361~369) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第7章 D 「予防接種」 (p.177~183) 微生物学 : 第10章 C-4 「ワクチンと予防接種」 (p.187~191) 公衆衛生 : 第6章 B-3 「予防接種」 (p.162~164) 看護関係法令 : 第4章 C-3 「予防接種法」 (p.152~155)
		院内感染と予防	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 A-4 「院内感染の防止」 (p.67~68)、H 「医療施設における感染管理」 (p.100~102) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 A 「感染予防」 (p.342~369) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-3 「院内感染対策」 (p.35~39) 微生物学 : 第10章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.177~181) 公衆衛生 : 第6章 C 「院内感染とその予防」 (p.164~167)
		感染制御	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 「感染防止の技術」 (p.63~103) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 A 「感染予防」 (p.342~369) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-3 「院内感染対策」 (p.35~39) 微生物学 : 第10章 C-3 「感染予防の理念と実際」 (p.185~187) 公衆衛生 : 第6章 C 「院内感染とその予防」 (p.164~167)
		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法)	成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 A-3 「感染症に関する法律」 (p.238~239) 微生物学 : 第10章 C-1 「感染症法および関連する法律」 (p.181~184) 公衆衛生 : 第6章 B-1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法) とその予防対策」 (p.158~162) 看護関係法令 : 第4章 C-1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」 (p.140~150)
	B 主要な感染症と動向	結核	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第1章 A-3 「結核」 (p.9~10)、第5章 A-4 「結核」 (p.153~163) 成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-2 「結核」 (p.228~229) 微生物学 : 第11章 G-1-1-1 「結核菌」 (p.231~233) 公衆衛生 : 第6章 D-2 「結核」 (p.169~171) 看護関係法令 : 第4章 C-1-j 「結核」 (p.149)
			新興感染症
		再興感染症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-2 「保健にかかわる対策——健全な生活をはぐくむために」 (p.65~74)、第5章 C-7 「感染症」 (p.194~195) 成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-5 「新興・再興感染症」 (p.230~232) 微生物学 : 第10章 B-1-1 「新興・再興感染症」 (p.176~177) 公衆衛生 : 第6章 B-1-1 「感染症法の制定と改正」 (p.158~159)
		薬剤耐性菌感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-1 「薬剤耐性菌」 (p.227~228) 微生物学 : 第10章 B-2-3 「耐性菌」 (p.179~180) 公衆衛生 : 第6章 D-6 「多剤耐性菌」 (p.176)
		人獣共通感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 A-1-1 「外因性感染」 (p.234~236) 微生物学 : 第8章 C-2 「動物由来感染症と人獣共通感染症」 (p.138) 公衆衛生 : 第6章 D-7 「動物由来感染症」 (p.177)
		ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症、後天性免疫不全症候群 (AIDS)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 C-7 「感染症」 (p.194~196) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 D-8 「HIV 感染症 / エイズ (AIDS)」 (p.203) 成人看護学 [11] (感染症) : 第1章 C-3 「HIV 感染症」 (p.229) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 C 「HIV に感染した女性に対する看護」 (p.273~283)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
8 公衆衛生における生活環境への対策	A 地球環境	地球温暖化	微生物学：第12章 B-14-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.292～295) 公衆衛生：第6章 D-3「エイズ、HIV感染症」(p.172～175)	
		アスベスト	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44～48) 公衆衛生：第5章 B-1「地球温暖化」(p.119～125) 看護関係法令：第9章 A-c「地球温暖化対策の推進に関する法律」(p.256～257)	
		放射性物質	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-3「大気・紫外線・放射性物質の問題」(p.194) 公衆衛生：第5章 B-5「大気汚染」(p.131～134)、B-7「放射性物質」(p.135～138)	
		水質汚染	公衆衛生：第5章 B-4「水質汚濁」(p.129～130) 看護関係法令：第9章 B-b「水質汚濁防止法」(p.258～259)	
		大気汚染	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境と生活の状況」(p.44～48)、第5章 C-6-3「大気・紫外線・放射性物質の問題」(p.194) 公衆衛生：第5章 B-5「大気汚染」(p.131～134) 看護関係法令：第9章 B-a「大気汚染防止法」(p.257～258)	
		土壌汚染	公衆衛生：第5章 B-6「土壌汚染」(p.134～135) 看護関係法令：第9章 B-c「土壌汚染対策法」(p.259)	
		B 食品および食の安全	食品衛生法	公衆衛生：第5章 C-2-1「食品衛生法」(p.140～141) 看護関係法令：第4章 D-b「食品衛生法」(p.157～159)
	食中毒の種類と予防		微生物学：第5章 B-2-1「経口感染」(p.67) 公衆衛生：第6章 D-8「食中毒」(p.177～179)	
	健康食品、特別用途食品		公衆衛生：第5章 C-2「食品の安全確保」(p.140～143)	
	C ごみ・廃棄物	一般廃棄物と産業廃棄物	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-4「廃棄物処理」(p.194) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.120～121) 公衆衛生：第5章 C-4-1「一般廃棄物と産業廃棄物」(p.144～145) 看護関係法令：第9章 B-k「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(p.262～264)	
		感染性廃棄物	看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.120～121) 微生物学：第10章 C-3-2-9「感染性廃棄物の処理」(p.186) 公衆衛生：第5章 C-4「ごみ・廃棄物問題」(p.144～146)	
	9 保健活動の基盤と制度	A 地域保健	地域保健法	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 D-3「地域保健を支える法制度」(p.202) 公衆衛生：第3章 A-1「法律と政策・施策・事業の位置づけ」(p.66～74) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-3「地域保健対策の展開」(p.47) 看護関係法令：第4章 A-1「地域保健法」(p.116～119)
			健康増進法	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 D-3「地域保健を支える法制度」(p.202) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健康やかな生活をはぐくむために」(p.66～74) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本21」(p.70～73)、第8章 C-3「健康診断・検診」(p.232～234) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.46～47) 看護関係法令：第4章 A-2「健康増進法」(p.119～120)
			健康日本21	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健康やかな生活をはぐくむために」(p.66～74) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本21」(p.70～73)、第8章 B-2「健康づくり対策の変遷」(p.229～232) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.46～47)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
B	母子保健	母子保健法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第7章 B「母子保健」(p.169~174)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-2「母性看護にかかわる法律」(p.81~86)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-1-2「日本の母子保健の歩み」(p.206~208)、B-2「母子保健の活動理念としくみ」(p.209~211)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2「●母子保健法」(p.195~197)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2「母子保健法」(p.128~130)</p>
		健やか親子 21(第2次)	<p>公衆衛生 : 第8章 B-1-2「日本の母子保健の歩み」(p.206~208)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2「●健やか親子 21」(p.197)</p>
		母子健康手帳	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第7章 B-2-1「母子健康手帳」(p.171~172)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-4-1「母子保健施策」(p.87~88)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-1-1「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」(p.133~134)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-3-1「妊娠届および母子健康手帳の交付」(p.211~212)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2「●母子健康手帳」(p.195)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2「母子保健法」(p.128~130)</p>
		保健指導、訪問指導	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-4-1「母子保健施策」(p.87~88)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」(p.133~136)、第6章 D「施設退院後の看護」(p.367~378)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-3-2「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」(p.213)、B-4-1「乳幼児保健指導・訪問指導」(p.213~214)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.195~198)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2「母子保健法」(p.128~130)</p>
		健康診査、健康教育	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-4-1「母子保健施策」(p.87~88)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」(p.133~136)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-3-2「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」(p.213)、B-4-2「乳幼児健康診査」(p.214~216)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.195~198)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-2「母子保健法」(p.128~130)</p>
		母体保護法	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-2「母性看護にかかわる法律」(p.81~86)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-6-1「思春期保健対策」(p.221)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-3「母体保護法」(p.130~131)</p>
C	精神保健	精神保健医療福祉の施策	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 B「日本における精神医学・精神医療の流れ」(p.310~322)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 E-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.270~277)、E-3「精神科医療の動向」(p.277~279)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第1章 B-1「社会福祉の法制度の歴史的展開」(p.11~14)、第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」(p.173~177)</p> <p>精神保健福祉 : 第2章 A「わが国の精神保健福祉の変遷」(p.18~39)、第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」(p.46~64)</p>
		精神障害者(児)の医療と福祉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 D「精神看護の課題」(p.12~21)、第7章 E「精神障害と法制度」(p.335~361)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 E-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.270~277)、E-3「精神科医療の動向」(p.277~279)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 B「障害者福祉」(p.165~192)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.121~127)</p> <p>精神保健福祉 : 全体</p>
		こころの健康対策、自殺対策	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 C「『心のケア』と日本社会」(p.9~12)、第7章 F-1「自殺対策」(p.361~363)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 E-4「自殺予防対策」(p.279~282)</p> <p>看護関係法令 : 第4章 B-5-a「自殺対策基本法」(p.133~134)</p> <p>精神保健福祉 : 第4章 B-4-2「自殺対策」(p.89~92)</p>
		発達障害に関する医療と福祉	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 B-2「発達障害(神経発達症群)」(p.498~501)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3「発達障害」(p.211~215)、第7章 E-2-5「個別の課題に対応した法律」(p.357~360)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 G-2-2「就学支援」(p.302~305)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			<p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.176)、B-5-1「特別支援教育」(p.182～184)</p> <p>看護関係法令：第7章 D-3-f「発達障害者支援法」(p.230～231)</p>	
		自殺対策基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-6「メンタルヘルスと自殺者数」(p.62～63)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：F-1-1「自殺対策基本法と自殺総合対策大綱」(p.361～362)</p> <p>公衆衛生：第8章 E-1-2-公衆衛生ナビ「自殺対策基本法」(p.280)</p>	
	D 学校保健	学校保健安全法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章 E「学校保健」(p.183～188)</p> <p>公衆衛生：第9章 A-1「学校保健とその構造」(p.315～322)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.132～133)</p>	
		健康診断、健康相談	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章 E-2「健康診断」(p.185)、E-3「健康相談」(p.185)</p> <p>公衆衛生：第9章 A-3「現代の子どもの健康課題」(p.323～326)、B-1「健康診断」(p.327～328)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.132～133)</p>	
		感染症対応	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章 E-4「感染予防」(p.185～188)</p> <p>公衆衛生：第9章 B-2「感染症の予防と対策」(p.328～329)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.132～133)</p>	
		学校環境衛生	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第7章 E「学校保健」(p.183～188)</p> <p>公衆衛生：第9章 A-1-4「学校保健の構造」(p.316～320)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.132～133)</p> <p>教育学：第8章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.93)</p>	
	E その他の保健活動の基盤となる法や施策	がん対策基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.65～74)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-5「がん対策」(p.243～244)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-5-b「がん対策基本法」(p.134～135)</p> <p>がん看護学：第1章 A-1「がん対策の取り組み」(p.10～12)</p> <p>緩和ケア：第1章 A-2「わが国の緩和ケア」(p.6～8)</p>	
		難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 F-2「難病法」(p.206)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第1章 A-2「脳・神経疾患患者の概況と看護」(p.9)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第1章 A-2「医療の動向(難病対策)」(p.117～118)</p> <p>公衆衛生：第8章 G-2-2「難病保健活動に関する法律」(p.298～299)、G-3-5「●難病医療費助成制度」(p.307～309)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.77～78)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-5-g「難病の患者に対する医療等に関する法律」(p.136～137)</p>	
	10 生活者の健康増進	A 生活習慣病の予防	主な生活習慣病の現状	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 A-2-2「●健康」(p.66～67)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-5「生活習慣病」(p.60)、B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.66～74)、第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.187～197)</p> <p>医療概論：第3章 C-9「生活習慣病予防」(p.90)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-4-1「生活習慣病の現状と対策」(p.234～241)</p>
			栄養、運動、休息	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 A-2-2「●活動・休息」(p.65～66)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 C-4「身体活動量低下と運動不足」(p.190～192)、5「肥満」(p.192～193)</p> <p>栄養学：第10章 B「生活習慣病の予防」(p.241～242)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-4-1「生活習慣病の現状と対策」(p.234～241)</p>
喫煙・飲酒対策			<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 C-2「飲酒がもたらす健康問題」(p.189)、3「喫煙と健康問題」(p.189～190)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-4-1「生活習慣病の現状と対策」(p.234～241)</p> <p>精神保健福祉：第7章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.233～246)</p>	
健康教育と早期発見			<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 A「生活のなかで健康行動をはぐくむ援助」(p.92～104)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			医療概論：第3章 C-9-2「健康教育」(p.90) 公衆衛生：第8章 C-1-1「疾病予防」(p.228～229)、B-6「健康教育」(p.244～246)
		循環器疾患の予防	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠動脈硬化の危険因子」(p.145～151) 公衆衛生：第8章 C-4-1「生活習慣病の現状と対策」(p.234～241)
		糖尿病の予防	公衆衛生：第8章 C-4-1「生活習慣病の現状と対策」(p.234～241)
		特定健康診査、特定保健指導	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健康な生活をはぐくむために」(p.66～74) 医療概論：第3章 C-9-4「特定健康診査・特定保健指導」(p.93) 公衆衛生：第8章 B-4-2「特定健康診査・特定保健指導」(p.241～242) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.46～47) 看護関係法令：第8章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239)
	B 職場の健康管理	労働安全衛生法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177) 公衆衛生：第10章 B-1「日本の産業保健関連法令の変遷」(p.341～342)、B-3「労働安全衛生法に基づく職場での健康管理」(p.346～352) 看護関係法令：第6章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197～199)
		業務上疾病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.187～188) 公衆衛生：第10章 B-2「労働基準法に基づく労働災害の補償と予防」(p.342～346)、B-3「労働安全衛生法に基づく職場での健康管理」(p.346～352)、D-2「産業保健活動の実際」(p.355～356) 看護関係法令：第8章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239)
		労働衛生3管理(作業管理、作業環境管理、健康管理)	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2-2「健康増進のための環境づくり」(p.175～177) 公衆衛生：第10章 B-4-2「労働衛生管理の3管理と5領域」(p.352～353)
		仕事と家庭の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～37) 公衆衛生：第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359) 社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス、働き方改革」(p.41) 社会学：第7章 D「仕事と生活の調和」(p.117～120)

#### 目標Ⅳ. 人々の健康を支える職種に関する法や施策およびサービス提供体制について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
11 人々の健康を支えるサービス提供体制に関する法や施策	A 看護職に関する法	保健師助産師看護師法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-1「看護職の資格法——保健師助産師看護師法」(p.150)、C-1-3「●保健師助産師看護師法」(p.252～253) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 B-3-1「保健師助産師看護師法と関係法令」(p.169～170) 医療概論：第3章 D-2-2「看護師・准看護師・保健師・助産師」(p.192) 看護関係法令：第2章 A「保健師助産師看護師法」(p.20～45)
		看護師等の人材確保の促進に関する法律	看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 B-3-1「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」(p.170～171) 医療概論：第5章 A-6-3「看護師不足」(p.192) 看護関係法令：第2章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.45～48)
	B 医療や社会福祉の関連職に関する法	医師法	看護関係法令：第3章 B-1「医師法」(p.72～76)
		歯科医師法	看護関係法令：第3章 B-2「歯科医師法」(p.76～77)
		薬剤師法	看護関係法令：第3章 B-3「薬剤師法」(p.77～78)
		診療放射線技師法	看護関係法令：第3章 B-4-a「診療放射線技師法」(p.78～80)
	臨床検査技師等に関する法律	看護関係法令：第3章 B-4-b「臨床検査技師等に関する法律」(p.80～82)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		理学療法士及び作業療法士法	看護関係法令：第3章 B-4-c「理学療法士及び作業療法士法」(p.82～83)
		言語聴覚士法、視能訓練士法	看護関係法令：第3章 B-4-e「言語聴覚士法」(p.84～85)、第3章 B-4-d「視能訓練士法」(p.83～84)
		社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法	看護関係法令：第3章 B-5-b「精神保健福祉士法」(p.95～96)、B-5-d「社会福祉士及び介護福祉士法」(p.97～99)
		栄養士法	看護関係法令：第3章 B-5-c「栄養士法」(p.96～97)
		歯科衛生士法	看護関係法令：第3章 B-4-i「歯科衛生士法」(p.89～90)
		救急救命士法	看護関係法令：第3章 B-4-h「救急救命士法」(p.87～89)
	C サービスの提供体制	医療法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-1-3「●医療法」(p.248～252) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 B-1「医療法」(p.178) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-3「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」(p.74～80) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 C-1「医療法」(p.181～189) 看護関係法令：第3章 A「医療法」(p.50～72)
		医療提供施設(病院、診療所、助産所、介護医療院、介護老人保健施設等)の機能	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-a「医療施設における看護」(p.225～231) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 B-1-1「母性看護にかかわる機関」(p.93～95) 医療概論：第3章 D-1「病院と診療所」(p.102) 看護関係法令：第3章 A「医療法」(p.50～72) 総合医療論：第3章 A-2「診療所と病院」(p.59～62)
		訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-b-2「●在宅看護」(p.239～240) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 C-4「訪問看護ステーションに関する規程」(p.191～192) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-3「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」(p.74～80)
		救急医療	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章 A-2-5「救急医療を必要とする人々」(p.209～210) 医療概論：第3章 C「救急医療・集中治療」(p.110) 救急看護学：第1章 B「救急医療体制」(p.11～23) 総合医療論：第3章 A-1「救急医療と蘇生術」(p.57～59)
		在宅医療	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C-3「在宅療養を支える連携と継続的なかわり」(p.72～76) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章「地域・在宅看護にかかわる制度とその活用」(p.168～210) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-3「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」(p.74～80)
			診療記録と情報公開
	D その他の役割	安全管理〈セーフティマネジメント〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 E「医療安全と医療の質保証」(p.292～303) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 F-2「リスクマネジメント」(p.136～137) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章 C「安全管理」(p.23～41) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：序章「医療安全を学ぶことのたいせつさ」(p.2～6)、第1章「事故防止の考え方を学ぶ」(p.8～37) 看護関係法令：第3章 A-e「医療の安全の確保」(p.56～58) 総合医療論：第6章 B「患者の安全」(p.146～151)
		医薬品と医療機器の取り扱い	薬理学：第2章 F-1「医薬品に関する法律」(p.55～57) 看護関係法令：第5章 A-1「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(p.168～176)

# 基礎看護学

目標Ⅰ. 看護の概念及び展開について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護の 基本となる 概念	A 看護の本質	看護の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2 「看護の定義」 (p.20~38) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 序章 A 「技術とはなにか」 (p.2~3)
		役割と機能	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B 「看護の役割と機能」 (p.39~61)
		看護の変遷	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-1 「看護の変遷」 (p.10~20)、第4章 A 「職業としての看護」 (p.138~150) 看護史 : 第1章 「原始看護と古代看護」 (p.6~25)、第2章 「宗教下における中世の看護」 (p.28~42)、第3章 「わが国における仏教看護」 (p.44~68)、第4章 「近世における看護」 (p.70~97)、第5章 「近代看護の確立と展開」 (p.100~152)、第6章 「第二次世界大戦までの看護」 (p.154~172)、第7章 「今日の看護」 (p.174~216)
	B 看護の対象	全体 (whole) としての人間	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 「看護の対象の理解」 (p.78~106)
		成長・発達する存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B 「生涯発達しつづける存在としての人間の理解」 (p.94~100) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A 「ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ」 (p.2~30) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A 「対象の理解——大人になること、大人であること」 (p.4~26)
		ニーズをもつ存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2-3 「●ヴァージニア=ヘンダーソン」 (p.27~31)、第2章 A-5-1 「人間のニード(欲求)に関する理論——マズローの欲求段階説」 (p.91~92) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A 「ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ」 (p.2~30)
		生活を営む存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-1 「生活者としての人間」 (p.100~103) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B 「対象の生活——働いて生活を営むこと」 (p.26~41) 社会学 : 第7章 「『働き方』『働かせ方』と健康・病気」 (p.106~120)
		適応する存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2-3 「●シスター=カリスタ=ロイ」 (p.34~36)、第2章 A-2 「看護の使命と結びつくホメオスタシス」 (p.81~83)、A-3 「『こころ』と『からだ』にかかるストレスの影響」 (p.83~88)
		社会・文化的存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-1-2 「●文化的ケア: 多様性と普遍性理論」 (p.44)、第2章 C-1 「生活者としての人間」 (p.100~103)、第7章 A-6-2 「文化(異文化)看護理論」 (p.331~332) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A 「対象の理解——大人になること、大人であること」 (p.4~26)
		ライフサイクルと発達課題	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A-1-1 「ライフサイクルと発達課題」 (p.5~7) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-1-2 「発達段階・発達課題」 (p.6~8) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4 「ライフサイクルとアイデンティティ——エリクソンの漸成的発達理論」 (p.97~102) 人間関係論 : 第1章 A-3 「人間関係の発達」 (p.7~11)
C 健康と生活	健康のとらえ方	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A 「健康のとらえ方」 (p.108~115) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A-a 「健康について」 (p.2~3)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 A-3 「暮らしのなかで健康をとらえる」 (p.16~18)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A 「成人を取り巻く環境と生活からみた健康」 (p.44~65)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 A-2 「ヘルス(衛生・健康)とはなにか」 (p.17~18)</p> <p>社会学 : 第5章 A 「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」 (p.74~76)、B 「健康・病気の新しい見方ととらえ方」 (p.76~84)</p>
		健康のレベル	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A 「健康のとらえ方」 (p.108~115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3部 「成人の健康レベルや状態に対応した看護」 (p.164~333)</p>
		健康への影響要因	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A 「健康のとらえ方」 (p.108~115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章 A-1 「ヘルスプロモーション」 (p.164~168)、第5章 「健康をおびやかす要因と看護」 (p.180~197)</p>
		生活習慣とセルフケア	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-3-4 「生活習慣病対策・健康増進運動における看護への期待」 (p.60~61)、第2章 C-1 「生活者としての人間」 (p.100~103)、第3章 A-4 「健康と生活」 (p.112~115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」 (p.187~197)、第7章 B-1 「セルフケアおよびセルフマネジメントへの支援」 (p.249~252)</p>
		QOL の維持と向上	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-4-3 「健康と QOL」 (p.115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章 A-1-1 「クオリティオブライフ(QOL)の考え方」 (p.280)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 D-2-4 「オタワ憲章——健康は手段か目的か」 (p.39~42)</p> <p>社会学 : 第5章 B-4 「健康とクオリティオブライフ(QOL)」 (p.79~80)</p> <p>総合医療論 : 第1章 B-4 「QOL の考え方と医療」 (p.24)</p>
		生活の場	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-1 「生活者としての人間」 (p.100~103)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 A 「暮らしと地域」 (p.32~38)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」 (p.300~323)</p>
D 看護における倫理		基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A-1-2 「権利としての健康」 (p.109~110)、第5章 B-1-1 「インフォームドコンセントの誕生」 (p.190)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.32~33)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.33~34)、第2章 B-1 「看護職は『みんな』の権利をまもる専門職」 (p.49~50)</p> <p>看護倫理 : 第2章 A 「生命倫理とはなにか」 (p.24~27)</p>
		倫理原則、職業倫理	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-2 「●倫理的配慮とプライバシー保護」 (p.50)、第5章 C-2 「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」 (p.205~209)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 G 「看護実践における倫理的判断」 (p.139~146)</p> <p>看護倫理 : 第2章 B 「生命倫理の理論」 (p.28~33)、第6章 C 「看護の倫理原則」 (p.103~106)</p>
		患者の権利と擁護	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-2 「●倫理的配慮とプライバシー保護」 (p.50)、第5章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.190~191)、C-1 「看護の本質としての看護倫理」 (p.204~205)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-1 「対象者の権利擁護」 (p.208)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 B 「患者の権利の尊重」 (p.19~23)</p> <p>救急看護学 : 第2章 D-2 「倫理面への配慮」 (p.45~48)</p> <p>看護倫理 : 第2章 「生命倫理」 (p.24~40)、第6章 「看護倫理とはなにか」 (p.96~118)</p> <p>看護情報学 : 第7章 「患者の権利と情報」 (p.142~158)</p>
		倫理的葛藤と対応	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第5章 B-2 「現代医療におけるさまざまな倫理的問題」 (p.193~198)、C-3 「看護実践場面での倫理的ジレンマ」 (p.209~212)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 G 「看護実践における倫理的判断」 (p.139~146)</p> <p>看護倫理 : 第6章 D 「看護実践上の倫理的概念」 (p.106~114)、E 「看護実践と倫理」 (p.114~118)、第8章 「倫理的問題へのアプローチ」 (p.138~162)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 看護の展開	A 対象との関係の形成	信頼関係	看護情報学：第4章B-4「意思決定支援」(p.81～83) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第1章D「効果的なコミュニケーションの実際」(p.44～56) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C「健康問題をもつ大人と看護師の人間関係」(p.114～120) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章A「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」(p.2～6)、B「ケアの原則」(p.6～13) 社会学：第9章「患者-医療者関係とコミュニケーション」(p.140～153) 人間関係論：第10章「患者を支える人間関係」(p.184～221)
		援助関係	人間関係論：第10章「患者を支える人間関係」(p.184～221)
	B 基盤となる思考過程	根拠に基づいた看護 (EBN)	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章B-2-2「●科学的根拠を追求する態度」(p.52) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：序章E「看護技術の発展と習得のために」(p.14～16) 看護研究：第1章B-2「最良のケアの追求とEBP」(p.20～22) 看護情報学：第3章B「エビデンスに基づいた保健医療」(p.50～56)
		クリティカル・シンキング	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章B-2-2「●看護過程の展開とクリティカルシンキング」(p.50～51) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第5章B-2「クリティカルシンキング」(p.291～296)
		問題解決過程	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章B-2-2「●看護過程の展開とクリティカルシンキング」(p.50～51) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第5章B-1「問題解決過程」(p.287～291)
	C 看護における連携と協働	看護職間の連携と協働	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C「看護の継続性と連携」(p.61～76)、第6章B-2-c「継続看護」(p.241～246) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162) 人間関係論：第8章B-4「看護師どうしのコミュニケーション」(p.154～157)
		多職種間の連携と協働	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C-2「多職種チームの連携と継続的かわり」(p.69～72)、C-3「在宅療養を支える連携と継続的なかかわり」(p.72～76)、第6章B-1「看護サービスの担い手とチーム医療」(p.223～225) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52～54)、第5章A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340～342) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章E「チームアプローチ」(p.125～129) 社会保障・社会福祉：第8章H「連携の場面とその方法」(p.246～251) 人間関係論：第9章A「医療におけるチームと看護師の役割」(p.162～168)、D「多職種連携に向けて」(p.179～180) リハビリテーション看護：第1章E-2「連携職種」(p.29～32)、E-3「多職種連携のあり方」(p.32～36) 緩和ケア：第2章「緩和ケアにおけるチームアプローチ」(p.20～35) 臨床検査：第2章「臨床検査の流れと看護師の役割」(p.26～74)
		チームでの活動	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C「看護の継続性と連携」(p.61～76)、第6章B-1-3「チーム医療の条件」(p.225) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52～54) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章E「チームアプローチ」(p.125～129) 栄養学：第1章C-2「栄養サポートチーム(NST)」(p.14～15) 社会保障・社会福祉：第8章H「連携の場面とその方法」(p.246～251) 人間関係論：第9章「保健医療チームの人間関係」(p.162～181) 緩和ケア：第2章「緩和ケアにおけるチームアプローチ」(p.20～35)

目標Ⅱ. 基礎的な看護技術と適用のための判断プロセスについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 看護における基本技術	A コミュニケーション	コミュニケーションの目的と構成要素	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第1章 B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23~29) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」(p.57~62) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 C-1「医療における人間関係」(p.114~115) 人間関係論 : 第5章 A「コミュニケーションとは」(p.82~84) 緩和ケア : 第3章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56) 看護情報学 : 第1章 D「情報の伝達とコミュニケーション」(p.18~21)
		コミュニケーションの基本的な技法	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第1章 D「効果的なコミュニケーションの実際」(p.44~56) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」(p.57~62) 人間関係論 : 第5章「コミュニケーション」(p.82~101) 緩和ケア : 第3章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56)
		コミュニケーションに障害のある人々への対応	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第1章 E「コミュニケーション障害への対応」(p.57~62) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-2「言語障害のある患者の看護」(p.251~256)
	B 学習支援	学習に関わる諸理論	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第6章 A「看護における学習支援」(p.360~365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 A-1「大人の健康行動のとらえ方」(p.93~97)、第7章 B-2-3「教育的アプローチ」(p.257~259) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-3「学習と行動」(p.64~67)
		学習支援の方法と媒体	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第6章 D「学習支援の実際」(p.375~402) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 A-1「大人の健康行動のとらえ方」(p.93~97)、第7章 B-2-3「教育的アプローチ」(p.257~259)
		学習支援プロセス	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第6章 C「健康状態の変化に伴う学習支援」(p.371~375) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 A-1-2「学習に基づく行動形成」(p.94~97)
	C 看護過程	情報収集	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 C-1「アセスメント(情報の収集と分析)」(p.303~316) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第5章 A-2「看護過程の展開」(p.288~292) 看護情報学 : 第5章 A-2「看護過程による情報処理」(p.90~91)
		アセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 C-1「アセスメント(情報の収集と分析)」(p.303~316) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第5章 A-2「看護過程の展開」(p.288~292)
		計画	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 C-3「看護計画」(p.326~330) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第5章 A-2「看護過程の展開」(p.288~292)
		実施	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 C-4「実施」(p.331~332) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第5章 A-2「看護過程の展開」(p.288~292)
		評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 C-5「評価」(p.332~334) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第5章 A-2「看護過程の展開」(p.288~292)
	D 看護業務に関する情報	看護業務に関する情報の種類	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 D「看護記録」(p.335~341) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4「情報の活用」(p.53~58)
		看護業務に関する情報の記録・報告・共有	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第5章 D「看護記録」(p.335~341) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4「情報の活用」(p.53~58) 看護情報学 : 第5章「医療における情報システム」(p.90~128)
	E フィジカルアセスメント	看護におけるフィジカルアセスメントの意義	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第4章 A「ヘルスアセスメントとは」(p.128~132)
		問診の基本	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第4章 B「健康歴とセルフケア能力のアセスメント」(p.132~142)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		身体診察(視診、触診、聴診、打診)の基本	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第4章 C-1 「フィジカルアセスメントに必要な技術」 (p.142~149)
		全身の診察(全身の観察、バイタルサイン)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第4章 C 「全体の概観」 (p.142~191) 救急看護学 : 第4章 B 「全身と外観の観察とアセスメント」 (p.103~109)
		系統別のフィジカルアセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第4章 D 「系統別フィジカルアセスメント」 (p.191~267) 救急看護学 : 第4章 「救急患者の観察とアセスメント」 (p.100~160)
F	感染防止対策	感染の成立と予防	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 A 「感染とその予防の基礎知識」 (p.64~68) 微生物学 : 第5章 「感染と感染症」 (p.61~89) 公衆衛生 : 第6章 A 「感染症とその予防の基礎知識」 (p.156~158)
		標準予防策(スタンダードプリコーション)と感染経路別予防策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 B 「標準予防策(スタンダードプリコーション)」 (p.69~78)、C 「感染経路別予防策」 (p.78~82) 微生物学 : 第10章 C-3-2 「標準予防策」 (p.185~186)、C-3-3 「感染経路別予防策」 (p.187) 公衆衛生 : 第6章 C-3 「院内感染対策」 (p.167) 救急看護学 : 第4章 A 「周囲の状況確認と感染予防対策」 (p.100~103)
		手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 B-2-1 「手指衛生」 (p.70~73)、D 「洗浄・消毒・滅菌」 (p.82~87)、E 「無菌操作」 (p.87~93) 微生物学 : 第7章 「滅菌と消毒」 (p.125~136)
		感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 F 「感染性廃棄物の取り扱い」 (p.93~96) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 F-5 「廃棄物の取り扱いと管理」 (p.120~121) 微生物学 : 第12章 C-3-2-9 「感染性廃棄物の処理」 (p.209) 公衆衛生 : 第5章 C-4 「ごみ・廃棄物問題」 (p.144~147)
		感染拡大の防止の対応	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第2章 A 「感染とその予防の基礎知識」 (p.64~68) 公衆衛生 : 第6章 A 「感染症とその予防の基礎知識」 (p.156~158)、C 「院内感染とその予防」 (p.164~167)
G	安全管理(セーフティマネジメント)	医療安全の概念	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.292~303) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第3章 「安全確保の技術」 (p.105~125) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 F-2 「リスクマネジメント」 (p.136~137) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C 「安全管理」 (p.23~41) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第1章 「事故防止の考え方を学ぶ」 (p.8~37)、第8章 「組織的な医療安全管理体制への取り組み」 (p.236~259)
		誤薬の予防と対策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第3章 B 「誤薬防止」 (p.108~113) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9-2 「アセスメントのポイント」 (p.219~222) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-2-5 「対象者の安全確保」 (p.32~34) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 B 「注射業務と事故防止」 (p.44~68)、E 「内服と薬業務と事故防止」 (p.96~114) 臨床薬理学 : 第1章 B-3 「安全管理」 (p.30~35)
		転倒・転落の予防と対策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第3章 E 「転倒・転落防止」 (p.117~120) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110)、第4章 F-2-1 「●転倒」 (p.133~134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-2 「●転倒の予防と対策」 (p.73)、●「転落の予防と対策」 (p.73~74) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-2-5 「対象者の安全確保」 (p.32~34) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 B 「転倒・転落事故防止」 (p.144~170)
		チューブ・ライントラブルの予防と対策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第3章 C 「チューブ類の事故防止」 (p.113~116) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第3章 A 「チューブ管理と事故防止」 (p.122~135)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		針刺しの予防と対策	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 H「針刺し防止策」(p.96~100)</p> <p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 H-1-5「注射の準備」(p.331~335)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-3「院内感染対策」(p.35~39)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章 A「職業感染」(p.218~220)、第8章 B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.253~254)</p> <p>臨床検査 : 第2章 E-4-1「針刺しなどによる血液曝露」(p.54~55)</p>
	H 安楽の確保	安楽の概念	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-2「●安全性と安楽性」(p.49~50)</p> <p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 C「身体ケアを通じてもたらされる安楽」(p.160~167)</p>
		ポディメカニクスの原理と看護実践への活用	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A「基本的活動の援助」(p.104~140)</p>
		安楽な姿勢・体位の保持	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.104~110)、A-2「体位」(p.110~113)、第5章 A「体位保持」(p.152~156)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b-2「身体活動の支援のポイント」(p.94~99)</p>
		安楽を提供するためのケア	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章「苦痛の緩和・安楽確保の技術」(p.151~168)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 3章 I-3「安楽に関連するニーズ充足に向けた看護援助」(p.212~217)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-6「苦痛の緩和・安楽確保に関する地域・在宅看護技術」(p.171~174)</p>
		安楽を保つための療養環境の調整	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b-2「身体活動の支援のポイント」(p.94~99)</p>
	I 終末期のケア	終末期の患者のケア	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第13章 A「死にゆく人と周囲の人々へのケア」(p.458~464)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 2章 F-3「終末期にある患者への看護援助」(p.109~115)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 H「終末期の看護(グリーフケアを含む)」(p.245~248)、第4章 I「がん終末期の療養者の事例展開」(p.330~337)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章「人生の最期のときを支える看護」(p.280~298)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 D-9「治癒が期待できなくなったとき」(p.216~219)</p>
		終末期の家族のケア	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第13章 A「死にゆく人と周囲の人々へのケア」(p.458~464)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 2章 F-3「終末期にある患者への看護援助」(p.109~115)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 H「終末期の看護(グリーフケアを含む)」(p.245~248)、第4章 I「がん終末期の療養者の事例展開」(p.330~337)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 D-9「治癒が期待できなくなったとき」(p.216~219)</p>
		死亡後のケア	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第13章「死の看取りの援助」(p.457~475)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 I-6「死亡直後の看護」(p.335~336)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 D-6-公衆衛生ナビ「グリーフケア」(p.266)</p>
4 日常生活援助技術	A 環境	療養環境のアセスメント	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章 A-2「病室の環境のアセスメントと調整」(p.11~18)、B-1「ベッド周囲の環境整備」(p.19~21)</p>
		療養環境の調整と整備	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章 A-2「病室の環境のアセスメントと調整」(p.11~18)、B「援助の実際」(p.18~26)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 B「暮らしの環境を整える看護」(p.106~110)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-1「療養環境調整に関する地域・在宅看護技術」(p.86~93)</p>
	B 食事と栄養	健康な食生活と食事摂取基準	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 A「食事援助の基礎知識」(p.29~38)</p> <p>栄養学 : 第5章 B「日本人の食事摂取基準」(p.93~98)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床外科看護総論：第3章 D-2「栄養状態の評価と栄養療法の選択」(p.116～119) 栄養食事療法：第1章 A-1「食生活と栄養食事療法」(p.2～3)
		治療食、療養食	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A-2「医療施設で提供される食事の種類と形態」(p.37～38) 栄養学：第9章 B「病院食」(p.188～197)
		食事と栄養に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A「食事援助の基礎知識」(p.29～38) 栄養学：第1章 B「保健・医療における栄養学」(p.9～12)、C「看護と栄養」(p.12～16)
		食事と栄養のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A「食事援助の基礎知識」(p.29～38) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-b「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.107～112) 栄養学：第7章「栄養状態の評価・判定」(p.132～149) 栄養食事療法：第2章 C「栄養アセスメントの基本」(p.26～31)
		食事摂取の自立困難な人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 B「食事摂取の介助」(p.39～43) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-c「経口摂取の援助」(p.112～119) 栄養学：第8章 I「高齢期における栄養」(p.179～186) 栄養食事療法：第2章 B「栄養補給法」(p.23～26)
		嚥下障害のある人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 C「摂食・嚥下訓練」(p.44～51) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-c「経口摂取の援助」(p.112～119) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-9「嚥下障害のある患者の看護」(p.283～288) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：特論「摂食・嚥下障害患者の看護」(p.241～270) 栄養学：第9章 F-10「咀嚼・嚥下障害患者の食事療法」(p.225～226) リハビリテーション看護：第4章 A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168～175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222～224) 栄養食事療法：第3章 D「摂食・嚥下障害」(p.39～42)
		経管・経腸栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 D-1「経管栄養法」(p.51～60) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-e「経管栄養法を受ける療養者の援助」(p.120～131) 成人看護学 [5] (消化器)：第4章 C-2-2「栄養療法・食事療法と栄養食指導の概要」(p.123～126) 栄養学：第9章 C-1「経腸栄養法」(p.197～199) 臨床外科看護総論：第3章 D-3-3「経腸栄養法」(p.120) 栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26)
		経静脈栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 D-2「中心静脈栄養法」(p.60～61) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-f「在宅中心静脈栄養法(HPN)を受ける療養者の援助」(p.131～136) 栄養学：第9章 C-2「経静脈栄養法」(p.199) 臨床外科看護総論：第3章 D-3-2「静脈栄養法」(p.119) 栄養食事療法：第2章 B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
	C 排泄	排泄に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-1「自然排尿および自然排便の基礎知識」(p.65～71)
		排泄のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-1-3「アセスメント——患者の状態に応じた援助を決定するために」(p.68～71) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第3章 D-2「排泄機能障害に関連するニーズ判別のためのアセスメント」(p.157～159) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-b「排泄のアセスメント」(p.136～144)
		自然な排泄を促す援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A「自然排尿および自然排便の介助」(p.65～79) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-c「援助の実際」(p.144～157) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-10「排尿障害のある患者の看護」(p.288～292)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190～192)、A-5-10「排便障害」(p.192～194)、C-5-3「排尿障害」(p.245～248)、C-5-4「排便障害」(p.245～250)
		トイレ・ポータブルトイレでの排泄の援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-2-1「トイレにおける排泄介助」(p.71～73) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-c-1「セルフケアのための援助」(p.144～146)
		床上での排泄の援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-2-2「床上排泄援助」(p.74～76)、A-2-3「おむつによる排泄援助」(p.77～79) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-c-3「●失禁の援助」(p.147～149)
		自然な排泄が困難な人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 B「導尿」(p.79～87)、C「排便を促す援助」(p.87～94)、D「ストーマケア」(p.94～102) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-c「援助の実際」(p.144～157)
		尿失禁・便失禁のある人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A「自然排尿および自然排便の介助」(p.65～79) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：3章 D-3「排泄機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助」(p.159～163) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-4-c-3「●失禁の援助」(p.147～149) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 B-1-3「尿失禁」(p.47～48)、第6章Ⅱ-3-d「尿失禁のある患者の看護」(p.217～221)
D 活動と運動		活動と運動に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.104～110) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-a「暮らしにおける活動・休息とその援助」(p.93～94)
		活動と運動のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 A「基本的活動の援助」(p.104～140) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-b「活動に関する地域・在宅看護技術」(p.94～102)
		活動と運動を促す援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 A「基本的活動の援助」(p.104～140) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-b「活動に関する地域・在宅看護技術」(p.94～102) リハビリテーション看護：第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244)
E 休息と睡眠		休息と睡眠に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 B-1「援助の基礎知識」(p.140～145) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-a「暮らしにおける活動・休息とその援助」(p.93～94)
		休息と睡眠のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 B-1「援助の基礎知識」(p.140～145) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-c「休息に関する地域・在宅看護援助」(p.102～105)
		休息と睡眠を促す援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章 B「睡眠と休息の援助」(p.140～150) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-c「休息に関する地域・在宅看護援助」(p.102～105)
F 清潔と衣生活		清潔と衣生活に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第6章 A-1「清潔の援助の基礎知識」(p.171～177)、B-1「援助の基礎知識」(p.224～225) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-5-a「暮らしにおける清潔・衣生活とその援助」(p.160～161)
		清潔と衣生活のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第6章「清潔・衣生活援助技術」(p.169～232) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-5-b「清潔・衣生活に関するアセスメント」(p.162～163)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章「清潔・衣生活援助技術」(p.169～232)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-5-c「在宅における清潔・衣生活の援助の実際」(p.163～171)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章 A-5「障害とリハビリテーション看護」(p.145～196)、B-5「障害とリハビリテーション看護」(p.201～226)、C-5「障害とリハビリテーション看護」(p.231～259)</p>
5 診療に伴う看護技術	A 呼吸、循環、体温調整	呼吸・循環・体温調整のアセスメント	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章「呼吸・循環を整える技術」(p.233～278)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-b「呼吸のアセスメント」(p.174～178)、E-7-c「循環のアセスメント」(p.178～180)</p>
		呼吸を楽にする姿勢と呼吸法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 A「体位保持」(p.152～156)、第7章 B「排痰ケア」(p.240～255)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-d-2「●呼吸法・呼吸リハビリテーション」(p.182)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-4「呼吸困難のある患者の看護」(p.242～246)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 B-4「呼吸困難に対する看護」(p.253～256)</p>
		血圧・血流を保持する姿勢	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.104～110)、第5章 A「体位保持」(p.152～156)、第7章 G「末梢循環促進ケア」(p.274～278)</p>
		酸素吸入の適応と方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素療法」(p.234～240)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-e-1「在宅酸素療法(HOT)を受ける療養者の援助」(p.186～190)、E-7-e-2「非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助」(p.190～197)、E-7-e-3「気管切開下陽圧換気(TPPV)を受ける療養者の援助」(p.197～199)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111～113)、第6章 D-2「酸素療法を受ける患者の看護」(p.253～256)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第3章 B-2-1「人工呼吸の目的と適応」(p.106)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.305～307)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 C-1「酸素療法」(p.208～210)</p>
		口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3「吸引」(p.248～255)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-d-2「●吸引」(p.182～183)、E-7-e-4「●排痰に関する地域・在宅看護技術」(p.204～205)</p> <p>救急看護学 : 第6章 F「吸引」(p.314～319)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第5章 C-1-6「気管内吸引」(p.205～207)</p>
		排痰法の適応と方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B「排痰ケア」(p.240～255)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-d-2「●排痰ケア」(p.182)、E-7-e-4「●排痰に関する地域・在宅看護技術」(p.204～205)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-1「咳嗽・喀痰のある患者の看護」(p.235～238)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第5章 A-6-5「看護」(p.272～280)</p>
		体温調整のための方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B「電法」(p.156～160)、第7章 F「体温管理の技術」(p.271～274)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 G「体温管理」(p.230～234)</p>
	B 皮膚・創傷管理	創傷の治癒過程	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.280～284)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 4章 F-1「創傷」(p.267～269)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第1章 E「創傷治癒」(p.34～52)</p> <p>救急看護学 : 第6章 O「創傷処置」(p.351～352)</p>
		創傷のアセスメント	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.280～284)、B「創傷処置」(p.284～297)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-8-b-3「褥瘡発生時の対応」(p.213～216)</p> <p>救急看護学 : 第5章 I-1「筋・骨格系の観察とアセスメント」(p.151～153)</p>
		洗浄、保護、包帯法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 B「創傷処置」(p.284～297)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-8-a「テープ類による皮膚トラブルの予防とケア」(p.206～209)</p> <p>救急看護学 : 第6章 O「創傷処置」(p.351～352)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		褥瘡の予防と治癒の促進	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 C「褥瘡予防」(p.298~306)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 4章 F-2-3「褥瘡ケア」(p.273~277)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-8-b「褥瘡の予防とケア」(p.209~216)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚) : 特論「褥瘡患者の看護」(p.249~272)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第1章 E-7「褥瘡の予防と処置」(p.47~52)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章 C-6-1「褥瘡」(p.256~258)</p>
	C 与薬	与薬における看護師の役割	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 A-2「看護師の役割」(p.312~314)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9「与薬に関する地域・在宅看護技術」(p.219~226)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 E-2-2「看護業務の視点で内服と薬業務の危険とその要因を知る」(p.101~107)</p> <p>薬理学 : 第1章 A-3「チームによる薬物治療と看護師の役割」(p.8~12)</p> <p>臨床薬理学 : 第1章 B「患者と薬物治療」(p.23~26)</p>
		薬剤の種類と取り扱い方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.309~376)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9「与薬に関する地域・在宅看護技術」(p.219~226)</p> <p>薬理学 : 第1章 A-2「現代の薬物」(p.5~7)</p> <p>臨床薬理学 : 第1章 A「医薬品の取り扱い」(p.6~23)</p>
		与薬方法と効果の観察	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.309~376)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9「与薬に関する地域・在宅看護技術」(p.219~226)</p> <p>臨床薬理学 : 第1章 B「薬物治療の実際」(p.23~33)</p>
		与薬の副作用(有害事象)の観察	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 A-2-1「正しい与薬」(p.312~313)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9「与薬に関する地域・在宅看護技術」(p.219~226)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 E-4「内服と薬事故防止のために必要な知識・技術」(p.112~114)</p>
	D 輸液・輸血管理	輸液・輸血の種類と取り扱い方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 H-2-d「静脈内注射」(p.346~369)、I「輸血管理」(p.369~375)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.92~96)、第5章 D-5「輸血療法」(p.199~213)</p> <p>薬理学 : 付章「輸液製剤・輸血剤」(p.314~326)</p> <p>救急看護学 : 第6章 H「輸液と輸血」(p.323~326)</p>
		輸液・輸血の管理方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 H-2-d「静脈内注射」(p.346~369)、I「輸血管理」(p.369~375)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 D-5「輸血療法」(p.199~213)</p> <p>救急看護学 : 第6章 H「輸液と輸血」(p.323~326)</p>
		輸液・輸血の副作用(有害事象)の観察	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 H-2-d「静脈内注射」(p.346~369)、I「輸血管理」(p.369~375)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.92~96)、第5章 D-5「輸血療法」(p.199~213)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 D-3-1「ABO血液型不適合輸血の初期症状と観察のポイント」(p.93~94)</p> <p>救急看護学 : 第6章 H「輸液と輸血」(p.323~326)</p>
	E 救命救急処置	生命の危機的状況のアセスメント	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 A-2「急変時における初期対応」(p.379~381)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-1「救急処置法の原則」(p.185~186)</p> <p>救急看護学 : 第4章「救急患者の観察とアセスメント」(p.100~160)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 A-2「重症救急患者の全身状態のアセスメント」(p.187~188)</p>
		一次救命処置 (BLS)	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.384~394)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-1「救急処置の範囲と対象」(p.184)</p> <p>救急看護学 : 第5章 A-1「一次救命処置(BLS)」(p.164~174)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 B-3-1「一次救命処置」(p.190~195)</p>
		止血法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 C「止血法」(p.396~399)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第4章 A-4「止血」(p.151~153)</p> <p>救急看護学 : 第6章 B「止血法」(p.299~305)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
F	生体機能のモニタリング	診察・検査時の看護師の役割	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 A「症状・生体機能管理技術の基礎知識」(p.405~407)、第12章「診察・検査・処置の介助」(p.435~456) 臨床検査 : 第2章 A-3「検査における看護師の役割」(p.28~30)
		検体検査(血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、骨髄液)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B「検体検査」(p.407~422)、第12章 B-8「穿刺」(p.449~456) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-1「血液検査」(p.72~74)、B-2「喀痰検査」(p.74~77)、B-4「胸水検査」(p.77~80) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 B-1「糞便検査」(p.74~77) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-1「尿の検査」(p.70~74) 臨床検査 : 第3章「一般検査」(p.78~101)
		生体検査(エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 C-1「心電図モニター」(p.423~425)、第12章 B-1「X線検査」(p.437~439)、B-2「コンピュータ断層撮影(CT)」(p.439)、B-3「磁気共鳴画像(MRI)」(p.439~441)、B-4「内視鏡検査」(p.441~443)、B-5「超音波検査」(p.443~444)、B-6「心電図検査」(p.445~447)、B-8「核医学検査」(p.448~449) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-5「画像診断」(p.80~87)、B-6「内視鏡検査」(p.87~92) 成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B「検査」(p.52~83) 臨床検査 : 第10章「生体検査」(p.288~355) 臨床放射線医学 : 第1部「画像診断」(p.17~177)
		経皮的動脈血酸素飽和度(SpO <sub>2</sub> )の測定、血糖測定	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1「血液検査」(p.407~416)、C-2「SpO <sub>2</sub> モニター」(p.425~428) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 付章 B-1「検査のための医療機器」(p.323~331) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-8-2「動脈血ガス分析」(p.101~107) 成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-6「血行動態モニタリング」(p.75~78) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 B-2-1-1「血糖値」(p.72)
		モニタリング機器の取り扱い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 C「生体情報のモニタリング」(p.422~434) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 付章 B-1「検査のための医療機器」(p.323~331)

### 目標Ⅲ. 保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 看護の役割と機能	A 看護の場に応じた活動	在宅における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-b「地域における看護」(p.231~241) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B「地域・在宅看護の役割」(p.18~22) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第1章 A「地域・在宅看護の展開」(p.12~48)、第2章 A-1「地域・在宅看護実践とは」(p.50~52)
		医療施設における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-a「医療施設における看護」(p.225~231) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 C-5「地域の施設に応じた看護」(p.43~46)
		保健施設と福祉施設における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-b「地域における看護」(p.231~241) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 C-5「地域の施設に応じた看護」(p.43~46)
	B 保健・医療・福祉の連携と継続看護	保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割と機能	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C-2「多職種チームの連携と継続的かわり」(p.69~72)、C-3「在宅療養を支える連携と継続的なかかわり」(p.72~76) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52~54)、第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340~341) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 E「チームアプローチ」(p.125~129)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		保健・医療・福祉の連携を支える仕組み	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第1章 C-2「多職種チームの連携と継続のかかわり」(p.69～72)、C-3「在宅療養を支える連携と継続的なかかわり」(p.72～76)</p> <p><b>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)</b>：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162)</p> <p><b>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)</b>：第5章 B-2-3「連携・協働のための会議」(p.346～347)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第10章 A「移行支援の基礎知識」(p.300～309)</p> <p><b>社会保障・社会福祉</b>：第8章 F「連携の重要性」(p.236～240)、G「社会福祉実践と医療・看護との連携」(p.240～246)、H「連携の場面とその方法」(p.246～251)</p> <p><b>看護情報学</b>：第5章 C「地域医療福祉のネットワークと情報システム」(p.116～128)</p>
		施設内・施設間における継続看護	<p><b>基礎看護学 [1] (看護学概論)</b>：第1章 C「看護の継続性と連携」(p.61～76)、第6章 B-2-c「継続看護」(p.241～246)</p> <p><b>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)</b>：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162)</p> <p><b>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)</b>：第3章 E「在宅療養移行期の看護」(p.239～241)</p> <p><b>成人看護学 [1] (成人看護学総論)</b>：第10章「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」(p.300～323)</p>

# 成人看護学

目標Ⅰ. 成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 成人の特徴と生活	A 成人期の発達の特徴	身体的・心理的・社会的な特徴	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-2 「成人期の対象者」 (p.63~67)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A 「対象の理解——大人になること、大人であること」 (p.4~26)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-6 「アイデンティティを求めるたたかいとモラトリアム」 (p.100~101)、B-2-7 「大人になるということ」 (p.101)</p> <p>心理学 : 第9章 D-1 「成人期のはじまりと中年の危機」 (p.186~190)</p>
		発達課題の特徴	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-1-2 「発達段階・発達課題」 (p.6~8)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-6 「アイデンティティを求めるたたかいとモラトリアム」 (p.100~101)、B-2-7 「大人になるということ」 (p.101)</p> <p>心理学 : 第9章 D-1 「成人期のはじまりと中年の危機」 (p.186~190)</p>
	B 成人の生活	家族形態の変化、家族機能	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37~39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154~158)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C 「成人保健」 (p.225~227)、C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247~248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34~36)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C 「家族機能」 (p.45~63)、D-1 「現代家族の様相」 (p.63~78)</p>
		ライフスタイルの特徴	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-2 「成人期の対象者」 (p.63~67)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-1-1 「大人の生活」 (p.27~28)、第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 B-1 「ライフスタイルと健康問題」 (p.182)</p>
	C 成人を取り巻く環境	社会状況の変化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B 「対象の生活——働いて生活を営むこと」 (p.26~41)、第2章 A 「成人を取り巻く環境と生活からみた健康」 (p.44~65)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A 「現代社会の変化」 (p.28~41)</p>
		産業構造・労働環境の変化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-1 「生活を営むこと」 (p.27~30)、B-2 「仕事をもち、働くこと」 (p.30~37)、第2章 A-1 「成人を取り巻く環境と生活の状況」 (p.44~55)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-4 「経済状況の変化」 (p.36~38)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)</p>
2 成人における健康の増進や疾病の予防	A 生活習慣に関する健康課題	生活習慣病の要因	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第2章 B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」 (p.187~197)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-4 「生活習慣病対策」 (p.234~242)</p>
		健康問題の現状と推移	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A 「成人を取り巻く環境と生活からみた健康」 (p.44~65)、B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」 (p.187~197)</p> <p>栄養学 : 第10章 A 「食生活の変遷と栄養の問題点」 (p.238~241)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-2 「健康づくり対策の変遷」 (p.229~232)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		健康行動、保健行動	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 A「生活のなかで健康行動を生み、はぐくむ援助」(p.92~104)、第4章「ヘルスプロモーション」(p.164~177)、第7章 B-2「生活の再構築への支援」(p.252~263)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 D-2「ヘルスプロモーション」(p.36~42)、第8章 C-6「健康教育」(p.244~246)</p>
	B 職業に関連する健康課題	就労条件・環境と疾病との関係	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-3「職業性・業務上疾病」(p.59~60)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175~177)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.187~188)</p> <p>公衆衛生 : 第10章 B「職場における健康をまもるしくみ」(p.340~354)</p>
		職業性疾患、作業関連疾患	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-3「職業性・業務上疾病」(p.59~60)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175~177)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.187~188)</p> <p>公衆衛生 : 第10章 B-2「労働災害の発生状況と防止対策」(p.343~346)</p>
	C ストレスに関連する健康課題	ストレスと健康	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 A-3-1「ストレス学説にみる心身の相互作用」(p.83~84)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-2「●健康」(p.66~67)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B-2「ストレスと健康生活」(p.183~186)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.31~33)</p>
		ストレスと対処法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B-2「ストレスと健康生活」(p.183~186)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36~38)、C-8「ストレスをしなやかにねかえす力——レジリエンス」(p.47~48)</p> <p>心理学 : 第10章 B-1「ストレスと適応」(p.196~201)</p>

目標Ⅱ. 急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 急性期にある患者と家族の看護	A 急性期にある患者と家族の特徴	身体的特徴	<p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 C-1「急性期」(p.65~69)、C-2「急性期の患者のニーズ」(p.69~71)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-3「急性期にある人の特徴」(p.210~212)</p> <p>救急看護学 : 第2章 A-3「発症様式と病態の特徴」(p.54~56)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第1章 B-1「患者の特徴」(p.10~16)、B-2「家族の特徴」(p.19~21)</p>
		心理的特徴	<p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 C-1「急性期」(p.65~69)、C-2「急性期の患者のニーズ」(p.69~71)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-3「急性期にある人の特徴」(p.210~212)</p> <p>救急看護学 : 第2章 A-4「心理的特徴」(p.56~59)、B-2「心理・社会的特徴」(p.60~63)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第1章 B-1「患者の特徴」(p.16~18)、B-2「家族の特徴」(p.19~23)</p> <p>家族看護学 : 第5章 A「急性期患者の家族看護」(p.188~200)</p>
		社会的特徴	<p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 C-1「急性期」(p.65~69)、C-2「急性期の患者のニーズ」(p.69~71)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-3「急性期にある人の特徴」(p.210~212)</p> <p>救急看護学 : 第2章 A-2「患者背景の特徴」(p.53~54)、B-2「心理・社会的特徴」(p.60~63)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第1章 B-1「患者の特徴」(p.16~18)、B-2「家族の特徴」(p.19~23)</p> <p>家族看護学 : 第5章 A「急性期患者の家族看護」(p.188~200)</p>
	B 急性期における看護の基本	危機的状態への支援	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-1「健康破綻による危機状況と危機にある人々への支援」(p.213~219)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第2章A「救急患者の特徴」(p.52～59)、B「救急患者家族の特徴」(p.59～64) クリティカルケア看護学：第4章M「危機状態にある患者・家族へのケア」(p.264～271) 精神保健福祉：第4章B-2「危機的状況に対する早期介入」(p.81～86)
		治療の緊急度と優先度、治療選択・意思決定への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章H「意思決定支援」(p.146～154)、第6章A-1「生命の危機状態」(p.200～203)、A-2「急性期にある人が受ける医療」(p.203～210) 救急看護学：第4章B-3「緊急度・重症度の判断と治療の優先順位」(p.109～110) クリティカルケア看護学：第4章M-1-2「クリティカルケアにおける心のケア」(p.265～267)
		代理意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章H「意思決定支援」(p.146～154) 救急看護学：第2章B「救急患者家族の特徴」(p.59～64)、第3章B-2-5「家族への対応」(p.78)、C-3「家族への対応」(p.80～82)、第5章O-2「脳死患者・家族の看護」(p.289～292) クリティカルケア看護学：第1章B-2-1「クリティカルな状況にある患者の家族」(p.19～23)
4 救急看護、 クリティカルケア	A 緊急度と重症度の アセスメント	意識レベル、神経学的 所見、全身状態	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-1「意識障害」(p.54～60)、第4章A「診断と診察の流れ」(p.88)、B-1「神経学的診察」(p.89～93) 救急看護学：第4章D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118～125) クリティカルケア看護学：第2章D-2「脳・神経機能障害のアセスメント」(p.103～109)、第4章A「観察と全身状態のアセスメント」(p.176～190)
		バイタルサイン	救急看護学：第4章B「全身と外観の観察とアセスメント」(p.103～109) クリティカルケア看護学：第4章A「観察と全身状態のアセスメント」(p.176～190)
	B 救急看護・クリ ティカルケアの基 本	心肺停止状態への対応	救急看護学：第5章A「心肺停止状態への対応」(p.164～181) クリティカルケア看護学：第4章B「心肺蘇生法」(p.190～197)
		ショックへの対応	救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.197～205) クリティカルケア看護学：第3章C-3-2「ショック患者の看護」(p.96～99)
		急性症状の応急処置	救急看護学：第5章「主要病態に対する救急処置と看護」(p.164～292)
		外傷・熱傷・中毒の応 急処置	救急看護学：第5章I「外傷への対応」(p.238～258)、J「熱傷への対応」(p.259～268)、K「中毒への対応」(p.268～273)
		熱中症・低体温症への 応急処置	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-2-2「災害と健康障害」(p.22～32) 救急看護学：第5章H「体温異常への対応」(p.230～238) クリティカルケア看護学：第4章G「体温管理」(p.230～234)
感染症への対応	クリティカルケア看護学：第3章E「消化機能障害」(p.116～134)、H「腎機能障害」(p.153～158)、I「多臓器障害」(p.158～165)		
5 周術期にある患者と 家族の看護	A 術前の看護	手術療法の理解を促す 援助	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章D-2-1「手術前の看護」(p.255～259) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1-2「危機にある人々への支援」(p.216～219) 臨床外科看護総論：第7章C「手術前の具体的な援助」(p.242～254)
		手術の意思決定への援 助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1-2「危機にある人々への支援」(p.216～219) 臨床外科看護総論：第7章B-2「心の整理と意思決定の支援」(p.233～236)
		術後合併症のリスクア セスメントと援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-2-1「手術療法を受ける患者の看護」(p.220～232) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章C-2「手術後の患者にせん妄がみられるとき」(p.358～363) 臨床外科看護総論：第7章C-4「全身状態を整える」(p.249～251)
		術前オリエンテーショ ン	臨床外科看護総論：第7章C-2「手術前オリエンテーション」(p.244)
		不安のアセスメントと 援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1-2「危機にある人々への支援」(p.216～219) 臨床外科看護総論：第7章C-3-1「不安の緩和」(p.245～246)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		ボディイメージ〈身体像〉の変容への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第7章 C-3-2 「身体像(ボディイメージ)変容の受容に対する支援」 (p.246~249)
	B 術中の看護	手術方法による影響と援助	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第4章 D-2-2 「手術当日の看護」 (p.252)、D-2-3 「手術室の看護」 (p.253~255) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.323~336) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「外科的治療法」 (p.108~115) 臨床外科看護総論 : 第4章 「外科的治療の実際」 (p.144~182)、第8章 「手術中患者の看護」 (p.262~304)
		手術体位による影響と援助	臨床外科看護総論 : 第8章 B-3-2 「手術体位とその介助」 (p.272~276)
		麻酔による影響と援助	臨床外科看護総論 : 第3章 A 「麻酔法」 (p.76~101)、第8章 B-3 「麻酔導入時の注意」 (p.268~272)
		安全管理〈セーフティマネジメント〉(患者確認、ガーゼ遺残の防止)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 F-2 「リスクマネジメント」 (p.136~139) 臨床外科看護総論 : 第8章 A-2 「手術室の安全管理」 (p.262~265)
	C 術後の看護	侵襲に対する生体反応	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-2 「患者のアセスメント」 (p.307~309) クリティカルケア看護学 : 第3章 A 「過大侵襲を受けた患者の生体反応」 (p.54~64)
		術後の鎮痛・鎮静管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-5 「手術後の疼痛管理」 (p.312~316) クリティカルケア看護学 : 第4章 F-2 「鎮痛管理」 (p.224~227) 臨床薬理学 : 第4章 G-1 「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」 (p.297~303)
		創傷管理・処置	臨床外科看護総論 : 第1章 E-4 「創傷管理法」 (p.38~41) クリティカルケア看護学 : 第4章 I 「創傷管理」 (p.241~245)
		ドレーン管理・処置	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第4章 D-2-4 「手術後の看護」 (p.255~259) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第3章 A-3-3 「ドレーン管理におけるおもな危険とその要因」 (p.128~130) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-7 「ドレーンの管理」 (p.319~323) クリティカルケア看護学 : 第4章 J 「ドレーン管理」 (p.245~252)
	D 術後合併症と予防	術後出血	臨床外科看護総論 : 第9章 C-1 「手術後の出血」 (p.330)
		深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-a-3-6 「静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)の予防」 (p.290~292) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-2-4 「深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症」 (p.331~332)
		呼吸器合併症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-a-3-4 「合併症予防のための患者教育」 (p.287~290)
		感染症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-10 「術後感染症」 (p.341~343) クリティカルケア看護学 : 第4章 H 「感染予防対策」 (p.234~241)
		廃用症候群	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2 「廃用症候群」 (p.389~391) クリティカルケア看護学 : 第4章 K 「早期回復への援助」 (p.250~253)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		消化器合併症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-5 「消化器合併症」 (p.335~337)
	E 術後の機能障害や生活制限への看護	ボディイメージ〈身体像〉の受容への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 臨床外科看護総論 : 第9章 D-1 「形態変化や機能障害に対する適応への援助」 (p.343~344)
		退院調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」 (p.300~323)、第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 E 「在宅療養移行期の看護」 (p.239~241) 臨床外科看護総論 : 第9章 D-2 「退院指導と継続看護」 (p.344~345)
		機能訓練	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232)、第8章 B-2-1 「急性期のリハビリテーションと看護」 (p.272) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-4 「早期離床の促進」 (p.311~312)
		セルフケア能力の獲得	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-2-1 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.220~232)、第8章 B-2-1 「急性期のリハビリテーションと看護」 (p.272) 臨床外科看護総論 : 第9章 D 「自己管理に向けた援助」 (p.343~345)

### 目標Ⅲ. 慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 慢性疾患がある患者と家族の看護	A 慢性疾患がある患者と家族の特徴	慢性疾患の特徴、慢性疾患の動向	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 E-1 「慢性期」 (p.88~93)、E-2 「慢性期の患者のニーズ」 (p.93~97) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2 「成人の健康の状況」 (p.56~63)、第7章 A 「慢性病とともに生きる人を支える」 (p.240~248)
		慢性疾患とともに生きる患者と家族の特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 「慢性病とともに生きる人を支える看護」 (p.240~264) 家族看護学 : 第5章 B 「慢性期の小児患者の家族看護」 (p.200~211)
	B 慢性疾患の治療と看護の基本	治療選択・意思決定への支援	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 D-3 「慢性期にある患者への看護援助」 (p.97~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 H 「意思決定支援」 (p.146~154)、第7章 「慢性病とともに生きる人を支える看護」 (p.240~264)
		症状のマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 B 「症状マネジメント」 (p.104~114)、第7章 B 「慢性病とともに生きる人を支える」 (p.248~263)
		治療や療養の継続的な支援と連携	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 E 「チームアプローチ」 (p.125~129)、第7章 B 「慢性病とともに生きる人を支える」 (p.248~263)
	C セルフケア・自己管理を促進する看護	セルフケア能力とセルフケア行動のアセスメント、アドヒアランスに影響する要因のアセスメント	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 E-3 「慢性期にある患者への看護援助」 (p.97~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 A-1-2 「慢性病をもつ人の特徴」 (p.241~242)、B-1 「セルフケアおよびセルフマネジメントへの支援」 (p.249~252) 臨床外科看護総論 : 第9章 E 「自己管理に向けた援助」 (p.371~373)
		自己管理支援、セルフケア支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-2-3 「セルフケア力を引き出す支援」 (p.21) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B 「慢性病とともに生きる人を支える」 (p.248~263) 臨床外科看護総論 : 第9章 E 「自己管理に向けた援助」 (p.371~373)
自己効力感、エンパワメント		成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 A-2-2 「エンパワメントを促すためのアプローチ」 (p.101~103)、第7章 B 「慢性病とともに生きる人を支える」 (p.248~263) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-3-4 「自己効力感」 (p.66~67) 公衆衛生 : 第8章 B-6-1 「健康教育とエンパワメント」 (p.244~245)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
D	社会的支援の獲得への援助	患者と家族の相互作用と関係性	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章I「家族支援」(p.154~158) 臨床外科看護総論 : 第1章B-1「家族の理解」(p.33~38) 家族看護学 : 第5章B「慢性期の小児患者の家族看護」(p.200~211)
		退院支援、退院調整	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章B-6-1「外来患者の看護」(p.152)、B-6-2「入院患者の看護」(p.153)、B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153~154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章D「在宅療養準備期(退院前)の看護」(p.234~239)、E「在宅療養移行期の看護」(p.239~244)、第6章B-1「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」(p.360~365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章「さまざまな健康レベルにある人の継続的な健康支援」(p.300~323)
		多職種連携	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章「地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340~355) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章E「チームアプローチ」(p.125~129)、第7章B-2-5「チームアプローチ」(p.261~262)、第10章A-3-4「多職種連携、地域連携」(p.307~308)、B「継続的な移行を支える支援の実際」(p.309~323)
		セルフヘルプグループ・サポートグループ・家族会の活用と支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章C「医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働」(p.347~353) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章D「人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ」(p.120~125)、第7章B-2-6「ピアサポート」(p.262~263) 公衆衛生 : 第8章B-6-2「グループを活用したエンパワメント」(p.245~246) 社会保障・社会福祉 : 第8章E-4「セルフヘルプ・グループ」(p.235~236) 家族看護学 : 第3章C-2「家族を支える介入」(p.111~116)
		医療費助成制度の活用	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章「地域・在宅看護にかかわる制度とその活用」(p.168~210) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章B-2-4「ソーシャルサポートの活用」(p.260~261)、第10章A-3-5「多面的な資源の活用」(p.308) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第1章A-3-2「難病」(p.8~9) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第1章A-2「医療の動向(難病対策)」(p.117~118)

目標Ⅳ. リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 リハビリテーションの特徴と看護	A リハビリテーションの特徴	リハビリテーションの定義	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章A-3「障害がある人のリハビリテーション」(p.270~271) 成人看護学 [3] (循環器) : 第6章F「心臓リハビリテーションと看護」(p.357~367) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章C-3「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.314~318) 社会保障・社会福祉 : 第7章B-2-2「リハビリテーション」(p.171) リハビリテーション看護 : 第1章A「リハビリテーションの定義と理念」(p.2~7)、第2章A-1「リハビリテーション看護の定義」(p.40~41) 精神保健福祉 : 第4章C-1「精神科リハビリテーションとリカバリー」(p.97~102)
		リハビリテーションにおける看護の役割	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章B「障害がある人とその生活を支援する看護」(p.271~277) リハビリテーション看護 : 第2章「リハビリテーション看護概論」(p.39~84)
		機能障害と分類	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章A-1「障害とは」(p.266~268) 公衆衛生 : 第8章G-1「障害・難病とは」(p.293~296) リハビリテーション看護 : 第1章C「疾病・障害・生活機能の分類」(p.15~22)
	B 機能障害のアセスメント	生活機能障害と日常生活動作(ADL)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章B「障害がある人とその生活を支援する看護」(p.271~277) リハビリテーション看護 : 第2章C-2-1「ICFによる生活機能の全体的な構造」(p.61)、C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61~67)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		居住環境	<p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第1章 B-2 「地域・在宅看護過程における情報収集とアセスメント」 (p.24~41)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B-2-2 「回復期のリハビリテーションと看護」 (p.273~275)、B-2-3 「生活期のリハビリテーションと看護」 (p.276~277)</p>
	C 障害に対する受容と適応への看護	廃用症候群の予防	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B-2-1 「急性期のリハビリテーションと看護」 (p.272)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第3章 B-3 「骨折のリハビリテーションプログラム」 (p.94~96)、B-4-2 「関節拘縮」 (p.102~106)、B-4-3 「筋萎縮」 (p.106~115)、第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148~164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201~218)</p>
		日常生活動作 (ADL)・活動範囲の拡大に向けた援助	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B 「障害がある人とその生活を支援する看護」 (p.271~277)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 C-3-1 「日常生活活動の援助」 (p.70~71)、第3章 B-4 「障害とリハビリテーション看護」 (p.96~113)、C-4-5 「看護」 (p.126~132)、第4章 A-5 「障害とリハビリテーション看護」 (p.145~196)、B-5 「障害とリハビリテーション看護」 (p.201~226)、C-5 「障害とリハビリテーション看護」 (p.231~256)</p>
		補助具・自助具の活用	<p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b-2 「●福祉用具の活用」 (p.98~103)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B-2-2 「回復期のリハビリテーションと看護」 (p.273~275)</p> <p>成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 G-5 「関節リウマチ患者の看護」 (p.300~303)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第3章 C-4-5 「看護」 (p.126~132)、第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148~164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201~218)、C-5-1 「運動麻痺」 (p.231~244)</p>
		心理的葛藤への援助	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 A-2 「障害がある人の障害の認識過程」 (p.268~270)、B-2-2 「回復期のリハビリテーションと看護」 (p.273~275)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第1章 B-2-2 「心理・社会的な問題に対する援助」 (p.14~15)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第7章 C-3-2 「身体像(ボディイメージ)の変化受容に対する支援」 (p.262~265)、第9章 E-1 「形態変化や機能障害に対する適応への援助」 (p.371~372)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 B-2 「障害者の体験」 (p.47~57)、C-3-2 「障害受容に対する援助」 (p.73~75)</p>
	D チームアプローチと社会資源の活用	多職種連携	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C 「地域・在宅看護における多職種連携」 (p.154~162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 「地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働」 (p.340~355)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 E 「チームアプローチ」 (p.125~129)、第10章 A-3-4 「多職種連携、地域連携」 (p.307~308)、B 「継続的な移行を支える支援の実際」 (p.309~323)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第1章 E-2 「連携職種」 (p.29~32)、E-3 「多職種連携のあり方」 (p.32~36)</p>
		社会資源の活用	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 C-8-3 「社会資源の活用」 (p.198~199)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 C 「医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働」 (p.347~353)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 A-3-5 「多面的な資源の活用」 (p.308)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 G-3-1 「生活支援・療養支援」 (p.299~301)</p> <p>看護関係法令 : 第7章 D-3-d 「身体障害者福祉法」 (p.228~229)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第1章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)</p>
	E 患者の社会参加への支援	就労条件・環境の調整	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B-2-3 「生活期のリハビリテーションと看護」 (p.276~277)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第1章 B-2-2 「心理・社会的な問題に対する援助」 (p.14~15)、第6章 A-3 「慢性期(退院後)の患者の看護」 (p.242~244)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)</p> <p>精神保健福祉 : 第5章 B-4-2 「就労支援の実際」 (p.136~139)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		社会参加を促す要素と阻害要因	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章 A 「障害がある人とリハビリテーション」 (p.266~271) リハビリテーション看護 : 第 2 章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)

目標Ⅴ. がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 がん患者と家族への看護	A がん患者の抱える苦痛	転移・浸潤に伴う身体的苦痛、身体症状に伴う活動制限	がん看護学 : 第 2 章 B-3 「がんに伴うカヘキシアと倦怠感」 (p.69~71)、第 3 章 A-1-3 「●身体的苦痛」 (p.187)、B-2 「身体的苦痛」 (p.201~202) 緩和ケア : 第 6 章 B-1 「悪性腫瘍」 (p.173~181)
		がんの診断や再発・転移による心理的苦痛	がん看護学 : 第 3 章 A-1-3 「●精神的苦痛」 (p.188)、B 「がん患者の苦痛のマネジメント」 (p.200~215) 緩和ケア : 第 5 章 B 「心理的ケア : 病によるストレスへの対処の力とその支援」 (p.97~115)
		社会的苦痛	がん看護学 : 第 3 章 A-1-3 「●社会的苦痛」 (p.188)、B 「がん患者の苦痛のマネジメント」 (p.200~215) 緩和ケア : 第 5 章 C 「社会的ケア : 住み慣れた地域での暮らしの支援」 (p.97~115)
		スピリチュアルな苦痛	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 14 章 C-3 「痛みのために患者が『死にたい』と訴えているとき」 (p.363~367) がん看護学 : 第 3 章 A-1-3 「●スピリチュアルペイン」 (p.188)、B 「がん患者の苦痛のマネジメント」 (p.200~215) 緩和ケア : 第 5 章 D 「スピリチュアルケア : 『生・老・病・死』と向き合う苦を支える」 (p.97~115)
	B がん患者の集学的治療と看護	手術療法と看護	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 4 章 D 「手術療法を受ける対象者への看護」 (p.249~259) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 II 「肺・胸部疾患患者の看護」 (p.38~82)、第 3 章 II 「消化器・腹部疾患患者の看護」 (p.319~366)、第 4 章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」 (p.403~415)、第 5 章 II-B 「頭頸部がん患者の看護」 (p.457~477) がん看護学 : 第 3 章 B 「手術療法」 (p.111~127)、第 5 章 B 「手術療法における看護」 (p.247~262)
		薬物療法と看護	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 6 章 A-2-2 「薬物療法」 (p.205~207) 薬理学 : 第 4 章 「抗がん薬」 (p.104~116) がん看護学 : 第 3 章 B 「薬物療法」 (p.128~158)、第 5 章 C 「薬物療法における看護」 (p.263~280) 臨床薬理学 : 第 4 章 F-2 「抗がん薬が血管外に漏出したときの副腎皮質ステロイド薬の局所注射および投与量の調整」 (p.289~296)
		放射線療法と看護	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 4 章 C 「放射線療法を受ける対象者への看護」 (p.239~249) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 6 章 A-2-3 「放射線療法」 (p.207~208) がん看護学 : 第 3 章 D 「放射線療法」 (p.159~181)、第 5 章 D 「放射線療法における看護」 (p.281~294) 臨床放射線医学 : 第 2 部 「放射線治療」 (p.179~262)
		造血幹細胞移植と看護	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 4 章 C-4-3 「造血幹細胞移植」 (p.83~89)、第 5 章 D-4 「造血幹細胞移植を受ける患者の看護」 (p.184~199) がん看護学 : 第 5 章 E 「造血幹細胞移植と看護」 (p.295~311)
		免疫療法と看護	がん看護学 : 第 3 章 C-2-5 「免疫チェックポイント阻害薬」 (p.140~142)、C-2-6 「CAR-T 細胞療法」 (p.143~144)
		C がん患者の社会参加への支援	就労継続・環境の調整
社会参加を促す要素と阻害要因	がん看護学 : 第 4 章 C-4 「社会的サポート」 (p.188~197) 緩和ケア : 第 5 章 C 「社会的ケア : 住み慣れた地域での暮らしの支援」 (p.97~115)		
がんサバイバー、がんサバイバーシップ	がん看護学 : 第 4 章 A-2 「がんサバイバーシップケア」 (p.188~197)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		社会資源の活用(ピアサポートを含む)	<b>がん看護学</b> ：第4章C「がん患者に対する心理的・社会的サポート」(p.216～243)、第5章H-5「がん相談支援センターとピアサポート」(p.341～343)
	D がん患者の家族の特徴と看護	家族が直面する課題	<b>がん看護学</b> ：第4章C-3「家族への支援」(p.226～228)、第5章H-6「地域で生活する患者・家族を支えるシステム」(p.343～346)
		家族への支援	<b>がん看護学</b> ：第4章C-3「家族への支援」(p.226～228)、第5章H-6「地域で生活する患者・家族を支えるシステム」(p.343～346)

目標Ⅵ. 終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	がん患者	<b>がん看護学</b> ：第3章A-3「緩和ケア」(p.94～105) <b>緩和ケア</b> ：第6章B-1「悪性腫瘍」(p.173～181)
		慢性心不全患者	<b>成人看護学</b> [3] (循環器)：第6章A「疾患をもつ患者の経過と看護」(p.238～246)、第6章E-2「心不全患者の看護」(p.323～335) <b>緩和ケア</b> ：第6章B-2「心疾患」(p.181～188)
		慢性呼吸不全患者	<b>成人看護学</b> [2] (呼吸器)：第5章E-2「急性呼吸不全と慢性呼吸不全」(p.193～194)、第6章E-4-3「終末期の看護」(p.337～338) <b>緩和ケア</b> ：第6章B-2「呼吸器疾患」(p.188～202)
		難病患者	<b>地域・在宅看護論</b> [2] (地域・在宅看護の実践)：第4章E「筋萎縮性側索硬化症(ALS)の療養者の事例展開」(p.283～296)、F「パーキンソン病の療養者の事例展開」(p.296～308)
	B エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	症状アセスメントとマネジメント	<b>成人看護学</b> [1] (成人看護学総論)：第3章B「症状マネジメントにおける看護技術」(p.104～114)、第9章C-3-2「身体的苦痛を緩和するための知識と技術、態度をもつ」(p.295～296) <b>がん看護学</b> ：第4章A-1-2「エンドオブライフ(終末期)を迎えたがん患者の特徴と看護」(p.187) <b>緩和ケア</b> ：第7章「臨死期のケア」(p.224～233)
		全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	<b>成人看護学</b> [1] (成人看護学総論)：第9章B-2「全人的苦痛(トータルペイン)」(p.289～291)、C「人生の最期のときを支える看護」(p.292～298) <b>臨床外科看護総論</b> ：第2章E-3「全人的苦痛の緩和」(p.119～124) <b>がん看護学</b> ：第4章B-4「苦痛のアセスメントとマネジメント」(p.206～207) <b>クリティカルケア看護学</b> ：第2章C-2-2「苦痛緩和」(p.43～44) <b>緩和ケア</b> ：第5章A-2「日常生活を支える援助」(p.93～96)
		治療中止や療養の場の移行に対する意思決定支援	<b>地域・在宅看護論</b> [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章C-2「家族の支援」(p.64～67) <b>成人看護学</b> [1] (成人看護学総論)：第9章A-1-5「意思決定」(p.283)、C-3-3「患者の意向を理解し、患者自身がよりよい方向を選択できるように支える」(p.296～297)、第10章B-2「人生の最期のときにある人の療養の場の移行支援」(p.320～323) <b>臨床外科看護総論</b> ：第2章E-3-1「身体的苦痛の緩和」(p.119～123) <b>クリティカルケア看護学</b> ：第2章C-2-1「終末期における意思決定」(p.40～42)、C-2-2「苦痛緩和」(p.43～44) <b>緩和ケア</b> ：第4章B「意思決定支援」(p.63～72)、第4章C-2-4「苦痛緩和のための鎮静」(p.74)
予期的悲嘆に対するアセスメントとケア	<b>成人看護学</b> [1] (成人看護学総論)：第6章B-2-1「●ボディイメージ修正への支援」(p.231～232)、第9章B-3「死と共に生きること」(p.292)、第10章B-2「人生の最期のときにある人の療養の場の移行支援」(p.320～323) <b>がん看護学</b> ：第4章B-3「精神的苦痛」(p.203～205) <b>緩和ケア</b> ：第8章D「グリーフと遺族ケア」(p.249～254)		
アドバンス・ケア・プランニング (ACP)	<b>地域・在宅看護論</b> [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章C-2「家族の支援」(p.64～67) <b>成人看護学</b> [1] (成人看護学総論)：第9章C-3-2「患者の意向を理解し、患者自身がよりよい方向を選択できるように支える」(p.296～297) <b>がん看護学</b> ：第1章E-3「アドバンス・ケア・プランニングと倫理」(p.47) <b>緩和ケア</b> ：第4章B-2「アドバンス・ケア・プランニング」(p.65～72)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		家族への支援	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 A 「死にゆく人と周囲の人々へのケア」 (p.458~464)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第 2 章 C-2 「家族の支援」 (p.64~67)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第 2 章 E-2-3 「家族のケア」 (p.119)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 2 章 C-2-3 「家族看護」 (p.44~46)</p> <p>がん看護学 : 第 4 章 A-1-2 「エンドオブライフ (終末期) を迎えたがん患者の特徴と看護」 (p.187)</p> <p>緩和ケア : 第 8 章 D 「グリーフと遺族ケア」 (p.249~254)</p> <p>家族看護学 : 第 5 章 C 「終末期患者の家族看護」 (p.212~226)</p>
	C 臨死期の看護	身体的特徴とケア	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 9 章 C 「人生の最期のときを支える看護」 (p.292~298)</p> <p>緩和ケア : 第 7 章 「臨死期のケア」 (p.224~233)</p>
精神的特徴とケア		<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 9 章 C 「人生の最期のときを支える看護」 (p.292~298)</p> <p>緩和ケア : 第 7 章 「臨死期のケア」 (p.224~233)</p>	
家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援		<p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第 2 章 C-2 「家族の支援」 (p.64~67)、第 3 章 H 「終末期の看護 (グリーフケア含む)」 (p.245~248)、第 4 章 I-6 「死亡直後の看護」 (p.335~336)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 H 「意思決定支援」 (p.146~154)、第 9 章 C-3-2 「患者の意向を理解し、患者自身がよりよい方向を選択できるように支える」 (p.296~297)</p> <p>緩和ケア : 第 8 章 D 「グリーフと遺族ケア」 (p.249~254)</p> <p>家族看護学 : 第 5 章 C 「終末期患者の家族看護」 (p.212~226)</p>	

目標Ⅶ. 各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 呼吸機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	酸素化障害	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-3 「ガス交換」 (p.35~38)、第 4 章 B-8-2 「ガス交換機能検査」 (p.100~108)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 3 章 B 「呼吸機能障害」 (p.64~80)</p>
		換気障害	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-2 「換気運動」 (p.33~35)、第 4 章 B-8-1 「換気機能検査」 (p.95~100)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 3 章 B 「呼吸機能障害」 (p.64~80)</p> <p>臨床検査 : 第 10 章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.308~318)</p>
		呼吸運動障害	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-1 「呼吸調節」 (p.32~33)、第 4 章 B-8 「呼吸機能検査」 (p.95~108)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 3 章 B 「呼吸機能障害」 (p.64~80)</p> <p>臨床検査 : 第 10 章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.308~318)</p>
		生命・生活への影響	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 1 章 B 「患者の特徴」 (p.11~13)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 B-11 「呼吸障害のある患者の看護」 (p.292~296)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 3 章 B 「呼吸機能障害」 (p.64~80)</p>
		動脈血ガス分析、動脈血酸素飽和度	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 11 章 B-1 「血液検査」 (p.407~416)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 4 章 B-8-2 「動脈血ガス分析」 (p.101~107)</p> <p>臨床検査 : 第 5 章 J 「血液ガス分析」 (p.174~179)</p>
	B 検査・処置を受ける患者への看護	呼吸機能検査	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 12 章 B-7 「肺機能検査」 (p.447~448)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 4 章 B-8 「呼吸機能検査」 (p.95~108)</p> <p>臨床検査 : 第 10 章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.308~318)</p>
		気管支鏡検査	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 4 章 B-6-1 「気管支鏡」 (p.87~92)、第 6 章 C-1-1 「気管支鏡検査」 (p.246~247)</p> <p>臨床検査 : 第 10 章 III 「内視鏡検査」 (p.345~355)</p>
		胸腔穿刺	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 12 章 C-9-1 「胸腔穿刺」 (p.449~451)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 4 章 B-7-1 「細胞診」 (p.92~93)、第 6 章 C-2-2 「胸腔穿刺」 (p.249~250)</p> <p>臨床検査 : 第 3 章 C 「体腔内貯留液検査」 (p.95~97)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
C 治療を受ける患者の看護		肺生検	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-7 「生検」 (p.92~95)、第6章 C-2 「肺組織の生検を受ける患者の看護」 (p.248~251) 臨床検査 : 第9章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.281~282)
		胸部エックス線検査、胸部 CT 検査	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-5 「画像診断」 (p.80~87) 臨床放射線医学 : 第3章 C-3 「CT 検査を受ける患者の看護」 (p.66~67)、第3章 D-2 「胸部」 (p.69~71)
		喀痰の吸引、喀痰細胞診、喀痰培養	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-2 「喀痰検査」 (p.74~77)
		酸素療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234~240) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-e-1 「在宅酸素療法(HOT)を受ける療養者の援助」 (p.186~190) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111~113)、第6章 D-2 「酸素療法を受ける患者の看護」 (p.253~258) クリティカルケア看護学 : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.208~210)
		侵襲的・非侵襲的陽圧換気	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 E 「人工呼吸療法」 (p.264~270) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-e-2 「非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助」 (p.190~197)、E-7-e-3 「気管切開下陽圧換気(TPPV)を受ける療養者の援助」 (p.197~199) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3 「人工呼吸療法」 (p.114~118)、C-5-5 「気管切開」 (p.124~125)、第6章 D-3 「人工呼吸器を装着する患者の看護」 (p.258~273)、D-4 「気管切開を受ける患者の看護」 (p.273~282) クリティカルケア看護学 : 第4章 C-1 「人工呼吸器による呼吸管理」 (p.197~208)
		肺切除術、内視鏡的肺切除術	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-7-1 「開胸術と肺切除」 (p.130~132)、第6章 D-6 「手術を受ける患者の看護」 (p.283~304) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-A-6-3 「肺がんの治療・予後」 (p.17~21)、II-A 「肺切除術を受ける患者の看護」 (p.38~57)
		胸腔ドレナージ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 C 「胸腔ドレナージ」 (p.256~259) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-6 「胸腔ドレナージ」 (p.124~129)、第6章 D-5 「胸腔ドレナージを受ける患者の看護」 (p.282~283) 臨床外科看護各論 : 第1章 II-A-2 「手術後の看護」 (p.43~57)
		吸入による薬物療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 D 「吸入」 (p.260~264)、第9章 C 「吸入」 (p.318~319) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-1 「吸入療法」 (p.109~111)、第6章 D-1 「吸入療法を受ける患者の看護」 (p.251~253) 臨床薬理学 : 第3章 F 「気管支喘息」 (p.111~119)、G 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.120~124)
		薬物療法(化学療法、抗菌薬)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章各疾患の「治療」の項目(p.138~224) 臨床薬理学 : 第2章 E 「鎮咳・去痰薬」 (p.60~64)
		D 病期や機能障害に応じた看護	腫瘍(肺癌、悪性中皮腫)
呼吸器感染症(肺炎、気管支炎、胸膜炎、肺結核、膿胸)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-1-2 「急性気管支炎」 (p.139)、A-3 「肺炎」 (p.142~153)、A-4 「結核」 (p.153~163)、I-1-1 「胸膜炎」 (p.213~214)、I-1-2 「膿胸」 (p.214)、第6章 E-1 「肺炎患者の看護」 (p.305~308)、E-2 「結核患者の看護」 (p.308~317) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 B 「上気道感染症」 (p.287~289)、C 「下気道感染症」 (p.289~292)		
慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺気腫	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188)、第6章 A-1 「慢性閉塞性肺疾患患者の経過と看護」 (p.226~231)、E-4 「慢性閉塞性肺疾患患者の看護」 (p.323~338) リハビリテーション看護 : 第5章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.263~280)		
気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181)、第6章 E-3 「気管支喘息患者の看護」 (p.317~323) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 E-1 「気管支喘息患者の看護」 (p.81~83)		
気胸	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 I-1-3 「自然気胸」 (p.214~217)、第6章 E-9 「自然気胸患者の看護」 (p.354~356)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床外科看護各論：第1章 I-B-1「自然気胸」(p.22~23)、第1章 I-C-4「外傷性気胸・外傷性血胸」(p.26)
11 循環機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	ポンプ機能障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32~46)、第5章 B「心不全」(p.152~164)、第6章 E-2「心不全患者の看護」(p.323~335) クリティカルケア看護学：第3章 C-4-1「急性心不全」(p.80~83)
		刺激伝導障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32~46)、第5章 D「不整脈」(p.175~201)、第6章 E-4「不整脈患者の看護」(p.338~343)
		血管・リンパ管障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32~46)、第5章 J「動脈系疾患」(p.223~229)、K「静脈系疾患」(p.230~233)、L「リンパ系疾患」(p.234~235)、第6章 E-8「動脈系疾患患者の看護」(p.348~352)、E-9「静脈系疾患患者の看護」(p.352~354)
		生命・生活への影響	成人看護学 [3] (循環器)：第1章 B-1「患者の特徴」(p.8~10)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	心電図	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章 C-1「心電図モニター」(p.423~425)、第12章 B-6「心電図検査」(p.445~447) 成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-1「心電図」(p.52~60)
		心血管超音波	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-3「心エコー法」(p.63~66) 臨床検査：第10章Ⅱ-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~337)
		血管造影	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-5「心臓カテーテル法」(p.68~75)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.263~264) 臨床放射線医学：第7章「IVR・血管造影」(p.157~177)
		心臓カテーテル	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-5「心臓カテーテル法」(p.68~75)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.263~264)
	C 治療を受ける患者への看護	経皮的冠動脈形成術<PCI>	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-1-2「経皮的冠動脈インターベンション(PCI)」(p.84~87)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.263~264) 臨床外科看護各論：第2章Ⅱ-B-3「非開心術を受ける患者の看護」(p.160~161)
		冠動脈バイパス術<CABG>	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-2-2「冠動脈バイパス術」(p.100~103)、第6章 D-4「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」(p.297~299) 臨床外科看護各論：第2章Ⅱ-B-2「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」(p.158~160)
		弁置換術、弁形成術	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-2-3「弁膜症に対する手術」(p.103~109)、第6章 D-5「弁置換術・弁形成術を受ける患者の看護」(p.299~303) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-3-a「弁膜症」(p.92~99)、Ⅱ-B-1「弁置換術を受ける患者の看護」(p.156~158)
大動脈内バルーンパンピング(IABP)		成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-3-1「大動脈内バルーンパンピング」(p.116)、第6章 D-8「補助循環装置を装着する患者の看護」(p.310~312) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-5-1「補助循環」(p.108~110) クリティカルケア看護学：第4章 D-4-1「大動脈内バルーンパンピング(IABP)」(p.215~216)	
ペースメーカー		成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-1-3「ペースメーカー治療」(p.87~92)、第6章 E-4-b「ペースメーカーを装着した患者への看護」(p.340~343) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-4-2「ペースメーカー植込み」(p.106~107)	
植込み型除細動器		成人看護学 [3] (循環器)：第4章 D-4-4「植込み型除細動器(ICD)」(p.201) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-4-4「植込み型除細動器」(p.107) クリティカルケア看護学：第4章 D-4-3「植込み型除細動器(ICD)」(p.217~218)	
血栓溶解療法、血栓除去術		成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-2-5「血栓除去術」(p.115)、第5章 A-2-b-5「治療」(p.141~145)、第6章 D-7「血栓除去術を受ける患者の看護」(p.308~310) 薬理学：第9章 G-2「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.227~229) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-B-4-2「深部静脈血栓症」(p.133~135) 臨床薬理学：第3章 E「抗血小板薬・抗凝固療法」(p.105~110)	
心臓リハビリテーション		成人看護学 [3] (循環器)：第6章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.357~367)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 病期や機能障害に応じた看護	カテーテル治療	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 D-2 「カテーテル治療を受ける患者の看護」 (p.276~279)
		心不全	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-2 「心不全患者の看護」 (p.323~335) 臨床薬理学 : 第3章 C 「心不全」 (p.92~98)
		虚血性心疾患	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-1 「虚血性心疾患患者の看護」 (p.312~323) クリティカルケア看護学 : 第3章 C-3-1 「急性冠症候群患者の看護」 (p.93~96) リハビリテーション看護 : 第5章 B 「虚血性心疾患」 (p.281~298) 臨床薬理学 : 第3章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91)
		弁膜症	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-5 「弁膜症患者(感染性心内膜炎患者)の看護」 (p.343~345)
		不整脈	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-4 「不整脈患者の看護」 (p.338~343) 臨床薬理学 : 第3章 D 「不整脈」 (p.99~104)
		動脈系疾患(大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-8-b 「動脈閉塞性疾患患者の看護」 (p.350~352) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-B-2-2 「慢性動脈閉塞」 (p.114~118)、第2章 I-B-3 「動脈瘤」 (p.121~130)
		静脈系疾患(深部静脈血栓症、肺塞栓症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 K-2 「深部静脈血栓症」 (p.230)、K-4 「肺塞栓症」 (p.231~232) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-B-4-2 「深部静脈血栓症」 (p.133~135)、I-B-4-3 「肺血栓塞栓症」 (p.135~136)
		心筋炎、心膜炎	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 F 「心膜炎」 (p.207~209)、G-2 「心筋炎」 (p.213) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 D-1 「感染性心内膜炎」 (p.292~293)
12 消化・吸収機能障害のある患者への看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	嚥下障害	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-c-6 「嚥下困難のある対象者の食事援助のポイント」 (p.116~119) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 特論 「摂食・嚥下障害患者の看護」 (p.242~270) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第6章 B-2-4 「摂食・嚥下障害のある患者の看護」 (p.171~175)
		消化管機能障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.342~354)、E-2 「胃・十二指腸疾患患者の看護」 (p.354~367)、E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.367~396)
		膵液分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 E-5 「膵臓疾患患者の看護」 (p.424~433)
		胆汁分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.396~424)
		生命・生活への影響	成人看護学 [5] (消化器) : 第1章 「消化器の看護を学ぶにあたって」 (p.6~14)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	上部・下部消化管内視鏡検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第12章 B-4 「内視鏡検査」 (p.441~443) 成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 C-4 「●上部消化管内視鏡検査」 (p.303~304)、「●大腸(下部消化管)内視鏡検査」 (p.304) 臨床検査 : 第10章Ⅲ 「内視鏡検査」 (p.345~355)
		超音波内視鏡検査<EUS>	成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 B-5 「●超音波内視鏡検査」 (p.92) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-G-1-2 「おもな検査」 (p.293~295)
		内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 C-5 「●内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査」 (p.306~307)
		消化管造影検査	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 C-5 「●上部消化管造影検査」 (p.305~306) 臨床放射線医学 : 第2章 D-1-6 「消化管造影」 (p.47~48)
		画像検査(CT、MRI)	臨床放射線医学 : 第3章 「CT検査」 (p.54~76)、第4章 「MRI」 (p.78~98)
		直腸診	成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 A-5 「直腸指診」 (p.73~74)
	C 治療を受ける患者への看護	食道切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.342~354) 臨床外科看護各論 : 第3章Ⅱ-C-1 「食道の手術を受ける患者の看護」 (p.330~336) クリティカルケア看護学 : 第3章 E-3-4 「食道がんで手術を受ける患者の看護」 (p.130~133)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			栄養食事療法：第13章 B-1「食道の摘出手術」(p.183～185)
		胃切除術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.323～336)、E-2「胃・十二指腸疾患患者の看護」(p.354～367) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-2「胃の手術を受ける患者の看護」(p.336～343) 栄養食事療法：第13章 B-2「胃の摘出手術」(p.185～188)
		大腸切除術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3「腸・腹膜疾患患者の看護」(p.367～396) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-3「大腸の手術を受ける患者の看護」(p.343～354) 栄養食事療法：第12章 C「大腸の摘出手術」(p.188～191)
		内視鏡的粘膜切除術	成人看護学 [5] (消化器)：第5章 B-4「治療」(p.169)
		腹腔鏡下手術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.323～336)、E-3「腸・腹膜疾患患者の看護」(p.367～396) 臨床外科看護各論：第3章 II-B「腹腔鏡手術を受ける患者の看護」(p.328～330)
		人工肛門造設術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3「腸・腹膜疾患患者の看護」(p.367～396) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-3-a「腹会陰式直腸切断術を受ける患者の看護」(p.345～350)
		術後ドレナージ	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.323～336) 臨床外科看護各論：第3章 II-A-2「手術後の看護」(p.325～328)
		胆管・胆道ドレナージ	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章 II-E「胆嚢・胆道の手術を受ける患者の看護」(p.360～362)
		経腸栄養法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-e「経腸栄養法を受ける療養者の援助」(p.120～131) 栄養学：第9章 C-1「経腸栄養法」(p.197～199) 栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26)
		中心静脈栄養法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-3-f「在宅中心静脈栄養法(HPN)を受ける療養者の援助」(p.131～136) 栄養学：第9章 C-2「経静脈栄養法」(p.199) 栄養食事療法：第2章 B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
	D 病期や機能障害に応じた看護	上部消化管腫瘍(食道癌、胃癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-1-1「食道がん患者の看護」(p.342～352)、E-2-2「胃がん患者の看護」(p.358～367) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-1「食道の手術を受ける患者の看護」(p.330～336)、II-C-2「胃の手術を受ける患者の看護」(p.336～343) クリティカルケア看護学：第3章 E-3-4「食道がんで手術を受ける患者の看護」(p.130～133)
		下部消化管腫瘍(大腸癌、結腸癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-8「大腸がん患者の看護」(p.389～396) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-3「大腸の手術を受ける患者の看護」(p.343～354)
		人工肛門造設後	成人看護学 [5] (消化器)：特論「ストーマケア」(p.462～480) 臨床外科看護各論：第3章 II-C-3-b-2「手術後の看護」(p.350～354) 栄養食事療法：第13章 B-4「人工肛門造設患者」(p.191～192)
		炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn(クローン)病)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-1「潰瘍性大腸炎患者の看護」(p.367～370)、E-3-2「クローン病患者の看護」(p.370～373) 栄養食事療法：第6章 B-2「潰瘍性大腸炎」(p.78～79)、B-3「クローン病」(p.79～82)
		胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-2-1「胃・十二指腸潰瘍患者の看護」(p.354～358) 臨床外科看護各論：第3章 I-A-4「逆流性食道炎」(p.176～178)、I-B-2「胃・十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)」(p.188～193)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
13 栄養代謝機能障害のある患者の看護			栄養食事療法：第6章 A-3「胃・十二指腸潰瘍」(p.71～73) 臨床薬理学：第3章 H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		胆管炎、胆石症	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4-8「胆石発作時の看護」(p.418～419) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 F「肝胆道系感染症」(p.297～301) 臨床外科看護各論：第3章 I-D-3「胆石症」(p.263～267)、I-D-7「胆嚢炎・胆管炎」(p.267～269)
	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	肝機能障害	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 栄養食事療法：第6章 D「肝・胆・膵疾患」(p.89～99) 臨床検査：第5章 B「血清酵素の検査」(p.139～144)、E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.157～160)
		代謝機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B「代謝疾患」(p.132～187)、第6章 C「代謝疾患患者の看護」(p.243～293) 栄養学：第9章 F-5「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.216～220) クリティカルケア看護学：第3章 F「栄養・代謝機能障害」(p.134～145) 栄養食事療法：第8章「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」(p.128～146) 臨床検査：第5章 C「糖代謝の検査」(p.144～151)、D「脂質代謝の検査」(p.151～157)、F「窒素化合物の検査」(p.160～161)
		生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B「代謝疾患」(p.132～187)、第6章 C「代謝疾患患者の看護」(p.243～293)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	腹部超音波検査	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 C-1「腹部超音波検査を受ける患者の看護」(p.299～300) 臨床検査：第10章 II-A-3「腹部超音波(腹部エコー)検査」(p.336～339) 臨床放射線医学：第5章 D「超音波診断」(p.114～124)
		肝生検	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 C-3「肝生検を受ける患者の看護」(p.301～303) 臨床検査：第9章 B-1「生検(バイオプシー)」(p.281～282)
		腹腔鏡	成人看護学 [5] (消化器)：第4章 B-5-3「腹腔鏡検査」(p.92～94)
	C 治療を受ける患者への看護	肝庇護療法、栄養指導、生活習慣指導	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424)
		抗ウイルス療法	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424)
		内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)、内視鏡的静脈瘤硬化療法(EIS)	臨床外科看護各論：第3章 I-F-2-2「食道・胃静脈瘤」(p.284～290)
		肝動脈塞栓術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章 I-D-3-1「原発性肝がん」(p.253～259)
		膵頭十二指腸切除術	臨床外科看護各論：第3章 II-F「膵臓の手術を受ける患者の看護」(p.362～365)
肝切除術		成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章 I-D-3-1「原発性肝がん」(p.253～259)、II-D「肝がん患者の看護」(p.358～360) クリティカルケア看護学：第4章 E-3-5「肝切除術を受ける患者の看護」(p.136～139)	
D 病期や機能障害に応じた看護	ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4-1「急性肝炎患者の看護」(p.396～401)、E-4-2「慢性肝炎患者の看護」(p.401～403) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 F-4「ウイルス性肝炎」(p.299～301) 栄養学：第9章 F-4-b-1「急性肝炎」(p.212)、F-4-b-2「慢性肝炎」(p.212～213) 栄養食事療法：第6章 D「肝・胆・膵疾患」(p.89～99) 臨床薬理学：第3章 J「慢性肝炎」(p.137～145)	
	肝硬変	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4-3「肝硬変症患者の看護」(p.404～407) 栄養学：第9章 F-4-b-3「肝硬変」(p.213) 栄養食事療法：第6章 D-2「肝硬変症」(p.90～92)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		肝癌	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4-5 「肝(臓)がん患者の看護」(p.410~412) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 II-D 「肝がん患者の看護」(p.358~360) クリティカルケア看護学 : 第 4 章 E-3-5 「肝切除術を受ける患者の看護」(p.136~139)	
		膵炎、膵癌	臨床外科看護各論 : 第 3 章 II-F 「膵臓の手術を受ける患者の看護」(p.362~365)	
		脂質異常症、肥満、高尿酸血症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 C-2 「脂質異常症患者の看護」(p.281~286)、C-3 「肥満患者の看護」(p.286~289)、C-5 「尿酸代謝異常患者の看護」(p.291~293) 栄養学 : 第 9 章 F-5 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.216~219) 栄養食事療法 : 第 8 章 A 「肥満」(p.128~130)、F 「脂質異常症」(p.141~144)、G 「高尿酸血症・痛風」(p.144~146) 臨床薬理学 : 第 3 章 N 「脂質異常症」(p.169~174)	
14 内部環境(体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	体液量調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 C 「浮腫」(p.49~51)、D 「脱水」(p.51~52) 臨床検査 : 第 5 章 I 「水・電解質の検査」(p.169~174)	
		電解質調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 F-4 「電解質の異常」(p.57~58) 臨床検査 : 第 5 章 I 「水・電解質の検査」(p.169~174)	
		酸塩基平衡調節機能障害	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-4 「酸塩基平衡」(p.38~39)、第 4 章 B-8-2 「酸塩基平衡」(p.104~107) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 F-5 「酸塩基平衡の障害」(p.58~59) 臨床検査 : 第 3 章 A 「尿検査」(p.79~91)、第 5 章 J 「血液ガス分析」(p.174~179)	
		生命・生活への影響	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 6 章 II-1 「浮腫のある患者の看護」(p.205~207)	
	B 検査・処置を受ける患者への看護	腎機能検査(尿、血液)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-3 「腎機能検査」(p.74~78)	
		腎組織検査	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-7 「生検」(p.91~93)、第 6 章 III-5 「生検を受ける患者の看護」(p.232~234) 臨床検査 : 第 9 章 B-1 「生検(バイオプシー)」(p.281~282)	
	C 治療を受ける患者への看護	食事療法	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 6 章 IV-A-2 「食事療法・運動療法を受ける患者の看護」(p.240~241) 栄養学 : 第 9 章 F-5 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.216~220)、F-6 「腎臓疾患患者の食事療法」(p.220~222) 栄養食事療法 : 第 7 章 「腎・泌尿器疾患患者の栄養食事療法」(p.104~125)	
		急性期持続血液濾過透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 E-3 「持続血液透析濾過法」(p.109)、第 6 章 IV-C-5 「持続血液透析濾過を受ける患者の看護」(p.264)	
		血液透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 E-1 「血液透析」(p.103~106)、第 6 章 IV-C-2 「血液透析患者の看護」(p.255~259) 臨床薬理学 : 第 3 章 L 「透析患者における薬剤管理」(p.153~159)	
		腹膜透析 (CAPD)	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第 2 章 E-4-c-3 「●腹膜透析の管理とケア」(p.155~157) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 E-2 「腹膜透析」(p.106~109)、第 6 章 IV-C-3 「腹膜透析患者の看護」(p.259~262)	
		腎移植	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 F 「腎移植」(p.109~112)、第 6 章 IV-E 「腎移植を受ける患者の看護」(p.302~307)	
		D 病期や機能障害に応じた看護	急性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 5 章 A-1 「急性腎不全」(p.115~118)、第 6 章 IV-B-8 「急性腎不全・急性腎障害患者の看護」(p.247~250)
			慢性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 5 章 A-3 「慢性腎不全」(p.119~121)、第 6 章 IV-B-9 「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.250~252)
	慢性腎臓病		成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 5 章 A-4 「慢性腎臓病」(p.121~123)、第 6 章 IV-B-9 「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.250~252) 臨床薬理学 : 第 3 章 K 「慢性腎臓病」(p.146~152)	
腎移植術後	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 F 「腎移植」(p.109~112)、第 6 章 V-E 「腎移植を受ける患者の看護」(p.302~307)			

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		腎腫瘍、腎癌	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M 「尿路・性器のがん」 (p.175~184)、第6章 V-B-3 「腎臓の手術を受ける患者の看護」 (p.282~285)
15 内分泌機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	甲状腺機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-3 「甲状腺疾患」 (p.97~112)、第6章 B-3 「甲状腺疾患患者の看護」 (p.210~228) 臨床検査 : 第7章 C 「甲状腺ホルモンの検査」 (p.218~224)
		副腎機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-5 「副腎疾患」 (p.119~125)、第6章 B-5 「副腎疾患患者の看護」 (p.233~242) 臨床検査 : 第7章 E 「副腎皮質ホルモンの検査」 (p.225~230)、F 「副腎髄質ホルモンの検査」 (p.230~231)
		下垂体機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-1 「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2 「視床下部-下垂体後葉系疾患」 (p.94~97)、第6章 B-2 「下垂体疾患患者の看護」 (p.200~210) 臨床検査 : 第7章 A 「下垂体前葉ホルモンの検査」 (p.212~216)、B 「下垂体後葉ホルモンの検査」 (p.216~217)
		血糖調節機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)、第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281) 臨床検査 : 第5章 C 「糖代謝の検査」 (p.144~151)
		生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B 「内分泌疾患患者の看護」 (p.198~242)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	ホルモン血中・尿中濃度測定	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 A-1 「ホルモンの血中濃度の測定」 (p.62~63)、A-2 「尿中のホルモンおよび代謝産物の測定」 (p.63)、第6章 B-1-2 「ホルモンの血中濃度測定時の看護」 (p.199) 臨床検査 : 第7章 「内分泌学的検査」 (p.210~238)
		ホルモン負荷試験	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 A-4 「ホルモン負荷試験」 (p.64~65)、第6章 A-1-3 「ホルモン負荷試験時の看護」 (p.199) 臨床検査 : 第7章 「内分泌学的検査」 (p.210~238)
		糖負荷試験 (OGTT)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 B-2-1-2 「75g 経口ブドウ糖負荷試験 (75gOGTT)」 (p.72~73)、第6章 C-1-c-3 「検査を受ける糖尿病患者の看護」 (p.271~272)
		血糖自己測定 (SMBG)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1-c-3-5 「血糖自己測定 (SMBG) 実施の援助」 (p.268~271)
	C 治療を受ける患者への看護	甲状腺ホルモン療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3 「甲状腺疾患患者の看護」 (p.210~228) 薬理学 : 第11章 A-2 「甲状腺疾患治療薬」 (p.266~267)
		甲状腺切除術	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3-4 「甲状腺切除術を受ける患者の術前の看護」 (p.219~222)、第6章 B-3-5 「甲状腺切除術を受ける患者の術後の看護」 (p.222~226) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-B-3-2 「治療」 (p.451~453)
		インスリン補充療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「インスリン」 (p.145~147)、第6章 C-1-c-3 「●注射薬による治療への支援」 (p.265~271) 薬理学 : 第11章 A-1-3 「インスリン製剤」 (p.263~265) 臨床薬理学 : 第4章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252~258)
		糖尿病経口薬による治療	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「●経口糖尿病治療薬」 (p.144~145)、第6章 C-1-c-3 「●経口血糖降下薬による治療への支援」 (p.264~265) 薬理学 : 第11章 A-1-2 「経口血糖降下薬および注射薬」 (p.261~263) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159~168)
		食事療法、運動療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「糖尿病の治療」 (p.136~143)、第6章 C-1-c-3 「●健康な食(食事療法)に関する援助」 (p.257~261)、「●活動的な生活(運動療法)への援助」 (p.261~263) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 IV-A-2 「食事療法・運動療法を受ける患者の看護」 (p.240~241) 栄養学 : 第9章 F-5 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」 (p.216~220)、F-6 「腎臓疾患患者の食事療法」 (p.220~222) 栄養食事療法 : 第8章 「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」 (p.128~146)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 病期や機能障害に応じた看護	甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3 「甲状腺疾患患者の看護」 (p.210~228)
		腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-2 「下垂体疾患患者の看護」 (p.200~210)、B-3-3 「甲状腺腫瘍患者の看護」 (p.219)
		1型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159~168)
		2型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159~168)
16 身体防御機能の障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	皮膚粘膜障害	成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 「疾患の理解」 (p.81~159)
		免疫機能障害(細胞性免疫、液性免疫、補体)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 B 「症状に対する看護」 (p.64~73) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 B 「症状に対する看護」 (p.184~188)
		骨髄機能障害(好中球減少症を含む)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C 「造血器腫瘍」 (p.74~134)、第5章 「患者の看護」 (p.146~220)
		生命・生活への影響	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 A 「疾患をもつ患者の経過と看護」 (p.58~64) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 A 「疾患をもつ患者の経過と看護」 (p.178~184)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	プリックテスト、パッチテスト	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 B-4 「皮膚テスト」 (p.34~35)、第5章 C-2 「検査を受ける患者の看護」 (p.74~76) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 B-1 「皮膚科的検査法」 (p.53~59)
		皮膚粘膜生検	成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 B-3 「病理組織検査法」 (p.63) 臨床検査 : 第9章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.281~282)
		骨髄検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第12章 B-9-4 「骨髄穿刺」 (p.455~456) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 C-2 「主要な検査と看護」 (p.164~165) 臨床検査 : 第4章 E 「骨髄検査」 (p.127~132)
	C 治療を受ける患者への看護	減感作療法	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 C-3 「アレルゲン免疫療法」 (p.38)、第5章 D-3 「アレルゲン免疫療法を受ける患者の看護」 (p.80~81)
		免疫抑制薬(ステロイド療法を含む)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 C-2-1 「副腎皮質ステロイド薬」 (p.36~38)、第5章 D-2 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.78~80) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第4章 C-2 「薬物療法」 (p.142~147)、第6章 D-1 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.189~193) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 C-1 「全身療法(内服・注射薬)」 (p.64~67)、C-2 「外用療法」 (p.68~70)、第6章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.192~193)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.193~202) 薬理学 : 第5章 B 「免疫抑制薬」 (p.122~123)、第12章 A-2-1 「炎症性皮膚疾患の治療薬」 (p.277~280) 臨床薬理学 : 第4章 F 「副腎皮質ステロイド薬による治療」 (p.284~296)
		造血幹細胞移植	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-4-3 「造血幹細胞移植」 (p.83~89)、第5章 D-4 「造血幹細胞移植を受ける患者の看護」 (p.184~199) がん看護学 : 第5章 E 「造血幹細胞移植と看護」 (p.295~311)
		抗ヒト免疫不全ウイルス(HIV)療法	成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 D-1 「HIV 感染症・エイズ患者の看護」 (p.375~380)
	D 病期や機能障害に応じた看護	アレルギー性疾患	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 E 「疾患をもつ患者の看護」 (p.81~96) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第6章 F-1 「アトピー性皮膚炎患者の看護」 (p.208~211) 栄養食事療法 : 第10章 A 「食物アレルギー」 (p.158~160)
自己免疫疾患(膠原病を含む)		成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 E 「疾患をもつ患者の看護」 (p.194~204)	
血液疾患(造血器腫瘍、貧血、骨髄腫、血小板減少症)		成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 「患者の看護」 (p.146~220) 栄養食事療法 : 第9章 B 「白血病」 (p.154~155)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 D-1 「HIV 感染症・エイズ患者の看護」 (p.375~380)
17 脳・神経機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	生命維持活動調節機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-1 「意識障害」 (p.54~60)、B-5 「自律性のある機能の障害」 (p.73~79)、第6章 B-1 「意識障害のある患者の看護」 (p.245~251)、B-9 「嚥下障害のある患者の看護」 (p.283~288)、B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292)、B-11 「呼吸障害のある患者の看護」 (p.292~296)
		運動・感覚機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-3 「運動機能障害」 (p.65~71)、B-4 「感覚機能障害」 (p.71~73)、第6章 B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.262~270)、B-5 「運動失調・不随意運動のある患者の看護」 (p.270~274)、B-7 「筋力低下のある患者の看護」 (p.278~281)、B-8 「感覚障害のある患者の看護」 (p.281~283) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148~164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201~218)、C-5-1 「運動麻痺」 (p.231~244)
		言語機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2-1 「失語症」 (p.61~64)、第6章 B-2 「言語障害のある患者の看護」 (p.251~256) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-3 「構音障害」 (p.164~168)、A-5-5 「失語」 (p.175~182)、B-5-2 「構音障害」 (p.218~222)
		高次脳機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2 「高次脳機能障害」 (p.60~65)、第6章 B-2 「言語障害のある患者の看護」 (p.251~256) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-1-NOTE 「高次脳機能障害」 (p.57)、第5章 C-6-10 「高次脳機能障害」 (p.221~222)、第7章 F-4-2 「高次脳機能障害対策」 (p.368) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-5-NOTE 「高次脳機能障害」 (p.177)
		生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第1章 A-2 「脳・神経疾患患者の概況と看護」 (p.8~9)、B 「患者の特徴と看護の役割」 (p.9~16)、第3章 A 「脳・神経障害とは」 (p.52~54)
		B 検査・処置を受ける患者への看護	脳波検査
		腰椎穿刺	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第12章 B-9-3 「腰椎穿刺」 (p.452~454) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-4-1 「脳脊髄液(髄液)検査」 (p.104~107)
		脳血管造影	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2-4 「脳血管撮影」 (p.98~101) 臨床放射線医学 : 第4章 D-1 「頭部」 (p.91~92)
		画像検査 (CT・MRI)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2 「画像診断」 (p.94~98) 臨床放射線医学 : 第3章 D-1 「頭部」 (p.67~76)、第4章 D-1 「頭部」 (p.91~93)
	C 治療を受ける患者への看護	開頭術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-1 「開頭手術」 (p.108~111)、第6章 C-1 「開頭手術を受ける患者の看護」 (p.303~311) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」 (p.403~415)
		穿頭術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-2 「穿頭術」 (p.113~114) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」 (p.403~415)
		血管バイパス術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1-3 「●外科的治療」 (p.141)
		血管内治療	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-2 「脳血管内治療」 (p.111~113)、C-2-1 「薬物治療・血漿交換療法」 (p.115~118) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-A-3 「脳血管疾患」 (p.381~385)
	脳室ドレナージ術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-1 「開頭手術」 (p.108~111)、第6章 C-1-b 「手術後の看護」 (p.306~308) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-B 「脳室ドレナージ術を受ける患者の看護」 (p.415~419)	
	脳室-腹腔 (V-P) シャント術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-5 「脳室-腹腔短絡(シャント)術(V-P シャント術)」 (p.114) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-C 「脳室-腹腔短絡術(V-P シャント術)を受ける患者の看護」 (p.419~425)	
	低体温療法	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-2-2 「●低体温療法」 (p.119)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 病期や機能障害に応じた看護	脳血管障害	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 C 「脳卒中療養者の事例展開」 (p.266~272) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1 「脳血管障害」 (p.122~147)、第6章 B-1 「意識障害のある患者の看護」 (p.245~251)、B-2 「言語障害のある患者の看護」 (p.251~256)、B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.262~270)、B-5 「運動失調・不随意運動のある患者の看護」 (p.270~274)、B-9 「嚥下障害のある患者の看護」 (p.283~288)、B-11 「呼吸障害のある患者の看護」 (p.292~296)、D-1 「クモ膜下出血患者の看護」 (p.324~332)、D-2 「脳梗塞患者の看護」 (p.332~338) リハビリテーション看護 : 第4章 A 「脳血管障害」 (p.136~196)
		脳腫瘍	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-2 「脳腫瘍」 (p.147~153)、第6章 D-3 「脳腫瘍患者の看護」 (p.338~345)、D-4 「下垂体腺腫の摘出術を受ける患者の看護」 (p.345~349)
		脳炎、髄膜炎	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 F 「脳・神経系の感染症」 (p.205~209)、第6章 D-11 「髄膜炎患者の看護」 (p.373~376)
		頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-3 「頭部外傷」 (p.153~158)、第6章 D-5 「頭部外傷患者の看護」 (p.349~354) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-B 「頭部外傷患者の看護」 (p.425~432)
		脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 D-1 「脊髄損傷」 (p.110~112)、第6章 G-3 「脊髄損傷患者の看護」 (p.285~293) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-B-4 「外傷に伴う脊髄疾患」 (p.398~400) リハビリテーション看護 : 第4章 C 「脊髄損傷」 (p.226~259)
		筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 E 「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の療養者の事例展開」 (p.283~296) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E-2-5 「筋萎縮性側索硬化症」 (p.202~204)、第6章 D-10 「筋萎縮性側索硬化症患者の看護」 (p.370~373)
		18 感覚機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護
聴覚障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-4 「感覚機能障害」 (p.71~73) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第6章 B-1 「耳痛・耳漏」 (p.182)、B-2 「耳鳴」 (p.183)、E-1 「難聴のある患者の看護」 (p.198~204)、E-2 「慢性中耳炎患者の看護」 (p.204~208) リハビリテーション看護 : 第6章 B 「聴覚障害」 (p.324~334)		
嗅覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第6章 B-4 「鼻閉・鼻漏」 (p.184)、E-4 「慢性副鼻腔炎患者の看護」 (p.212~215)		
味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 C-1-6 「味覚障害」 (p.147) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第6章 B-2-3 「味覚障害のある患者の看護」 (p.169~171)		
触覚障害	臨床外科看護各論 : 第4章 I-C 「末梢神経の疾患」 (p.400~402)		
生命・生活への影響	成人看護学 [13] (眼) : 第1章 B 「患者の特徴と看護の役割」 (p.7~12) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第1章 B 「患者の特徴と看護の役割」 (p.8~19)		
B 検査・処置を受ける患者への看護	眼底検査		
	聴力検査		成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第4章 B-1 「聴力検査」 (p.64~72)、第6章 C-2 「聴力および平衡機能検査時の看護」 (p.187)
	経鼻内視鏡検査		成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第4章 B-6 「内視鏡検査」 (p.81~82)、第6章 C-1 「咽喉・喉頭の内視鏡検査時の看護」 (p.186~187)
	味覚検査		成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第4章 B-8 「味覚検査」 (p.83) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第4章 B-7 「味覚検査」 (p.52)
C 治療を受ける患者への看護	眼底光凝固療法		成人看護学 [13] (眼) : 第4章 C-6 「光凝固」 (p.66)、第6章 E-7 「光凝固を受ける患者の看護」 (p.154)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 病期や機能障害に応じた看護	網膜剥離手術	成人看護学 [13] (眼) : 第5章 B-7-5「網膜剥離」(p.101~103)、第6章 G-3「網膜剥離の患者の看護」(p.173~177)
		眼内レンズ挿入術	成人看護学 [13] (眼) : 第5章 B-8-b「白内障手術」(p.109~111)
		鼓室形成術	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-2-6「慢性中耳炎」(p.113~115)
		中途視覚障害者	成人看護学 [13] (眼) : 序章「眼疾患をもつ患者の姿」(p.2~3)、第1章 B「患者の特徴と看護の役割」(p.7~12)、第6章 J「ロービジョンケア」(p.191~194)
		突発性難聴	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-3-6「突発性難聴」(p.124)、第6章 E-1「難聴のある患者の看護」(p.198~204)
		Ménière (メニエール) 病	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.119~121)、第6章 E-3「メニエール病患者の看護」(p.209~212)、第7章 B「メニエール病患者の看護」(p.234~240)
19 運動機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	姿勢機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.44~60)、第6章 C「症状に対する看護」(p.214~231)
		移動機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.44~60)、第6章 C「症状に対する看護」(p.214~231)
		作業機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.44~60)、第6章 C「症状に対する看護」(p.214~231)
		生命・生活への影響	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.44~60)、第6章 C「症状に対する看護」(p.214~231)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	関節可動域 (ROM) 検査	成人看護学 [10] (運動器) : 第2章 B-2「関節の機能」(p.28~32)、第4章 A-3「神経診察」(p.65~66) リハビリテーション看護 : 第3章 B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)
		徒手筋力テスト (MMT)	成人看護学 [10] (運動器) : 第2章 B-2「関節の機能」(p.28~32)、第4章 A-3「神経診察」(p.65~66) リハビリテーション看護 : 第3章 B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)
		脊髓造影、椎間板造影	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 B-1「画像検査」(p.66~69) 臨床放射線医学 : 第4章 D-2「脊椎・脊髓」(p.92~94)
		神経ブロック	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 C-1-7「神経ブロック」(p.74~75)
		筋生検	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 C-4-3「生検」(p.71) 臨床検査 : 第9章 B-1「生検(バイオプシー)」(p.281~282)
		C 治療を受ける患者への看護	ギプス固定
	牽引法		成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 E-3「牽引療法を受ける患者の看護」(p.249~254)
	人工関節置換術		成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 G-5「関節リウマチ患者の看護」(p.300~303)
	内視鏡下手術		成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 B-3「関節鏡検査」(p.70)
	D 病期や機能障害に応じた看護	関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 G-5「関節リウマチ患者の看護」(p.300~303) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 E-1「関節リウマチ患者の看護」(p.194~197) リハビリテーション看護 : 第3章 C「関節リウマチ」(p.116~133) 臨床薬理学 : 第3章 P「関節リウマチ」(p.179~184)
		椎間板ヘルニア	成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 G-2-2「腰椎椎間板ヘルニア患者の看護」(p.281~284) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-B-1「脊椎変性症による脊髓の病変」(p.392~396)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
20 排尿機能障害のある患者の看護		四肢切断後	成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 F-6 「四肢の切断術と看護」 (p.270~274)
		変形性膝関節症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 II-B-3-3 「変形性膝関節症」 (p.143)
		骨折	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 I-A 「骨折」 (p.86~104) リハビリテーション看護 : 第3章 B 「骨折」 (p.92~115)
	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	蓄尿・排尿障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3 「排泄障害」 (p.75~77)、第6章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49)、第6章 II-3 「下部尿路症状のある患者の看護」 (p.208~221)
		生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3 「排泄障害」 (p.75~77)、第6章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49)、第6章 II-3 「下部尿路症状のある患者の看護」 (p.208~221)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	尿検査(肉眼検査、試験紙法、尿比重)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術II) : 第11章 B-2 「尿検査」 (p.416~420) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-1 「尿の検査」 (p.70~73)
		尿流動態検査	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-6 「尿流動態検査(ウロダイナミックスタディ)」 (p.91)、第6章 III-5 「尿流動態検査(ウロダイナミックスタディ)を受ける患者の看護」 (p.234~235)
		残尿測定	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 III-3 「残尿測定検査を受ける患者の看護」 (p.229~230)
		膀胱組織検査	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-5-3 「内視鏡的検査法」 (p.90~91)、第6章 III-4 「膀胱鏡検査を受ける患者の看護」 (p.229~230) 臨床検査 : 第10章 III 「内視鏡検査」 (p.345~355)
		導尿	基礎看護学 [3] (基礎看護技術II) : 第3章 B 「導尿」 (p.79~87)
	C 治療を受ける患者への看護	膀胱切除術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-B-1 「膀胱の手術を受ける患者の看護」 (p.269~277)
		前立腺切除術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-B-2 「前立腺の手術を受ける患者の看護」 (p.278~282)
		ホルモン療法	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-C-3 「内分泌療法を受ける患者の看護」 (p.294~296)
	D 病期や機能障害に応じた看護	腎・尿路結石	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-B-5 「尿路結石の手術を受ける患者の看護」 (p.287~289)
		腫瘍(膀胱癌、前立腺癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-B-1 「膀胱の手術を受ける患者の看護」 (p.269~277)、B-3 「腎臓の手術を受ける患者の看護」 (p.282~285)
		尿路感染症	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-B-1 「膀胱の手術を受ける患者の看護」 (p.269~277)
		尿失禁	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第6章 E-11-d 「尿もれのある患者の看護」 (p.275~277)
		前立腺肥大、前立腺炎	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 II-3 「下部尿路症状のある患者の看護」 (p.208~221)
21 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	性・生殖機能障害(性ホルモンの異常と症状)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 V-F 「性・生殖機能障害のある患者の看護」 (p.307~310) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第6章 E 「臓器別疾患・機能的疾患患者の看護」 (p.245~277)
		性ホルモン欠落症状	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第6章 I 「ホルモン療法を受ける患者の看護」 (p.329~332)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	ヒトパピローマウイルス(HPV)検査	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第4章 A-3 「細菌・ウイルス・原虫検査」 (p.58~59)、第6章 C-3 「検査・処置時の看護」 (p.225~227) 臨床検査 : 第9章 A 「細胞診」 (p.275~279)
		経腔超音波検査、腹部超音波検査	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第4章 A-5-1 「超音波検査法」 (p.60~61)、第6章 C-3 「検査・処置時の看護」 (p.225~227) 臨床検査 : 第10章 II-A-3 「腹部超音波(腹部エコー)検査」 (p.336~339)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床放射線医学：第5章D「超音波診断」(p.114～125)
		乳房超音波検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床放射線医学：第5章D-2「乳腺」(p.117～118)
		マンモグラフィー	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床放射線医学：第2章D-5「乳房撮影(マンモグラフィ)」(p.47)
	C 治療を受ける患者への看護	勃起障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章O-2「男性性機能障害」(p.189～190)、第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.307～310)
		性交障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章O-2「男性性機能障害」(p.189～190)、第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.307～310)
		乳癌手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章E-7-b「乳房腫瘍患者の看護」(p.258)、F-2「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.298～314) 臨床外科看護各論：第1章II-C「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.63～81)
		女性生殖器手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章B-8「手術」(p.87～94)、第5章B「臓器別疾患」(p.103～172)、第6章F-1「外性器・内性器の手術を受ける患者の看護」(p.277～298)
		男性生殖器手術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章M-5「前立腺がん」(p.181～183)、M-6「精巣腫瘍」(p.183～184)、M-7「陰茎がん」(p.184)
		ホルモン療法	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、I「ホルモン療法を受ける患者の看護」(p.329～332)
	D 病期や機能障害に応じた看護	女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章E-3「子宮疾患患者の看護」(p.250～254)、E-5「卵巣疾患患者の看護」(p.256～257)
		男性生殖器の疾患(勃起障害)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章I「尿路・性器の感染症」(p.152～158)、J-5「前立腺肥大症」(p.163～165)
		腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、精巣腫瘍)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章M-5「前立腺がん」(p.181～183)、M-6「精巣腫瘍」(p.183～184)、M-7「陰茎がん」(p.184) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章E-3「子宮疾患患者の看護」(p.250～254)、E-5「卵巣疾患患者の看護」(p.256～257)、E-7「乳房疾患患者の看護」(p.258) 臨床外科看護各論：第1章II-C「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.63～81)

# 老年看護学

目標 I. 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
1 高齢者の理解の基本となる概念	A 老年期の発達と変化	ライフサイクルからみた高齢者	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 A-4-1 「ライフサイクルからみた高齢者の特徴」 (p.20~22) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第 3 章 A-2-1 「老年期の対象者」 (p.67~72) 老年看護学 : 第 1 章 C-1-1 「高齢者と老年期」 (p.11~12)	
		加齢と老化	老年看護学 : 第 1 章 B-1 「加齢と老化」 (p.4~7) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 「高齢者の生理的特徴」 (p.18~45)	
		老年期の発達課題	老年看護学 : 第 1 章 C-2-1 「老年期の発達課題」 (p.13~16) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2-8 「新たな老年期の課題」 (p.101~102) 心理学 : 第 9 章 D-2-4 「高齢者の発達課題」 (p.193~194)	
	B 加齢への適応	高齢者にとっての健康と自立	老年看護学 : 第 2 章 B-2-3 「高齢者とソーシャルサポート」 (p.53~54) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第 3 章 A-2-1 「老年期の対象者」 (p.67~72)	
		サクセスフルエイジング	老年看護学 : 第 3 章 C-2 「老年看護に役立つ理論・概念」 (p.79~81)	
		ノーマライゼーション	老年看護学 : 第 2 章 C-4 「権利擁護のための制度」 (p.63~66) 公衆衛生 : 第 8 章 D-1-2 「アクティブエイジングの提唱」 (p.250~252)	
		スピリチュアリティ	老年看護学 : 第 1 章 C-2-2 「スピリチュアリティ」 (p.16~19)	
	C 高齢者のいる家族の理解	家族構成とニーズの変化	老年看護学 : 第 2 章 A-2 「高齢者と家族」 (p.26~28) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34~36)、第 7 章 A-1-3 「高齢者のいる世帯」 (p.159)	
		高齢者のいる家族の発達課題	老年看護学 : 第 9 章 C-2 「家族への援助」 (p.378~382)	
		家族の機能の変化	老年看護学 : 第 9 章 C-1-1 「家族の形態と機能の変化」 (p.373~375) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34~36)、第 7 章 A-1-3 「高齢者のいる世帯」 (p.159) 家族看護学 : 第 5 章 F 「高齢の患者の家族看護」 (p.251~262)	
	2 高齢者の生活	A 高齢者の機能と評価	高齢者総合機能評価 (CGA)	老年看護学 : 第 4 章 A-2 「高齢者総合機能評価」 (p.92~94) 老年看護 病態・疾患論 : 第 3 章 F 「高齢者総合機能評価」 (p.124~128)
			日常生活動作 (ADL)	老年看護学 : 第 5 章 A-1-1 「生活の基本となる日常生活動作」 (p.122~123) 老年看護 病態・疾患論 : 第 3 章 F 「高齢者総合機能評価」 (p.124~128)
手段的日常生活動作 (IADL)			老年看護学 : 第 5 章 A-1-4 「日常生活活動(動作)の評価」 (p.130~134) 老年看護 病態・疾患論 : 第 3 章 F 「高齢者総合機能評価」 (p.124~128)	
障害高齢者の日常生活自立度判定基準			地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第 6 章 C-2-2 「障害からみた対象者の特徴」 (p.185~187) 老年看護学 : 第 5 章 A-1-4 「日常生活活動(動作)の評価」 (p.130~134)	
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準			地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第 6 章 C-2-2 「障害からみた対象者の特徴」 (p.185~187) 老年看護学 : 第 5 章 A-1-4 「日常生活活動(動作)の評価」 (p.130~134)	
要介護・要支援の認定と区分			地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第 6 章 A-1-3 「利用の手続き」 (p.171~172) 老年看護学 : 第 2 章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41~48) 社会保障・社会福祉 : 第 4 章 B-4 「要介護・要支援の認定」 (p.91~92)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B その人らしい生活の継続	心理・情緒機能の評価	老年看護 病態・疾患論：第2章 D-6「抑うつ」(p.73)、第3章 F「高齢者総合機能評価」(p.124～128)
		時代背景に関連する人生と経験の多様性、生活史	老年看護学：第4章 A-1-5「生活史のアセスメント」(p.90～92)
		生活環境	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 A-2-3「老年期の対象者」(p.67～72) 老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.32～36)
		生活習慣	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 A-2-3「老年期の対象者」(p.67～72) 老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.32～36)
		生活リズム	老年看護学：第5章 E-1「高齢者と生活リズム」(p.185)
		治療・介護の必要度と生活の場	老年看護 病態・疾患論：序章 C-4「人生の最終段階における医療の課題」(p.10～12)、C-5「高齢者医療の目標設定」(p.12～14)、終章6「在宅療養とエンドオブライフケア」(p.316～317)
		多様な生活の場とリロケーション	老年看護学：第9章 A-3「「住み慣れた場所で最期まで」を実現する地域包括ケア」(p.364)
3 高齢者の健康	A 高齢者の健康と疾病	高齢者の健康の特徴	老年看護学：第2章 A-3「高齢者の健康状態」(p.28～30)
		高齢者の疾病の特徴	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.134)
	B 老年期における身体機能の変化	恒常性(防衛力、予備力、適応力、回復力)の維持機能の低下	老年看護学：第1章 B-2「加齢に伴う身体的側面の変化」(p.7～9)
		神経系	老年看護 病態・疾患論：第1章 C「認知・知覚機能の老化」(p.26～34)
		運動器系	老年看護学：第4章 B-8「運動系」(p.111～119) 老年看護 病態・疾患論：第1章 H「運動機能の老化」(p.42～43)
		感覚器系	老年看護学：第4章 B-1「皮膚とその付属器」(p.94～96)、B-2「視聴覚とそのほかの感覚」(p.97～102) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p.30～34)、第4章 L「感覚器の疾患」(p.250～258)
		循環器系	老年看護学：第4章 B-3「循環系」(p.102～104) 老年看護 病態・疾患論：第1章 D-2「循環機能の老化」(p.35～36)
		血液・造血器系	老年看護 病態・疾患論：第3章 D-3-1「血液学検査」(p.119)、第4章 H「血液の疾患」(p.214)
		免疫系	老年看護 病態・疾患論：第1章 G「免疫機能の老化」(p.41～42)
		呼吸器系	老年看護学：第4章 B-4「呼吸器系」(p.104～107) 老年看護 病態・疾患論：第1章 D-1「呼吸機能の老化」(p.34～35)
		消化器系	老年看護学：第4章 B-5「消化器系」(p.107～109) 老年看護 病態・疾患論：第1章 E-1「消化機能の老化」(p.36～37)、第4章 E「消化器系の疾患」(p.188)
		代謝系	老年看護 病態・疾患論：第1章 E「消化・吸収・代謝機能の老化」(p.36～39)
		泌尿器系	老年看護学：第4章 B-7「泌尿生殖器」(p.110～111) 老年看護 病態・疾患論：第1章 F「排泄機能の老化」(p.39～41)、第2章 D-2「排尿障害(尿失禁)」(p.77～81)、第4章 I「腎・泌尿器系の疾患」(p.220)
		内分泌系	老年看護学：第4章 B-6「ホルモンの分泌」(p.109～110) 老年看護 病態・疾患論：第3章 D-3-3「内分泌検査」(p.122)、第4章 F「内分泌・代謝系の疾患」(p.202)
		生殖器系	老年看護学：第4章 B-7「泌尿生殖器」(p.110～111) 老年看護 病態・疾患論：第1章 G「性機能の老化」(p.43～45)
C 老年期における認知機能の変化	知能	老年看護学：第1章 B-3-1「知能」(p.9～10) 老年看護 病態・疾患論：第1章 C-1「脳の老化」(p.26～30)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 老年看護の 基本	D 老年期における心理・社会的変化と健康への影響	記憶力、判断力、計算力、遂行力	老年看護学：第1章 B-3-1「知能」(p.9~10) 老年看護 病態・疾患論：第1章 C-1「脳の老化」(p.26~30)
		役割と社会活動の変化	老年看護学：第5章 H「社会参加」(p.218~223)
		余暇活動と生きがい	老年看護学：第5章 H「社会参加」(p.218~223)
		住宅環境	老年看護学：第2章 A-5-2「住まい」(p.34)
		就労、雇用	老年看護学：第2章 A-5-3「働くこと」(p.34~35)
		収入、生計	老年看護学：第2章 A-5-1「家計」(p.32~34)
	A 老年看護に用いられる概念・モデル・理論	エンパワメント	老年看護学：第3章 B「老年看護の役割」(p.73~78)
		ストレングスモデル	老年看護学：第3章 C「老年看護における理論・概念の活用」(p.78~81)
		国際生活機能分類(ICF)	老年看護学：第3章 B「老年看護の役割」(p.73~78)
	B 老年看護の倫理	高齢者差別(スティグマ、エイジズム)	老年看護学：第2章 C-1「高齢者に対するスティグマと差別」(p.54~55)
		高齢者虐待	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 E-1「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.202~203) 老年看護学：第2章 C-2「高齢者虐待」(p.55~60) 公衆衛生：第8章 D-5-5「介護者の健康、虐待予防」(p.263~264) 社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者虐待の対策」(p.162) 看護関係法令：第7章 C-2-b「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.222~223)
高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉		老年看護学：第2章 C-1-3「権利擁護」(p.55) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.107~108)	
安全確保と身体拘束		老年看護学：第2章 C-3「身体拘束」(p.60~63)	
C 高齢者の生活を支える制度と施策	高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉に基づく制度	老年看護学：第2章 B-3「高齢者医療のしくみ」(p.48~50) 社会保障・社会福祉：第3章 D「高齢者医療制度」(p.70~75) 看護関係法令：第6章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197~199)	
	介護保険制度	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 A-1「介護保険制度」(p.168~175) 老年看護学：第2章 B「高齢社会における保健医療福祉の動向」(p.36~54) 社会保障・社会福祉：第4章 B「介護保険制度の概要」(p.89~108) 看護関係法令：第6章 A-4「介護保険法」(p.199~206)	
	成年後見制度	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章 E-2「成年後見制度」(p.203~204) 老年看護学：第2章 C-4-1「成年後見制度」(p.63~65) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8-NOTE「成年後見制度」(p.108) 看護関係法令：第7章 A-3-g「民法など——成年後見部分」(p.214~215)	
	日常生活自立支援事業	老年看護学：第2章 C-4-2「日常生活自立支援事業」(p.65~66) 看護関係法令：第7章 A-3-g「民法など——成年後見部分」(p.214~215)	
	地域包括ケアシステム	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第2章 C-1「地域包括ケアシステム」(p.45~49) 老年看護学：第9章 A-3「「住み慣れた場所で最期まで」を実現する地域包括ケア」(p.364) 公衆衛生：第8章 D-4「地域包括ケアシステムの構築」(p.256~258) 社会保障・社会福祉：第2章 B-1-3「●地域包括ケアシステムと自助・互助・共助・公助」(p.44)	

目標Ⅱ. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 高齢者の生活を支える看護	A 高齢者のコミュニケーションの特徴と援助	高齢者のコミュニケーションの特徴	老年看護学：第5章F「コミュニケーション」(p.198～213)
		身体機能・認知機能・個性に応じたコミュニケーションの方法	老年看護学：第5章F「コミュニケーション」(p.198～213)
	B 高齢者の安全な活動への援助	高齢者の歩行、移動、姿勢保持の特徴	老年看護学：第5章A-1「基本動作と環境アセスメント」(p.122～134)
		活動の縮小の影響(廃用症候群、フレイル、閉じこもり)	老年看護学：第3章B-2「老年看護の特徴」(p.74～78)、第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.142～146) 老年看護 病態・疾患論：第2章D「おもにADL低下に合併する症候」(p.73～86)、E「フレイル」(p.87～92)、第6章「高齢者のリハビリテーション」(p.284～310)
		高齢者に多い事故(窒息、誤嚥、溺水、転倒・転落)	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第4章F-2-1「発生頻度の高いできごと」(p.133～134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章D-1「療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策」(p.70～79) 老年看護学：第5章A-2「転倒のアセスメントと看護」(p.134～142)、第5章B-4-2「食事のケア」(p.158～159)、第5章D-4「清潔の援助」(p.177～184) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第4章「療養上の世話の事故防止」(p.137～185)
		身体機能・認知機能に応じた安全な活動の維持・拡大の支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章D-1「療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策」(p.70～79) 老年看護学：第10章A「高齢者と医療安全」(p.388～395)
		身体機能・認知機能に応じた環境の整備	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-1「療養環境調整に関する地域・在宅看護技術」(p.86～93) 老年看護学：第10章A「高齢者と医療安全」(p.388～395)
	C 高齢者の食事・食生活の特徴と援助	高齢者の食事の特徴	老年看護学：第5章B「食事・食生活」(p.146～161) 栄養食事療法：第17章A「高齢者の栄養管理の基本」(p.238～243)
		低栄養	老年看護学：第5章B「食事・食生活」(p.146～161) 栄養学：第8章I「高齢期における栄養」(p.179～186)
		摂食・嚥下障害	老年看護学：第5章B「食事・食生活」(p.146～161) 栄養学：第8章I「高齢期における栄養」(p.179～186) 栄養食事療法：第3章D「摂食・嚥下障害」(p.39～42)
		身体機能・認知機能に応じた食事と食生活の支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-3「食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術」(p.105～136) 老年看護学：第5章B「食事・食生活」(p.146～161) 栄養学：第8章I「高齢期における栄養」(p.179～186)
	D 高齢者の排泄の特徴と援助	高齢者の排泄の特徴	老年看護学：第5章C「排泄」(p.161～172)
		尿失禁	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-4-c-3「●失禁の援助」(p.147～149) 老年看護学：第5章C「排泄」(p.161～172)
		便秘、下痢	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-4-c-3「●便秘のケア」(p.149～150) 老年看護学：第5章C「排泄」(p.161～172)
		身体機能・認知機能に応じた排泄の支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-4「排泄に関する地域・在宅看護技術」(p.136～160) 老年看護学：第5章C「排泄」(p.161～172)
	E 高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助	高齢者の皮膚機能の特徴	老年看護学：第4章B-1「皮膚とその付属器」(p.94～97)
高齢者の清潔と衣生活の特徴		地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章E-5-a「暮らしにおける清潔・衣生活とその援助」(p.160～161) 老年看護学：第5章D「清潔」(p.172～185)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	F 高齢者の活動と休息のバランスの特徴と援助	身体機能・認知機能に応じた清潔と衣生活の支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-5-c 「清潔・衣生活の援助の実際」 (p.163~171) 老年看護学 : 第5章 D 「清潔」 (p.172~185)
		高齢者の睡眠と生活リズムの特徴	老年看護学 : 第5章 E 「生活リズム」 (p.185~198)
	G 高齢者における性〈セクシュアリティ〉	身体機能・認知機能に応じた活動と休息の支援	老年看護学 : 第5章 E 「生活リズム」 (p.185~198)
		高齢者の性機能の特徴	老年看護学 : 第5章 G 「セクシュアリティ」 (p.213~218)
	A 健康の維持・増進と介護予防	高齢者にとっての性〈セクシュアリティ〉の理解と対応	老年看護学 : 第5章 G 「セクシュアリティ」 (p.213~218)
		高齢者の保健行動の特徴	老年看護学 : 第9章 A-2 「介護予防とヘルスプロモーション」 (p.361~364)
		高齢者の健康の維持・増進	老年看護学 : 第9章 A-2 「介護予防とヘルスプロモーション」 (p.361~364)
	B 急性期の高齢者への看護	介護予防	老年看護学 : 第9章 A-2 「介護予防とヘルスプロモーション」 (p.361~364)
		急性期の高齢者の特徴	老年看護学 : 第10章 B 「高齢者と救命救急」 (p.395~397) 老年看護 病態・疾患論 : 序章 C-2 「急性期医療の課題」 (p.8)
	C 回復期の高齢者への看護	急性期における高齢者の看護	老年看護学 : 第7章 C 「手術を受ける高齢者の看護」 (p.327~333)
高齢者の疾患からの回復過程の特徴		老年看護学 : 第7章 D-2 「リハビリテーションを受ける高齢者の看護」 (p.334~338) 老年看護 病態・疾患論 : 第6章 A 「高齢者におけるリハビリテーション」 (p.284~288)	
D 慢性期の高齢者への看護	急性期からの回復過程にある高齢者の看護	老年看護学 : 第7章 D-2 「リハビリテーションを受ける高齢者の看護」 (p.334~338)	
	慢性期の高齢者の特徴	老年看護学 : 第9章 B 「保健医療福祉施設および居住施設における看護」 (p.365~373) 老年看護 病態・疾患論 : 序章 C-3 「慢性期医療の課題」 (p.9)	
E 終末期にある高齢者と家族への看護	疾患や障害とともに生きる高齢者の看護	老年看護学 : 第9章 B 「保健医療福祉施設および居住施設における看護」 (p.365~373)	
	高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	老年看護学 : 第8章 A 「エンドオブライフケアの概念」 (p.348~351)	
	アドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉	老年看護学 : 第8章 C-2 「アドバンスケアプランニング」 (p.355) 老年看護 病態・疾患論 : 第8章 D-5-4 「終末期医療の意思決定支援——アドバンスケアプランニング」 (p.262~263)	
	苦痛の緩和と安楽への援助	老年看護学 : 第8章 D 「末期段階に求められる援助」 (p.356~358) 緩和ケア : 第5章 A 「身体的ケア : 苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助」 (p.80~96)	
	精神的苦痛や混乱に対する援助	老年看護学 : 第8章 D 「末期段階に求められる援助」 (p.356~358) 緩和ケア : 第5章 B 「心理的ケア : 病によるストレスへの対処の力とその支援」 (p.196~223)、第5章 D 「スピリチュアルケア : 『生・老・病・死』と向き合う苦を支える」 (p.130~149)	
F 検査を受ける高齢者の看護	家族の参加と家族への支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 C-2 「家族の支援」 (p.64~67)、第3章 H 「終末期の看護(グリーフケア含む)」 (p.245~248)、第4章 I-6 「死亡直後の看護」 (p.335~336) 老年看護学 : 第8章 D 「末期段階に求められる援助」 (p.356~358) 公衆衛生 : 第8章 D-8 「地域コミュニティによる支えとは」 (p.264~266) 緩和ケア : 第8章 「家族のケア」 (p.236~254)	
	加齢による検査結果への影響	老年看護学 : 第7章 A 「検査を受ける高齢者の看護」 (p.318~321)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		検査を受ける高齢者への身体機能・認知機能に応じた援助	老年看護学：第7章A「検査を受ける高齢者の看護」(p.318～321)
	G 外来を受診する高齢者の看護	高齢者への医療面接、フィジカルアセスメント	老年看護 病態・疾患論：第3章A-1「問診(面接)」(p.95～97)、A-2「視診」(p.97～99)
		疾患・治療の理解と治療継続への援助	老年看護 病態・疾患論：序章C-5「高齢者医療の目標設定」(p.12～14)、D「老年看護への期待」(p.14～16)
	H 薬物治療を受ける高齢者の看護	高齢者の薬物動態の特徴	老年看護学：第7章B「薬物療法を受ける高齢者の看護」(p.321～326) 老年看護 病態・疾患論：第5章A「高齢者の安全な薬物治療」(p.272～275)
		高齢者の服薬行動の特徴	老年看護学：第7章B「薬物療法を受ける高齢者の看護」(p.321～326)
		ポリファーマシー	老年看護学：第7章B「薬物療法を受ける高齢者の看護」(p.321～326) 老年看護 病態・疾患論：第5章A「高齢者の安全な薬物治療」(p.272～275)
		身体機能・認知機能に応じた服薬管理支援	老年看護学：第7章B「薬物療法を受ける高齢者の看護」(p.321～326) 老年看護 病態・疾患論：第5章C「服薬管理能力のアセスメントと服薬支援」(p.276～278)
	I 手術療法を受ける高齢者の看護	高齢者に起こりやすい周手術期の反応と合併症	老年看護学：第7章C「手術を受ける高齢者の看護」(p.327～333)
		身体機能・認知機能に応じた周手術期看護	老年看護学：第7章C「手術を受ける高齢者の看護」(p.327～333)
	J リハビリテーションを受ける高齢者の看護	リハビリテーションを受ける高齢者の特徴	老年看護学：第7章D-2「リハビリテーションを受ける高齢者の看護」(p.334～338) 老年看護 病態・疾患論：第6章A-2「高齢者の包括的リハビリテーションにおける看護師の役割」(p.285～286)
		身体機能・認知機能に応じたリハビリテーションにおける看護	老年看護学：第7章D-2「リハビリテーションを受ける高齢者の看護」(p.334～338)
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	脳血管疾患後遺症	老年看護学：第6章B-1「脳卒中」(p.254～257) 老年看護 病態・疾患論：第4章B-1「脳血管障害」(p.150～159)
		慢性閉塞性肺疾患	老年看護学：第6章B-4「慢性閉塞性肺疾患」(p.263～265) 老年看護 病態・疾患論：第4章B-3「閉塞性肺疾患」(p.182～184)
		骨粗鬆症	老年看護学：第6章B-9「骨粗鬆症」(p.275～278) 老年看護 病態・疾患論：第1章H-2「骨代謝機能の老化」(p.43)、第4章J-7「骨粗鬆症」(p.237～240)
		変形性関節症	老年看護 病態・疾患論：第4章J-2「変形性膝関節症」(p.232～233)
		骨折	老年看護学：第6章B-10「骨折」(p.278～282) 老年看護 病態・疾患論：第2章D-1「転倒・骨折」(p.73～77)、第4章J-1「大腿部頸部骨折」(p.230～232)
		感染症	老年看護 病態・疾患論：第4章N「感染症」(p.265～269)
		前立腺肥大症	老年看護 病態・疾患論：第4章I-5-1「前立腺肥大症」(p.228～229)
		老人性皮膚掻痒症	老年看護学：第6章A-3-2「老人性皮膚瘙癢症がある高齢者の看護」(p.236～237) 老年看護 病態・疾患論：第4章K-2「皮膚瘙癢症」(p.243～244)
		気分障害	老年看護学：第6章C-3-2「うつ」(p.282～288) 老年看護 病態・疾患論：第4章B-3「うつ状態(うつ病)」(p.161～164) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-6-3「気分[感情]障害」(p.182～191)、C-6-11「老年期うつ」(p.222)
		脱水症	老年看護学：第6章A-4「脱水」(p.238～241) 老年看護 病態・疾患論：第2章B-4「脱水症」(p.57～59)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
B 高齢者に特有な疾患・障害のアセスメント		白内障	老年看護学：第4章 A-2-1「視覚」(p.97～99) 老年看護 病態・疾患論：第4章 L-4「白内障」(p.253～254)
		老年期に特有のその他の疾患や症候	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.134～269)
		脳血管疾患後遺症	老年看護学：第6章 B-1「脳卒中」(p.254～257) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-1「脳血管障害」(p.150～159)
		慢性閉塞性肺疾患	老年看護学：第6章 B-4「慢性閉塞性肺疾患」(p.263～265) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-3「閉塞性肺疾患」(p.182～184)
		骨粗鬆症	老年看護学：第6章 B-9「骨粗鬆症」(p.275～278) 老年看護 病態・疾患論：第1章 H-2「骨代謝機能の老化」(p.43)、第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.237～240)
		変形性関節症	老年看護 病態・疾患論：第4章 J-2「変形性膝関節症」(p.232～233)
		骨折	老年看護学：第6章 B-10「骨折」(p.278～282) 老年看護 病態・疾患論：第2章 D-1「転倒・骨折」(p.73～77)、第4章 J-1「大腿骨頸部骨折」(p.230～232)
		感染症	老年看護 病態・疾患論：第4章 N「感染症」(p.265～269)
		前立腺肥大症	老年看護 病態・疾患論：第4章 I-5-1「前立腺肥大症」(p.228～229)
		老人性皮膚掻痒症	老年看護学：第6章 A-3-2「老人性皮膚掻痒症がある高齢者の看護」(p.236～237) 老年看護 病態・疾患論：第4章 K-2「皮膚掻痒症」(p.243～244)
		気分障害	老年看護学：第6章 C-3-2「うつ」(p.282～288) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-3「うつ状態(うつ病)」(p.161～164) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-6-3「気分[感情]障害」(p.182～191)、C-6-11「老年期うつ」(p.222)
		脱水症	老年看護学：第6章 A-4「脱水」(p.238～241) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-4「脱水症」(p.57～59)
		白内障	老年看護学：第4章 A-2-1「視覚」(p.97～99) 老年看護 病態・疾患論：第4章 L-4「白内障」(p.253～254)
		老年期に特有のその他の疾患や症候	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.134～269)
C 高齢者に特有な疾患・障害の治療		脳血管疾患後遺症	老年看護学：第6章 B-1「脳卒中」(p.254～257) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-1「脳血管障害」(p.150～159)、第6章 C-1「脳卒中後のリハビリテーション」(p.294～296)
		慢性閉塞性肺疾患	老年看護学：第6章 B-4「慢性閉塞性肺疾患」(p.263～265) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-3「閉塞性肺疾患」(p.182～184)、第6章 B-1「呼吸リハビリテーション」(p.288～290)
		骨粗鬆症	老年看護学：第6章 B-9「骨粗鬆症」(p.275～278) 老年看護 病態・疾患論：第1章 H-2「骨代謝機能の老化」(p.43)、第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.237～240)
		変形性関節症	老年看護 病態・疾患論：第4章 J-2「変形性膝関節症」(p.232～233)
		骨折	老年看護学：第6章 B-10「骨折」(p.278～282) 老年看護 病態・疾患論：第2章 D-1「転倒・骨折」(p.73～77)、第4章 J-1「大腿骨頸部骨折」(p.230～232)
		感染症	老年看護 病態・疾患論：第4章 N「感染症」(p.265～269)
		前立腺肥大症	老年看護 病態・疾患論：第4章 I-5-1「前立腺肥大症」(p.228～229)
		老人性皮膚掻痒症	老年看護学：第6章 A-3-2「老人性皮膚掻痒症がある高齢者の看護」(p.236～237) 老年看護 病態・疾患論：第4章 K-2「皮膚掻痒症」(p.243～244)
		気分障害	老年看護学：第6章 C-3-2「うつ」(p.282～288) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-3「うつ状態(うつ病)」(p.161～164)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6-3 「気分 [感情] 障害」 (p.182～191)、C-6-11 「老年期うつ」 (p.222)
		脱水症	老年看護学 : 第 6 章 A-4 「脱水」 (p.238～241) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 B-4 「脱水症」 (p.57～59)
		白内障	老年看護学 : 第 4 章 A-2-1 「視覚」 (p.97～99) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 L-4 「白内障」 (p.253～254)
		老年期に特有のその他の疾患や症候	老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 「高齢者の疾患の特徴」 (p.134～269)
D	高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	脳血管疾患後遺症	老年看護学 : 第 6 章 B-1 「脳卒中」 (p.254～257) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 B-1 「脳血管障害」 (p.150～159)、第 6 章 C-1 「脳卒中後のリハビリテーション」 (p.294～296)
		慢性閉塞性肺疾患	老年看護学 : 第 6 章 B-4 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.263～265) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 B-3 「閉塞性肺疾患」 (p.182～184)、第 6 章 B-1 「呼吸リハビリテーション」 (p.288～290)
		骨粗鬆症	老年看護学 : 第 6 章 B-9 「骨粗鬆症」 (p.275～278) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 H-2 「骨代謝機能の老化」 (p.43)、第 4 章 J-7 「骨粗鬆症」 (p.237～240)
		変形性関節症	老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 J-2 「変形性膝関節症」 (p.232～233)
		骨折	老年看護学 : 第 6 章 B-10 「骨折」 (p.278～282) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 D-1 「転倒・骨折」 (p.73～77)、第 4 章 J-1 「大腿骨頸部骨折」 (p.230～232)
		感染症	老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 N 「感染症」 (p.265～269)
		前立腺肥大症	老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 I-5-1 「前立腺肥大症」 (p.228～229)
		老人性皮膚掻痒症	老年看護学 : 第 6 章 A-3-2 「老人性皮膚掻痒症がある高齢者の看護」 (p.236～237) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 K-2 「皮膚掻痒症」 (p.243～244)
		気分障害	老年看護学 : 第 6 章 C-3-2 「うつ」 (p.282～288) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 B-3 「うつ状態(うつ病)」 (p.161～164) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6-3 「気分 [感情] 障害」 (p.182～191)、C-6-11 「老年期うつ」 (p.222)
		脱水症	老年看護学 : 第 6 章 A-4 「脱水」 (p.238～241) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 B-4 「脱水症」 (p.57～59)
		白内障	老年看護学 : 第 4 章 A-2-1 「視覚」 (p.97～99) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 L-4 「白内障」 (p.253～254)
		老年期に特有のその他の疾患や症候	老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 「高齢者の疾患の特徴」 (p.134～269)
		E	認知機能が低下した高齢者の看護
認知症の症状	老年看護学 : 第 6 章 C-3-2 「認知症の症状」 (p.297～299) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-2 「認知症の症状」 (p.136～139) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6-12 「認知症」 (p.223～229)		
日常生活への影響	老年看護学 : 第 6 章 C-3-4 「認知機能および生活機能の評価」 (p.305～307)		
認知症の治療、非薬物療法	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 5 章 I 「認知症」 (p.225～233)、第 6 章 B-3 「認知症患者の看護」 (p.256～262) 老年看護学 : 第 6 章 C-3-3 「認知症の病態・診断・治療・予防」 (p.299～305) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-4 「認知症をきたす疾患の診断と治療」 (p.140～146)、A-6 「認知症の予防」 (p.148～149)、第 6 章 D-1 「認知症リハビリテーション」 (p.300～302) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6-12 「認知症」 (p.223～229)、第 6 章 C-2-8 「抗認知症薬」 (p.284) 臨床薬理学 : 第 3 章 R 「認知症(アルツハイマー病)」 (p.191～195) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-4-3 「認知症への対応」 (p.92～94)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		認知症の予防	老年看護学：第6章 C-3-3「認知症の病態・診断・治療・予防」(p.299～305) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A-4「認知症をきたす疾患の診断と治療」(p.140～146)、A-6「認知症の予防」(p.148～149)、第6章 D-1「認知症リハビリテーション」(p.300～302) 精神保健福祉：第4章 B-4-3「認知症への対応」(p.92～94)
		認知症看護の基本的視点	老年看護学：第6章 C-3-5「認知症の看護」(p.307～315)
		認知症高齢者と家族の支援	成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-3「認知症患者の看護」(p.255～262) 老年看護学：第6章 C-3-5「認知症の看護」(p.307～315) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A-7「認知症患者の看護と介護」(p.149～150)
8 治療・介護を必要とする高齢者の家族の看護	A 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	看護の対象としての家族	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 B「家族の理解」(p.75～85)、C「地域・在宅看護の対象としての家族」(p.85～89) 老年看護学：第9章 C「治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護」(p.373～382) 家族看護学：第3章 A-1「家族発達理論」(p.86～91)、第5章 F「高齢の患者の家族看護」(p.251～262)
		介護者の健康と社会生活	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 C「地域・在宅看護の対象としての家族」(p.85～89) 老年看護学：第9章 C「治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護」(p.373～382)
		高齢者と家族の意思決定の支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第3章 C「地域・在宅看護の対象としての家族」(p.85～89) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 C-2「家族の支援」(p.64～67) 老年看護学：第9章 C「治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護」(p.373～382)
		介護状況と介護力の評価	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第1章 B-2-3「●家族の介護力のアセスメント」(p.35～36)、「●介護負担に関するアセスメント」(p.36～39) 老年看護学：第9章 C「治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護」(p.373～382)
		高齢者や家族の特徴に応じた家族への支援	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 C「地域・在宅看護における家族を支える看護」(p.62～70) 老年看護学：第9章 C「治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護」(p.373～382)

目標Ⅲ. 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 多様な生活の場で生活する高齢者を支える看護	A 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	医療施設の種類と特徴	老年看護学：第9章 B「保健医療福祉施設および居住施設における看護」(p.365～373)
		入院する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学：第9章 B「保健医療福祉施設および居住施設における看護」(p.365～373)
	B 介護保険施設に入所する高齢者の暮らしと看護	介護保険施設の種類と特徴	老年看護学：第9章 B-1「介護保険施設」(p.365～369)
		介護保険施設における健康管理	老年看護学：第9章 B-1「介護保険施設」(p.365～369)
		入所者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学：第9章 B-1「介護保険施設」(p.365～369)
	C 地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者の暮らしと看護	地域密着型サービスの種類と特徴	老年看護学：第9章 B-2「地域密着型サービス」(p.369～372)
		居宅サービスの種類と特徴	老年看護学：第9章 B-2「地域密着型サービス」(p.369～372)
		福祉用具・介護用品の活用	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-2-b-2「●福祉用具の活用」(p.98～103)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
D	生活の場を変える高齢者への支援		<p>老年看護学：第2章B-2「介護保険制度の整備」(p.41～48)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：第6章E-2「リハビリテーション現場におけるロボット活用」(p.308～310)</p>
		サービスを利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	<p>老年看護学：第9章B-2「地域密着型サービス」(p.369～372)</p>
		入院時・入所時・サービス利用開始時の援助	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-6-1「外来患者の看護」(p.152～153)、B-6-2「入院患者の看護」(p.153)、B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153～154)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第3章C「入院時の看護」(p.232～234)</p> <p>老年看護学：第7章E-3「入院初期の援助」(p.340～342)</p>
		退院支援、退所支援	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-6-1「外来患者の看護」(p.152～153)、B-6-2「入院患者の看護」(p.153)、B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153～154)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第3章D「在宅療養準備期(退院前)の看護」(p.234～239)、E「在宅療養移行期の看護」(p.239～244)、第6章B-1「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」(p.360～365)</p> <p>老年看護学：第7章E-6「退院調整・退院支援」(p.343～345)</p>
E	長期入院・入所高齢者の看護	看護職間・他職種間の情報提供、目標の共有と評価	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-6-1「外来患者の看護」(p.152～153)、B-6-2「入院患者の看護」(p.153)、B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153～154)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第5章A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340～342)</p> <p>老年看護学：第7章E-5「チーム医療」(p.342～343)</p>
		長期入院・入所高齢者のアセスメント	<p>老年看護 病態・疾患論：序章C-3「慢性期医療の課題」(p.9)</p> <p>精神保健福祉：第6章A-6「高齢精神障害者への支援」(p.176～182)</p>
F	多職種連携、チームアプローチ	長期入院・入所高齢者の生活上の課題と援助	<p>老年看護 病態・疾患論：序章C-3「慢性期医療の課題」(p.9)</p> <p>精神保健福祉：第6章A-6「高齢精神障害者への支援」(p.176～182)</p>
		介護職員の専門性と役割の共有	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章C-2-1「介護職員との連携」(p.158～159)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第5章B-2-1「●介護支援専門員(ケアマネジャー)との連携・協働の実際」(p.344～345)、●介護職との連携・協働の実際」(p.345～346)</p> <p>老年看護学：第9章B-1-5「介護保険施設で求められる看護」(p.367～368)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：終章4「高齢者医療におけるチーム医療の特性」(p.315～316)、6「高齢者の在宅医療における訪問看護の役割」(p.317)</p>
		多職種の中での専門性の発揮	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第5章A-1「看護職が連携・協働において果たす役割」(p.340～341)</p> <p>老年看護学：第9章B-1-5「介護保険施設で求められる看護」(p.367～368)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：終章4「高齢者医療におけるチーム医療の特性」(p.315～316)、6「高齢者の在宅医療における訪問看護の役割」(p.317)</p>
G	避難生活を送る高齢者の看護	目標達成に向けた連携の方法	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章「地域・在宅看護実践の場と連携」(p.144～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52～54)、第5章A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340～342)</p> <p>老年看護学：第9章B-1-5「介護保険施設で求められる看護」(p.367～368)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：終章4「高齢者医療におけるチーム医療の特性」(p.315～316)、6「高齢者の在宅医療における訪問看護の役割」(p.317)</p>
		避難所での生活と健康維持	<p>老年看護学：第10章C「高齢者と災害」(p.397～406)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章E-3「高齢者に対する災害看護」(p.151～155)</p>
		災害における高齢者の心理的支援	<p>老年看護学：第10章C「高齢者と災害」(p.397～406)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章E-3「高齢者に対する災害看護」(p.151～155)</p>

# 小児看護学

目標 I. 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 子どもと家族を取り巻く環境	A 小児医療・小児看護の変遷と課題	小児医療の変遷と課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 C 「小児看護の変遷」 (p.15~18)
		小児看護の変遷と課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 C 「小児看護の変遷」 (p.15~18)
		諸統計からみた子どもと家族の健康課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B 「小児と家族の諸統計」 (p.8~15) 家族看護学 : 第 2 章 C-1 「家族の育児機能」 (p.45~51)、D-2-2 「子育て家族がかかえる問題」 (p.81~82)
	B 子どもの権利	小児医療における子どもの権利の変遷	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 D-1 「子どもの権利」 (p.19)
		小児医療・小児看護における倫理的配慮	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 D 「小児看護における倫理」 (p.19~25)
		子どもの権利擁護〈アドボカシー〉	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 D 「小児看護における倫理」 (p.19~25) 公衆衛生 : 第 8 章 B-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.217~220) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-5-1 「児童の権利に関する条約」 (p.208~209) 看護関係法令 : 第 7 章 B-2-b 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219)
	C 子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	母子保健施策の活用	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 B-2 「現在の母子保健」 (p.171~174) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-4-1 「母子保健施策」 (p.87~89)
		小児保健医療福祉施策の活用	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 C 「医療費の支援」 (p.174~177)
		小児慢性特定疾病医療費助成制度	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 C-2 「小児慢性特定疾病医療費助成制度」 (p.174~176) 公衆衛生 : 第 8 章 G-3-5 「医療支援」 (p.307~309)
	2 子どもの成長・発達	A 子どもの成長・発達の原則と影響因子	成長・発達の概念
成長・発達の原則			小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 B 「成長・発達の進み方(一般的原則)」 (p.33~35) 心理学 : 第 9 章 A-2 「発達の一般的特徴」 (p.168~169)
成長・発達に影響する因子			小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 C 「成長・発達に影響する因子」 (p.35~36) 心理学 : 第 9 章 A-3 「発達の要因」 (p.172~173)
発達課題と発達理論			小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 A 「成長・発達とは」 (p.30~33)、B 「成長・発達の進み方(一般的原則)」 (p.33~35) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-4 「ライフサイクルとアイデンティティ——エリクソンの漸成的発達理論」 (p.97~102) 心理学 : 第 9 章 A-2 「発達の段階と課題」 (p.169~171)
B 子どもの成長・発達のアセスメント		形態的成長と機能的発達の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 「子どもの成長・発達」 (p.30~51)、各発達段階ごとに第 3~5 章(p.53~144)に収載
		身体発育の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 D 「成長の評価」 (p.37~46)
		発達検査	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 E 「発達の評価」 (p.46~51)
		心理・社会的発達の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 3 章 B-7 「情緒・社会的機能」 (p.77~78)、第 4 章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.96~101)、B-4 「知的・情緒機能」 (p.111~113)、B-5 「社会的機能」 (p.113~115)、第 5 章 3 「知的・情緒(心理)的・社会的機能」 (p.127~130)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
C	小児期における成長・発達の特徴	神経系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-9「神経系」(p.64~65)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第4章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		運動器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-4「運動機能」(p.73~76)、第4章 A-4「運動機能」(p.93)、B-3「感覚・運動機能」(p.110~111)
		感覚器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-3「感覚機能」(p.72~73)、第4章 A-3「感覚機能」(p.92)、B-3「感覚・運動機能」(p.110~111)
		循環器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-2「循環」(p.58~60)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第4章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		免疫系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-8「免疫」(p.64)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第4章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		呼吸器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-1「呼吸」(p.54~58)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		消化器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-4「消化器」(p.60~61)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		代謝系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-5「体液の生理」(p.61~62)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		泌尿器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-5「体液の生理」(p.61~62)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		体温調節	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-2-3「体温」(p.60)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		大泉門、小泉門	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-1「形態的特徴」(p.71~72)
		生歯	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 D-3「生歯」(p.43~47)
		認知、思考	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-5「知的機能」(p.76~77)、第4章 A-5「知的機能」(p.94~95)、B-4「知的・情緒機能」(p.111~113)、第5章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		社会性、道徳性	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-7「情緒・社会的機能」(p.77~78)、第4章 A-7「情緒・社会的機能」(p.96~101)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		コミュニケーション、言語	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-6「コミュニケーション機能」(p.77)、第4章 A-6「コミュニケーション機能」(p.95~96)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		情緒	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-7「情緒・社会的機能」(p.77~78)、第4章 A-7「情緒・社会的機能」(p.96~101)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
アタッチメント、分離不安	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-7-1「愛着形成」(p.77~78) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-5「愛着と心の安全の基地——ポウルビーの愛着理論」(p.102~107) 心理学 : 第9章 B-3-1「愛着の形成」(p.179~181)		
3	A 栄養と食生活	授乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-a-1「食事の世話」(p.80~87) 栄養学 : 第8章 A「乳児期における栄養」(p.152~156) 栄養食事療法 : 第16章 A-2「乳児期の栄養」(p.230)
		離乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-a-1「食事の世話」(p.80~87) 栄養学 : 第8章 A「乳児期における栄養」(p.152~156) 栄養食事療法 : 第16章 A-2「乳児期の栄養」(p.230)

小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		食生活	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105)、B-2 「食生活」 (p.118~119)、第7章 F 「食育」 (p.188~189) 栄養学 : 第8章 B 「幼児期における栄養」 (p.157~158) 栄養食事療法 : 第16章 A-3 「幼児期の栄養」 (p.230~231)
		食育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105)、B-2 「食生活」 (p.118~119)、第7章 F 「食育」 (p.188~189) 栄養学 : 第8章 C 「学童期における栄養」 (p.158~163) 栄養食事療法 : 第16章 A-4 「学童期の栄養」 (p.231)
		食生活の乱れ	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105)、B-2 「食生活」 (p.118~119)、第7章 F 「食育」 (p.188~189) 栄養学 : 第8章 C 「学童期における栄養」 (p.158~163) 栄養食事療法 : 第16章 A-4 「学童期の栄養」 (p.231)
B	生活リズムの確立	睡眠	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-1 「●睡眠の世話」 (p.67)、第3章 B-8-a-4 「睡眠の世話」 (p.88)、第4章 A-8-1 「●睡眠の世話」 (p.103~104)、第4章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.117)、第5章 4-2 「睡眠不足」 (p.131)
		生活リズム	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-1 「日常生活の世話」 (p.65~69)、第3章 B-8-a 「日常生活の世話」 (p.78~88)、第4章 A-7-4 「子どもどうしの関係と集団生活」 (p.98)、第4章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.117)、第5章 4 「生活の特徴」 (p.130~132)
		基本的な生活習慣の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105)、第4章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.117)、第5章 4 「生活の特徴」 (p.130~132)
		ライフスタイル	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.117)、第5章 4 「生活の特徴」 (p.130~132)
C	遊びと学習	遊びの意義	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-b 「遊びの支援」 (p.89)、第4章 A-7-6 「遊びの発達と社会性」 (p.99~100)、A-8-2 「遊びと運動の支援」 (p.106)、B-8-3 「学習と遊び」 (p.119) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4-5 「遊びとユーモア」 (p.99~100)
		遊びの分類と発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-b 「遊びの支援」 (p.89)、第4章 A-8-2 「遊びと運動の支援」 (p.106)、B-8-3 「学習と遊び」 (p.119)
		運動と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-b 「遊びの支援」 (p.89)、第4章 A-8-2 「遊びと運動の支援」 (p.106)、B-8-3 「学習と遊び」 (p.119)
		学習の意味	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 C-3 「成熟と学習」 (p.35)、第4章 B-8-3 「学習と遊び」 (p.119)
D	事故防止と安全教育	事故防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-2 「事故防止」 (p.69~70)、B-8-c 「事故防止」 (p.89)、第4章 A-8-3 「事故防止」 (p.106~107)、B-8-6 「安全教育・事故予防」 (p.121)、第5章 10-7 「安全教育」 (p.143) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第19章 A-2 「子どもの発達段階に応じた事故防止」 (p.521~523)
		安全教育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-6 「安全教育・事故予防」 (p.121)、第5章 10-7 「安全教育」 (p.143)
		スポーツ外傷の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-6-発展学習 「事故予防」 (p.121)
E	他者との関係	親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-5 「愛着形成」 (p.70)、4章 A-7-1 「愛着形成と分離不安」 (p.96) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3 「よい乳房・わるい乳房——対象関係論」 (p.91~96)、B-5 「愛着と心の安全の危機」 (p.102~107) 家族看護学 : 第2章 C-1-2 「養育機能」 (p.48~50)
		友達関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-5 「社会的機能」 (p.128)、第5章 3-2 「情緒的発達」 (p.128)、3-4 「社会性の発達」 (p.129~130)
		社会化	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.96~101)、B-5 「社会的機能」 (p.128)、第5章 3-4 「社会性の発達」 (p.129~130) 家族看護学 : 第2章 C-1-2 「養育機能」 (p.48~50)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
F	感染症と予防	小児期に特徴的な感染症	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-4 「予防接種」 (p.108)、第7章 D-2 「現在の予防接種」 (p.179~182)、第7章 E-4 「感染予防」 (p.185~188)
		予防接種	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-4 「予防接種」 (p.107~108)、第7章 D-2 「現在の予防接種」 (p.179~182) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-1 「子どもの感染に関する基本的知識」 (p.140)、A-3 「感染症をもつ子どもの看護のポイント」 (p.141~143) 看護関係法令 : 第4章 C-3 「予防接種法」 (p.152~155)
		学校感染症	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第7章 E-4 「感染予防」 (p.185~188) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-1 「子どもの感染に関する基本的知識」 (p.140)、A-3 「感染症をもつ子どもの看護のポイント」 (p.141~143) 公衆衛生 : 第9章 B-2 「感染症の予防と対策」 (p.328~329) 看護関係法令 : 第4章 B-4 「学校保健安全法」 (p.132~133)
G	セルフケアと保健教育	う歯の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-5 「疾病予防」 (p.121)、第5章 10-5 「日常生活における衛生、健康教育など」 (p.142) 公衆衛生 : 第8章 F-4-2 「学齢期の齲歯予防」 (p.289~290)
		近視の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-5 「疾病予防」 (p.121)、第5章 10-5 「日常生活における衛生、健康教育など」 (p.142)
		生活習慣病の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-4 「生活習慣病の予防」 (p.119~121)、第5章 10-4 「生活習慣病予防」 (p.140~142) 栄養学 : 第8章 C 「学童期における栄養」 (p.158~163)
H	問題行動の防止	喫煙・飲酒の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 6 「飲酒・喫煙」 (p.136~137)、10-4 「生活習慣病予防」 (p.140~141)
		不登校の実態	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-6 「不適応行動・症状」 (p.115)、第5章 5-3 「不登校」 (p.135) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 D-1-2 「学校における児童・生徒のメンタルヘルス上の課題」 (p.179~182)、D-3-2 「チームとしての学校の実践事例」 (p.183~185) 公衆衛生 : 第9章 B-4-2 「不登校」 (p.332)
		いじめ・校内暴力の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.117)、第5章 5-2 「いじめ」 (p.134~135)、8-3 「暴力行為」 (p.138) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 D-1-2 「学校における児童・生徒のメンタルヘルス上の課題」 (p.179~182) 公衆衛生 : 第9章 B-4-1 「いじめ」 (p.331~332) 看護関係法令 : 第7章 B-2-d 「いじめ防止対策推進法」 (p.219~220)
		自殺の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 5-1 「自殺」 (p.133~134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 F-1 「自殺対策」 (p.361~363) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 D-3-2 「チームとしての学校の実践事例」 (p.183~185)、第13章 B-2-5 「自殺を防ぐケア」 (p.328~331) 看護関係法令 : 第4章 B-5-a 「自殺対策基本法」 (p.133~134)
		メディア利用の影響	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 2-1 「育児・養育機能の維持・増進」 (p.26~27)、第4章 B-8-7 「性教育」 (p.121~122)
		I	思春期の成長・発達
アイデンティティの確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-3 「自我発達」 (p.128~129) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4-6 「アイデンティティを求めたたかいとモラトリアム」 (p.100~101)		
性〈セクシュアリティ〉意識の変化と逸脱行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-5 「性的傾向」 (p.130)、8-4 「性の逸脱行動」 (p.139) 公衆衛生 : 第8章 B-6-1 「思春期保健対策」 (p.221)		
性への関心	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-5 「性的傾向」 (p.130)		

目標Ⅱ. 病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	A 病気に対する子どもの理解と説明	病気に対する子どもの理解の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-1-1 「病気・障害の受けとめ、理解」 (p.196~197)
		子どもの理解に関係する要因	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.199~202)
		発達に応じた病気の説明	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 B-2 「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」 (p.202~206)
		インフォームド・アセント	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 B-2-2 「治療における意思決定の支援」 (p.204~205)
	B プレパレーション	子どもへの説明と同意	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 B-2-2 「治療における意思決定の支援」 (p.204~205)
		家族の準備状態の把握	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.199~202)
		検査・処置を受ける子どもと家族への支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 B-2 「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」 (p.202~206)
	C 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護	成長・発達に及ぼす影響	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A 「病気・障害が子どもと家族に与える影響」 (p.196~202)
		病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-1-2 「病気・治療に伴うストレス」 (p.197~198)
		子どもの反応とストレス対処行動	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-1-3 「ストレスに対する反応・対処」 (p.198~199)
	D 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.199~202)
		きょうだい・家族のストレスへの支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 B-4 「健康問題をもつ家族の看護」 (p.208~209) 家族看護学 : 第5章 D 「先天奇形をもつ児の家族看護」 (p.227~236)
	E 痛みを表現している子どもと家族への看護	子どもの痛みの受け止め方	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 3-1 「子どもの痛み」 (p.345~347)
		痛みの表現方法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 3 「痛み」 (p.345~353)
		痛みの客観的評価	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 3-2 「痛みを伴う子どもの看護」 (p.347~353)
		痛みの緩和に向けた援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 3-2 「痛みを伴う子どもの看護」 (p.347~353)
	F 活動制限が必要な子どもと家族への看護	活動制限の目的	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 「病気・障害をもつ子どもと家族の看護」 (p.196~209)
		活動制限の身体的・心理社会的影響	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 「病気・障害をもつ子どもと家族の看護」 (p.196~209)
		子どもの発達に応じた日常生活への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章 「病気・障害をもつ子どもと家族の看護」 (p.196~209)
	G 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	隔離の目的・方法	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-3-2 「隔離の考え方」 (p.141~142)
隔離の身体的・心理社会的影響		小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-3-2 「隔離の考え方」 (p.141~142)	
子どもの発達に応じた日常生活への援助		小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-3-3 「感染症の子どもの基本的看護」 (p.142~143)	
家族の面会や付き添いにおける援助		小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 A-3-3 「感染症の子どもの基本的看護」 (p.142~143)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	H 外来における子どもと家族への看護	外来における緊急度の把握・トリアージ	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 B-4 「外来における子どもと家族の看護」 (p.226~228)
		外来における感染症対策	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 B-2 「外来の環境」 (p.224)
		受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 B-4 「外来における子どもと家族の看護」 (p.226~228)
		健康診査・育児相談	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 B-3 「外来を受診する子どもと家族の特徴」 (p.225~226)
5 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	A 小児特有の診療(検査、処置)に伴う技術と看護	バイタルサインの測定	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第4章 A-2 「バイタルサイン」 (p.287~296)
		身体計測	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第4章 A-3 「身体測定」 (p.296~302)
		採血	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-4-3 「採血」 (p.446~449)
		採尿	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-4-1 「採尿」 (p.441~445)
		骨髄穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-4-4 「骨髄穿刺」 (p.449~453)
		腰椎穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-4-5 「腰椎穿刺」 (p.453~456)
		与薬	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-1 「与薬」 (p.420~431)
		吸入	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-9-4 「吸入療法」 (p.469~471)
		注射	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-1-4 「注射」 (p.426~431)
		輸液療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-2 「輸液管理」 (p.432~439)
		吸引	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-9-1 「鼻腔・口腔・咽頭内吸引」 (p.463~465)、C-9-2 「気管内吸引」 (p.466~467)
		酸素療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-9-3 「酸素療法」 (p.467~469)
		経管栄養	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-7 「経管栄養」 (p.458~459)

### 目標Ⅲ. 特別な状況にある子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 特別な状況にある子どもと家族への看護	A 虐待を受けている子どもと家族への看護	子どもへの虐待の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第8章 「子どもの虐待と看護」 (p.494~510) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4 「児童虐待対策」 (p.204~208)
		虐待のリスク要因と虐待の早期発見	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第8章 3 「リスク要因と発生予防・早期発見」 (p.502~504) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G 「児童虐待と看護」 (p.308~316) 公衆衛生 : 第8章 B-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.217~220) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4 「児童虐待対策」 (p.204~208) 看護関係法令 : 第7章 B-2-b 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219)
		虐待の未然防止に向けた支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第8章 3 「リスク要因と発生予防・早期発見」 (p.502~504) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G 「児童虐待と看護」 (p.308~316) 公衆衛生 : 第8章 B-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.217~220) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4 「児童虐待対策」 (p.204~208) 看護関係法令 : 第7章 B-2-b 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219) 家族看護学 : 第2章 D-2-2 「子育て家族がかかえる問題」 (p.81~83)
		多機関・多職種との連携・協働	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第8章 「子どもの虐待と看護」 (p.494~510) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G 「児童虐待と看護」 (p.308~316) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4 「児童虐待対策」 (p.204~208) 看護関係法令 : 第7章 B-2-b 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219)
	B 災害を受けた子どもと家族への看護	災害による子どもへの影響とストレス	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 D 「災害時の子どもと家族の看護」 (p.239~245)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 E-1 「子どもに対する災害看護」 (p.143~148)
		災害を受けた子どもと家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 D 「災害時の子どもと家族の看護」 (p.239~245) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 E-1 「子どもに対する災害看護」 (p.143~148)
		災害時における緊急度の把握・トリアージ	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 D 「災害時の子どもと家族の看護」 (p.239~245) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B-3-3 「トリアージ」 (p.39~46)、E-1 「子どもに対する災害看護」 (p.143~148)

目標Ⅳ. 健康課題をもつ子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 急性期にある子どもと家族への看護	A 急性症状のある子どもと家族への看護	急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 B 「急性期にある子どもと家族の看護」 (p.252~256)
		発熱	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 9 「発熱」 (p.377~383)
		脱水	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 13 「脱水」 (p.391~397)
		下痢、嘔吐	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 10 「嘔吐」 (p.383~385)、11 「下痢」 (p.385~388)
		呼吸困難	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 4 「呼吸困難」 (p.353~356)
		けいれん	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 8 「痙攣」 (p.371~377)
	B 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	子どもの救急におけるトリアージと対応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 B-4 「外来における子どもと家族の看護」 (p.226~228)、第6章 C-10 「救命処置」 (p.471~477)
		子どもの意識レベル	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 7-3 「意識障害を伴う子どもの看護」 (p.365~371)
		主な誤飲物質と処置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第19章 B-3 「誤飲・誤嚥」 (p.525~527)
		子どもの熱傷の特徴・重症度および処置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第19章 B-5 「熱傷」 (p.528~531)
		溺水と処置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第19章 B-4 「溺水」 (p.527~528)
		子どもの一次救命処置〈BLS〉	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第6章 C-10 「救命処置」 (p.471~477) 救急救命看護学 : 第5章 A-3 「小児の心肺蘇生」 (p.178~181)
		生命が危険な状況にある子どもと家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 D 「終末期にある子どもと家族の看護」 (p.269~281)
	C 周手術期における子どもと家族への看護	子どもの手術の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-1-1 「小児期の手術の特徴」 (p.257)
		手術を要する健康障害と手術の時期	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-1 「周手術期の特徴」 (p.257~259)
		計画手術、緊急手術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-1-1 「小児期の手術の特徴」 (p.257)
		日帰り手術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C 「周手術期の子どもと家族の看護」 (p.256~268)
		子どもと家族の術前準備	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-1 「術前の看護」 (p.259~265)
		子どもの安全・安楽への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2 「子どもと家族の看護」 (p.259~268)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所		
	D 出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	手術中・手術直後の家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2 「子どもと家族の看護」 (p.259~268)		
		手術後の身体状態のアセスメントと援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-2 「術後急性期の看護」 (p.265~268)		
		退院に向けての援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-3 「術後回復期の看護」 (p.268)		
		ハイリスク新生児の特徴	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章 「新生児の看護」 (p.18~64)		
		集中治療における援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章 「新生児の看護」 (p.18~64)		
		親子・家族関係確立への支援	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章 「新生児の看護」 (p.18~64)		
		8 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護	A 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	子どもの疾患に対する家族の受容と援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A 「慢性期にある子どもと家族の看護」 (p.248~251) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章 「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」 (p.2~15) 家族看護学 : 第5章 D 「先天奇形をもつ児の家族看護」 (p.227~236)
				疾患による子どもと家族の生活の変化	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A 「慢性期にある子どもと家族の看護」 (p.248~251) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章 「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」 (p.2~15)
				多職種連携、地域連携	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A 「慢性期にある子どもと家族の看護」 (p.248~251)
学習支援、復学支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A 「慢性期にある子どもと家族の看護」 (p.248~251) 公衆衛生 : 第9章 C 「特別な支援を必要とする子どもたち」 (p.333~335)				
発達に応じたセルフケア能力の獲得・自立支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A-3-1 「年齢に見合ったセルフケア能力の育成」 (p.250~251)				
セルフケア能力の獲得のための養育と家族への支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A-3-1 「年齢に見合ったセルフケア能力の育成」 (p.250~251) 家族看護学 : 第5章 B 「慢性期の小児患者の家族看護」 (p.200~211)				
成人診療科へのスムーズな転科を見据えた移行支援〈トランジション〉	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A-3-3 「成人期への移行を旨とした支援」 (p.251) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第3章 C-1-発展学習「移行期医療の課題」 (p.84)、第8章 A 「看護総論」 (p.190~191)、第13章 B-3-発展学習「小児神経疾患の長期予後と成人診療科への移行」 (p.388)、第13章 C-2-4 「成人診療科への移行支援」 (p.408)				
B 心身障害のある子どもと家族への看護	心身障害の定義と種類			小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 C-2 「在宅療養中の子どもと家族の特徴」 (p.231)、第7章 A 「障害のとらえ方」 (p.480~484) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 B-2 「発達障害(神経発達症群)」 (p.498~501) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-3 「知的能力の障害と生活上の問題」 (p.69~70)、第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209)	
	重症心身障害児と家族			地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 B 「医療的ケア児の事例展開」 (p.252~265) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 C-2 「在宅療養中の子どもと家族の特徴」 (p.231)、第7章 A-3 「障害のある子どもの動向と看護」 (p.482~484) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第13章 C-2 「脳性麻痺の子どもの看護」 (p.403~408)	
	発達障害児と家族	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第7章 A 「障害のとらえ方」 (p.480~484) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 B-2 「発達障害(神経発達症群)」 (p.498~501)、C-3 「発達障害をもちながら、ほかの疾患の療養が必要な子どもの看護」 (p.516~517)			

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 10 章 D-4-1 「発達障害と特別支援教育」 (p.185~186) 公衆衛生 : 第 8 章 G-3-2 「就学支援」 (p.302~305)、G-3-4 「家族支援」 (p.306)
	C 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	入院生活から在宅への移行に向けた支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 A-3-3 「退院後や将来を見すえた看護」 (p.222~223)
		多職種との連携と社会資源の活用	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 A-3-3 「退院後や将来を見すえた看護」 (p.222~223)、C-1 「在宅療養の環境と看護の役割」 (p.229~231)
		学校・保育所での支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 C-1-3 「学校などの多様な生活の場と看護の役割」 (p.230~231)
		子どものセルフケア行動の促進	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 C-3 「在宅療養中の子どもと家族の看護」 (p.231~239)
9 エンズ・オブ・ライフ にある子どもと家族への看護 (end-of-life)	A 子どもの死の理解と看護	子どもの死の捉え方	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 3 章 D-2 「子どもの生命・死のとらえ方」 (p.272~273)
		死に対する子どもの反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 3 章 D 「終末期にある子どもと家族の看護」 (p.269~281)
	B 子どもと家族への緩和ケア	エンド・オブ・ライフ (end-of-life) にある子どもの心身の状態と緩和ケア	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 3 章 D-3 「子どもと家族の看護」 (p.274~280) 緩和ケア : 第 6 章 A-1 「小児」 (p.152~158)、第 6 章 A-2 「思春期・若年成人 (AYA 世代)」 (p.159~165)
		子どもの死を看取る家族の反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 3 章 D-3 「子どもと家族の看護」 (p.274~280) 緩和ケア : 第 8 章 「家族のケア」 (p.236~254)

# 母性看護学

目標Ⅰ. 母性看護の基盤となる概念、母性看護の対象を取り巻く環境について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 母性看護の対象を取り巻く環境や社会の変遷	A 母子を取り巻く環境	女性の就業率	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)
		婚姻、離婚	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)
		周産期医療のシステム	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B 「母性看護の提供システム」 (p.92~97)
		在留外国人の母子支援	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 H 「国際化社会と看護」 (p.317~326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 D 「文化を考慮した看護」 (p.270~277)
	B 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	母子保健法	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-1 「母子保健に関する法律」 (p.82~83) 公衆衛生 : 第8章 B-2-2 「母子保健のしくみ」 (p.210~211)、B-3-2 「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」 (p.213)、B-4-1 「乳幼児保健指導・訪問指導」 (p.213~214)、B-4-2 「乳幼児健康診査」 (p.214~216) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-2 「母子保健法と母子保健施策」 (p.195~198) 看護関係法令 : 第4章 B-2 「母子保健法」 (p.128~130)
		児童福祉法	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-2 「母子の福祉に関する法律」 (p.83~84) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-1 「児童福祉法」 (p.194~195) 看護関係法令 : 第7章 B-1 「児童福祉法」 (p.215~217)
		児童虐待の防止等に関する法律	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G 「児童虐待と看護」 (p.308~316) 公衆衛生 : 第8章 B-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.217~220) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4-1 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.204~205) 看護関係法令 : 第7章 B-2-b 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219)
		次世代育成支援対策推進法	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-4 「少子社会における次世代育成支援に関する法律」 (p.85~86) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-3-2 「少子化対策から次世代育成支援へ」 (p.201~202) 看護関係法令 : 第8章 B-b 「次世代育成支援対策推進法」 (p.245~246)
		成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律〈成育基本法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3-4 「少子社会における次世代育成支援に関する法律」 (p.85~86) 看護関係法令 : 第4章 B-2-e 「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」 (p.130)
		子育て世代包括支援センター〈母子健康包括支援センター〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1-2 「子育て支援にかかわる機関」 (p.94) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 D-3-2 「子育て支援」 (p.374~375) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-1 「●児童福祉の担い手」 (p.194~195) 看護関係法令 : 第4章 B-2-d 「母子健康包括支援センター」 (p.130)
C 働く妊産婦への支援に関する法や施策	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-3 「母性看護にかかわる法律」 (p.81~86) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-6 「妊婦の勤労」 (p.161~165)、第6章 D-2 「職場復帰」 (p.375~378) 公衆衛生 : 第10章 D-4 「男女共同参画とワークライフバランス」 (p.358~359)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護関係法令：第8章 A-6-c 「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」(p.244)
		育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-3 「女性の就労と母性保護に関する法律」(p.84~85) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-2-6 「妊婦の勤労」(p.161~165)、第6章 D-2 「職場復帰」(p.375~378) 公衆衛生：第10章 D-4 「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358~359) 社会保障・社会福祉：第7章 C-3-2 「●育児・介護休業法」(p.201) 看護関係法令：第8章 A-5 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.241~243)
		労働基準法	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-3 「女性の就労と母性保護に関する法律」(p.84~85) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-2-6 「妊婦の勤労」(p.161~165)、第6章 D-2 「職場復帰」(p.375~378) 公衆衛生：第10章 D-4 「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358~359) 看護関係法令：第8章 A-1 「労働基準法」(p.234~237)
		D 女性の健康支援に関する法や施策	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 F 「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.299~308) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-4 「DV対策」(p.198~199) 看護関係法令：第8章 B-g 「配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律」(p.248) 家族看護学：第2章 D-2-1 「家族内におけるジェンダー役割とその問題」(p.79~80)
2 母性看護の基盤となる概念	A リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 D 「リプロダクティブヘルス/ライツ」(p.27~31) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第2章 「出生前からのリプロダクティブヘルスケア」(p.14~60) 公衆衛生：第7章 D-公衆衛生ナビ 「性と生殖に関する健康と権利」(p.189)
		性(セクシュアリティ)	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 C 「セクシュアリティ」(p.22~26)
		セックス、ジェンダー	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 C 「セクシュアリティ」(p.22~26)
		性の多様性	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 C 「セクシュアリティ」(p.22~26)
	B 母性・父性・家族に関する概念	母性、父性、親性	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 A 「母性とは」(p.2~14) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第1章 「子どもを産み育てることとその看護を学ぶにあたって」(p.2~11) 公衆衛生：第8章 B-6 「親性をはぐくむ母子保健活動(思春期含む)」(p.221~222)
		母親役割、父親役割	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 B 「母子関係と家族発達」(p.14~22) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第1章 「子どもを産み育てることとその看護を学ぶにあたって」(p.2~11)、第3章 D-3-3 「家族役割調整のための健康相談・教育」(p.177~182)、第4章 C-2 「産婦と家族の心理・社会面のアセスメント」(p.224~226)
		母子相互作用、愛着形成	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 B 「母子関係と家族発達」(p.14~22) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 B-1-10 「親子関係の評価」(p.291~293)、第6章 A-2-1 「産婦の心理的变化」(p.326~329) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-5 「愛着と心の安全基地」(p.102~107)
		家族の発達・機能	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 B 「母子関係と家族発達」(p.14~22) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第4章 D-6 「家族発達を促す看護」(p.246~247) 家族看護学：第2章 C 「家族機能」(p.45~63)、第3章 A-1 「家族発達理論」(p.86~91)
	C 女性や母子へのケアに関する概念	ヘルスプロモーション	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 E-1 「ヘルスプロモーションとは」(p.32~33)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			公衆衛生：第1章 D-2「ヘルスプロモーション」(p.36～42)
		ウェルネス	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 A-1-3「健康の拡大」(p.110) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第4章 A「母性看護における看護過程」(p.156～166)
		女性を中心としたケア (Women-centered care)	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第4章 C-2「女性の意思決定を支える看護技術」(p.172～175)
		家族を中心としたケア (Family-centered care)	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 F-1-3「母性看護実践の中核となる理念」(p.39～43)
		プレコンセプションケア	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 A-3「ライフサイクル各期に共通する看護」(p.193～195)

## 目標Ⅱ. 女性のライフサイクル各期に応じた看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 女性の ライフサイクル各期 における看護	A 思春期・成熟期女性の健康維持への看護	第二性徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 A-2-1「青年期——大人になること」(p.9～17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第5章 2-2「第二性徴の進行」(p.122)、10-2「第二性徴に関する援助」(p.139～140) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 B-1-1「身体的特徴」(p.196～197)
		性意識・性行動の発達	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 B-1-2「心理・社会的特徴」(p.197～202)
		性行動、性反応	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 C「セクシュアリティ」(p.22～26)
		性周期(初経、月経)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-3「性周期と性ホルモン」(p.28～30) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-1-4「女性生殖器の機能」(p.107～113) 解剖生理学：第10章 B-5「女性の生殖機能」(p.472～475)
	B 思春期・成熟期女性の健康課題	月経異常、月経随伴症状	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C-1「月経異常・月経随伴症状」(p.173～178) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 B-2-1「月経異常」(p.202～208)
		性感染症(STI)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 D「感染症」(p.199～203) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 B-2-2「性感染症」(p.208～209)、第6章 B「性感染症とその予防」(p.259～273)、C「HIVに感染した女性に対する看護」(p.273～283)
		不妊症(男性不妊症、女性不妊症)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C-3「不妊症」(p.180～195) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第2章 C「不妊治療と看護」(p.30～60)
		生殖補助医療	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 F-2-3「医療技術の進歩と課題」(p.46～48) 看護倫理：第3章 B-2「生殖に対する医療的介入の課題(1)生殖補助医療」(p.50～54)
		性暴力被害	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.299～308)
		人工妊娠中絶	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 G「母性看護における倫理」(p.49～54)、第6章 D「人工妊娠中絶と看護」(p.283～289) 看護倫理：第3章 B-2「生殖に対する医療的介入の課題(2)障害を理由とする人工妊娠中絶」(p.54～58)
	C 更年期・老年期女性の健康と看護	ホルモンの変化	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C-2「更年期障害」(p.178～180) 老年看護 病態・疾患論：第1章 I「性機能の老化」(p.43～45) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 D-1「更年期・老年期女性の特徴」(p.228～234)

目標Ⅲ. 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
4 妊娠期の看護	A 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	ヒトの発生・性分化のメカニズム	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2 「妊娠と胎児の性分化」 (p.113~127) 解剖生理学 : 第10章 C 「受精と胎児の発生」 (p.475~489)	
		妊娠期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1 「妊娠の生理」 (p.62~68)	
		妊娠の成立	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1 「妊娠の成立」 (p.113~120) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1 「妊娠の生理」 (p.62~68)	
		受精、着床	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B-5 「妊娠の成立」 (p.32~35) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1 「妊娠の成立」 (p.113~120) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1-2 「妊娠の成立」 (p.63~67) 解剖生理学 : 第10章 C 「受精と胎児の発生」 (p.475~489)	
		妊娠週数	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-1-11 「妊娠時期の診断」 (p.96~98)	
		妊娠の経過と胎児の発育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A 「妊娠期の身体的特性」 (p.62~81)、C 「妊婦と胎児のアセスメント」 (p.92~132)	
		母体の生理的变化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-3 「母体の生理的变化」 (p.77~81)	
		妊婦と家族の心理・社会的変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 B 「妊娠期の心理・社会的特性」 (p.82~91) 家族看護学 : 第5章 G 「周産期に関する家族看護」 (p.263~273)	
		不育症、流産、早産	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 C-4 「不育症」 (p.195~199) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-E 「妊娠持続期間の異常」 (p.408~411)	
		感染症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-B 「妊娠期の感染症」 (p.390~402)	
		常位胎盤早期剥離	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-5 「常位胎盤早期剥離」 (p.439~440)	
		前置胎盤	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-1-3 「前置胎盤」 (p.437~438)	
		妊娠高血圧症候群	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-C-2 「妊娠高血圧症候群」 (p.402~404)、I-G-6 「妊娠高血圧症候群妊婦の看護」 (p.419~420)	
		妊娠糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-7 「糖尿病と妊娠」 (p.162~163) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-A-4-2 「糖代謝異常合併妊娠」 (p.384~386)、I-G-5-2 「糖代謝異常合併妊娠」 (p.418~419)	
		妊娠貧血	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.136~150)	
		妊娠悪阻	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-C-1 「妊娠悪阻」 (p.402)	
		高年妊娠、若年妊娠	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-G-1 「高年妊婦の看護」 (p.414~415)、I-G-2 「若年妊婦の看護」 (p.416~417)	
		胎児機能不全	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-E 「胎児機能不全」 (p.444~446)、II-J-3 「胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護」 (p.469~472)	
		B 妊婦の健康生活とアセスメント	食生活	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B-2-2 「褥婦の身体の状態」 (p.337~343)、C-1-1 「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」 (p.345~355) 栄養学 : 第8章 G 「授乳期における栄養」 (p.171~172) 栄養食事療法 : 第15章 I 「妊産婦の栄養と食事」 (p.216~224)
			排泄	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-2 「排泄」 (p.150~151)
	活動と休息		母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-5 「活動と休息」 (p.157~168)	
	清潔		母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-3 「清潔」 (p.151~152)	
	性生活		母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-7 「妊娠中の性生活」 (p.165~166)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	C 妊婦と家族への看護	嗜好品(喫煙、アルコール、カフェイン)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.136~150)	
		妊娠による不快症状(マイナートラブル)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-8 「妊娠中のマイナートラブル」 (p.166~168)	
		食生活の教育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.130~145)	
		健康維持・増進、セルフケアに関する教育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D 「妊婦と家族の看護」 (p.133~183)	
		マイナートラブルへの対処	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-8 「妊娠中のマイナートラブル」 (p.166~168)	
		家族の再調整	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-3-3 「家族役割調整のための健康相談・教育」 (p.177~183) 家族看護学 : 第5章 G 「周産期に関する家族看護」 (p.263~273)	
		出産の準備	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-3-1 「出産準備教育」 (p.168~175)	
	D 妊娠期の健康問題に対する看護	切迫流産、切迫早産	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 E-1 「流産」 (p.408~409)、第7章 E-2 「早産・切迫早産」 (p.410)	
		出生前診断	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第2章 B-2 「出生前診断」 (p.16~17)、B-3 「出生前診断の実際」 (p.17~23)	
	E 妊娠期のケアに必要な技術	Leopold (レオポルド) 触診法	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-3 「胎児の触知、胎位・胎向の診断」 (p.102~105)	
		子宮底・腹囲の測定	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-2 「胎児発育の評価法」 (p.95~99)	
		間欠的胎児心拍数聴取	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-4-3 「妊婦・胎児の身体的健康状態のアセスメント」 (p.117~126)	
		胎児心拍数陣痛図、ノンストレステスト(NST)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-4 「胎児の健康状態」 (p.105~108)	
		胎児の超音波断層法の介助	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-2 「胎児発育の評価法」 (p.101~102)	
		内診の介助	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-1-5 「内診」 (p.94~95)、C-4-3 「妊婦・胎児の身体的健康状態のアセスメント」 (p.119)	
	5 分娩期の看護	A 正常な分娩の経過と分娩期の異常	分娩期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 A-1 「分娩とは」 (p.184~185)
			分娩の3要素	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 A-2 「分娩の3要素」 (p.185~191)
			分娩経過と進行	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B 「分娩の経過」 (p.196~211)、C-1 「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」 (p.212~224)
			胎児心拍数	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-4-2 「胎児心拍数への影響」 (p.203~204)
陣痛、産痛、陣痛異常(微弱陣痛、過強陣痛)			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-3 「産痛」 (p.200~203)、C-1 「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」 (p.211~224)、第7章 II-B-1 「陣痛の異常」 (p.427~429)	
破水、前期破水			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-3 「卵膜の異常」 (p.441~442)、II-J-1 「破水が生じた産婦の看護」 (p.465~467)	
分娩時異常出血			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-H 「分娩時異常出血」 (p.452~457)、II-L 「分娩時異常出血のある産婦の看護」 (p.483~489)	
胎児機能不全			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-E 「胎児機能不全」 (p.444~446)、II-J-3 「胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護」 (p.469~472)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	B 産婦の健康に関するアセスメント	産婦の基本的ニーズ	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 C-1 「身体機能の回復および進行性変化への看護」 (p.345~356)	
		産婦の健康状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 C-1 「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」 (p.212~224)	
		産婦の心理・社会的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-5 「産婦の心理・社会的変化」 (p.205~211)	
	C 産婦と家族への看護	産婦の基本的ニーズへの支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 D 「産婦と家族の看護」 (p.227~247)	
		産痛の緩和	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 D-3 「安楽な分娩への看護」 (p.229~236)、D-4 「出産体験が肯定的になる(よいお産になる)ための看護」 (p.236~243)	
		産婦と家族の心理への看護	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 E 「分娩期の看護の実際」 (p.247~260) 家族看護学 : 第5章 G 「周産期に関する家族看護」 (p.263~273)	
	D 分娩期の健康問題に対する看護	前期破水	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-3 「卵膜の異常」 (p.441~442)、II-J-1 「破水が生じた産婦の看護」 (p.465~467)	
		帝王切開術	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-I-5 「帝王切開」 (p.461~464)、II-K-1 「帝王切開術を受ける産婦の看護」 (p.472~479)	
		分娩時異常出血	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-H 「分娩時異常出血」 (p.452~457)、II-L 「分娩時異常出血のある産婦の看護」 (p.483~489)	
	6 産褥期の看護	A 正常な産褥の経過と産褥期の異常	産褥期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-1 「産褥の定義」 (p.322)
			産褥期の身体的特徴	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1 「産褥期の身体的変化」 (p.322~325)
			全身の変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-5 「全身の変化」 (p.325)
生殖器の変化			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-2 「子宮の復古と悪露」 (p.322~324)	
乳房の変化			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-3 「乳汁分泌」 (p.324~325)	
子宮復古不全			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 IV-A 「子宮復古不全」 (p.514~515)	
産褥熱			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 IV-B-1 「産褥熱」 (p.485)	
乳腺炎			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 IV-B-5 「乳腺炎」 (p.516)、IV-E-2 「乳房トラブル」 (p.523~526)	
マタニティブルーズ			母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 D 「●マタニティブルーズ」 (p.516~517)、第6章 A-2-1 「●マタニティブルーズ」 (p.327~328) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-7 「周産期にあらわれやすい心的不調」 (p.218~220)	
産後うつ病		母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 D 「●産後うつ病」 (p.517)、第7章 V-A-6 「産後うつ病(抑うつ障害〔周産期発症])」 (p.544)、第7章 V-B 「治療および看護」 (p.545~550) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-7 「周産期にあらわれやすい心的不調」 (p.218~220)		
B 褥婦の健康と生活のアセスメント		全身状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B 「褥婦のアセスメント」 (p.320~331)	
		子宮復古	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B-1-1 「退行性変化」 (p.334~335)	
	分娩による損傷の状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B 「褥婦のアセスメント」 (p.334~345)		
	清潔	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B-2-3 「褥婦の生活パターンとセルフケアレベル」 (p.343~344)、C-1-1 「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」 (p.345~355)		
	食事と栄養	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 B-2-2 「褥婦の身体の状態」 (p.337~343)、C-1-1 「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」 (p.345~355)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>栄養学：第8章 G「授乳期における栄養」(p.171～172)            栄養食事療法：第15章 I「妊産婦の栄養と食事」(p.216～224)</p>
		排泄	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 B-2-2「褥婦の身体の状態」(p.337～343)、C-1-1「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」(p.345～355)
		活動と休息	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 B-2-3「褥婦の生活パターンとセルフケアレベル」(p.343～344)、C-1-1「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」(p.345～355)
		母乳育児の状況、栄養法	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 B-2-2「褥婦の身体の状態」(p.337～343)、C-3-1「児の栄養(授乳)」(p.357～363)
		児への愛着と育児行動	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 B-1-3「生まれてくる子の親になることへの準備」(p.85～87)、第6章 A-2-1「●愛着・絆の形成と子どもの確認」(p.328～329)、C-2「児との関係確立への看護」(p.356) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-5「愛着と心の安全基地」(p.102～107)
		褥婦の心理・社会的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 B-2「褥婦の健康状態のアセスメント」(p.336～345)
	C 褥婦と家族への看護	産褥復古に関する支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 C-1「身体機能の回復および進行性変化への看護」(p.345～367)
		母乳育児への支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 C-3-1「児の栄養(授乳)」(p.357～363)
		褥婦の日常生活とセルフケア	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 C-1「身体機能の回復および進行性変化への看護」(p.345～356)
		育児技術獲得への支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 C-3「育児にかかわる看護」(p.356～364)
		親子の愛着形成の支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 A-2「産褥期の心理・社会的変化」(p.325～334)
		家族関係再構築の支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 C-4「家族関係再構築への看護」(p.364～366) 家族看護学：第5章 G「周産期に関する家族看護」(p.263～273)
		退院後の生活調整、産後のサポート	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 D-1「産後の生活調整」(p.367～372)
	D 産褥期の健康問題に対する看護	子宮復古不全	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 IV-A「子宮復古不全」(p.514～515)
		産褥熱	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 IV-B-1「産褥熱」(p.485)
		乳房トラブル	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 IV-B-5「乳腺炎」(p.516)、IV-E-2「乳房トラブル」(p.523～526)
		帝王切開術後	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 IV-E-3-1「健康上の問題をかかえる褥婦の看護」(p.526～527)
7 早期新生児期の看護	A 早期新生児の生理的变化と異常	新生児期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A「新生児の生理」(p.262～281)
		循環器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-3「新生児の循環」(p.270～271)
		呼吸器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-2「新生児の呼吸」(p.269～270)
		消化器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-5「新生児の消化と吸収」(p.271～272)
		代謝系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-6「ビリルビン代謝と生理的黄疸」(p.272～274)、A-2-7「腎機能」(p.274～275)
		泌尿器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-7「腎機能」(p.274～275)
		神経系	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 A-2-10「新生児の反射」(p.280～281)、A-2-11「新生児の感覚機能」(p.281)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		運動器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-10 「新生児の反射」 (p.280～281)
		感覚器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-11 「新生児の感覚機能」 (p.281)
		体温調節	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-4 「新生児の体温」 (p.271)
		生体の防御機能	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-8 「新生児の免疫」 (p.275)
		新生児仮死	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-A 「新生児仮死」 (p.489～493)
		新生児一過性多呼吸 (TTN)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-C 「低出生体重児」 (p.497～506)
		呼吸窮迫症候群 (RDS)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-C-2-1 「呼吸窮迫症候群」 (p.498～499)
		胎便吸引症候群 (MAS)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-4-3 「羊水混濁」 (p.416)
		高ビリルビン血症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-D 「高ビリルビン血症」 (p.506～513)
		新生児ビタミンK欠乏症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-E 「新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症」 (p.513～514)
		低血糖症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 III-C 「低出生体重児」 (p.497～506)
	B 早期新生児期のアセスメント	A (アプガー) スコア	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-3 「出生直後の評価」 (p.284～285)
		成熟度の評価	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-4 「発育の評価」 (p.285)
		外観	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-6 「外表所見の評価」 (p.286)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		バイタルサイン	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-2-1 「基礎的情報の収集」 (p.293～297)
		皮膚、皮膚色	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-9 「新生児の皮膚」 (p.275～280)
		頭部、顔面	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-6 「外表所見の評価」 (p.286)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		体幹、四肢	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-1-5 「新生児の姿勢」 (p.264～266)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		外性器	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		神経学的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-10 「新生児の反射」 (p.280～281)、A-2-11 「新生児の感覚機能」 (p.281)
		生理的体重減少	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		生理的黄疸	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-6 「ビリルビン代謝と生理的黄疸」 (p.264～266)
		哺乳状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-2-3 「新生児の生活のアセスメント」 (p.303～305)
		排尿、排便	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		新生児マスキリーニング	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-8 「新生児マスキリーニング」 (p.287～289)
	C 早期新生児とその家族への看護	気道の開通	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 A-2-1 「子宮外適応現象」 (p.266～269)、A-2-2 「新生児の呼吸」 (p.269～270)、C-1 「出生直後の看護」 (p.306)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		保温	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-4 「新生児の体温」 (p.271)、C-1 「出生直後の看護」 (p.306)
		全身計測	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-1 「基礎的情報の収集」 (p.293～297)
		全身の観察	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.297～303)
		清潔	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-1 「身体の清潔」 (p.307～314)
		哺乳	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-3 「新生児の栄養」 (p.315～316)
		感染予防	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-4 「新生児と医療事故, 医療安全, 感染予防」 (p.316～317)
		事故防止	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-4 「新生児と医療事故, 医療安全, 感染予防」 (p.316～317)
		保育環境	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-3-2 「児の養育環境の確認」 (p.318)
	D 早期新生児の健康問題への看護	早産児、低出生体重児	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-C 「低出生体重児」 (p.497～506)
		高ビリルビン血症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-D 「高ビリルビン血症」 (p.506～513)
		新生児ビタミン K 欠乏症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-E 「新生児・乳児ビタミン K 欠乏性出血症」 (p.513～514)
		新生児蘇生	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-A 「●治療」 (p.492～493)

# 精神看護学

## 目標Ⅰ. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神保健の基本	A 精神の健康の概念	精神の健康の定義	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 A「精神の健康とは」(p.24~30) 精神保健福祉 : 第1章 C-1「精神的健康と保健・福祉」(p.8~9)
		精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 公衆衛生 : 第8章 E-1-2「地域での暮らしと精神の健康を支える3つの予防策」(p.268~270) 精神保健福祉 : 第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66~114)
	B 心の機能と発達	精神と情緒の発達	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B「心のしくみと人格の発達」(p.79~113)
		自我の機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「意識と無意識——精神分析と精神力動理論」(p.83~91)
		防衛機制	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-3「自我の防衛機制」(p.86~90)
		精神力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「意識と無意識——精神分析と精神力動理論」(p.83~91)
		転移感情	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 E-1「転移・逆転移」(p.45~47)
	C 精神の健康に関する普及啓発	精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 D-2「世界からみた日本の精神科医療の課題」(p.14~20)、第7章 B-5-2「入院医療中心から地域生活中心へ——精神保健福祉の改革ビジョン」(p.319~320) 社会保障・社会福祉 : 第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」(p.173~177)、B-4「新たな法体系の整備」(p.177~182) 精神保健福祉 : 第3章 B-1「精神保健医療福祉の改革ビジョン」(p.60~64)
		偏見、差別、スティグマ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 B-5「病いの苦しみと環境の不寛容」(p.7~8)、第7章 D-1「逸脱とスティグマ——社会的烙印」(p.331~332) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第11章 B-1-2「入院のデメリット」(p.218~223)
		自殺対策	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 F-1「自殺対策」(p.361~363) 公衆衛生 : 第8章 E-4「自殺予防対策」(p.279~282)
	D 危機〈クライシス〉	危機〈クライシス〉の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-1-1「健康破綻がもたらす危機状況」(p.213~215) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-3-1「危機への反応としての精神障害」(p.34~35) 精神保健福祉 : 第4章 B-2-1「危機的状況とはなにか」(p.81~83)
		危機〈クライシス〉の予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4-2「危機を回避するための要因」(p.37)、D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 精神保健福祉 : 第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」(p.79~96)
		危機介入	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-1-2「危機にある人々への支援」(p.216~219) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-3-2「危機介入の方法としてのソーシャルサポート」(p.35~36)、D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 精神保健福祉 : 第4章 B-2「危機的状況に対する早期介入」(p.81~86)
		ストレスと対処	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B-2「ストレスと健康生活」(p.183~186)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 B-4 「ストレスの対処(コーピング)」(p.36~37) 心理学 : 第 10 章 B-1 「ストレスと適応」(p.196~201)
		適応理論	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 B-1 「生体システムとしてのストレス反応」(p.31~33)、4 「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36~38) 心理学 : 第 10 章 B-1 「ストレスと適応」(p.196~201)
E	災害時の精神保健	災害時の精神保健医療活動	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 15 章 「災害時のメンタルヘルスと看護」(p.374~388) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E-5 「精神障害者に対する災害看護」(p.157~161) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-4-4 「災害と精神保健福祉」(p.94~96)
		災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 15 章 A-4 「災害派遣精神医療チーム(DPAT)の活動」(p.378~379)、B 「災害にみまわれた人の心理とケア」(p.379~386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E-5 「精神障害者に対する災害看護」(p.157~161) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-4-4 「災害と精神保健福祉」(p.94~96)
		災害派遣精神医療チーム(DPAT)	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 15 章 A-4 「災害派遣精神医療チーム(DPAT)の活動」(p.378~379) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 B-3-5 「わが国の災害医療対応の整備」(p.48~51) 公衆衛生 : 第 11 章 B-3-2 「災害時の保健・医療・福祉システム」(p.372~374)
		災害時の精神障害者への治療継続	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 B-3 「病院が被災したとき」(p.384~386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E-5 「精神障害者に対する災害看護」(p.157~161)
F	精神の健康とマネジメント	心身相関と健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-4 「心身症」(p.233~234) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 12 章 A-1 「精神療法としての身体のケア」(p.256~261)、A-2 「身体化する患者の世界」(p.261~264)
		身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 12 章 D 「身体合併症のアセスメントとケア」(p.298~306)、第 14 章 A 「身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス」(p.350~352)
		精神疾患がある者の身体 <small>の</small> 健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 12 章 「身体をケアする」(p.256~309)、第 14 章 C-1 「精神疾患をもつ患者が一般病棟で治療を受けるとき」(p.356~358)
		患者と家族の精神の健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 B-3 「家族システムという考え方」(p.121~130)、B-4 「家族のストレスと感情表出」(p.130~131)、第 6 章 B-3 「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-5 「クライアントとしての家族/パートナーとしての家族」(p.171~178) 家族看護学 : 第 3 章 C-1 「家族療法」(p.102~111)
		保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 14 章 D 「看護師のメンタルヘルスへの支援」(p.371~372)、第 16 章 F 「共感疲労を予防するためのいくつかのヒント」(p.407~411)
		トラウマインフォームド・ケア(TIC)、逆境体験	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 A-2-1 「●トラウマインフォームドケア」(p.316)
		性の健康に関連する状態	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-2 「性別違和、性別不合」(p.231)

目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A 症状性を含む器質性精神障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、C-7-3 「症状精神病」 (p.232~234)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-6 「心理的特性をはかる検査」 (p.74~79)、第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、C-7-3 「症状精神病」 (p.232~234)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、C-7-3 「症状精神病」 (p.232~234)、第6章 C-2-8 「抗認知症薬」 (p.284) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	B 精神作用物質使用による精神・行動の障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5 「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」 (p.171~178)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207)、第6章 C-2-9 「抗酒薬」 (p.285) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	C 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-1 「統合失調症の症状」 (p.165~169)、C-2-2 「統合失調症の病型とその症状」 (p.170~172) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-4 「再発の危機を乗り越える」 (p.167~171)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-1 「統合失調症の症状」 (p.165~169)、C-2-2 「統合失調症の病型とその症状」 (p.170~172)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-5 「統合失調症の治療」 (p.174~176)、第6章 C-2-2 「抗精神病薬」 (p.268~275) 臨床薬理学 : 第4章 D-2 「抗精神病薬の臨時投与」 (p.261~267)
	D 気分〈感情〉障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-3 「気分 [感情] 障害の主要症状」 (p.185~187) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153~161)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-3 「気分 [感情] 障害の主要症状」 (p.185~187)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-7 「気分 [感情] 障害の治療」 (p.188~191)、第6章 C-2-3 「抗うつ薬」 (p.275~279)、C-2-4 「気分安定薬 (抗躁薬)」 (p.279~281) 臨床薬理学 : 第3章 S 「うつ病・うつ状態」 (p.196~202)、第4章 D-3 「抗不安薬の臨時投与」 (p.269~272)
	E 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)、第6章 C-2-5 「抗不安薬」 (p.281~282)
	F 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、C-7-1 「睡眠障害」 (p.229~231) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 G 「リカバリーのプロセス——摂食障害に苦しんだ女性の物語」 (p.108~112)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、C-7-1 「睡眠障害」 (p.229~231)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、C-7-1 「睡眠障害」 (p.229~231)、第6章 C-2-6 「睡眠薬 (催眠薬)」 (p.282~283)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	G パーソナリティ障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)
	H 習慣および衝動の障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)
	I 知的障害 (精神遅滞)	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-3 「知能能力の障害による生活上の問題」 (p.69~70)、第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 C-3 「誰にでも回復の可能性はある」 (p.87~89)、第10章 C-3 「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」 (p.161~167)
		臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-2 「知能指数 (IQ)」 (p.68~69)、第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209)
		薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209)
J 心理的発達の障害	症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
	臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
	薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
K 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	症状と看護	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 「精神疾患と看護」 (p.486~518) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 D-4 「特別な配慮が必要な児童・生徒への支援」 (p.185~187)	
	臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
	薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	

### 目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A 援助関係の構築	信頼関係の基礎づくり	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2~6)、B 「ケアの原則」 (p.6~13) 精神保健福祉 : 第6章 A-2 「入院時の支援」 (p.153~160)、B-1 「支援開始期の支援」 (p.183~189)
		患者-看護師関係の発展と終結	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2~6)、B 「ケアの原則」 (p.6~13)、C 「ケアの方法」 (p.14~27)、E 「患者-看護師関係における感情体験」 (p.45~53)、第11章 E-4 「患者-看護師関係の終わり方」 (p.253~254) 精神保健福祉 : 第6章 A-3 「退院準備期の支援」 (p.160~166)、A-4 「退院直前期の支援」 (p.167)、B-2 「退院導入期の支援」 (p.189~195)、B-3 「退院準備期の支援」 (p.196~200)
		プロセスレコードの活用	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 D 「関係をアセスメントする」 (p.28~45) 人間関係論 : 第10章 B-2 「プロセスレコード」 (p.193~195)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		共同意思決定、共同創造〈コプロダクション〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章「回復を支援する」(p.70~112)
	B セルフケアへの援助	食物・水分の摂取	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章D-1「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」(p.298~300)、D-2「やせ(るい瘦)」(p.300) 精神保健福祉 : 第6章A-5「退院後の地域生活支援」(p.167~176)、B-4「退院後の地域生活支援」(p.200~204)
		呼吸	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章D-3「肺炎」(p.300~301)
		排泄	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章B-4「排便のケア」(p.273~278)
		清潔と身だしなみ	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち⑤〉オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章B-4「入院時のアセスメント」(p.105~115)、第12章A-1-3「精神療法としての身体のケア」(p.256~261)、B-4-2「皮膚のケア」(p.271~272)、B-4-3「口腔のケア」(p.272~273) 精神保健福祉 : 第6章A-5「退院後の地域生活支援」(p.167~176)、B-4「退院後の地域生活支援」(p.200~204)
		活動と休息	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第9章E-1「治療の中心となるグループプログラム」(p.94~95)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247) 精神保健福祉 : 第6章A-5「退院後の地域生活支援」(p.167~176)、B-4「退院後の地域生活支援」(p.200~204)
		対人関係	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247) 精神保健福祉 : 第6章A-5「退院後の地域生活支援」(p.167~176)、B-4「退院後の地域生活支援」(p.200~204)
		安全	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第13章「安全をまもる」(p.312~348)
	C 生きる力と強さに着目した援助	レジリエンス	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章C-8「ストレスをしなやかにねかえす力——レジリエンス」(p.47~48) 公衆衛生 : 第8章E-1-1「レジリエンスとリカバリー」(p.268)
		リカバリ〈回復〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章A「回復の意味」(p.70~76)、B「リカバリーのビジョン」(p.77~79) 公衆衛生 : 第8章E-1-1「レジリエンスとリカバリー」(p.268) 精神保健福祉 : 第4章C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.97~114)
		ストレングス〈強み、力〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章B-4「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36~38) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章A「回復の意味」(p.70~76)、B「リカバリーのビジョン」(p.77~79)、第10章C-1-2「ストレングスモデル」(p.152~153) 精神保健福祉 : 第4章C-2「リカバリーを支えるためのストレングスモデル」(p.102~107)
		エンパワメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章C-6「回復への道」(p.45~46) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章A-2-3「パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー」(p.76)、B-2「リカバリーの中心はエンパワメント」(p.77~78)、第10章C-Column「エンパワメントとケアマネジメント」(p.153) 公衆衛生 : 第8章E-5「当事者の力」(p.282~283) 精神保健福祉 : 第4章A「精神障害の予防のために——一次予防」(p.67~79)、C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.97~114)

目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 精神疾患・障害がある者とその家族への看護	A 脳の仕組みと精神機能	脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 B-1 「脳」 (p.23~32) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-4 「統合失調症の成因」 (p.172~174)、C-3-6 「気分 [感情] 障害の成因」 (p.187~188)、第6章 C-2-1 「向精神薬とはなにか」 (p.266~268)、C-2-2 「抗精神病薬」 (p.268~275)
		神経伝達物質と精神機能・薬理作用	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 A 「神経系の分類と機能」 (p.18~23) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-4 「統合失調症の成因」 (p.172~174)、C-3-6 「気分 [感情] 障害の成因」 (p.187~188)、第6章 C-2-1 「向精神薬とはなにか」 (p.266~268)、C-2-2 「抗精神病薬」 (p.268~275) 臨床薬理学 : 第4章 D 「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」 (p.259~276)
		ストレス脆弱性	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 B-3 「精神障害者がかかえる『現実の問題』と『生きにくさ』」 (p.6)、第5章 C-2-4 「統合失調症の成因」 (p.172~174) 精神保健福祉 : 第5章 B-3-2 「感情表出とストレス脆弱性モデル」 (p.133~134)
		脳と免疫機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-1 「生体システムとしてのストレス反応」 (p.31~33)
		睡眠と概日リズム〈サーカディアンリズム〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7-1 「睡眠障害」 (p.229~231) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第12章 B-5 「睡眠とそのケア」 (p.278~282) 臨床薬理学 : 第2章 G 「睡眠薬」 (p.73~77)
	B 心理・社会的療法	個人精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-1 「個人療法」 (p.242~252)
		集団精神療法、集団力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-2 「集団精神療法」 (p.252~256)
		心理教育的アプローチ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-3-4 「家族心理教育(ファミリーワーク)」 (p.260~263)、C-3 「看護師による服薬へのかかわり」 (p.285~288)
		認知行動療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 B-1-3 「認知・行動・身体にはたらくきかける療法」 (p.246~250) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 F-3 「認知行動療法(CBT)」 (p.103~105) 人間関係論 : 第6章 A-6 「認知行動療法」 (p.117~120) 精神保健福祉 : 第4章 C-3-3 「認知行動療法」 (p.109~110)
		生活技能訓練 (SST)	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 F-2 「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」 (p.100~103) 精神保健福祉 : 第4章 C-3-4 「社会生活技能訓練」 (p.110~111)
	C B以外の治療法	電気けいれん療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 D-1-1 「電気けいれん療法(ECT)」 (p.288~290) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第12章 C-2 「電気けいれん療法を受ける患者のケア」 (p.293~297) 精神保健福祉 : 第5章 B-1 「活用できる社会資源」 (p.123~128)
	D 身体状態に関する看護	身体合併症のある患者の看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第12章 D 「身体合併症のアセスメントとケア」 (p.298~306)
		フィジカルアセスメントとケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第12章 「身体をケアする」 (p.256~310)
	E 家族への看護	家族のストレスと健康状態のアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B 「全体としての家族」 (p.119~131)、第6章 B-3 「家族療法」 (p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5 「クライアントとしての家族 / パートナーとしての家族」 (p.171~178) 家族看護学 : 第5章 E 「精神疾患患者の家族看護」 (p.236~250) 精神保健福祉 : 第5章 B-3 「家族支援」 (p.132~135)
		家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B 「全体としての家族」 (p.119~131)、第6章 B-3 「家族療法」 (p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5 「クライアントとしての家族 / パートナーとしての家族」 (p.171~178)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			家族看護学：第5章E「精神疾患患者の家族看護」(p.236～250)
		家族システムのアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章B「全体としての家族」(p.119～131)、第6章B-3「家族療法」(p.256～265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171～178) 家族看護学：第5章E「精神疾患患者の家族看護」(p.236～250) 精神保健福祉：第5章B-3-1「家族システムとは」(p.132～133)
		家族への教育的介入と支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章B「全体としての家族」(p.119～131)、第6章B-3「家族療法」(p.256～265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171～178) 家族看護学：第5章E「精神疾患患者の家族看護」(p.236～250) 精神保健福祉：第5章B-3「家族支援」(p.132～135)
		患者-家族関係の調整	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章B「全体としての家族」(p.119～131)、第6章B-3「家族療法」(p.256～265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171～178) 家族看護学：第5章E「精神疾患患者の家族看護」(p.236～250)
F	社会復帰・社会参加への支援	リハビリテーションの概念	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章E-5「精神科リハビリテーション」(p.295～296) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章A-2「リハビリテーションからリハビリへ」(p.73～76) 精神保健福祉：第4章C-1-1「精神科リハビリテーション」(p.97～99)
		国際生活機能分類<ICF>	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章D-4「国際生活機能分類(ICF)の考え方」(p.50～52) 公衆衛生：第8章G-1-1「障害とは」(p.293～295)
		入院患者の退院支援、地域移行・地域定着支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章B-5「2000年以降の長期入院者の地域移行の動き」(p.319～321) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-3「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.161～167)、第11章E「退院に向けての支援とその実際」(p.247～254) 公衆衛生：第8章E-2-1「精神健康に困難を有する人の相談機関」(p.270～272) 精神保健福祉：第5章「地域移行支援・地域生活支援の基礎」(p.116～146)、第6章「地域移行支援・地域生活支援の展開」(p.147～212)
G	精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章B-6「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」(p.321～322)
		精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章E-5「精神科リハビリテーション」(p.295～296) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 精神保健福祉：第5章B-1「活用できる社会資源」(p.123～128)
		精神科訪問看護、訪問看護	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第4章G「統合失調症の療養者の事例展開」(p.309～318) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 精神保健福祉：第5章B-1「活用できる社会資源」(p.123～128)
		精神科外来看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章A-1「日常生活での「つまづき」」(p.196～198)
		アウトリーチ	精神保健福祉：第5章B-2「アウトリーチ」(p.129～132)
		行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-3「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.161～167)、第11章E-3「多職種連携による地域移行支援」(p.251～253) 精神保健福祉：第4章A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～79)
H	社会資源の活用とケアマネジメント	精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章C-1「ケアマネジメントという方法」(p.150～153)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		社会資源の活用とソーシャルサポート	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 A 『『器』としての地域——地域精神保健の視点』(p.116~120)、B-2 『地域生活を支えるシステムと社会資源』(p.130~150)</p> <p>公衆衛生 : 第 8 章 E-2 『地域生活を支えるためのしくみ』(p.270~277)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-1 『活用できる社会資源』(p.123~128)、第 6 章 『地域移行支援・地域生活支援の展開』(p.148~212)</p>
		セルフヘルプグループ、家族会	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 C-2-4 『セルフヘルプグループの源流——アルコールクス・アノニマス(AA)』(p.134~135)、C-2-5 『当事者運動としてのセルフヘルプグループ』(p.135~136)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-5 『当事者組織・支援組織』(p.146~150)</p> <p>公衆衛生 : 第 8 章 E-2-3 『リカバリーを支えるしくみ』(p.274~277)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 8 章 E-4 『セルフヘルプ・グループ』(p.235~236)</p> <p>人間関係論 : 第 12 章 B-2 『セルフヘルプグループ』(p.258~259)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-5 『ピアサポート』(p.139~143)</p>
		自立支援医療	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 D-2 『障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律』(p.224~226)</p> <p>精神保健福祉 : 第 6 章 A-5 『退院後の地域生活支援』(p.167~176)</p>
		居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)、第 6 章 A-5 『退院後の地域生活支援』(p.167~176)</p>
		重度訪問介護	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)</p>
		生活介護	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)</p>
		短期入所(ショートステイ)	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)、第 6 章 A-5 『退院後の地域生活支援』(p.167~176)</p>
		生活訓練	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 3 章 F 『公費負担医療』(p.77~78)、第 7 章 B-4-3 『障害者総合支援法の成立』(p.178~181)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)、第 5 章 B-1-2 『障害者総合支援法における社会資源』(p.126~128)</p>
		就労移行支援	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-5-2 『就労支援』(p.184~188)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2-1 『障害者総合支援法の概要』(p.52~57)、第 5 章 B-1-2 『障害者総合支援法における社会資源』(p.126~128)、B-4 『精神障害者の就労支援』(p.135~139)、第 6 章 A-5 『退院後の地域生活支援』(p.167~176)</p>
		就労継続支援 A 型・B 型	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-2 『障害福祉サービス』(p.134~144)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-5-2 『就労支援』(p.184~188)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.52～57)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.126～128)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.135～139)、第6章 A-5「退院後の地域生活支援」(p.167～176)
		共同生活援助〈グループホーム〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.77～78)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.178～181) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.52～57)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.126～128)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.135～139)、第6章 A-5「退院後の地域生活支援」(p.167～176)
		地域生活支援事業	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.77～78)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.178～181) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.52～57)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.126～128)
		精神障害者保健福祉手帳	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.350～354) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-3「精神障害者保健福祉手帳による支援」(p.145) 公衆衛生：第8章 E-2-2「地域での生活を支える制度」(p.272～274) 社会保障・社会福祉：第7章 B-1-4「精神障害者の特徴」(p.167～168) 看護関係法令：第4章 B-1-f「精神障害者保健福祉手帳」(p.125) 精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」(p.46～51)、第6章 A-5「退院後の地域生活支援」(p.167～176)

目標Ⅴ. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	病棟環境の整備と行動制限	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 B-1-1「入院のメリット」(p.214～218)、B-2「治療的環境としての病棟」(p.223～229)、第13章 A-1「安全の条件」(p.312～315)
		自傷行為、自殺企図、自殺予防	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 B-2「自殺」(p.324～331) 精神保健福祉：第4章 B-4-2「自殺対策」(p.89～92)
		攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 B-3「暴力」(p.331～342)
		災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第15章 B-3「病院が被災したとき」(p.384～386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.157～161)
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉	当事者の自己決定の尊重	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 B-1「人としての尊厳を尊重する」(p.7～9)
		入院患者の基本的な処遇	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 A-2「入院という体験」(p.198～209)、第13章 A「リスクマネジメントの考え方と方法」(p.312～323) 看護関係法令：第4章 B-1-d「医療と保護」(p.123～125)
		精神医療審査会	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-1-4「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる2つの法律」(p.339～340)、E-2-NOTE「精神医療審査会」(p.345) 看護関係法令：第4章 B-1-e「精神医療審査会・地方精神医療審査会」(p.125) 精神保健福祉：第2章 A-1-4「精神保健法の制定による人権保護の推進と社会復帰の促進」(p.26～27)
		隔離、身体拘束	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 A「リスクマネジメントの考え方と方法」(p.312～323) 精神保健福祉：第8章 B-3-2「虐待防止の体制整備と取り組み」(p.230～232)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	B 精神保健医療福祉の変遷と看護	諸外国における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 A 「精神障害と治療の歴史」 (p.298~310) 精神保健福祉 : 第2章 B 「諸外国の精神保健福祉改革」 (p.39~44)	
		日本における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.310~322) 精神保健福祉 : 第2章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.18~39)	
		精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 「精神看護学で学ぶこと」 (p.2~22)、第7章 E-1 「精神看護における法律」 (p.317~318) 精神保健福祉 : 第6章 「地域移行支援・地域生活支援の展開」 (p.148~212)	
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の運用	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の基本的な考え方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-1-4 「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる2つの法律」 (p.339~340) 看護関係法令 : 第4章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.121~127)	
		入院形態	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.340~348) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第11章 A-2 「入院という経験」 (p.198~209) 看護関係法令 : 第4章 B-1-d 「医療と保護」 (p.123~125) 精神保健福祉 : 第3章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」 (p.46~51)	
		精神保健指定医	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.348~350) 看護関係法令 : 第4章 B-1-c 「精神保健指定医」 (p.122~123) 精神保健福祉 : 第3章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」 (p.46~51)	
	7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	連携する他職種(医師、歯科医師、保健師、助産師、精神保健福祉士、作業療法士、介護支援専門員、精神保健福祉相談員、ピアサポーター、薬剤師、公認心理師)の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-1-2 「支持に力点をおいた療法(支持療法)」 (p.244~246)、E-2 「治療共同体の実践」 (p.292~294)、E-4 「作業療法」 (p.294~295) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 G 「チームのダイナミクス」 (p.63~67)、第10章 B-2-1 「相談支援」 (p.131~134)、B-2-5 「当事者組織・支援組織」 (p.146~150)、C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153~161)、C-5 「クライアントとしての家族/パートナーとしての家族」 (p.171~178)、第11章 B-1-1 「入院のメリット」 (p.214~218)、第12章 D-2 「やせ(るい瘦)」 (p.300) 社会保障・社会福祉 : 第1章 B-6 「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」 (p.25) 看護関係法令 : 第3章 B-5-b 「精神保健福祉士法」 (p.95~96)、第4章 B-1-c 「精神保健指定医」 (p.122~123) 精神保健福祉 : 第1章 C-4-3 「精神保健福祉活動の現状と課題」 (p.13~14)、第4章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~79)、第5章 B-2 「アウトリーチ」 (p.129~132)、第5章 B-5 「ピアサポート」 (p.139~143)、B-6 「地域における精神障害者への危機介入」 (p.143~146)、第6章 「地域移行支援・地域生活支援の展開」 (p.148~212)
			多職種との調整・連携における看護の役割	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153~161)
			B コンサルテーションと連携	コンサルテーション事例の特徴
コンサルテーションを担う職種の役割		精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-1 「相談支援」 (p.131~134)、C-3 「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」 (p.161~167)		
リエゾン精神看護		精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第14章 「医療の場におけるメンタルヘルスと看護——リエゾン精神看護」 (p.350~372)		

# 在宅看護論／地域・在宅看護論

目標Ⅰ. 地域・在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
1 地域・在宅看護の対象	A 在宅療養者の特徴と健康課題	子どもの在宅療養者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-1 「小児期の対象者」 (p.59～63)	
		成人の在宅療養者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-2 「成人期の対象者」 (p.63～67)	
		高齢の在宅療養者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-3 「老年期の対象者」 (p.67～72)	
		疾病や障害をもつ在宅療養者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-3-2 「地域に暮らす疾患・障害をもつ人々」 (p.73～75)	
	B 在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	家族の定義	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85) 家族看護学 : 第2章 A 「家族とは」 (p.24～35)	
		家族の機能	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85) 家族看護学 : 第2章 C 「家族機能」 (p.45～63)	
		キーパーソン	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 E-4 「家族とライフステージ」 (p.130～133) 家族看護学 : 第4章 B-2-a-3 「家族の機能的視点」 (p.133～137)	
		家族発達論	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-3-1 「家族の発達と課題」 (p.85～87) 家族看護学 : 第3章 A-1 「家族発達理論」 (p.86～91)	
		家族システム論	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-3-2 「家族システム」 (p.87～89) 家族看護学 : 第3章 A-2 「家族システム理論」 (p.91～97)	
		生活様式	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「わが国における家族の現状」 (p.77～82)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)	
		地域・在宅看護における基盤となる概念		
	2 地域・在宅看護における基盤となる概念	A 在宅療養者を取り巻く環境の理解と健康課題	在宅療養者を取り巻く地域の特徴と健康課題	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 「暮らしの基盤としての地域の理解」 (p.32～50)
			暮らしの場で看護する基本姿勢	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 「人々の暮らしと地域・在宅看護」 (p.12～22)、第4章 A 「暮らしを支える地域・在宅看護」 (p.104～106)、B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106～110) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-1 「暮らしの場で看護をするための心構え」 (p.50～56)
B 在宅療養者の権利の保障		在宅療養者の権利擁護〈アドボカシー〉	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-1 「対象者の権利保障」 (p.208)	
		虐待の防止	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 E-1 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.202～203)、H-2 「虐待防止に関する法律」 (p.208)	
		個人情報の保護と管理	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-4 「個人情報保護」 (p.209)	
		サービス提供者の権利の保護	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-5 「サービス提供者の権利保護」 (p.209～210)	
C 在宅療養者の自立支援		価値観の尊重と意思決定支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-2-4 「尊厳をまもり意思を尊重した暮らしの支援」 (p.21～22)、第4章 B-3 「看護師に求められる態度・知識・姿勢」 (p.107～110)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-1 「暮らしをかえる意思決定を支える」 (p.50~52)
		QOLの維持・向上	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110)、第4章 C 「広がる看護の対象と提供方法」 (p.110~114)
		セルフケア	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-2-3 「セルフケア力を引き出す支援」 (p.21) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-1 「セルフケアおよびセルフマネジメントへの支援」 (p.249~252)
		社会参加への援助	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-5 「これからの地域・在宅看護」 (p.22) 公衆衛生 : 第8章 D-6 「地域コミュニティによる支えとは」 (p.264~266) 社会保障・社会福祉 : 第7章 A-2 「高齢者福祉の施策」 (p.159~162)、B-2 「障害者福祉の理念」 (p.170~173)、B-5 「障害者福祉の関連施策」 (p.182~192) リハビリテーション看護 : 第2章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)
		閉じこもりの予防	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 E-2-4 「老年期の健康課題と予防」 (p.122~123) 老年看護 病態・疾患論 : 第2章 F-5 「閉じこもり」 (p.86)
	D 地域・在宅看護の目的と特徴	パートナーシップ	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-2 「地域・在宅看護に求められる役割」 (p.20~22)、第4章 A 「暮らしを支える地域・在宅看護」 (p.104~106)、B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110)、C 「広がる看護の対象と提供方法」 (p.110~114) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-2-2 「パートナーシップを築く」 (p.54~56)
		多職種・多機関の連携によるアプローチ	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C 「地域・在宅看護における多職種連携」 (p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-2-1 「チームで支える」という意識をもつ (p.52~54)、第5章 「地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働」 (p.340~355)
		意思決定支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-3 「家族と意思決定支援」 (p.89)、第4章 E-1 「さまざまなライフステージにおける病や死」 (p.125~126) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-1 「暮らしをかえる意思決定を支える」 (p.50~52)、C-2 「家族の支援」 (p.64~67)
		自立支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 B-2 「地域・在宅看護に求められる役割」 (p.20~22)、第4章 A 「暮らしを支える地域・在宅看護」 (p.104~106)、B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110)、C 「広がる看護の対象と提供方法」 (p.110~114) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B 「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」 (p.57~62)
		ケアマネジメント	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 C-8 「ケアマネジメントと社会資源の活用」 (p.197~200) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A 「地域・在宅看護マネジメントとは」 (p.358~360)、B-3 「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」 (p.372~380)
3 地域・在宅看護における安全と健康危機管理	A 在宅療養者の日常生活における安全管理	家屋環境の整備	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-1 「療養環境調整に関する地域・在宅看護技術」 (p.86~93)
		転倒・転落の防止	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 B 「暮らしの環境を整える看護」 (p.106~110)、F-2-1 「発生頻度の高いできごと」 (p.133~134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-2 「●転倒の予防と対策」 (p.73)、●転落の予防と対策」 (p.73~74) 老年看護学 : 第5章 A-2 「転倒のアセスメントと看護」 (p.134~141) 老年看護 病態・疾患論 : 第2章 D-1 「転倒・骨折」 (p.73~77) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 B 「転倒・転落事故防止」 (p.144~170)
		誤嚥・窒息の防止	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 F-2-1 「発生頻度の高いできごと」 (p.133~134)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-2 「●誤嚥の予防と対策」 (p.75~77)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 C 「摂食中の窒息・誤嚥事故防止」 (p.170~176)</p>
		熱傷・凍傷の防止	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 F-2-2 「季節によるリスクの特徴」 (p.134~135)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 D-2-1 「熱傷」 (p.117~119)、D-3-1 「凍傷」 (p.119)、第6章 F-4 「熱傷患者の看護」 (p.217~220)</p>
		熱中症の予防	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 F-2-2 「季節によるリスクの特徴」 (p.134~135)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-2 「●熱中症の予防と対策」 (p.75)</p> <p>老年看護 病態・疾患論 : 第2章 B-3 「熱中症」 (p.54~57)</p>
	B 災害による暮らしへの影響	在宅療養者・家族が行う災害時の備え	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 G-2-1 「災害への事前の備え」 (p.138~139)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-2 「●非常事態への対策」 (p.78)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 C-2-2 「要配慮者・避難行動要支援者の特徴」 (p.83~86)、E-6 「慢性疾患患者に対する災害看護」 (p.161~164)</p>
		発災時の対応と環境の変化	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 G-2-2 「災害時の避難」 (p.140~141)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 D-1-3 「在宅避難者および車中泊避難者に関する看護の役割」 (p.118~119)、E-6 「慢性疾患患者に対する災害看護」 (p.161~164)</p>
	4 地域・在宅看護実践をめぐる制度の概要	A 訪問看護制度の理解	訪問看護の対象と提供方法
B 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解		訪問系サービス	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-1 「住まいで提供される看護」 (p.148~150)、第6章 A-1-4 「介護保険の給付対象となるサービス」 (p.172~175)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92~101)</p>
		通所系サービス	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-2 「通所サービスの場で提供される看護」 (p.150)、第6章 A-1-4 「介護保険の給付対象となるサービス」 (p.172~175)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92~101)</p>
		施設系サービス (入所、短期入所)	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-3 「短期入所サービスの場で提供される看護」 (p.150)、B-4 「施設サービスの場で提供される看護」 (p.151~152)、第6章 A-1-4 「介護保険の給付対象となるサービス」 (p.172~175)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92~101)</p>
		複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護)	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-4 「通所・短期入所・訪問サービスの場で提供される看護」 (p.150~151)、第6章 A-1-4 「介護保険の給付対象となるサービス」 (p.172~175)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92~101)</p>
		在宅看護に関連する法令	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 「地域・在宅看護にかかわる制度とその活用」 (p.168~210)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-1-4 「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる2つの法律」 (p.339~340)</p> <p>老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41~48)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 E-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.272~274)</p> <p>看護関係法令 : 第6章 A-1 「健康保険法」 (p.191~195)、A-4 「介護保険法」 (p.199~206)、第7章 D-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」 (p.224~226)</p>

目標Ⅱ. 在宅療養者の病期や症状、暮らし方に応じて展開する在宅看護実践について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
5 療養の場に応じた地域・在宅看護	A 病期に応じた在宅療養者への看護	慢性期にある在宅療養者と家族の看護	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 F 「在宅療養安定期の看護」 (p.242~244) 成人看護学 [7] (脳・神経) : B-3 「認知症患者の看護」 (p.256~262)	
		急性増悪した在宅療養者と家族の看護	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 G 「急性増悪期の看護」 (p.244~245) 救急看護学 : 第3章 D 「在宅療養における対応」 (p.83~86)、第4章 A-3 「在宅急変時における周囲の状況確認と感染予防対策」 (p.102)	
		終末期にある在宅療養者と家族の看護	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 E-4-2 「家族による看取り」 (p.132~133) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 H 「終末期の看護(グリーフケアを含む)」 (p.245~248)、第4章 I 「がん終末期の療養者の事例展開」 (p.330~337) 公衆衛生 : 第8章 D-8 「地域コミュニティによる支えとは」 (p.264~266) 人間関係論 : 第11章 C-1 「終末期患者と家族、遺族」 (p.239~243) 緩和ケア : 第5章 「身体的ケア: 苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助」 (p.80~96)、第6章 C 「療養の場の広がり」 (p.217~222)、第8章 D 「グリーフと遺族ケア」 (p.249~254) 家族看護学 : 第5章 C 「終末期患者の家族看護」 (p.212~226)	
	B 療養の場の移行に伴う看護	入退院支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-6-1 「外来患者の看護」 (p.152~153)、B-6-2 「入院患者の看護」 (p.153)、B-6-3 「療養の場の移行時の看護」 (p.153~154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 D 「在宅療養準備期(退院前)の看護」 (p.234~239)、E 「在宅療養移行期の看護」 (p.239~244)、第6章 B-1 「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」 (p.360~365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」 (p.300~323)	
		退院前カンファレンス	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-6-3 「療養の場の移行時の看護」 (p.153~154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第3章 D 「在宅療養準備期(退院前)の看護」 (p.234~239)、E 「在宅療養移行期の看護」 (p.239~244)、第6章 B-1 「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」 (p.360~365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 B-1-2 「在宅への移行」 (p.315~320)	
		意思決定支援	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-6-3 「療養の場の移行時の看護」 (p.153~154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 A-1 「暮らしをかえる意思決定を支える」 (p.50~52)、第2章 C-2 「家族の支援」 (p.64~67) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 A-3-3 「意思決定支援」 (p.307)	
		地域連携クリニカルパス	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 B-1 「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント」 (p.360~365) がん看護学 : 第5章 H 「がん患者の療養支援」 (p.329~346)	
	6 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護	A 主な症状に応じた在宅看護	発熱	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-1 「●身体機能の低下や疾患・障害に伴うリスク」 (p.70~71)
			消化器症状	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-1 「●身体機能の低下や疾患・障害に伴うリスク」 (p.70~71)、E-4-c-3 「機能の維持・向上を旨とする援助」 (p.147~157)
疼痛			地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-1 「●身体機能の低下や疾患・障害に伴うリスク」 (p.70~71)、E-6 「苦痛の緩和・安楽確保に関する地域・在宅看護技術」 (p.171~174)	
呼吸困難感			地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-1 「●身体機能の低下や疾患・障害に伴うリスク」 (p.70~71)、E-7-b-1 「●呼吸のフィジカルアセスメント」 (p.175~177)	
B 主な疾患等に応じた在宅看護		医療的ケア児	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章 E-4-1 「療養生活を支える家族のライフステージに応じた看護」 (p.130~132) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 B 「医療的ケア児の事例展開」 (p.252~265)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 C 「在宅療養中の子どもと家族の看護」 (p.229~240) 家族看護学 : 第5章 B 「慢性期の小児患者の家族看護」 (p.200~211)
		認知症	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 H 「認知症高齢者の事例展開」 (p.318~330)
		精神疾患	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 G 「統合失調症の療養者の事例展開」 (p.309~318) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-1 「地域で精神障害者を支援する際の原則」 (p.121~130)、C-4 「再発の危機をのりこえる」 (p.167~171)、C-5 「クライアントとしての家族/パートナーとしての家族」 (p.171~178) 精神保健福祉 : 第5章 「地域移行支援・地域生活支援の基礎」 (p.116~146)、第6章 「地域移行支援・地域生活支援の展開」 (p.148~212)
		難病	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 E 「筋萎縮性側索硬化症(ALS)の療養者の事例展開」 (p.283~296)、F 「パーキンソン病の療養者の事例展開」 (p.296~308) 公衆衛生 : 第8章 G-3-1 「生活支援・療養支援」 (p.299~301)、第11章 B-5 「災害時に特別な配慮を必要とする人々の支援」 (p.378~379)
		がん	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 I 「がん終末期の療養者の事例展開」 (p.330~337)
		脳血管疾患	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 C 「脳卒中の療養者の事例展開」 (p.266~272)
		呼吸器疾患	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 D 「慢性閉塞性肺疾患(COPD)の療養者の事例展開」 (p.272~282)
		心不全	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-c 「循環のアセスメント」 (p.178~180)
		糖尿病	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 H 「認知症高齢者の事例展開」 (p.318~330) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281)
	C 主な治療等に応じた在宅看護	薬物療法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-9 「与薬に関する地域・在宅看護技術」 (p.219~226) 臨床薬理学 : 第1章 B-3-2 「外来・在宅での医薬品の安全管理」 (p.33~35)
		化学療法、放射線療法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第4章 I 「がん終末期の療養者の事例展開」 (p.330~337) がん看護学 : 第5章 G 「外来がん看護」 (p.317~328)
		酸素療法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-e-1 「在宅酸素療法(HOT)を受ける療養者の援助」 (p.186~190) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2-3 「在宅酸素療法」 (p.112~114)、第6章 D-2-2 「在宅酸素療法」 (p.256~258) 臨床外科看護総論 : 第3章 B-3 「在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法」 (p.109)
		人工呼吸療法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-7-e-2 「非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助」 (p.190~197)、E-7-e-3 「気管切開下陽圧換気(TPPV)を受ける療養者の援助」 (p.197~199) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3 「人工呼吸療法」 (p.114~118)、第6章 D-3 「人工呼吸器を装着する患者の看護」 (p.258~273)
		人工的水分・栄養補給法(AHN)	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-e 「経管栄養法を受ける療養者の援助」 (p.120~131)、E-3-f 「在宅中心静脈栄養法(HPN)を受ける療養者の援助」 (p.131~136) 栄養食事療法 : 第2章 B-2 「経管・経腸栄養法」 (p.24~26)
		褥瘡予防・管理	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-8-b 「褥瘡の予防とケア」 (p.209~216) 成人看護学 [12] (皮膚) : 特論 「褥瘡患者の看護」 (p.250~272)
		感染予防対策	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-1 「●身体機能の低下や疾患・障害に伴うリスク」 (p.70~71)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 在宅療養生活を支える看護	A 在宅療養者の生活機能のアセスメント	日常生活動作〈ADL〉	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b 「活動に関する地域・在宅看護技術」(p.94~103) 老年看護学 : 第5章 A 「日常生活を支える基本的活動」(p.122~146)
		手段的日常生活動作〈IADL〉	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b 「活動に関する地域・在宅看護技術」(p.94~103) 老年看護学 : 第5章 A 「日常生活を支える基本的活動」(p.122~146)
	B 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	食事摂取能力のアセスメント	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-b 「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.107~112) 栄養学 : 第9章 G-3 「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.231~233) 栄養食事療法 : 第3章 D 「摂食・嚥下障害」(p.39~42)
		食事内容の選択	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-c-2 「食事内容を整える工夫」(p.113~114) 栄養学 : 第9章 G-3 「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.231~233) 栄養食事療法 : 第2章 A 「病人食の分類と特徴」(p.14~23)
		栄養を補う食品の種類と選択方法	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-c-2 「食事内容を整える工夫」(p.113~114) 栄養学 : 第5章 D-19 「特別用途食品」(p.110)、第9章 G-3 「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.231~233) 栄養食事療法 : 第2章 「栄養食事療法の実際」(p.14~31)
		嚥下を促すケア	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-c-6 「嚥下困難のある対象者の食事援助のポイント」(p.116~119)
		口腔ケア	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-3-c-5 「口腔ケア」(p.115~116) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 特論 「口腔ケア」(p.254~272) 老年看護学 : 第5章 B-4 「食生活の支援」(p.155~161) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 M-2 「口腔ケア」(p.261~262)、M-3 「高齢者の口腔ケアの実際」(p.262~264)
		排尿・排便のアセスメント	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-4-b 「排泄のアセスメント」(p.136~144)
	C 在宅療養者の排泄を支えるケア	排泄ケア計画の立案	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-4-c 「援助の実際」(p.144~157)
		排泄補助用具の種類と使用	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-4-c-3 「機能の維持・向上を旨とする援助」(p.147~149)
		ストーマケア用品の種類と使用	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-4-c-3 「●ストーマの管理とケア」(p.152~155) 成人看護学 [5] (消化器) : 特論 「ストーマケア」(p.462~480)
		尿道カテーテル管理	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-4-c-3 「●尿道留置カテーテルの管理とケア」(p.150~152)
		D 在宅療養者の清潔を支えるケア	清潔のアセスメント
	清潔ケア計画の立案		地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-5-c 「在宅における清潔・衣生活の援助の実際」(p.163~171)
	清潔保持のためのケア		地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-5-c 「在宅における清潔・衣生活の援助の実際」(p.163~171)
	E 在宅療養者の移動を支えるケア	移動能力のアセスメント	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b 「活動に関する地域・在宅看護技術」(p.94~102)
		ノーリフトケア	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b-2-plus 「ノーリフトケア」(p.99)
		移動補助用具の種類と使用	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 E-2-b-2 「●福祉用具の活用」(p.98~102)
		移動時の安全確保	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 D-1-3 「療養者が安全に外出するための準備と方法」(p.78~79)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	F 在宅療養者のコミュニケーションを支えるケア	コミュニケーション能力のアセスメント	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」(p.57~62)
		対象のコミュニケーション能力に応じた対応	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」(p.57~62)
		補助機器の種類の選択と使用	地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章 B「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」(p.57~62)

目標Ⅲ. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけと看護の役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 地域ケアシステムにおける多職種連携	A 行政との連携	機関・職種の役割と機能	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-2-1「●保健師との連携・協働の実際」(p.345)
		双方向で行う連携の目的	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340~342)
		ケアマネジメント	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197~200) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358~360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372~379)
		看護の役割	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340~341)
	B 地域包括支援センターとの連携	機関・職種の役割と機能	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162)、第6章 A-1-1-plus「地域包括支援センターの役割」(p.169) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-3-3「地域包括支援センターの看護師・保健師が行う地域・在宅看護マネジメント」(p.376~379)
		双方向で行う連携の目的	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-3-3「地域包括支援センターの看護師・保健師が行う地域・在宅看護マネジメント」(p.376~379)
		ケアマネジメント	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197~200) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358~360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372~379)
		看護の役割	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340~341)
	C 居宅介護支援事業所との連携	機関・職種の役割と機能	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-3-2「居宅介護支援事業所で働く介護支援専門員が行う地域・在宅看護マネジメント」(p.373~376)
		双方向で行う連携の目的	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154~162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-3-2「居宅介護支援事業所で働く介護支援専門員が行う地域・在宅看護マネジメント」(p.373~376)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
D 介護サービス事業所との連携		ケアマネジメント	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197～200)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358～360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372～379)</p>
		看護の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340～341)</p>
	D 介護サービス事業所との連携	機関・職種の役割と機能	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-2-1「●介護職との連携・協働の実際」(p.345～346)</p>
		双方向で行う連携の目的	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-2-1「●介護職との連携・協働の実際」(p.345～346)</p>
		ケアマネジメント	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197～200)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358～360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372～379)</p>
		看護の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340～341)</p>
E 医療機関との連携	機関・職種の役割と機能	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-2-1「●医師との連携・協働の実際」(p.344)</p>	
	双方向で行う連携の目的	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 B-2-1「●医師との連携・協働の実際」(p.344)</p>	
	ケアマネジメント	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197～200)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358～360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372～379)</p>	
	看護の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1「看護師が連携・協働において果たす役割」(p.340～341)</p>	
F その他の機関や住民との連携	機関・職種の役割と機能	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 C「医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働」(p.347～353)</p>	
	双方向で行う連携の目的	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 C「医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働」(p.347～353)</p>	
	ケアマネジメント	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162)、第6章 C-8「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.197～200)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第6章 A「地域・在宅マネジメントとは」(p.358～360)、B-3「介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント」(p.372～379)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		看護の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 C 「地域・在宅看護における多職種連携」 (p.154~162)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 A-1 「看護師が連携・協働において果たす役割」 (p.340~341)</p>
9 地域包括ケアシステムにおける在宅看護	A 地域包括ケアシステムの概要	目的と考え方	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1 「地域包括ケアシステム」 (p.45~49)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 B-4 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」 (p.62~64)</p>
		構成要素	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1-2 「地域包括ケアシステムの構成要素」 (p.47~48)</p>
		介護予防	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1 「地域包括ケアシステム」 (p.45~49)</p>
		生活支援	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1 「地域包括ケアシステム」 (p.45~49)</p>
		社会参加	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1 「地域包括ケアシステム」 (p.45~49)</p>
	B 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割	地域の多様な場における看護職の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 C-1 「地域包括ケアシステム」 (p.45~49)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 「地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働」 (p.340~355)</p>
		訪問看護の役割	<p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-1 「介護保険制度の歩み」 (p.168~170)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第5章 「地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働」 (p.340~355)</p> <p>精神保健福祉 : 第3章 B-4 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」 (p.62~64)、第6章 B-4-5 「精神科訪問看護と危機介入」 (p.202~204)</p>

# 看護の統合と実践

## 目標Ⅰ. 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメントの目的とプロセス	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-1 「看護サービスの管理とはどのようなことか」 (p.271~272) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 F 「看護におけるマネジメント」 (p.130~139) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第1章 A-1 「看護管理の定義」 (p.2)、第2章 A-1 「看護ケアのマネジメントのプロセス」 (p.16~17)
		看護組織の構成と職務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-3 「組織」 (p.275~282) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 B 「組織目的達成のマネジメント」 (p.80~86)
		看護行政の動向と看護マネジメント	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 D 「看護政策と制度」 (p.190~193)
	B 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	医療・看護の質保証と評価	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2 「看護実践とその質保障に必要な要件」 (p.46~59)、第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.292~303) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 I-1 「医療におけるサービスの質の評価」 (p.132~135)
		医療・看護の標準化 (標準看護計画、クリニカルパス)	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-3 「クリティカルパス」 (p.52~53)
	C 看護業務のマネジメント	看護業務基準、看護手順	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-2 「看護基準と看護手順」 (p.51)
		看護提供システム	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-4-2 「診療報酬制度における看護サービスの評価」 (p.263~271)、D-3-3 「看護部組織」 (p.279~282) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 C-2 「看護ケア提供システム」 (p.91~96)、第6章 「看護を取り巻く諸制度」 (p.165~193)
		複数の看護業務が同時に発生した場合の判断や対処方法	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4-2 「優先順位の決定と多重課題への対応」 (p.60~61) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第5章 B 「間違いを誘発する多重課題、タイムプレッシャーと業務途中の中断」 (p.197~200)
	D 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用と保管	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4 「情報の活用」 (p.53~58)、第5章 D-3 「個人情報の保護」 (p.159~162) 看護情報学 : 第3章 「保健医療と情報」 (p.40~61)、第5章 「医療における情報システム」 (p.90~128)
		診療記録等の電子化と医療情報システム	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4-6 「情報システムを用いた記録」 (p.56~57) 看護情報学 : 第3章 A-3 「医療情報の標準化と電子化」 (p.46~49)、第5章 A-4 「医療記録・情報を共有するための方法」 (p.94~98)
	E 医療安全を維持する仕組みと対策	安全管理体制整備、医療安全文化の醸成	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.292~303) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-1 「安全管理のしくみ」 (p.23~27) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 序章 「医療安全を学ぶことのたいせつさ」 (p.2~6)、第8章 A 「組織としての医療安全対策」 (p.236~246)
		医療事故・インシデントレポートの分析と活用	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E-5 「医療事故防止対策としてのインシデントレポートの活用」 (p.300~302) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-2-4 「事故報告書(インシデントレポート)」 (p.29~32) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第8章 A-3-3 「事故やヒヤリ・ハット報告によるリスクの把握-分析-対策体制の確立」 (p.240~246)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	F 看護師の働き方のマネジメント	看護師等の労働安全衛生	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-5-3 「看護管理と労働安全衛生」 (p.290~291) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 D-3-4 「職員(看護職)の労働安全衛生」 (p.106~107) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章 「看護師の労働安全衛生上の事故防止」 (p.218~234)
		看護の交代勤務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-2 「看護管理システム」 (p.272~275)、D-5 「人的資源の管理」 (p.285~291) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 D-3-2 「勤務体制(交代制勤務)」 (p.103~105)
		ワーク・ライフ・バランスを促進する働き方	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 D-3 「労働環境」 (p.103)

## 目標Ⅱ. 災害看護の基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 災害と看護	A 災害時の医療を支えるしくみ	災害に関する法と制度	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B-7 「災害看護と法律」 (p.68~75) 公衆衛生 : 第11章 B-3-1 「災害対策の法体系」 (p.370~372) 看護関係法令 : 第3章 C-5-b 「災害時の医療に関する法」 (p.110~112)
		災害時の医療体制	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B 「災害医療の基礎知識」 (p.21~78) 公衆衛生 : 第11章 B-3-2 「災害時の保健・医療・福祉システム」 (p.372~374) 救急看護学 : 第1章 C-3-4 「災害時の医療」 (p.37~39)、C-3-5 「災害看護」 (p.39~40)、第3章 F 「災害時における対応」 (p.89~96)
	B 災害各期の特徴と看護	災害各期の特徴	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.340~346) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B-3-4 「災害サイクルから考える災害医療」 (p.46~48)、C 「災害看護の基礎知識」 (p.78~101)、D 「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」 (p.101~143)、E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.143~171) 公衆衛生 : 第11章 B-4 「災害時の保健活動」 (p.374~378) 救急看護学 : 第1章 C-3-3 「災害サイクル」 (p.37)
		災害時の被災者・支援者の身体反応と心理過程	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 F 「災害とこころのケア」 (p.171~189)、第3章 「地震災害看護の展開」 (p.192~232)
		災害時に生じやすい健康被害の特徴	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B-2 「災害の種類と健康被害」 (p.22~35)
災害各期における要支援者を含むすべての被災者への看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.340~346) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 C 「災害看護の基礎知識」 (p.78~101)、D 「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」 (p.101~143)、E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.143~171) 救急看護学 : 第1章 C-3-5 「災害看護」 (p.39~40)		

## 目標Ⅲ. 諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 国際化と看護	A グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界共通の健康目標	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-1 「国際看護学とはなにか」 (p.307~309)、A-2-6 「持続可能な開発目標(SDGs)」 (p.314~316) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第1章 A 「看護とグローバル化した社会」 (p.2~3)、第4章 A-1 「世界の健康問題の現状」 (p.234~238)、B 「グローバルヘルス」 (p.251~259) 公衆衛生 : 第7章 E 「国際保健の共通目標」 (p.190~191) 総合医療論 : 第7章 C-2 「地球的規模の環境破壊と環境倫理の視点」 (p.179~182)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		人間の安全保障	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-2-6 「持続可能な開発目標(SDGs)」(p.314~316) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第1章 A 「看護とグローバル化した社会」(p.2~3)、第4章 B-1-3 「人間の安全保障」(p.255~256)
		プライマリ・ヘルス・ケア	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 B-1-2 「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.253~255)、E 「国際看護活動の展開過程」(p.277~282) 総合医療論 : 第7章 B-1 「医師—総合診療医の近未来像とプライマリケア」(p.167~173)
	B グローバルな社会における看護	看護の対象となる人々(在留外国人、在外日本人、帰国日本人、国際協力活動を必要とする人々)の健康課題	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-2 「健康と保健医療の世界的課題」(p.310~316)、A-5 「日本に在留する外国人の看護」(p.324~330) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 A-3 「国際看護学の対象」(p.239~241)、F 「開発協力と看護」(p.283~303)、G-1 「近年の世界における災害と難民・国内避難民の現状」(p.303~308) 総合医療論 : 第7章 C-2 「地球的規模の環境破壊と環境倫理の視点」(p.179~182)
		多様な文化を考慮した看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-6 「異文化理解」(p.330~332) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第2章 A-2-3 「地域の住民・文化の多様性」(p.37~38) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 H 「国際化社会と看護」(p.317~326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 D 「文化を考慮した看護」(p.270~277)

目標Ⅳ. 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 臨床実践場面における統合的な判断や対応	A 対象や家族に切れ目のない支援を提供するための継続した看護	※A~Eのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。	系統看護学講座 専門分野 : 全巻
	B 複合的な状況にある対象や、複合的に提供されている看護の状況を判断し、危険を回避する取組み		
	C 看護の提供者が、看護場面において自身の安全を確保するための総合的な判断や対応		
	D 発災からの経過に応じて被災者に提供される診療や支援を促進するための看護		
	E A~Dを促進するための多職種連携		

学生と先生方のニーズに応えながら進化する電子教科書

# 医学書院 eテキスト

特設サイトもご覧ください ▶ <https://kango-etext.com/>



## 収載コンテンツ

『系統看護学講座』全70巻 『標準保健師講座』全5巻  
『助産学講座』全10巻 『新看護学』全15巻

## ご指導方法に合わせて採用方法が選べます



1タイトルから  
ご契約可能

## 学生プラン



+



(冊子+電子版)



(電子版のみ)



系統看護学講座  
全巻セット

## OWL-K



(電子版のみ)



講義の準備等に  
ご活用いただけ、  
個人契約が可能な

## 教員プラン

(電子版)

### Point

契約期間は  
**最長1年間の閲覧契約**※  
となります。  
各分野や全巻セット  
での販売となりますが、  
それぞれ冊子版の20%で  
導入いただける、**お得な価格**です。

※ご契約時～年度末までの閲覧となります。

### Point

在学中はコンテンツを**毎年度無料で更新!**  
卒業後も**閲覧可能**なので、就職後にも参照いただけます!

追加  
オプション

## 調べものパック

実習や学習に便利なコンテンツがパックに!  
教科書ページの本文中からの検索も可能で便利です。

収録コンテンツ

- 看護大事典
- 臨床検査データブック[コンパクト版]
- 図解看護・医学事典
- 治療薬マニュアル

価格や採用条件などの詳細は、下記までお問い合わせください。弊社の学校様担当者が対応いたします。

お問い合わせ先

医学書院 販売・PR部SP課 TEL 03-3817-5661



医学書院

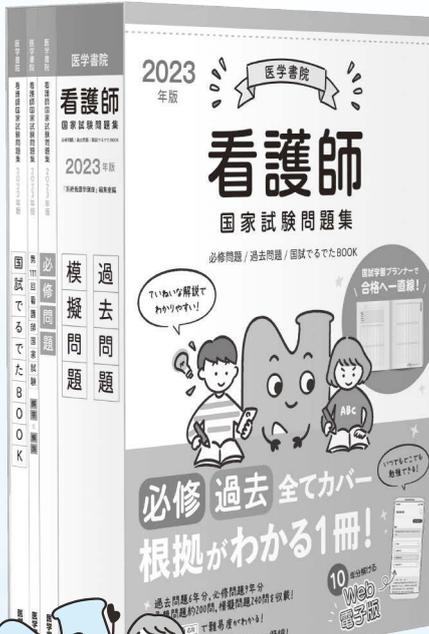
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: [sd@igaku-shoin.co.jp](mailto:sd@igaku-shoin.co.jp)

解答の根拠がよくわかる!  
解説で選ぶなら医学書院!

問題の難易度アイコン

基本 応用

で勉強がすすら進む



# 医学書院 看護師

国家試験問題集

必修問題 / 過去問題 / 国試ででたBOOK

2023年版

『系統看護学講座』編集室 編

●B5 頁1840 2022年

定価：5,940円(本体5,400円+税10%)

[ISBN978-4-260-04809-5]

これだけで合格! 国試対策の決定版!

1 必修問題も一般・状況設定問題もこの1セットで対策できる!

- ・9年分の必修問題+予想問題を掲載!
- ・信頼の執筆陣が全問題をていねいに解説。
- ・オリジナル模擬問題を240問収録。

2 出題の難易度に基づいて勉強できる!

- ・解答データ※をもとに **基本**・**応用** マークを表示しました。
  - ・ニガテになりやすい問題を**重点的に**対策できる!
- ※系統別看護師国家試験問題WEBの解答データをもとに算出。

3 解答の根拠の理解が深まる!

- ・国試に出る重要知識を総まとめ。
- ・授業の予習・復習にも役立ちます。

さらに!!  
4 付録の国試学習プランナーで  
学習計画もばっちり!

必修問題も  
模擬問題も  
入ってる!!

予想問題  
約200問  
収録!!

「国試  
ででた  
BOOK」で  
重要事項を  
まとめて整理!

5 10年分解ける  
Web電子版付き!



詳しい商品情報はここから



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

# 2022年度版 系統看護学講座の構成 全70巻

## 専門分野 全32巻

★定価は税込み表示です

基礎看護学 [1]	看護学概論	定価:2,640円
基礎看護学 [2]	基礎看護技術Ⅰ <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,970円
基礎看護学 [3]	基礎看護技術Ⅱ <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:3,190円
基礎看護学 [4]	臨床看護総論 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,750円
地域・在宅看護論 [1]	地域・在宅看護の基盤 <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">2022年新刊</span>	定価:2,200円
地域・在宅看護論 [2]	地域・在宅看護の実践 <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">2022年新刊</span>	定価:2,750円
成人看護学 [1]	成人看護学総論 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,530円
成人看護学 [2]	呼吸器	定価:2,640円
成人看護学 [3]	循環器	定価:2,640円
成人看護学 [4]	血液・造血器	定価:1,760円
成人看護学 [5]	消化器	定価:2,970円
成人看護学 [6]	内分泌・代謝	定価:2,310円
成人看護学 [7]	脳・神経	定価:2,640円
成人看護学 [8]	腎・泌尿器	定価:2,530円
成人看護学 [9]	女性生殖器	定価:2,530円
成人看護学 [10]	運動器	定価:2,640円
成人看護学 [11]	アレルギー 膠原病 感染症	定価:2,420円
成人看護学 [12]	皮膚	定価:2,090円
成人看護学 [13]	眼	定価:1,980円
成人看護学 [14]	耳鼻咽喉	定価:1,980円
成人看護学 [15]	歯・口腔	定価:2,090円
老年看護学		定価:2,970円
老年看護 病態・疾患論		定価:2,530円
小児看護学 [1]	小児看護学概論 小児臨床看護総論	定価:3,190円
小児看護学 [2]	小児臨床看護各論	定価:3,630円
母性看護学 [1]	母性看護学概論 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,750円
母性看護学 [2]	母性看護学各論 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:3,410円
精神看護学 [1]	精神看護の基礎 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,530円
精神看護学 [2]	精神看護の展開 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,530円
看護の統合と実践 [1]	看護管理	定価:2,750円
看護の統合と実践 [2]	医療安全	定価:2,420円
看護の統合と実践 [3]	災害看護学・国際看護学	定価:2,640円

## 専門基礎分野 全11巻

人体の構造と機能 [1]	解剖生理学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:4,180円
人体の構造と機能 [2]	生化学	定価:2,420円
人体の構造と機能 [3]	栄養学	定価:2,200円
疾病のなりたちと回復の促進 [1]	病理学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,640円
疾病のなりたちと回復の促進 [2]	病態生理学	定価:2,530円
疾病のなりたちと回復の促進 [3]	薬理学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,530円
疾病のなりたちと回復の促進 [4]	微生物学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,530円
健康支援と社会保障制度 [1]	医療概論 <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">2021年新刊</span>	定価:2,200円
健康支援と社会保障制度 [2]	公衆衛生	定価:2,420円
健康支援と社会保障制度 [3]	社会保障・社会福祉 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,530円
健康支援と社会保障制度 [4]	看護関係法令 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,640円

## 基礎分野 全9巻

物理学	定価:2,420円
化学	定価:2,640円
生物学	定価:2,640円
統計学	定価:2,420円
社会学	定価:1,980円
心理学	定価:2,530円
教育学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,420円
文化人類学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,530円
人間関係論	定価:2,420円

## 別巻 全18巻

臨床外科看護総論	定価:3,080円
臨床外科看護各論	定価:3,520円
救急看護学	定価:2,750円
がん看護学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,530円
クリティカルケア看護学	定価:2,530円
リハビリテーション看護	定価:2,750円
緩和ケア	定価:2,420円
家族看護学	定価:2,420円
栄養食事療法	定価:1,980円
臨床検査	定価:2,420円
臨床放射線医学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,420円
臨床薬理学	定価:2,860円
看護史	定価:2,200円
総合医療論 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,420円
看護倫理	定価:1,980円
看護研究	定価:2,640円
看護情報学 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2021年改訂</span>	定価:2,750円
精神保健福祉 <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px;">2022年改訂</span>	定価:2,640円

### 全巻揃い定価

定価 **180,730円**

● 専門分野	32巻	定価 <b>83,600円</b>
● 専門基礎分野	11巻	定価 <b>28,820円</b>
● 基礎分野	9巻	定価 <b>22,000円</b>
● 別巻	18巻	定価 <b>46,310円</b>

タブレット・PC を活用した新しい学習の形

### 医学書院 eテキスト

医学書院 eテキストは系統看護学講座シリーズの電子版。必要なタイトルごと、あるいは全巻パック (OWL-K) のご採用が可能です。卒業まで最新版へのアップデートは無料で、卒業後も教科書データの閲覧が可能です。  
詳しくはこちらまで↓

<https://kango-etext.com/>



**医学書院**

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp